

コラボレーション エンドポイント ソフトウェア 9.9
OCTOBER 2019



アプリケーション プログラミング インター フェイス (API) リファレンス ガイド

Cisco Collaboration Endpoint Software 9.9



このユーザ ガイドの内容

上部メニュー バーと目次のエントリはすべてハイパーリンクになっており、クリックするだけでトピックに移動できます。

定期的にシスコの Web サイトにアクセスし、ユーザ マニュアルの更新バージョンについて確認することを推奨します。

移動先: <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

目次

はじめに.....	3	複数行コマンド	71
このマニュアルについて	4	同期 API 呼び出し.....	72
CE9.9 の新機能	5	イベント	73
CE9.8 の新機能	10	フィードバックのメカニズム	74
CE9.7 の新機能	15	フィードバック表現	74
CE9.6 の新機能	19	ターミナル接続	75
CE9.5 の新機能	25	HTTP XMLAPI 認証.....	76
CE9.4 の新機能	29	HTTP XMLAPI セッション認証.....	76
CE9.3 の新機能	35	ステータスと設定の取得	77
CE9.2 の新機能	42	コマンドとコンフィギュレーションの送信	77
CE9.1 の新機能	50	HTTP を介したデバイスからのフィードバック	78
CE9.0 の新機能	56	フィードバックの登録.....	78
API について	63	端末モードから XML への変換	79
API の基礎	64	推奨事項と禁止事項	80
API への接続.....	64	xConfiguration コマンド	81
SSH	64	xConfiguration コマンドの説明	82
Telnet.....	64	xCommand コマンド	227
HTTP/HTTPS	64	xCommand コマンドの説明	228
WebSocket	64	xStatus コマンド.....	342
RS-232/ シリアル接続	65	xStatus コマンドの説明.....	343
イーサネット ポート.....	65	付録.....	445
ユーザ ロール	65	サポートされているコマンド マトリックス	446
パスフレーズ	66	起動スクリプト	510
API 出力	67	SystemTools コマンド	511
コマンドラインの使用	68	接続解除原因タイプ	513
API コマンド	68	シスコ Web サイト内のユーザ マニュアル.....	514
その他のコマンド	68		
コマンドライン ショートカット	69		
検索	69		
値のタイプと形式	69		



第 1 章

はじめに

このマニュアルについて

このマニュアルは、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアのアプリケーション プログラミング インターフェイス (API) を紹介するものであり、コマンドライン コマンドのリファレンス ガイドとして役立ちます。

このガイドでは、社内の登録済み会議デバイス (CUCM, VCS) と、シスコのクラウド サービス (Cisco Webex) に登録されるデバイスの API について説明します。

どのコマンドが使用可能かは、製品、バックエンド (オンプレミス、クラウド) およびローカル ユーザ (Admin, Audit, Integrator, Roomcontrol, User) のユーザ ロールによって異なります。コマンドの概要について詳しくは、「[サポートされているコマンド マトリックス \(446 ページ\)](#)」を参照してください。

このガイドは次の製品に適用されます：

- DX シリーズ：
 - DX70
 - DX80
- MX シリーズ：
 - MX200 G2
 - MX300 G2
 - MX700
 - MX800
- SX シリーズ：
 - SX10 Quick Set
 - SX20 Quick Set
 - SX80 コーデック
- Room シリーズ：
 - Room Kit
 - Room Kit Mini
 - Codec Plus¹
 - Codec Pro²
 - Room 55
 - Room 55 Dual
 - Room 70
 - Room 70 G2
- Webex Board：
 - Webex Board 55 および 55S
 - Webex Board 70 および 70S
 - Webex Board 85S

ユーザ マニュアルのダウンロード

ユーザ マニュアルは、次のシスコ Web サイトからダウンロードできます。

▶ <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

Cisco Webex に登録されているデバイスについては、
▶ <https://help.webex.com> に移動します。

シスコの Web サイトにあるドキュメンテーションの検索ガイドラインについては、付録の「[▶ シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション](#)」を参照してください。

¹ Room Kit Plus および Room Kit Plus Precision 60 に含まれています

² Room Kit Pro および Room Kit Pro Precision 60 に含まれています

CE9.9 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.9 (CE9.9) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.8 と比較して説明します。

CE9 では以下の Webex 製品が新しくなっています。

- CE9.0: Room Kit
- CE9.1: Codec Plus, および Room 55
- CE 9.2: Room 70
- CE 9.4: Codec Pro, Room 70 G2, および Room 55 Dual
- CE 9.6: Room Kit Mini
- CE 9.8: Board 55/55S, Board 70/70S, および Board 85S

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

CE9.9 の新機能および改善点

UI 拡張エディタ (すべての製品) のアップデート

室内制御エディタは、利用可能になった追加機能を反映して UI 拡張エディタという名称に変更されました。エディタを起動するには、Web インターフェイスで [統合 (Integration)] > [UI 拡張エディタ (UI Extension Editor)] に移動します。また、エディタの UI が更新されました。

詳細については、▶ <https://www.cisco.com/go/in-room-control-docs> にある CE9.9 向けのカスタマイズ ガイドを参照してください。

Web アプリ (Board)

UI 拡張エディタを使用して Web アプリを作成できます。それにより、Jira、Miro、Office 365、Google ドキュメントなどのアプリに Board からアクセスできます。

デジタル サイネージ

(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)

デジタル サイネージでは、デバイスがハーフ ウェイク モードになっているときに、会社のニュース、ビルの案内図、緊急情報などのカスタム コンテンツを表示することができます。

ユーザは、サイネージ コンテンツを Webex Board だけで操作できます。

外部 URL からのブランディング イメージとカスタム壁紙の取得 (すべての製品)

xCommand UserInterface Branding Fetch API コマンドを使用して、外部 URL からブランディングイメージやカスタム壁紙をダウンロードできます。

カスタム壁紙は、Webex Board では使用できません。

ネットワーク設定メニューの変更 (すべての製品)

デバイスのユーザー インターフェイスの [ネットワーク接続 (Network connection)] ページが変更されました。まず、現在のネットワーク設定が表示され、設定を変更する場合はイーサネット

または Wi-Fi の設定を開くことができます。以前利用できなかった GUI からの設定がいくつか追加されました。

超音波設定の変更 (すべての製品)

すべての製品で、Audio Ultrasound MaxVolume 設定に同じデフォルト値が使用されるようになりました。異なる製品間で音量範囲の調整も行われました。製品固有の違いは内部処理され、値の範囲やデフォルト値に反映されなくなりました。デバイスから再生される音声レベルは変更されていません。

TLS 設定の変更 (すべての製品)

セキュリティ上の理由から、HTTPS クライアント、syslog、および SIP 接続の TLS 設定にいくつかの変更が加えられました。

- 証明書チェックを実行しない場合は、証明書の検証を明示的にオフにする必要があります。デフォルトでは、すべての TLS 接続で証明書がチェックされます。
- TLS の最小バージョンが、バージョン 1.0 から 1.1 に上がりました (バージョン 1.0 を許可している CUCM と SIP を除く)。Webex クラウドでは TLS バージョン 1.2 を使用していることに注意してください。
- プロビジョニング、電話帳、およびその他の HTTP サーバについて、証明書の検証を個別に設定できます。これらのすべてのサーバータイプを対象としていた以前の NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate 設定は、Provisioning TLSVerify、Phonebook Server [1] TlsVerify、および HTTPFeedback TlsVerify の 3 つの設定に置き換えられました。
- 外部ロギングの証明書の検証 (監査ロギングと通常のロギングの両方) を設定できます。
- SIP の場合、証明書はカスタム CA リストに照らして検証されます。このリストは、Web インターフェイスまたは API を使用して手動でデバイスにアップロードします。その他の接続の場合、証明書は、デバイスにプレインストールされている CA リストまたはカスタム CA リストに照らして検証されます。

ホワイトボードおよびコメント (Board) の更新

- ・ ホワイトボードで付箋やコメントを作成、編集、および移動できます。
- ・ ホワイトボードと注釈を使用するときに、3 つの異なるペンサイズから選択できます。
- ・ ホワイトボードと注釈のコピーを作成できます。プレゼンテーションのホワイトボードまたは注釈付きスナップショットは、ホワイトボード メニューに保存されます。他のホワイトボードやスナップショットの場合と同じように、このコピーに戻って作業を続けることができます。

有線タッチリダイレクト (Board)

タッチ リダイレクトを使用すると、Webex Board の画面からラップトップを制御することができます。ラップトップは、HDMI ケーブル (有線共有) と USB-C ケーブルを使用して Webex Board に接続する必要があります。

タッチ リダイレクトは、コール中でないときにのみ機能します。

この機能は、第 2 世代のボード (Webex Board 55S, 70S, および 85S) でのみ使用できます。

CE9.9 での設定の変更点

新しい設定

Audio Input ARC [1] Mode *(Codec Plus)*

Audio Input HDMI [2..3] Level *(Room 55D, Room 70)*

Audio Input HDMI [2..3] Mode *(Room 55D, Room 70)*

Audio Input HDMI [2..3] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo *(Room 55D, Room 70)*

BYOD TouchForwarding Enabled *(Board)*

CE9.9.0 では使用できません。

HttpFeedback TlsVerify *(すべての製品)*

Logging External TlsVerify *(すべての製品)*

Phonebook Server [1] TlsVerify *(すべての製品)*

Provisioning TlsVerify *(すべての製品)*

SIP MinimumTLSVersion *(すべての製品)*

Standby Signage Audio *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

Standby Signage InteractionMode *(Board)*

Standby Signage Mode *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

Standby Signage RefreshInterval *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

Standby Signage Url *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

WebEngine Mode *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

WebEngine RemoteDebugging *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

削除された設定

NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate *(すべての製品)*

後継の設定:

- HttpFeedback TlsVerify
- Phonebook Server [1] TlsVerify
- Provisioning TlsVerify

変更された設定

Audio Ultrasound MaxVolume

多くの製品で値スペースとデフォルト値が変更されました。製品固有の違いは内部処理され、デフォルト値や指定可能な値の範囲に反映されなくなりました。

新しい値スペース: 整数 (0 ~ 90) *(Codec Pro, Codec Plus, SX80, SX20)*

新しい値スペース: 整数 (0 ~ 70) *(Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board, SX10, MX700, MX800, MX200 G2, MX300 G2, DX70, DX80)*

新しいデフォルト値: 70 *(すべての製品)*

SIP ListenPort *(すべての製品)*

旧: Off/On

新: Auto/Off/On

SIP ListenPort *(Board)*

旧: デフォルト値: On

新: デフォルト: Auto

CE9.9 での xCommand の変更点

新しいコマンド

Logging SendLogs (すべての製品)

Security Certificates Webex Show (すべての製品)

UserInterface Branding Fetch (Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board, SX80, SX20, MX700, MX800, MX200 G2, MX300 G2, DX70, DX80)

UserInterface WebView Clear (Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)

UserInterface WebView Display (Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)

WebEngine DeleteStorage (Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)

削除されたコマンド

Removed xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Board)

Removed xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Board)

変更されたコマンド

Audio Volume SetToDefault (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)

新: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB

Camera PositionSet (Codec Pro, Room 70 G2)

新: ロール: 整数 (-300 ~ 300)

HttpClient Delete (すべての製品)

旧: ResponseSizeLimit: 整数 (0 ~ 100000)

新: ResponseSizeLimit: 整数 (1 ~ 100000)

HttpClient Get (すべての製品)

旧: ResponseSizeLimit: 整数 (0 ~ 100000)

新: ResponseSizeLimit: 整数 (1 ~ 100000)

HttpClient Patch (すべての製品)

旧: ResponseSizeLimit: 整数 (0 ~ 100000)

新: ResponseSizeLimit: 整数 (1 ~ 100000)

HttpClient Post (すべての製品)

旧: ResponseSizeLimit: 整数 (0 ~ 100000)

新: ResponseSizeLimit: 整数 (1 ~ 100000)

HttpClient Put (すべての製品)

旧: ResponseSizeLimit: 整数 (0 ~ 100000)

新: ResponseSizeLimit: 整数 (1 ~ 100000)

Phonebook Contact Add (すべての製品)

旧: CallRate: 整数 (0 ~ 6000), デフォルト: 0

新: CallRate: 整数 (0 ~ 6000), デフォルト: なし

Phonebook ContactMethod Add (すべての製品)

旧: CallRate: 整数 (0 ~ 6000), デフォルト: 0

新: CallRate: 整数 (0 ~ 6000), デフォルト: なし

Phonebook ContactMethod Modify (すべての製品)

旧: CallRate: 整数 (0 ~ 6000), デフォルト: 0

新: CallRate: 整数 (0 ~ 6000), デフォルト: なし

Standby ResetTimer (すべての製品)

旧: Delay: 必須パラメータ

新: Delay: 任意パラメータ

UserInterface Extensions Clear (すべての製品)

新: ActivityType: Custom/WebApp

UserInterface Extensions List (すべての製品)

新: ActivityType: Custom/WebApp



CE9.9 での xStatus の変更点

新しいステータス

Cameras Camera[n] Position Roll *(Codec Pro, Room 70 G2)*

RoomAnalytics AmbientNoise Level A *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

RoomAnalytics AmbientNoise Level dBAから名前が変更されました

RoomAnalytics Sound Level A *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

WebEngine Features Signage *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

WebEngine Features WebEngine *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

Webex Status *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

削除されたステータス

RoomAnalytics AmbientNoise Level dBA *(Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, Board)*

RoomAnalytics AmbientNoise Level A に名前が変更されます。

変更されたステータス

Diagnostics Message[n] Type *(すべての製品)*

Valuespace に追加: CompanionModelIncompatibilityLocal/
CompanionModelIncompatibilityRemote/EmbeddedWebViewFailedToLoad/EmbeddedWebVi
ewTerminatedUnexpectedly/SoftwareUpgradeKeepsFailing

CE9.8 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.8 (CE9.8) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.7 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

CE9.8 の新機能および改善点

新商品

以前にはクラウド登録でしか利用できなかった Cisco Webex Board が、オンプレミス登録でも利用できるようになりました。

- Cisco Webex Board 55/55S
- Cisco Webex Board 70/70S
- Cisco Webex Board 85S

USB ヘッドセットのサポート (Room Kit, Room Kit Mini, および Room 55)

USB ヘッドセット、ハンドセット、または USB Bluetooth ドングルをデバイスの USB-A ポートに接続することができます。これは、DX シリーズと同様です。

HTTP 要求の拡張サポート (すべての製品)

CE9.6 以降、デバイスは任意の HTTP(S) Post および Put 要求を HTTP(S) サーバーに送信できるようになりました。この機能がさらに拡張され、他の要求タイプ (GET, PATCH, および DELETE) がサポートされます。また、サーバーから返されるデータ (応答ヘッダおよび本文) を処理できるようになりました。

USB-C エクスペリエンスの改善 (Room Kit Mini)

USB-C ポートを介してコンピュータにメディアをストリーミングする場合にのみ、Room Kit Mini は USB カメラ モードとなります。以前のリリースでは、コンピュータに USB-C ポートを接続するだけでこのモードになりました。

デバイスUIからの CMS 会議への参加者の追加

(すべての製品)

どのユーザーでも、デバイスのユーザーインターフェイスを使用して、進行中の CMS 会議に別の参加者を追加できます。これには PSTN コールも含まれます。参加者がコールを受け入れると、参加者は同じ CMS 会議に追加されます。

この場合、デバイスが CMS に対し、アクティブ コントロールの仕組みを利用してその参加者にダイヤルするよう指示します。それを受けて CMS は、追加する参加者に直接ダイヤルします。

この機能を動作させるには、デバイス上でアクティブ コントロールを有効にしており、コール プロトコルは SIP かつ CMS がバージョン 2.4 以降になっている必要があります。Multipoint モードが CUCMMediaResourceGroupList に設定されている場合、この機能は動作しません。

API またはローカル Web インターフェイスを使用した Cisco Webex へのデバイスの登録 (すべての製品)

デバイスは、Cisco Webex にリモートで登録することができます。その際、デバイスと同じ室内にいる必要はありません。この操作は、API からプログラムによって実行するか、ローカル Web インターフェイス経由で行います。以前のリリースでは、画面上のセットアップアシスタントを使用する必要がありました。

Web インターフェイスからは、デバイスが現在登録されていない場合のみ、Webex 登録を開始できます。API を使用している場合は、デバイスがオンプレミスのシステム (CUCM または VCS) に現在登録されていても、Webex 登録を開始できます。

ブレインストールされている認証局 (CA) のリスト (すべての製品)

一般に使用される CA 証明書のリストがビデオ会議デバイスに事前にインストールされています。デバイスは、通信している外部サーバーからの証明書を検証するときに、このリストを使用します。

- HttpClient API またはマクロによって使用されるコンテンツをホストしている HTTP サーバー
- SMTP メール サーバ (Webex Board にのみ該当)

工場出荷時設定へのリセットを行っても、このリストは削除されません。

WebSocket 経由の xAPI: 認証プロトコルヘッダーを使用した認証 (すべての製品)

認証プロトコルヘッダーを使用した認証がサポートされます。これは、HTTP ヘッダー フィールドを使用したベーシック認証に加えて使用されます。

つまり、HTTP ヘッダーを直接制御できないブラウザベースのクライアントでは、Javascript を使用してブラウザから直接デバイスに対して認証を行うことができます。

以前よりも多くのデバイス設定を UCM からプロビジョニング可能 (すべての製品)

デバイスが Cisco UCM 12.5(1)SU1 に登録されている場合は、以前よりも多くの設定とパラメータを UCM からプロビジョニングできます ([デバイス (Device)] > [製品固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)])。また、これらの設定がデバイス上でローカルに変更されている場合は、新しい値を UCM に書き戻すことができます。

これには、公開されているデバイス設定 (xConfiguration) のほとんどが該当します。ネットワーク、プロビジョニング、および SIP 設定については例外が設けられています。

詳細については、[▶ Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service リリース 12.5\(1\)SU1 のリリース ノートの「ビデオエンドポイント管理の概要」](#)の項を参照してください。



CE9.8 での設定の変更点

新しい設定

- Conference FarEndControl SignalCapability (すべての製品)
- Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode (すべての製品)
- Conference Multipoint Mode (SX10, DX70, DX80)
- FacilityService Service [1..5] CallType (すべての製品)
- FacilityService Service [1..5] Name (すべての製品)
- FacilityService Service [1..5] Number (すべての製品)
- FacilityService Service [1..5] Type (すべての製品)
- NetworkServices SMTP From (Board)
- NetworkServices SMTP Mode (Board)
- NetworkServices SMTP Password (Board)
- NetworkServices SMTP Por (Board)
- NetworkServices SMTP Security (Board)
- NetworkServices SMTP Server (Board)
- NetworkServices SMTP Username (Board)
- Security Audit Logging Mode (すべての製品)
- Security Audit OnError Action (すべての製品)
- Security Audit Server Address (すべての製品)
- Security Audit Server Port (すべての製品)
- Security Audit Server PortAssignment (すべての製品)
- Security Session FailedLoginsLockoutTime (すべての製品)
- Security Session InactivityTimeout (すべての製品)
- Security Session MaxFailedLogins (すべての製品)
- Security Session MaxSessionsPerUser (すべての製品)
- Security Session MaxTotalSession (すべての製品)
- Security Session ShowLastLogon (すべての製品)
- SerialPort LoginRequired (Codec Pro, Room 70 G2)

- UserInterface OSD EncryptionIndicator (すべての製品)
- UserInterface Phonebook DefaultSearchFilter (すべての製品)
- UserInterface SoundEffects Mode (すべての製品)

削除された設定

- Video DefaultLayoutFamily Remote (SX10, DX70, DX80)

変更された設定

- Audio KeyClickDetector Attenuate (Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2)
 - 旧: デフォルト値: On
 - 新: デフォルト: True
 - 旧: Off/On
 - 新: False/True
- Audio KeyClickDetector Enabled (Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2)
 - 旧: デフォルト: Off
 - 新: デフォルト: True
 - 旧: Off/On
 - 新: False/True
- Audio Output Line[1..6] Delay Mode (Room 70 G2)
 - 旧: デフォルト: RelativeToHDMI
 - 新: デフォルト: Fixed
- NetworkServices Wifi Allowed (Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, DX70, DX80)
 - 旧: パブリック: False
 - 新: パブリック: True

CE9.8 での xCommand の変更点

新しいコマンド

Audio Select *(Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)*

HttpClient Delete *(すべての製品)*

HttpClient Get *(すべての製品)*

HttpClient Patch *(すべての製品)*

Security Certificates ThirdParty Disable *(すべての製品)*

Security Certificates ThirdParty Enable *(すべての製品)*

Security Certificates ThirdParty List *(すべての製品)*

Security Certificates ThirdParty Show *(すべての製品)*

Webex Registration Cance *(すべての製品)*

Webex Registration Start *(すべての製品)*

削除されたコマンド

なし。

変更されたコマンド

Audio Volume Decrease *(Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)*

新: デバイス: Internal, HeadsetUSB, HandsetUSB

新: Steps: 整数 (1 ~ 10), デフォルト: 5

Audio Volume Increase *(Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)*

新: デバイス: Internal, HeadsetUSB, HandsetUSB

新: Steps: 整数 (1 ~ 100)

Audio Volume Set *(Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)*

新: デバイス: Internal, HeadsetUSB, HandsetUSB

新: Steps: 整数 (1 ~ 1000), デフォルト: 100

Audio VuMeter Start *(すべての製品)*

HttpClient Post *(すべての製品)*

新: ResponseSizeLimit: 整数 (0 ~ 100000), デフォルト: 100000

新: ResultBody: None, PlainText, Base64, デフォルト: None

HttpClient Put *(すべての製品)*

新: ResponseSizeLimit: 整数 (0 ~ 100000), デフォルト: 100000

新: ResultBody: None, PlainText, Base64, デフォルト: None

Presentation Start *(Room Kit Mini)*

旧: ConnectorId: 整数 (0 ~ 65534)

新: ConnectorId: 整数 (1 ~ 2)

旧: PresentationSource: 整数 (0 ~ 65534)

新: PresentationSource: 整数 (1 ~ 2)

Presentation Stop *(Room Kit Mini)*

旧: PresentationSource: 整数 (0 ~ 65534)

新: PresentationSource: 整数 (1 ~ 2)

CE9.8 での xStatus の変更点

新しいステータス

Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio Devices HandsetUSB Cradle (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio Devices HeadsetUSB Description (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio SelectedDevice (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio VolumeHandsetUsb (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio VolumeHeadsetUsb (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Audio VolumeInternal (Room Kit, Room Kit Mini, Room 55)
Cameras Camera[n] LightingConditions (MX700, MX800, SX80)
Conference Call[n] Capabilities ParticipantDisconnect (すべての製品)
Conference Call[n] Capabilities ParticipantList (すべての製品)
Conference Call[n] Capabilities ParticipantMute (すべての製品)
Conference Call[n] EventCenter Mode (すべての製品)
Conference Call[n] Streamed (すべての製品)
UserInterface Features Whiteboard Start (Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room Kit Mini)

削除されたステータス

なし。

変更されたステータス

Audio Input KeyClick Attenuate (Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2)

旧: On/Off

新: False/True

Audio Input KeyClick Enabled (Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2)

旧: On/Off

新: False/True

Diagnostics Message[n] Type (すべての製品)

Valuespace に追加: SignageFailedToLoad, SignageTerminatedUnexpectedly

SystemUnit Notifications Notification[n] Type (すべての製品)

旧: FactoryResetFailed/FactoryResetOK/Other/RebootRequired/SoftwareUpgradeFailed/SoftwareUpgradeOK

新: Other/RebootRequired/SoftwareUpgradeFailed/SoftwareUpgradeOK

CE9.7 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.7 (CE9.7) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.6 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

CE9.7 の新機能および改善点

WebSocket (すべての製品) 経由で xAPI に接続

WebSocket 経由で xAPI に接続できるようになりました。WebSocket 上の通信チャネルは、明示的に閉じられるまで両方向に開かれています。つまり、サーバは新しいデータが利用可能になり次第、クライアントにデータの送信が行えるようになります。また、各要求に対して再認証を行う必要はありません。これは、HTTP と比較してかなり速度が改善されます。

各メッセージには、完全な JSON ドキュメント以外は含まれていません。WebSocket と JSON-RPC では多くのプログラミング言語の優れたライブラリサポートがあります。

WebSocket はデフォルトでは有効ではありません。Websocket を使用する前に、WebSocket が HTTP に関連付けられていること、および HTTP または HTTPS が有効になっていることに注意してください。

詳細は、『▶ [WebSocket 経由の xAPI ガイド](#)』を参照してください。

音声コンソールで使用可能なグラフィックサウンドミキサー

(Codec Pro, MX700, MX800, Room 70 G2, Room 70D G2, SX80)

オーディオ コンソールで、グラフィック サウンド ミキサーが利用できるようになりました。これには 8 つのユーザー定義可能なパラメータ化された均等化設定があります。設定は、1 つのフィルタタイプ、ゲイン、中央、クロスオーバー周波数、および Q 値を持つ最大 6 つのセクションで構成されています。各セクションは独自の色で表示され、パラメータのいずれかを変更した結果がすぐにグラフに表示されるようになります。

詳細については、▶ <https://www.cisco.com/go/in-room-control-docs> にある CE9.7 向けの『カスタマイズガイド』を参照してください。

環境ノイズ レポート

(Codec Plus, Codec Pro, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit, Room Kit Mini)

ルームシリーズデバイスは、室内の固定周囲ノイズを報告するように設定可能です。レポートされた値はA荷重デシベル値(dBA)で、人間の耳の応答に反響します。レポートされたノイズを元に、施設管理または建物マネージャーは介入して問題をトラブルシュートできます。

この機能に関連するすべてのシグナリング処理はローカルで、転送されるデータは算出されたノイズレベルだけです。

複数の SRG-120DH/PTZ-12 カメラのサポート

(Codec Plus)

HDMI およびイーサネット スイッチを使って最大 3 代の SRG-120DH/PTZ-12 を Codec Plus に接続できるようになりました。

その他のアップデート

- 1080p は USB カメラとして使用されている場合に Room Kit Mini をサポートします。(Room Kit Mini)
- 通話中にビデオをオフまたはオンにできます。(すべての製品)
- デバイスマネージャーは HTTP の使用を防ぎ、HTTPS ポストおよび HTTPS プットリクエストだけを許可できます。(すべての製品)

CE9.7 での xConfiguration の変更点

新しい設定

CallHistory Mode (すべての製品)

Conference Multipoint Mode (Codec Plus, Codec Pro, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, SX20, SX80)

HttpClient AllowHTTP (すべての製品)

Logging External Mode (すべての製品)

Logging External Protocol (すべての製品)

Logging External Server Address (すべての製品)

Logging External Server Port (すべての製品)

Logging Internal Mode (すべての製品)

NetworkServices Websocket (すべての製品)

Phonebook Server [1] Pagination (すべての製品)

RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode (Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2)

SIP ANAT (すべての製品)

UserInterface Features Call VideoMute (Codec Plus, Codec Pro, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2, SX10, SX20, SX80)

UserInterface Features Whiteboard Start (DX70, DX80)

UserInterface Phonebook Mode (すべての製品)

UserInterface SettingsMenu Visibility (すべての製品)

UserInterface UsbPromotion (Room Kit Mini)

Video Presentation Priority (すべての製品)

削除された設定

RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall (MX700, MX800)

変更された設定

Audio Input Line [1..4] VideoAssociation VideoInputSource (MX700, MX800, SX80)

旧: 1 / 2 / 3 / 4 / 5

新: 1 / 2 / 3 / 4

Audio Input Microphone [1..8] VideoAssociation VideoInputSource (Codec Pro, Room 70 G2)

旧: 1 / 2 / 3 / 4 / 5

新: 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6

Audio Input Microphone [1..8] VideoAssociation VideoInputSource (MX700, MX800, SX80)

旧: 1 / 2 / 3 / 4 / 5

新: 1 / 2 / 3 / 4

Video Input Connector [6] CameraControl Mode (Codec Pro, Room 70 G2)

旧: デフォルト値: On

新: デフォルト値: Off

旧: On

新: On / Off

CE9.7 での xCommand の変更点

新しいコマンド

Audio Diagnostics Advanced Run (すべての製品)

Audio Setup Reset (Codec Pro, MX700, M800, Room 70 G2, SX80)

Conference Call AuthenticationResponse (すべての製品)

Conference Participant Admit (すべての製品)

Conference Participant Disconnect (すべての製品)

Conference Participant Mute (すべての製品)

Conference ParticipantList Search (すべての製品)

UserInterface Extensions Panel Open (すべての製品)

UserInterface Extensions Panel Update (すべての製品)

Video Input MainVideo Mute (すべての製品)

Video Input MainVideo Unmute (すべての製品)

Video Matrix Assign (Room 55D, Room 70)

Video Matrix Reset (Room 55D, Room 70)

Video Matrix Swap (Room 55D, Room 70)

Video Matrix Unassign (Room 55D, Room 70)

削除されたコマンド

なし。

変更されたコマンド

Audio LocalOutput Add (Codec Pro, MX700, M800, Room 70 G2, SX80)

新: AutoconnectRemote: On/Off, デフォルト: On

旧: VolumeControlled, デフォルト: undefined

新: VolumeControlled, デフォルト: Off

Audio LocalOutput Update (Codec Pro, MX700, M800, Room 70 G2, SX80)

新: AutoconnectRemote: On/Off

CallHistory Get (すべての製品)

旧: CallHistoryId: 整数 (0 ~ 65534)

新: CallHistoryId: 整数 (1 ~ 2147483647)

HttpClient Post (すべての製品)

新: Timeout: 整数 (1 ~ 30), デフォルト: 30

HttpClient Put (すべての製品)

新: Timeout: 整数 (1 ~ 30), デフォルト: 30

UserInterface Message TextInput Display (すべての製品)

新: InputText: 文字列 (0, 255), デフォルト: ""

CE9.7 での xStatus の変更点

新しいステータス

Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote *(Codec Pro, MX700, MX800, Room 70 G2, SX80)*

Call [n] Ice *(すべての製品)*

Conference Call [n] AuthenticationRequest *(すべての製品)*

NetworkServices UPnP Status *(すべての製品)*

Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber *(すべての製品)*

Provisioning CUCM Customization Checksum *(すべての製品)*

RoomAnalytics AmbientNoise Level dBA *(Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55D, Room 70, Room 70 G2)*

UserInterface Features Whiteboard Start *(DX70, DX80)*

UserInterface SettingsMenu Visibility *(すべての製品)*

Video Input MainVideoMute *(すべての製品)*

削除されたステータス

なし。

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*

[Valuespace に追加](#) : PIILoggingMode / WebexAudioProximityConnectivity /
WebexLyraConnectivity / WebexNotificationConnectivity

Video Input Connector[n] Type *(すべての製品)*

旧 : 3G-SDI / Camera / Composite / DVI / HD-SDI / HDMI / USB / Unknown / VGA / YC / YPbPr

新 : 3G-SDI / Camera / Composite / DVI / HD-SDI / HDMI / USB / Unknown / VGA / YC / YPbPr / USB-C-DP

CE9.6 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.6 (CE9.6) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.5と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

HDCP サポート

(Codec Plus, Codec Pro, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2)

デバイスの HDMI 入力 の 1 つを、HDCP (高帯域幅デジタル コンテンツ保護) で保護されたコンテンツをサポートするように設定できます。このため Google ChromeCast, AppleTV, または HDTV デコーダなどのデバイスを接続してビデオシステムの画面を再利用できます。通話中にこの種のコンテンツを共有することはできません。

HDCP をサポートするようにコネクタを設定すると、この種類のコンテンツのために予約されます。これは通話中に特定のコネクタの内容を共有することは、ラップトップからの非保護内容であってもできないことを意味します。

ユーザー インターフェイスからデフォルト ボタンを削除する (すべての製品)

ユーザーインターフェイスにあるデフォルトのボタン全てが不要の場合、不要なものを削除できます。これによりユーザーインターフェイスを完全にカスタマイズできます。この設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。カスタマイズされたルーム内制御パネルは表示されたままです。

詳細については、▶ <https://www.cisco.com/go/in-room-control-docs> にある CE9.6 向けの『カスタマイズガイド』を参照してください。

サードパーティ製 USB コントローラのサポート

(Codec Plus, Codec Pro, DX70, DX80, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit)

サードパーティ製の USB 入力デバイスを使用して、ルーム デバイスまたはデスク デバイスの特定の機能を制御することができます。USB ドングルや USB キーボードでの Bluetooth リモート制御はこのような入力デバイスの一例です。マクロ経由で所定の機能をセットアップできます。

この機能は、Touch 10 または DX ユーザー インターフェイスの機能の補正を行います。Touch 10 および DXのユーザー インターフェイスを置き換えるという意味ではありません。

詳細については、▶ <https://www.cisco.com/go/in-room-control-docs> にある CE9.6 向けの『カスタマイズガイド』を参照してください。

HTTP ポストおよびプットリクエスト (すべての製品)

この機能は任意の HTTP(S) ポストおよびプットリクエストをあるデバイスから HTTP(S) サーバに送信することができます。

マクロを使用すると、必要に応じて HTTPs サーバにデータを送信できます。送信するデータを選択して、必要に応じて構造化することができます。この方法で、データをすでに確立されているサーバに適用することが可能です。

セキュリティ対策:

- HTTP(S) ポスト機能・プット機能はデフォルトで無効に設定されています。
- デバイスマネージャは、デバイスがデータを送信可能な先である HTTP(S) サーバのリストを指定することができます。
- 同時に行える Post および Put 要求の数は制限されています。

コンテンツの優先順位 (すべての製品)

メインビデオチャネルまたはプレゼンテーションチャネルのいずれかの帯域幅の使用を優先するようにデバイスを設定できるようになりました。

xビデオプレゼンテーション優先度設定: <同等, 高>

「同等」がデフォルト設定で、帯域幅は50%ずつ分割されます。「高」を選択すると、プレゼンテーションチャンネルが優先され、20%対70%の帯域幅分割となります。

その他の更新情報 (すべての製品)

- デバイスのユーザー インターフェイスから会議の録画の開始および操作ができるようになりました (使用するインフラストラクチャで録画がサポートされている場合のみ)。
- Touch 10 コントローラに関するお気に入りの連絡先情報を編集します。
- SIP コール IDでログに SIP セッション ID フィールドが追加され、コールの特定が容易になりました。
- MRA 経由で ICE を利用してベストパスが入手できるようになりました。

CE9.6 での xConfiguration の変更点

新しい設定

Audio Input Microphone [1..8] Channel *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Audio Input HDMI [n] Level *(Code Plus, Room 55, Room 70 G2, Room Kit)*

Audio Input HDMI [n] Mode *(Room 70 G2, Room Kit)*

Audio Input HDMI [2..5] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo *VideoAssociation MuteOnInactiveVideo (Room 70 G2)*

Audio Microphones PhantomPower *(Codec Plus, MX200 G2, MX300 G2, Room 55, Room Kit, SX20)*

Audio Output ConnectorSetup *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Audio Output HDMI [n] Level *(MX700, MX800)*

Audio Output HDMI [n] Mode *(Codec Plus, MX700, MX800)*

Audio Output InternalSpeaker Mode *(MX700, MX800, Room 55 Dual, Room 70)*

Audio Output Line [1..6] Equalizer ID *(Room 70 G2)*

Audio Output Line [1..6] Equalizer Mode *(Room 70 G2)*

HttpClient AllowInsecureHTTPS *(すべての製品)*

HttpClient Mode *(すべての製品)*

NetworkServices NTP Server [1..3] Key *(すべての製品)*

NetworkServices NTP Server [1..3] KeyId *(すべての製品)*

NetworkServices NTP Server [1..3] KeyAlgorithm *(すべての製品)*

Peripherals InputDevice Mode *(Codec Plus, Codec Pro, DX70, DX80, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit)*

UserInterface Branding AwakeBranding Colors *(すべての製品)*

UserInterface Features Call End *(すべての製品)*

UserInterface Features Call MidCallControls *(すべての製品)*

UserInterface Features Call Start *(すべての製品)*

UserInterface Features HideAll *(すべての製品)*

UserInterface Features Share Start *(すべての製品)*

Video Input Connector [n] HDCP Mode *(Codec Plus, Codec Pro, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2)*

Video Output Connector [2] CEC Mode *(Room 70 Single)*

削除された設定

会議の MultiStream モード *(MX200 G2, MX300 G2, SX20)*

変更された設定

Audio Output ARC [1] Mode *(Codec Pro, Room 70 G2)*
旧: デフォルト値: Auto
新: デフォルト: On
旧: Off / On / Auto
新: Off / On

Audio Output HDMI [1..3] Mode *(Codec Pro, Room 70 G2)*
旧: デフォルト値: Auto *(Codec Pro)*
新: デフォルト値: On *(Codec Pro)*
旧: デフォルト値, HDMI [2..3]: Auto *(Room 70 G2 Single)*
新: デフォルト値, HDMI [2..3]: Off *(Room 70 G2 Single)*
旧: デフォルト, HDMI [3]: Auto *(Room 70 G2 Dual)*
新: デフォルト値, HDMI [3]: Off *(Room 70 G2 Dual)*
旧: Off / On / Auto
新: Off / On

Audio Output InternalSpeaker Mode *(Room 55, Room 70 G2, Room Kit)*
旧: デフォルト値: Auto *(Room 70 G2)*
新: デフォルト値: On *(Room 70 G2)*
旧: Off / On / Auto *(Room 70 G2)*
新: Off / On / UltrasoundOnly *(Room 70 G2)*
旧: Off / On *(Room 55, Room Kit)*
新: Off / On / UltrasoundOnly *(Room 55, Room Kit)*

Audio Ultrasound MaxVolume *(SX20)*
旧: デフォルト: 70
新: デフォルト: 60

Provisioning Mode *(すべての製品)*
旧: Auto / CUCM / Edge / Off / TMS / VCS / Spark
新: Auto / CUCM / Edge / Off / TMS / VCS / Webex



Provisioning Mode (*Room 55 Dual*)

旧: デフォルト: Off

新: デフォルト: On

Standby WakeupOnMotionDetection (*Room 55 Dual*)

旧: デフォルト: Off

新: デフォルト: On

CE9.6 での xCommand の変更点

新しいコマンド

Conference Recording Pause (すべての製品)
 Conference Recording Resume (すべての製品)
 Conference Recording Start (すべての製品)
 Conference Recording Stop (すべての製品)
 HttpClient Allow Hostname Add (すべての製品)
 HttpClient Allow Hostname Clear (すべての製品)
 HttpClient Allow Hostname List (すべての製品)
 HttpClient Allow Hostname Remove (すべての製品)
 HttpClient Post (すべての製品)
 HttpClient Put (すべての製品)
 Security Session Get (すべての製品)

削除されたコマンド

なし。

変更されたコマンド

Audio Sound Play (すべての製品)
旧: Sound (r): Alert / Binding / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / StartListening / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp
新: Sound (r): Alert / Binding / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / StartListening / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp / Announcement
 Audio VuMeter Start (DX70, DX80, Codec Plus, Codec Pro, Room 50, Room 70, Room 70 G2, Room Kit, SX10)
旧: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / Line
新: ConnectorType (r): HDMI / Microphone

Audio VuMeter Stop (DX70, DX80, Codec Plus, Codec Pro, Room 50, Room 70, Room 70 G2, Room Kit, SX10)
旧: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / Line
新: ConnectorType (r): HDMI / Microphone
 Dial (すべての製品)
旧: CallType: Audio / Video
新: CallType: Audio / Video / Auto
 Phonebook Contact Add (すべての製品)
旧: CallType: Audio / Video
新: CallType: Audio / Video / Auto
 Phonebook ContactMethod Add (すべての製品)
旧: CallType: Audio / Video
新: CallType: Audio / Video / Auto
 Phonebook ContactMethod Modify (すべての製品)
旧: CallType: Audio / Video
新: CallType: Audio / Video / Auto
 Phonebook Search (すべての製品)
新: SearchFilter: All / Rooms / People
 Presentation Start (すべての製品)
新: レイアウト: Equal / Prominent
 SystemUnit FactoryReset (すべての製品)
旧: 保持: Certificates / HTTP / LocalSetup / Network / Provisioning / SerialPort / Spark
新: 保持: Certificates / HTTP / LocalSetup / Network / Provisioning / SerialPort / Webex
 UserInterface Message TextInput Clear (すべての製品)
新: FeedbackId: 文字列, 最大長: 255, 最小長: 0
 UserInterface Message TextInput Display (すべての製品)
旧: Role: Admin, Integrator, RoomControl, User
新: Role: Admin, Integrator, RoomControl
旧: FeedbackId (r): 文字列, 最大長: 255, 最小長: 0
新: FeedbackId: 文字列, 最大長: 255, 最小長: 0
 UserInterface Message TextInput Response (すべての製品)
旧: FeedbackId (r): 文字列, 最大長: 255, 最小長: 0
新: FeedbackId: 文字列, 最大長: 255, 最小長: 0

UserManagement User Add (すべての製品)

旧: Passphrase: 文字列, 最大長: 255, 最小長: 0

新: Passphrase (r): 文字列, 最大長: 255, 最小長: 0

Video Input SetMainVideoSource (すべての製品)

旧: レイアウト: Equal / PIP

新: レイアウト: Equal / PIP / Prominent

新: PIPPosition: LowerLeft / LowerRight / UpperLeft / UpperRight

新: PIPSize: Auto / Large

Video Matrix Assign (すべての製品)

新: レイアウト: Equal / Prominent

新: RemoteMain: IntegerArray, 最大: 4, 最小: 1, ステップ: 1, 複数: 4

Video Matrix Unassign (すべての製品)

旧: SourceId (r): 整数, 最大: 2, 最小: 1, ステップ: 1

新: SourceId: 整数, 最大: 2, 最小: 1, ステップ: 1

新: RemoteMain: IntegerArray, 最大: 4, 最小: 1, ステップ: 1, 複数: 4

CE9.6 での xStatus の変更点

新しいステータス

Audio Input Connectors HDMI [n] Mute (すべての製品)
Audio Input Connectors Line [n] Mute (すべての製品)
Audio Input Connectors Microphone [n] Mute (すべての製品)
H320 Gateway Address (すべての製品)
H320 Gateway Id (すべての製品)
H320 Gateway Mode (すべての製品)
H320 Gateway Number (すべての製品)
H320 Gateway Reason (すべての製品)
H320 Gateway Status (すべての製品)
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole (すべての製品)
UserInterface Features Call End (すべての製品)
UserInterface Features Call MidCallControls (すべての製品)
UserInterface Features Call Start (すべての製品)
UserInterface Features Share Start (すべての製品)
Video Layout Site [n] Frame [n] Mirrored (すべての製品)

削除されたステータス

Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs (Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2)
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode (Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2)
Video Mute (すべての製品)

変更されたステータス

Audio Output Connectors HDMI [n] Mode (Codec Plus, Codec Pro, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit)

旧: Off / On

新: Off / On / DelayMeasurement

CE9.5 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.5 (CE9.5) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.4 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

プレゼンテーションソースの構成

(Codec Plus, Codec Pro, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit, SX20, SX80)

2 つ以上のソースを 1 つのイメージとして送信することで、会議での共有において新たな体験を届けることができます。

これにより、遠隔でのプレゼンテーションを柔軟に行うことができます。マクロまたは外部コントローラーと室内制御を使って、プレゼンテーションの構成を設定変更することができます。

ソースの数は、使用するデバイスによって異なります。

- MX200 G2, MX300 G2, Room Kit, SX20: 最大で 2 つのソース
- Room 55, Room 55 デュアル, Room 70, Room Kit Plus: 最大で 3 つのソース
- MX700, MX800, Room 70 G2, Room Kit Pro, SX80: 最大で 4 つのソース

VGA または HDMI ケーブル経由で共有されているコンテンツのみ構成に組み込むことができます。

Web オーディオ コンソール (Codec Pro, SX80)

新しいオーディオ コンソールは、ハイエンド インテグレート デバイスの Web インターフェイスでネイティブに利用可能です。オーディオ コンソールを音声ルーティング ツールとして使用することで、音声を入力から出力に簡単にルーティングできます。新しいオーディオ コンソールは、メンテナンスされなくなった古い Java ベースの CE コンソールに代わるものです。

初めてオーディオ コンソールにアクセスすると、デフォルトのデバイス音声ルートが表示されます。オーディオ コンソールは基礎となるマクロによって制御されます。このマクロは、現在のデバイス構成を上書きするオプションを選択すると、保存されて起動されます。

詳細については、▶ <https://www.cisco.com/go/in-room-control-docs> にある CE9.5 向けの『カスタマイズガイド』を参照してください。

クラスルーム シナリオ

(Codec Plus, Codec Pro, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, SX80)

Classroom モードではマクロを使用してルーム セットアップを調整し、シナリオのプレゼンテーションと指導に最適なものにします。テンプレートを使用すると、ルームを簡単にセットアップ、保守、使用できます。教室のセットアップは会議室のセットアップと同じように機能しますが、教室のセットアップの場合、3 つの画面は必要ありません。

韓国語キーボードのサポート (すべての製品)

ユーザインターフェイス言語を韓国語に設定すると、韓国語キーボードでの入力が Touch 10 コントローラでサポートされます。

画面ステータスのリモート モニタリング (SX20, SX80)

Webex Room シリーズと SX10 で利用可能だった画面ステータスのリモートモニタリングは、SX20 と SX80 で利用可能になりました。

ビデオ会議デバイスは、スタンバイモードの場合は画面を起動でき、デバイスがスタンバイ状態になったときに画面をスタンバイ状態にできます。コールの受信時に入力ソースを自動的に変更することもできます。

CEC は、デフォルトではデバイスで無効になっています。Video Output Connector [1] CEC Mode 設定で有効化する必要があります。画面が CEC をサポートしている必要があります。またリモート モニタリングが機能するためには、画面で CEC が有効になっている必要があります。

ウェルカムバナー (すべての製品)

デバイスの Web インターフェイスまたはコマンドライン インターフェイスに、ユーザがログイン後に表示されるウェルカムバナーを設定できます。バナーには作業開始に必要な情報や、設定の変更時に注意しなければならないことなどが含まれています。

CE9.5 での xConfiguration の変更点

新しい設定

Audio Input ARC[n] Mode *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Audio Output ARC[1] Delay DelayMs *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Audio Output ARC[1] Delay Mode *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Audio Output ARC[1] Mode *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Audio Output InternalSpeaker Mode *(Room 70 G2)*

Audio Output Line[1] Mode *(Codec Plus, Room 55)*

Audio Output Line[1] OutputType *(Codec Plus, Room 55)*

NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm *(すべての製品)*

RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall *(SX80, MX700ST)*

削除された設定

Audio Output InternalSpeaker Mode *(Codec Pro)*

Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode *(Codec Pro, Room 70 G2)*

Cameras SpeakerTrack TrackingMode *(Codec Pro, Room 70 G2)*

変更された設定

Audio Input Microphone[1..8] Equalizer ID *(Codec Pro, Room 70 G2)*

旧: 整数, 最大: 14, 最小: 1, ステップ: 14

新: 整数, 最大: 8, 最小: 1, ステップ: 8

Audio Output Line[1..6] Level *(Codec Pro, Room 70 G2)*

旧: デフォルト: 0

新: デフォルト: [1]: ; [2]: 4; [3]: ; [4]: 4; [5]: ; [6]: 4; [7]: ; [8]: 4; [9]: ; [10]: 4; [11]: ; [12]: 4;

Audio Ultrasound MaxVolume *(Codec Pro, MX700ST, Room 70 G2, SX80)*

旧 SX80, Codec Pro, Room 70 G2: デフォルト: 70

新 SX80, Codec Pro, Room 70 G2: デフォルト: 60

旧 MX700ST: デフォルト: 70

新 MX700ST: デフォルト: 66

旧 Room 70 G2: 整数: 0 - 90

新 Room 70 G2: 整数: 0 - 80

Video Input Connector[3,4,5] PreferredResolution *(Codec Pro, Room 70 G2)*

旧: デフォルト: 3840_2160_30

新: デフォルト: 1920_1080_60

CE9.5 での xCommand の変更点

新しいコマンド

- Audio Equalizer List *(SX80, Codec Pro, MX700, MX800, Room 70 G2)*
- Audio Equalizer Update *(SX80, Codec Pro, MX700, MX800, Room 70 G2)*
- Provisioning RoomType Activate *(Codec Plus, Room 70)*
- SystemUnit WelcomeBanner Clear *(すべての製品)*
- SystemUnit WelcomeBanner Get *(すべての製品)*
- SystemUnit WelcomeBanner Set *(すべての製品)*
- UserInterface Extensions Panel Close *(すべての製品)*
- UserInterface Message TextInput Response *(SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)*
- UserManagement User Unblock *(すべての製品)*
- Video CEC Output KeyClick *(SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)*
- Video CEC Output SendActiveSourceRequest *(SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)*

削除されたコマンド

なし。

変更されたコマンド

- Audio LocalInput AddConnector *(Codec Pro, Room 70 G2)*
 旧: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / Line
 新: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / ARC
- Audio LocalInput RemoveConnector *(Codec Pro, Room 70 G2)*
 旧: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / Line
 新: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / ARC
- Audio LocalOutput AddConnecto *(Codec Pro, Room 70 G2)*
 旧: ConnectorType (r): HDMI / Microphone
 新: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / ARC
- Audio LocalOutput RemoveConnector *(Codec Pro, Room 70 G2)*
 旧: ConnectorType (r): HDMI / Microphone
 新: ConnectorType (r): HDMI / Microphone / ARC

Audio Sound Play *(すべての製品)*

旧: Sound (r): Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / StartListening / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp

新: Sound (r): Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / StartListening / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp / Binding

Phonebook Search *(SX80, Codec Plus, Codec Pro, Room Kit 注: Cisco Webex に登録されている場合のみ)*

新: SearchFilter: All / Rooms / People

Presentation Start *(すべての製品)*

旧: ConnectorId: 整数, Multiple: 未定義

新: ConnectorId IntegerArray, Multiple: 1

SystemUnit FactoryReset *(すべての製品)*

旧: Keep: LiteralArray, Multiple: 6

新: Keep: LiteralArray, Multiple: 7

UserManagement User Modify *(すべての製品)*

削除: Unblock: False / True

Video Matrix Assign *(SX20, SX80, Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room 70 G2)*

旧: SourceId (r): 整数, Multiple: 未定義

新: SourceId: IntegerArray, Multiple: 4

Video Matrix Unassign *(SX20, Codec Plus, Room Kit, MX200 G2, MX300 G2)*

旧: SourceId (r): 整数, 最大: 4, 最小: 1, ステップ: 1 *(Codec Plus)*

新: SourceId (r): 整数, 最大: 3, 最小: 1, ステップ: 1 *(Codec Plus)*

旧: SourceId (r): 整数, 最大: 4, 最小: 1, ステップ: 1 *(Room Kit, MX200 G2, MX300 G2)*

新: SourceId (r): 整数, 最大: 2, 最小: 1, ステップ: 1 *(Room Kit, MX200 G2, MX300 G2)*

旧: SourceId (r): 整数, 最大: 3, 最小: 1, ステップ: 1 *(SX20)*

新: SourceId (r): 整数, 最大: 2, 最小: 1, ステップ: 1 *(SX20)*

CE9.5 での xStatus の変更点

新しいステータス

Audio Input Connectors ARC[n] EcReferenceDelay (すべての製品)

Audio Output Connectors ARC[n] DelayMs (Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2)

Audio Output Connectors ARC[n] Mode (Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2)

Provisioning RoomType (Codec Plus, Room 70)

SystemUnit Software OptionKeys MultiSite (SX10, DX70, DX80)

Video Mute (すべての製品)

Video Output Monitor[n] FirmwareVersion (SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)

Video Output Monitor[n] ModelName (SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)

Video Output Monitor[n] Position (SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)

Video Output Monitor[n] SerialNumbe (SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)

Video Output Monitor[n] Temperature (SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800)

削除されたステータス

Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] PowerControl (すべての製品)

変更されたステータス

Peripherals ConnectedDevice[n] Type (すべての製品)

旧: Byod / Camera / ControlSystem / ISDNLink / Other / SpeakerTracker / TouchPanel

新: Byod / Camera / ControlSystem / ISDNLink / Other / SpeakerTracker / TouchPanel / InputDevice

SystemUnit Software OptionKeys MultiSite (SX20, SX80, Codec Plus, Codec Pro, Room Kit, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room 55, Room 70, Room 70 G2)

旧: False / True

新: False / True / NotApplicable

CE9.4 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.4 (CE9.4) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.3 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

新商品

- Cisco Webex Codec Pro
- Cisco Webex Room 70 Single G2
- Cisco Webex Room 70 Dual G2
- Cisco Webex Room 55 Dual

Cisco Spark から Cisco Webex へのリブランディング

(すべての製品)

Cisco Spark は Cisco Webex に名称が変更され、Spark と表示されるユーザ インターフェイスの要素は Webex へと変更されません。アクティベーション フローで今すぐに Cisco Spark ではなく登録オプションとして Cisco Webex を表示します。

以下の製品は、新たな名称を得ます。

- Cisco Spark Room Kit は Cisco Webex Room Kit
- Cisco Spark Room Kit Plus は Cisco Webex Room Kit Plus
- Cisco Spark Codec Plus は Cisco Webex Codec Plus へ
- Cisco Spark Quad Camera は Cisco Quad Camera へ
- Cisco Spark Room 55 および 70 は Cisco Webex Room 55 および 70 へ
- Cisco DX70 は Cisco Webex DX70 へ
- Cisco DX80 は Cisco Webex DX80 へ

プロクシミティ クライアントの最大数が増加しました

(Codec Plus, Codec Pro, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit)

プロクシミティ サービスである ContentShare ToClients が無効である場合、Cisco Webex Room Series デバイスは最大 30 のペアリング クライアントを同時に設定できます。ContentShare ToClients が有効である場合、ペアリング クライアントの制限はソフトウェアの以前のリリース内容と同じ 7 となります。

管理設定ロックダウン構成の CUCM プロビジョニング

(すべての製品)

CE9.2.1 で導入された管理設定ロックダウン構成は、CUCM からプロビジョニングできるようになります。CUCM を通じて構成を行う際、設定メニュー上でお使いのデバイスの全設定について、選択のロックを同時に行うことができます。

この構成に新たなフィールドを公開するには、CUCM にデバイスパッケージが必要となる場合があります。

Cisco Webex Room Series およびレガシー MXP デバイス間での通話で H.263 を使用したコンテンツ共有のサポート

(Codec Plus, Codec Pro, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2, Room Kit)

MXP および Cisco Webex Room Series 間で、H.263 コンテンツ共有が利用できるようになります。これまでの Room Series では、別のコンテンツチャンネル内のコンテンツの受信または共有を行うことはできませんでした。Room Series デバイスから MXP デバイスへコンテンツを共有すると、以前のバージョンではプレゼンテーションがメイン ビデオ ストリームに合成されます。

これは、特定のシナリオでのみサポートされます。

- Room Series デバイスと MXP デバイス間の H.323 ダイレクト発信 (IP ダイアラ)。
- H.323 上の VCS に登録された MXP および SIP または H.323 のいずれかにある同一 VCS 上に登録された Room Series デバイス。VCS 上において H.323 で SIP 発信を行うには、インターワーキング オプション キーが VCS 上にインストールされている必要があることにご留意ください。

本機能に関するその他制限についての情報は、

▶ [CE9 リリース ノート](#)をご参照ください。

タッチ スクリーンからの逆光補正の有効化。

(DX70, DX80)

DX70 および DX80 のメインメニューで新しい設定を有効にし、逆光補正を無効にします。これは、ユーザの背後の日光やその他の明るい光源を補正するために、センサーの明るさのレベルを上げる (オン) または下げる (オフ) 固定設定です。逆光補正によってセンサーは固定レベルに設定され、逆光に合わせて自動調整されることはありません。

デフォルトの HTTP モードを HTTP + HTTPS から HTTPS へ変更

(すべての製品)

NetworkServices HTTP モードのデフォルト値が HTTPS + HTTP から HTTPS に変更されます。これによって、デフォルト構成でのルーム デバイスのセキュリティを強化します。以前のバージョンからのアップグレードはデフォルト値を自動的に変更せず、現行の HTTP 実装の破損を回避するために HTTP + HTTPS が維持されます。

この変更は、CE9.4.0 以降を実行している新しいデバイス、または CE9.4.0 で初期設定にリセットされたデバイスに表示されません。HTTP リクエストは HTTPS にリダイレクトされ、デバイスのウェブ インターフェイスへの初回訪問時に、デバイスに「安全でない接続の警告」が表示されます。ウェブ インターフェイスへと進むには、ブラウザで例外を作成する必要があります。これは、これまでに訪問したことがない、異なるブラウザを使ってウェブ インターフェイスにアクセスした場合、またはデバイスが工場出荷時の設定にリセットされている場合を除き、1 回限りの操作となります。

室内制御の更新 *(すべての製品)*

ホーム スクリーン上やユーザ インターフェイス上の通話中のスクリーン上で、必要な数のパネル ボタンを追加することができます。

CE9.4 でのシステム設定の変更点

新しい設定

- Audio Input Microphone [n] PhantomPower (Codec Pro, Room 70 G2)
- Audio Input HDMI [n] Mode (Room 55, Codec Pro)
- Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo (Room 55, Codec Pro)
- Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs (Codec Pro)
- Audio Output HDMI [n] Delay Mode (Codec Pro)
- Audio Output Line [1] OutputType (Room 70, Room 55D)
- Cameras Camera [1] Backlight DefaultMode (DX70, DX80)
- Cameras Camera [1..2] Mirror (MX700, MX800)
- Conference FarendMessage Mode (すべての製品)

削除された設定

- NetworkServices HTTP Proxy Allowed (すべての製品)
- Video Output Connector [2] CEC Mode (DX70, DX80)
- Video Output Connector [2] OverscanLevel (DX70, DX80)
- Video Output Connector [2] Resolution (DX70, DX80)

変更された設定

- Audio Output Line [1] OutputType (Room Kit)
 - 旧: デフォルト値: LineOut
 - 新: デフォルト値: Loudspeaker (スピーカー)
 - 旧: 値スペース: LineOut/Subwoofer
 - 新: 値スペース: LineOut/Loudspeaker/Recorder/Subwoofer
- オーディオ ウルトラサウンド最大音量 (MX200 G2, MX300 G2, Codec Plus, Room 70)
 - 旧: デフォルト: 60 (MX200 G2, MX300 G2)
70 (Codec Plus, Room 55, Room 70)
 - 新: デフォルト値: 50 (MX200 G2, MX300 G2)
60 (Codec Plus, Room 70)
64 (Room 55)
 - 旧: 値スペース: 整数 (0 ~ 80) (MX200 G2, MX300 G2)
整数 (0 ~ 90) (Room 55, Room 70)
 - 新: 値スペース: 整数 (0 ~ 70) (MX200 G2, MX300 G2)
整数 (0 ~ 80) (Room70)
整数 (0 ~ 84) (Room55)
- Network [1] DNS DNSSEC Mode (すべての製品)
 - 旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 - 新: ユーザ ロール: ADMIN
- Network [1] Speed (すべての製品)
 - 旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 - 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR
- NetworkServices HTTP Mode (すべての製品)
 - 旧: デフォルト値: HTTP+HTTPS
 - 新: デフォルト値: HTTPS
- NetworkServices SNMP CommunityName (すべての製品)
 - 旧: ユーザ ロール: ADMIN
 - 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR
- NetworkServices SNMP Host [1..3] Address (すべての製品)
 - 旧: ユーザ ロール: ADMIN
 - 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices SNMP Mode *(すべての製品)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices SNMP SystemContact *(すべての製品)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices SNMP SystemLocation *(すべての製品)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

UserInterface ContactInfo Type *(SX10, DX70, DX80)*

旧: 値スペース Auto / DisplayName / IPv4 / IPv6 / None / SipUri / SystemName

新: 値スペース: Auto / DisplayName / E164Alias / H320Number / H323Id / IPv4 / IPv6 / None / SipUri / SystemName

Video Output Connector [1] CEC Mode *(SX10)*

旧: デフォルト値: Off

新: デフォルト値: On

Video Output Connector [3] Resolution *(SX80)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

CE9.4 でのコマンドの変更

新しいコマンド

Audio LocalInput Add (MX700, MX800)
Audio LocalInput AddConnector (MX700, MX800)
Audio LocalInput Remove (MX700, MX800)
Audio LocalInput RemoveConnector (MX700, MX800)
Audio LocalInput Update (MX700, MX800)
Audio LocalOutput Add (MX700, MX800)
Audio LocalOutput AddConnector (MX700, MX800)
Audio LocalOutput ConnectInput (MX700, MX800)
Audio LocalOutput DisconnectInput (MX700, MX800)
Audio LocalOutput Remove (MX700, MX800)
Audio LocalOutput RemoveConnector (MX700, MX800)
Audio LocalOutput Update (MX700, MX800)
Audio LocalOutput UpdateInputGain (MX700, MX800)
Audio RemoteOutput ConnectInput (MX700, MX800)
Audio RemoteOutput DisconnectInput (MX700, MX800)
Audio RemoteOutput UpdateInputGain (MX700, MX800)
Audio Setup Clear (MX700, MX800)
Call FarEndMessage Send (すべての製品)
Provisioning RoomType Activate (SX80, MX700, MX800, Codec Pro, Room 70 G2)
Security FIPSMODE Activate (すべての製品)
Video Matrix Assign (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)
Video Matrix Reset (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)
Video Matrix Swap (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)
Video Matrix Unassign (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)

削除されたコマンド

なし。

変更されたコマンド

Audio LocalInput Add (SX80)
新: Direct: On / Off
Audio LocalInput Update (SX80)
新: Direct: On / Off
旧: AGC, Channels, MixerMode, Mute, Name: 必須
新: AGC, Channels, MixerMode, Mute, Name: オプション
Audio LocalInput Update (SX80)
旧: Channels, Loundspeaker, Name: 必須
新: Channels, Loundspeaker, Name: オプション
Camera PositionSet (DX70, DX80 を除くすべての製品)
旧: ズーム: 0 ~ 8500
新: ズーム: 0 ~ 11800
Conference DoNotDisturb Activate (すべての製品)
旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER
Conference DoNotDisturb Deactivat (すべての製品)
旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER
SystemUnit FactoryReset (すべての製品)
旧: 保持: Certificates / LocalSetup / Network / Provisioning / SerialPort / Spark
新: 保持: Certificates / LocalSetup / Network / Provisioning / SerialPort / Spark / HTTP
SystemUnit SoftwareUpgrade (すべての製品)
削除: UserName, Password
UserManagement User Modify (すべての製品)
新: Unblock: False/True
Video Selfview Set (すべての製品)
旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER
旧: OnMonitorRole: First / Second / Third / Fourth
新: OnMonitorRole: First / Second / Third / Fourth

CE9.4 のステータスの変更

新しいステータス

Audio Input LocalInput [n] Direct *(SX80, MX700, MX800)*

Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs *(Room Kit, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D)*

Audio Output Connectors HDMI [n] Mode *(Room Kit, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D)*

Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs *(Room Kit, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D)*

Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode *(Room Kit, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D)*

Audio Output MeasuredHdmiArcDelay *(すべての製品)*

Audio Output MeasuredHdmiDelay *(すべての製品)*

Audio Output ReportedHdmiCecDelay *(すべての製品)*

Cameras Camera [n] LightingConditions *(Room Kit, Room 55, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D)*

Cameras Camera [n] Position Lens *(Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D)*

Network [n] IPv6 LinkLocalAddress *(すべての製品)*

RoomPreset [n] Defined *(DX70 および DX80 を除くすべての製品)*

RoomPreset [n] Description *(DX70 および DX80 を除くすべての製品)*

RoomPreset [n] Type *(DX70 および DX80 を除くすべての製品)*

SystemUnit Hardware TemperatureThreshold *(SX80, SX20, SX10, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, DX70, X80)*

削除されたステータス

なし。

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*

新: 値スペース : SparkActivationRequired および SparkConnectivity の削除

ビデオ モニター *(すべての製品)*

旧: 値スペース : Dual / DualPresentationOnly / Single / Triple / TriplePresentationOnly

新: 値スペース : Dual / DualPresentationOnly / Single / Triple / TriplePresentationOnly / Quadruple

Video Output Connector [n] MonitorRole *(すべての製品)*

旧: 値スペース : First / InternalSetup / PresentationOnly / Recorder / Second / Third

新: 値スペース : First / InternalSetup / PresentationOnly / Recorder / Second / Third / Fourth

Video Selfview OnMonitorRole *(すべての製品)*

旧: 値スペース : First / Second / Third

新: 値スペース : First / Second / Third / Fourth

CE9.3 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.3 (CE9.3) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.2 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

設定とカスタム要素のバックアップ/復元

(すべての製品)

設定およびカスタム情報をバックアップ ファイル バンドル (zip) に含めることができます。以下の要素のいずれをバンドルに含めるかを選択できます。

- ブランディング画像
- マクロ
- お気に入り
- サインイン パナー
- 室内制御パネル
- 設定 (すべてまたはサブセット)

以前のソフトウェア バージョンでは、設定のみのバックアップが可能でした。

バックアップ ファイルは、デバイスの Web インターフェイスから手動で復元できます。または、Cisco UCM や TMS などを使用して複数のデバイスにプロビジョニングできるように、バックアップ バンドルを一般化することもできます。

バックアップと復元機能は、デバイスの Web インターフェイスの [メンテナンス (Maintenance)] > [バックアップと復元 (Backup and Restore)] の下にあります。

カスタム要素のプロビジョニング (すべての製品)

上記のバックアップ バンドルは、Cisco UCM または TMS を使用して、多数のデバイスにプロビジョニングできます。複数のデバイスで使用するバックアップ バンドルを作成するときは、デバイス固有の情報を削除することが重要です。バンドルにデバイス固有の情報が含まれていると、複数のデバイスに接続できなくなる可能性があります。

デバイス固有でないバックアップ バンドルをプロビジョニングすることにより、たとえば、マクロ、ブランディング情報、室内制御パネルを含むデバイスの設定を、複数のデバイスにコピーできます。

現在、Cisco UCM によるプロビジョニングでは、設定は復元されず、その他のカスタム情報のみが復元されます。TMS は、バックアップ バンドルに含まれるすべてのものを復元します。

プロビジョニングの詳細については、リリース ノートを参照してください。

室内制御の更新 (すべての製品)

室内制御機能に、次の機能が追加されました。

- 最大で合計 20 パネルにボタンを追加できます。ボタンは、パネル タイプに応じて、ユーザ インターフェイスのホーム画面または通話中画面に表示されます。
- 従来どおり、グローバル パネル (常時利用可能)、通話中パネル (通話中のみ利用可能)、外部発信パネル (通話中でない場合のみ利用可能) の 3 種類の室内制御パネルがあります。グローバル パネルへのエントリ ポイントは、ステータス バー (ユーザ インターフェイスの右上隅) から削除されました。それに代えて、グローバル パネルを開くボタンが、ホーム画面と通話中画面の両方に追加されました。さらにそれぞれの画面には、外部発信のみパネルを開くボタンと、通話中のみパネルを開くボタンが追加されました。
- スタンドアロンのトリガー ボタンを作成することができます。このボタンは、ユーザ インターフェイス上のパネルを開かずに、イベントを直接トリガーするボタンです。

室内制御エディタには、以下の機能も追加されました。

- いくつかの新しいアイコンが利用できます。
- 室内制御のボタンの色を選択できる、色のセット。
- テキスト要素をダブルクリックすると、テキストを直接編集できます。
- 室内制御の XML ファイルをエディタにドラッグアンドドロップできます。

室内制御の詳細は、CE9.3 の ▶ <https://www.cisco.com/go/in-room-control-docs> のカスタマイズ ガイドを参照してください。

ISDN リンクのサポート (すべての製品)

ソフトウェア バージョンが IL1.1.7 である ISDN Link は、CE9.3.0 をサポートするすべてのビデオ 会議デバイスでサポートされます。

これまでのように、自動ペアリング (デバイスによる ISDN リンクの自動検出を可能にする) を使用する場合は、デバイスで IPv6 を有効にする必要があります。

ワンボタン機能のスヌーズ (すべての製品)

ワンボタン機能 (OBTP) による会議のリマインダが表示されたときに、5 分後に再表示されるようにスヌーズさせることができます。スヌーズの時間を変更することはできません。通常リマインダは、通話中で、スケジュールされた会議が開始される場合に表示されます。会議が終了するまで、リマインダが表示されるたびに、5 分間スヌーズできます。

画面ステータスのモニタリングと制御 (SX10)

SX10 は、Room シリーズのデバイスと同様の CEC (コンシューマ エレクトロニクス制御) の動作をするようになりました。

デバイスは CEC を使用して、デバイス自体がスタンバイ モードになると画面をスタンバイ モードに設定し、デバイス自体がスタンバイ モードから復帰すると、画面を復帰して正しいビデオ入力を選択します。画面からの CEC 情報は、デバイスのステータスに含まれます。この場合、画面も CEC をサポートしており、関連情報をデバイスに送信する必要があります。

CEC は、デフォルトではデバイスで無効になっています。Video Output Connector [1] CEC Mode 設定で有効化する必要があります。

発信前のコール レートの調整 (すべての製品)

[検索またはダイヤル (Search or Dial)] フィールドへの入力を開始するとすぐに、ダイアログを開いてカスタム コール レートを選択できます。以前のリリースでは、この機能は、ディレクトリからエントリを選択するときだけに使用できました。

カスタム コール レートを選択しない場合は、[会議のデフォルト コール レート (Conference DefaultCall Rate)] 設定で指定されているレートが設定されます。

着信音の選択と着信音の音量の調整 (すべての製品)

ユーザ インターフェイスの設定メニューから、着信音を選択し、着信音の音量を調整することができます。以前のリリースでは、これはウェブ インターフェイスから行われていました。

延期されたアップグレードの再開 (すべての製品)

ソフトウェア アップグレードの通知を受け取ったら、[今すぐアップグレード (Upgrade now)] または [延期 (Postpone)] を選択することができます。アップグレードを延期した場合には、必要なときに、ユーザ インターフェイスの [設定 (Settings)] > [このデバイスについて (About this device)] メニューからアップグレードを再開できます。以前のように 6 時間待つ必要はなくなりました。

手動でアップグレードを再開しない場合、アップグレードは 6 時間後に自動的に開始されます。

デバイス情報がユーザ インターフェイスに公開されることの防止 (すべての製品)

重要なデバイス情報がユーザー インターフェイスに公開されるのを防ぐことができます。例を以下に示します。

- IP アドレス (ビデオ システム, タッチ コントローラ, UCM/VCS レジストラ)
- MAC アドレス
- シリアル番号
- ソフトウェア バージョン

この機能を有効にするには、次を行う必要があります。

- 管理者権限を持つすべてのユーザに、パスフレーズを設定する必要があります
- [ユーザインターフェイス設定メニューモード (UserInterface SettingsMenu Mode)] を [ロック (Locked)] に設定する必要があります
- [ユーザインターフェイスセキュリティモード (UserInterface Security Mode)] を [強 (Strong)] に設定する必要があります

また、この機能により、タッチ コントローラの接続を切断するとき IP アドレスがスクリーンに表示されなくなります。

アクセシビリティ: 着信時の画面の点滅 (すべての製品)

システムが着信コールを受信すると、画面とタッチ コントローラが赤色と薄灰色で点滅するように、デバイスを設定できます。この機能は主に聴覚が不自由なユーザが着信コールに気づきやすくするようにしています。

この機能はデフォルトでは無効化されているため、[着信コール通知 アクセシビリティ (Accessibility IncomingCallNotification)] 設定で有効にする必要があります。

でのセルフビューのミラー (DX70 および DX80)

デバイスを設定して、実際に相手に見えるように、または自分自身を鏡で見るように、セルフビューを表示することができます。[ビデオ セルフビュー ミラード (Video Selfview Mirrored)] 設定を使います。これまで、ミラード セルフビューは、Android ソフトウェアを実行している Cisco DX デバイスでのみ利用できました。

ミラーリングは、セルフビューの画像にのみ適用され、相手に送信されるビデオには影響しません。

1 冊の共通 API ガイド

すべての API 情報を、すべての製品を対象とした 1 つの API ガイドにまとめました。これは、製品ごとに 1 冊の API ガイドが用意されていた以前のリリースとは対照的です。

CE9.3 での xConfiguration の変更点

新しい設定

Audio KeyClickDetector Attenuate *(Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room 70)*

Audio KeyClickDetector Enabled *(Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room 70)*

Cameras Camera [1..3] AssignedSerialNumber *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Backlight DefaultMode *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Brightness DefaultLevel *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Brightness Mode *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Focus Mode *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Gamma Level *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Gamma Mode *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Mirror *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Whitebalance Level *(Codec Plus, Room 70)*

Cameras Camera [3] Whitebalance Mode *(Codec Plus, Room 70)*

Network [1] DNS DNSSEC Mode *(すべての製品)*

NetworkServices HTTP Proxy PACUrl *(すべての製品)*

SystemUnit CrashReporting Mode *(すべての製品)*

SystemUnit CrashReporting URL *(すべての製品)*

UserInterface Accessibility IncomingCallNotification *(すべての製品)*

UserInterface Security Mode *(すべての製品)*

Video Selfview Mirrored *(DX70/DX80)*

削除された設定

Provisioning HttpMethod *(すべての製品)*

変更された設定

NetworkServices HTTP Proxy Allowed *(すべての製品)*

旧: デフォルト値: True

新: デフォルト値: False

NetworkServices HTTP Proxy Mode *(すべての製品)*

旧: 値スペース: Manual/Off

新: 値スペース: Manual/Off/PACUrl/WPAD

Proximity Mode *(Room 70)*

旧: デフォルト値: Off

新: デフォルト値: On

Standby WakeupOnMotionDetection *(Room 70)*

旧: デフォルト値: Off

新: デフォルト値: On

Video Input Connector[2] Name *(Room 55)*

旧: デフォルト値: "PC 1 (HDMI)"

新: デフォルト値: ""

Video Input Connector[3] Name *(Room 55)*

旧: デフォルト値: "PC 2 (HDMI)"

新: デフォルト値: ""

Video Input Connector[1] CEC Mode *(Room 70)*

旧: 値スペース: Off/On

新: 値スペース: On

CE9.3 での xCommands の変更

新しいコマンド

Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop (すべての製品)
Bookings NotificationSnooze (すべての製品)
HttpFeedback Enable (すべての製品)
Macros Macro RemoveAll (すべての製品)
Provisioning Service Fetch (すべての製品)
Standby ResetHalfwakeTimer (すべての製品)
UserInterface Branding Clear (すべての製品)
UserInterface Extensions Panel Clicked (すべての製品)
UserInterface Extensions Panel Remove (すべての製品)
UserInterface Extensions Panel Save (すべての製品)
Video CEC Output KeyClick (SX10)
Video CEC Output SendActiveSourceRequest (Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)
Video Matrix Assign (Codec Plus)
Video Matrix Reset (Codec Plus)
Video Matrix Swap (Codec Plus)
Video Matrix Unassign (Codec Plus)

削除されたコマンド

Provisioning StartUpgrade (すべての製品)

変更されたコマンド

Audio Sound Play (すべての製品)

旧: Sound: Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp

新: Sound: Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp / StartListening

Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play (すべての製品)

新: Loop: On/Off

ダイヤル (DX70, DX80)

旧: CallRate: 64 ~ 3072

新: CallRate: 64 ~ 6000

ダイヤル (すべての製品)

新: TrackingData: 0 ~ 255

Macros Macro Save (Codec Plus, DX70, DX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room 55, Room 70, Room Kit, SX20, SX80)

新: Transpile: True/False

Peripherals List (すべての製品)

新: タイプ: デフォルト: All

SystemUnit ProductPlatform Set (Codec Plus, Room 70)

旧: プラットフォーム: ROOM70D/ROOM70S

新: プラットフォーム: ROOM70D/ROOM70S/ROOM55D

UserInterface Extensions Widget Action (すべての製品)

旧: WidgetId: 0..40

新: WidgetId: 0..255

UserInterface Extensions Widget SetValue (すべての製品)

旧: WidgetId: 0..40

新: WidgetId: 0..255

UserInterface Extensions Widget UnsetValue (すべての製品)

旧: WidgetId: 0..40

新: WidgetId: 0..255

Video Matrix Assign (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Matrix Reset (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Matrix Swap (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Matrix Unassign (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

CE9.3 での xStatus の変更点

新しいステータス

Audio Input KeyClick Attenuate (Codec Plus, Codec Plus, Room 55, Room 70)
 Audio Input KeyClick Detected (Code Plus, Room 55, Room 70, Room Kit)
 Audio Input KeyClick Detected (Code Plus, Room 55, Room 70, Room Kit)
 HttpFeedback [n] Statu (すべての製品)
 Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason (すべての製品)
 Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL (すべての製品)
 Provisioning RoomType (MX700, MX800, SX80)
 Provisioning Software UpgradeStatus Urgency (すべての製品)
 Video Output Monitor [n] FirmwareVersion (Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)
 Video Output Monitor [n] ModelName (Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)
 Video Output Monitor [n] Position (Codec Plus, Room 55, Room Kit)
 Video Output Monitor [n] SerialNumber (Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)
 Video Output Monitor [n] Temperature (Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)

削除されたステータス

MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Drop (すべての製品)
 USB Device [n] Stat (SX20)
 USB Device [n] Type (SX20)

変更されたステータス

Cameras Camera [n] Flip (Codec Plus, MX700, MX800, Room 70, SX10, SX20, SX80)
 旧: String
 新: Off/On
 Diagnostics Message [n] Type (すべての製品)
 旧: ANATOnVCS / AbnormalCallTermination / AudiolInternalSpeakerDisabled / AudioPairingInterference / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingTokenDecode / CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility /

CameraDetected / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / CaptivePortalDetected / CertificateExpiry / ConfigurationFile / ContactInfoMismatch / ControlSystemConnection / DefaultCallProtocolRegistered / ECRreferenceDelay / EthernetDuplexMatches / FanStatus / FirstTimeWizardNotCompleted / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasActiveCallProtocol / HasValidReleaseKey / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack / ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / IpCameraStatus / LockDown / MediaBlockingDetected / MediaPortRangeNegative / MediaPortRangeOdd / MediaPortRangeOverlap / MediaPortRangeTooSmall / MediaPortRangeValueSpace / MicrophoneReinforcement / MicrophonesConnected / MonitorDelay / NTPStatus / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / PlatformSanity / PresentationSourceSelection / PresenterTrack / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / RoomControl / SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPListenPortAndRegistration / SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected / SipIplceAndAnatConflict / SipOrH323ButNotBothEnabled / SoftwareUpgrade / SparkActivationRequired / SparkConnectivity / SpeakerTrackEthernetConnection / SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection / SpeakerTrackVideoInputs / TCPMediaFallback / TLSVerifyRequiredCerts / TemperatureCheck / TouchPanelConnection / TurnBandwidth / UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera / VideoInputSignalQuality / VideoInputStability / VideoPortRangeNegative / VideoPortRangeOdd / VideoPortRangeTooSmall / VideoPortRangeValueSpace / WifiCARrequired / ActiveMacros / AudioECRefDelay
 新: ANATOnVCS / AbnormalCallTermination / AudiolInternalSpeakerDisabled / AudioPairingInterference / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingTokenDecode / CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility / CameraDetected / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / CaptivePortalDetected / CertificateExpiry / ConfigurationFile / ContactInfoMismatch / ControlSystemConnection / DefaultCallProtocolRegistered / ECRreferenceDelay / EthernetDuplexMatches / FanStatus / FirstTimeWizardNotCompleted / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasActiveCallProtocol / HasValidReleaseKey / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack / ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / IpCameraStatus / LockDown / MediaBlockingDetected / MediaPortRangeNegative / MediaPortRangeOdd / MediaPortRangeOverlap / MediaPortRangeTooSmall / MediaPortRangeValueSpace / MicrophoneReinforcement / MicrophonesConnected / MonitorDelay / NTPStatus / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / PlatformSanity / PresentationSourceSelection / PresenterTrack / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / RoomControl



/ SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPListenPortAndRegistration
/ SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected
/ SipIccAndAnatConflict / SipOrH323ButNotBothEnabled / SoftwareUpgrade /
SparkActivationRequired / SparkConnectivity / SpeakerTrackEthernetConnection /
SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection
/ SpeakerTrackVideoInputs / TCPMediaFallback / TLSVerifyRequiredCerts
/ TemperatureCheck / TouchPanelConnection / TurnBandwidth /
UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera
/ VideoInputSignalQuality / VideoInputStability / VideoPortRangeNegative /
VideoPortRangeOdd / VideoPortRangeTooSmall / VideoPortRangeValueSpace /
WifiCARRequired / HTTPFeedbackFailed / HdmiCecModeNoSound / MacrosRuntimeStatus /
MicrophoneOverloaded / SparkOffline / UltrasoundConfigSettings

CE9.2 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.2 (CE9.2) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.1 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

マクロ フレームワーク *(SX10 を除くすべての製品)*

マクロ フレームワークにより、ユーザおよびインテグレータは、個々の顧客の要件に合うように、JavaScript のマクロを記述して、シナリオを自動化したり、デバイスの動作をカスタマイズしたりすることができます。

イベント/ステータス変更のリスニング、コマンドの実行や設定の自動化、室内制御機能のローカル制御機能の提供といった強力な機能とマクロを組み合わせることで、カスタム セットアップに多くの可能性を生み出します。

わずかな動作の変更をマクロを使って簡単に実現できます。たとえば、デバイスを無期限に応答不可にすることができます。設定を自動的にリセットする、特定の日の特定の時間に呼び出しを行う、状況の変化に応じて警告やヘルプ メッセージを発行するといったことも行えます。

マクロ エディタは、デバイスの Web インターフェイスから使用でき、いくつかのサンプル マクロも用意されています。

HDCP サポート *(Room 55)*

デバイスの 2 番目の HDMI 入力 (コネクタ 3) が HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 保護コンテンツをサポートするように設定することができます。このため Google ChromeCast, AppleTV, または HDTV デコーダなど他のデバイスを接続してデバイスの画面を再利用できます。通話中にこの種のコンテンツを共有することはできません。

HDCP をサポートするようにコネクタを設定すると、この種類のコンテンツのために予約されます。これは通話中に特定のコネクタの内容を共有することは、ラップトップからの非保護内容であってもできないことを意味します。

ブランディングとハーフウェイのカスタマイズ

(SX10 を除くすべての製品)

独自のテキストと画像をアップロードして、ハーフウェイ状態とアウェイ状態の両方のスクリーンとユーザ インターフェイスの表示をカスタマイズできます。

ハーフウェイ状態では、次のことができます。

- ・ スクリーンとユーザ インターフェイスに背景ブランド イメージを追加します。
- ・ スクリーン右下隅とユーザ インターフェイスのロゴを追加します。

アウェイ状態では、次のことができます。

- ・ スクリーン右下隅とユーザ インターフェイスのロゴを追加します。
- ・ スクリーン左下隅にラベルとメッセージを追加します (ユーザ インターフェイスには追加しない)。

ソース構成 *(DX70, DX80, および SX10 を除くすべての製品)*

最大 4 つの入力ソース (デバイスで使用できる入力ソースの数によって異なる) で 1 つのイメージを構成できます。これは、メイン ビデオ ストリームでコールの遠端に送信されるイメージです。ソース構成は API 経由でのみ有効にできるので、ユーザ インターフェイスの拡張機能をマクロと組み合わせて作成し、オンデマンドで構成を制御することをお勧めします。

この機能によって、TC ソフトウェア用の TC コンソール アプリケーションによって提供されていた機能の一部が置き換えられます。

HTTP プロキシのサポート *(すべての製品)*

シスコのクラウド サービスである Cisco Spark にデバイスを登録する場合は、HTTP プロキシを経由するようにビデオ システムをセットアップできます。

ユーザ インターフェイス機能 (すべての製品)

- ・ 設定パネルが再構成されています。
- ・ ユーザ インターフェイス (Touch 10 またはオン スクリーン) の設定パネルは、そのデバイスの管理者パスワードで保護できます。パスワードが空白の場合、誰でも [設定 (Settings)] にアクセスし、デバイスを工場出荷時設定にリセットすることができます。
- ・ ユーザ インターフェイスでロシア語を選択した場合は、ロシア語のキーボードとラテン語文字セットのキーボードを選択できます。
- ・ アラビア語とヘブライ語がユーザ インターフェイスに追加されています。またローカライズされたキーボードも含まれています。
- ・ IEEE 802.1 x の基本設定が、ユーザ インターフェイスの設定パネルに追加されています。

Cisco TelePresence Precision 60 カメラのサポート

(Codec Plus)

Cisco TelePresence Precision 60 のカメラを Codec Plus に接続できます。複数のカメラを使用する場合は、カメラ コントロール ケーブルのスイッチが必要です。Precision 60 がデバイスに接続されている唯一のカメラ タイプである場合、人数のカウント機能はサポートされません。

Cisco Spark Quad Cameraのサポート (SX80)

Cisco Spark Quad Camera を SX80 に接続できます。Quad Cameraではデバイスの HDMI 入力の 1 つのみを使用しますが、SpeakerTrack 60 カメラでは 2 つ使用することに注意してください。Quad カメラを使用すると人数カウント機能 (通話中) も使用できます。

「ホワイトボードへのスナップ」機能のサポート

(SX80, MX700/MX800, Room Kit, Room Kit Plus, Room 55/70)

スピーカー トラック機能にあるカメラを備えたすべての製品 (Cisco TelePresence スピーカー トラック 60 カメラまたは Cisco Spark クアッド カメラを備えた SX80, デュアル カメラを備えた MX700/MX800, Room Kit, Room Kit Plus, Room 55, および Room 70) でホワイトボードへのスナップ機能を使用できるようになりました。

ホワイトボードの近くで話している人をデバイスが検出すると、カメラのビューがホワイトボード領域に切り替わります。Touch 10 ユーザ インターフェイスの設定パネルのウィザードでは、機能を設定したり、ホワイトボード領域の場所を定義したりするのに役立ちます。

ブリーフィング ルーム モード (SX80, MX700/MX800)

すでに TC ソフトウェアに導入されているブリーフィング ルームの機能が改良されました。室内制御フレームワークは、関連付けられたユーザ インタフェース要素を作成するために使用します。

MX700/MX800: 以前と同様に、ブリーフィング ルームはデュアルカメラ デバイスでのみサポートされています。また、Precision 60 カメラと合計 3 つの画面が必要です。

SX80: ブリーフィング ルームは、スピーカー トラック カメラ、Precision 60 カメラ、および 3 つの画面が接続されている場合のみサポートされています。スピーカー トラック カメラには、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 または Cisco Spark クアッド カメラのいずれかを利用できます。

USB -シリアル ポートのサポート

(Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room 70)

USB (Type A) をシリアル (D-Sub 9) アダプタに接続して、デバイス API にアクセスすることができます。シスコでは、UC232R 10 USB to RS232 (FTDI) アダプタをお勧めします。

CMS ホスト会議 (アクティブ コントロール) でのリモート参加者のミュートとミュート解除 (すべての製品)

CMS (2.1 以降) による会議でデバイスがアクティブ コントロールに対応している場合は、ユーザ インターフェイスの参加者一覧からリモート参加者をミュートおよびミュート解除できます (この機能は CMS でも有効になっている必要があります)。

ソフトウェア バージョン CE9.2 を実行しているデバイスでは、ミュートが直接解除されません。このようなデバイスをリモートでミュート解除しようとする、ローカルで音声ミュート解除するようユーザに求めるメッセージが画面上に表示されます。

カスタム入力プロンプトの API コマンド (すべての製品)

ユーザ インターフェイスに入力プロンプトを表示できる `xCommand UserInterface Message TextInput *` という API コマンドが導入されました。表示コマンドを発行すると、カスタムテキスト、ユーザ用のテキスト入力フィールド、送信ボタンを備えたプロンプトが、ユーザ インターフェイス上に表示されます。たとえば、終了したコールの後にフィードバックを残すようにユーザに求めることができます。ユーザの入力タイプ (単一行のテキスト、数値、パスワード、または PIN コード) を指定できます。

このプロンプトは API でのみ有効にできます。このため、これをマクロ (SX10 では使用できません) およびカスタム ユーザ インターフェイス パネル (または自動トリガー イベント) と組み合わせることをお勧めします。

API 経由での証明書のアップロード (すべての製品)

ASCII PEM 形式の証明書は、複数行の API コマンドを使用して直接インストールできます (`xCommand Security Certificates CA Add` または `xCommand Security Certificates Services Add`)。また、従来どおり、証明書を Web インターフェイスからデバイスにアップロードすることもできます。

ユーザ管理用 API コマンド (すべての製品)

API コマンド (`xCommand UserManagement User *`) を使用してユーザ アカウントを直接作成し、管理することができます。また、デバイスのユーザ インターフェイスからもアップロードできます。

室内制御のプレビュー モード (すべての製品)

室内制御エディタには、新しいプレビュー モードがあります。仮想タッチ ユーザ インターフェイスでは、デザインがユーザ インターフェイスでどのように見えるかを確認できます。ユーザ インターフェイスは対話型で、機能をテストすることができます。テストでは、デバイスに実際のイベントが生成され、サードパーティ製の制御システムまたはマクロを使用して作成したすべての機能をトリガーすることができます。右ペインのコンソールには、対話する際のウィジェット値と、制御システムのフィードバック メッセージの両方が表示されます。

Intelligent Proximity の変更点 (すべての製品)

Cisco Proximity を使用して 1 以上のクライアントがデバイスとペアになっていることを通知する Proximity インジケータが画面 (中央右側) に表示されます。Proximity が有効になっているときに常に表示されていたこれまでのインジケータ (左上) は削除されました。

ユーザ インターフェイスから Proximity サービスを無効にすることができなくなりました。

超音波設定が [周辺機器 (Peripherals)] > [ペアリング (Pairing)] > [超音波 (Ultrasound)] から [オーディオ (Audio)] > [超音波 (Ultrasound)] に移動されました。

コール サービスを変更する際の初期設定への自動リセット (デバイスの有効化) (すべての製品)

ユーザー インターフェイスからデバイス アクティブ化方法が変更されると (たとえば VCS から Cisco UCM への変更), デバイスは自動的に初期設定にリセットして再起動します。これにより、新しいサービスに対してデバイスをプロビジョニングするときに設定の競合が回避されます。

API からプロビジョニングを変更する場合、デバイスは自動的に初期設定にリセットされません。

音声とその他のメディアで別個の RTP ポート範囲のサポート (すべての製品)

オーディオが他のメディアと異なる RTP ポート範囲を使用するようにデバイスを設定できます。これらの 2 つの範囲は重複できません。デフォルトでは、すべてのメディアは同じ RTP ポート範囲を使用します。

CE9.2 での xConfiguration の変更点

新しい設定

Audio Input HDMI [n] Mode *(Codec Plus)*

Audio Input HDMI[n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo *(Room Kit, Codec Plus)*

Audio Output InternalSpeaker Mode *(Room 55)*

Audio Ultrasound MaxVolume *(すべての製品)*

Cameras Camera[1..2] Focus Mode *(MX700/MX800)*

統合カメラの追加

Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode *(Room Kit, Codec Plus, Room 55)*

Macros AutoStart *(SX10 を除くすべての製品)*

Macros Mode *(SX10 を除くすべての製品)*

NetworkServices HTTP Proxy Allowed *(すべての製品)*

NetworkServices HTTP Proxy LoginName *(すべての製品)*

NetworkServices HTTP Proxy Mode *(すべての製品)*

NetworkServices HTTP Proxy Password *(すべての製品)*

NetworkServices HTTP Proxy Url *(すべての製品)*

Standby WakeupOnMotionDetection *(すべての製品)*

UserInterface CustomMessage *(すべての製品)*

UserInterface OSD HalfwakeMessage *(すべての製品)*

UserInterface SettingsMenu Mode *(すべての製品)*

Video Input Connector[n] CEC Mode *(Room Kit, Codec Plus, Room 55)*

Video Input Connector[n] HDCP Mode *(Room 55)*

削除された設定

Conference MultiStream Mode *(SX10, DX70/DX80)*

変更された設定

Audio Input MicrophoneMode *(DX70/DX80)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Audio Input Microphone[n] Level *(Room Kit, Room 55)*

旧: 値スペース: 0 ~ 36

新: 値スペース: 0 ~ 26

Cameras Camera[n] Focus Mode *(SX80, MX700/MX800, Codec Plus)*

旧: 値スペース: Auto/Manual

新: 値スペース: Auto/AutoLimited/Manual

Cameras SpeakerTrack Closeup *(SX80, MX700/MX800, Room Kit, Codec Plus, Room 55)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode *(SX80, MX700/MX800)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

UserInterface Language *(すべての製品)*

新: 値スペースにアラビア語とヘブライ語を追加

UserInterface OSD Output *(RoomKit)*

旧: デフォルト値: 1

新: デフォルト値: Auto

Video Input Connector[2] Name *(Codec Plus, Room 55)*

旧: デフォルト値: PC (HDMI1)

新: デフォルト値: PC 1 (HDMI)

Video Input Connector[3] Name *(Codec Plus, Room 55)*

旧: デフォルト値: PC (HDMI2)

新: デフォルト値: PC 2 (HDMI)

Video Output Connector[1] Resolution *(MX200G2/MX300G2, DX70/DX80, Room 55)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Selfview OnCall Mode *(RoomKit)*

旧: デフォルト値: Off

新: デフォルト値: On

CE9.2 での xCommand の変更点

新しいコマンド

Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

Macros Log Clear (SX10 を除くすべての製品)

Macros Log Get (SX10 を除くすべての製品)

Macros Macro Activate (SX10 を除くすべての製品)

Macros Macro Deactivate (SX10 を除くすべての製品)

Macros Macro Get (SX10 を除くすべての製品)

Macros Macro Remove (SX10 を除くすべての製品)

Macros Macro Rename (SX10 を除くすべての製品)

Macros Macro Roles Set (SX10 を除くすべての製品)

Macros Macro Save (SX10 を除くすべての製品)

Macros Runtime Restart (SX10 を除くすべての製品)

Macros Runtime Start (SX10 を除くすべての製品)

Macros Runtime Status (SX10 を除くすべての製品)

Macros Runtime Stop (SX10 を除くすべての製品)

Message Send (すべての製品)

Security Certificates CA Add (すべての製品)

Security Certificates CA Delete (すべての製品)

Security Certificates CA Show (すべての製品)

Security Certificates Services Activate (すべての製品)

Security Certificates Services Add (すべての製品)

Security Certificates Services Deactivate (すべての製品)

Security Certificates Services Delete (すべての製品)

Security Certificates Services Show (すべての製品)

Standby Halfwake (すべての製品)

SystemUnit ProductPlatform Set (SX80, MX700/MX800, Codec Plus)

UserInterface Branding Delete (SX10 を除くすべての製品)

UserInterface Branding Get (SX10 を除くすべての製品)

UserInterface Branding Updated (SX10 を除くすべての製品)

UserInterface Branding Upload (SX10 を除くすべての製品)

UserInterface Extensions Widget Action (すべての製品)

UserInterface Message TextInput Clear (すべての製品)

UserInterface Message TextInput Display (すべての製品)

UserManagement User Add (すべての製品)

UserManagement User Delete (すべての製品)

UserManagement User Get (すべての製品)

UserManagement User List (すべての製品)

UserManagement User Modify (すべての製品)

Video CEC Input KeyClick (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

Video CEC Output KeyClick (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

削除されたコマンド

UserInterface OSD Key Click (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

UserInterface OSD Key Press (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

UserInterface OSD Key Release (Room Kit, Codec Plus, Room 55)

変更されたコマンド

Audio Microphones Mute (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Microphones ToggleMute (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Microphones Unmute (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Sound Play (すべての製品)

旧: Sound: Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp
 新: Sound: Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp
 旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Sound Stop (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio SoundsAndAlerts Ringtone List (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio SpeakerCheck (MX700/MX800)

旧: ボリューム: 整数 (1 ~ 10)
 新: ボリューム: 整数 (1 ~ 30)

Call Disconnect (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Camera PositionReset (SX80, SX20, SX10, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800, Codec Plus)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Camera PositionSet (DX70/DX80 を除くすべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER
 追加: Lens: Wide / Center / Left / Right

Camera Ramp (DX70/DX80 を除くすべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras PresenterTrack ClearPosition (SX80, MX700/MX800)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras PresenterTrack Set (SX80, MX700/MX800)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras PresenterTrack StorePosition (SX80, MX700/MX800)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start (SX80, MX700/MX800, RoomKit, Codec Plus, Room 55)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop (SX80, MX700/MX800, RoomKit, Codec Plus, Room 55)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition (SX80, MX700/MX800)

削除: Camera
 追加: Cameraiid: 整数 (1 ~ 7)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition (SX80, MX700/MX800)

削除: Camera

追加: Camerald: 整数 (1 ~ 7)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition (SX80, MX700/MX800)

削除: Camera

追加: Camerald: 整数 (1 ~ 7)

Dial (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Peripherals HeartBeat (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, ROOMCONTROL, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

SystemUnit Boot (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

SystemUnit FirstTimeWizard Stop (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

UserInterface Extensions List (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

UserInterface Message Prompt Display (すべての製品)

追加: Duration: 整数 (0 ~ 3600)

Video Input SetMainVideoSource (SX80, SX20, MX200G2/MX300G2, DX70/DX80, MX700/MX800, Room Kit, Codec Plus, Room 55)

追加: Layout: Equal / PIP

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

CE9.2 での xStatus の変更点

新しいステータス

Audio Input Connectors Microphone[n] EcReferenceDelay (*Room Kit*)
Cameras Camera[n] DetectedConnector (*SX80, SX20, SX10, MX700/MX800, Codec Plus*)
Cameras Camera[n] Position Lens (*SX80, MX700/MX800, Codec Plus*)
Cameras SpeakerTrack ActiveConnector (*SX80, MX700/MX800, Room Kit, Codec Plus, Room 55*)
Video Input Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] LogicalAddress (*Room Kit, Codec Plus, Room 55*)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] LogicalAddress (*すべての製品*)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice ScreenSize (*すべての製品*)

削除されたステータス

Video Input Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] PowerControl (*Room Kit, Codec Plus, Room 55*)
Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector (*SX80, MX700/MX800*)
Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector (*SX80, MX700/MX800*)

変更されたステータス

Diagnostics Message[n] Type (*すべての製品*)
値スペースから削除: CamerasDetectedNoIrr / UdpPortRangeViolation
値スペースに追加: CameraDetected / CertificateExpiry / MacrosRuntimeStatus /
MediaPortRangeNegative / MediaPortRangeOdd / MediaPortRangeOverlap /
MediaPortRangeTooSmall / MediaPortRangeValueSpace / MicrophonesConnected
/ SparkActivationRequired / VideoPortRangeNegative / VideoPortRangeOdd /
VideoPortRangeTooSmall / VideoPortRangeValueSpace / UltrasoundConfigSettings

Video Input MainVideoSource (*すべての製品*)
旧: 値スペース: 整数
新: 値スペース: 1 / 2 / 3 / 4 / Composed

CE9.1 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.1 (CE9.1) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.0 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

CMS ベースの会議でのデュアル スクリーン エクスペリエンスとアクティブ コントロール (DX70/DX80, SX10, SX20, MX200/MX300 以外のすべての製品)

デュアル スクリーンのデバイスでは、両方の画面を CMS ベースのミーティングに利用できるようになりました。デバイスは、トランスコードされたビデオ ストリーム 2 システムと CMS からのコンテンツ ストリーム 1 システムを受信し、両方の画面を使用してこれらのストリームをレンダリングします。

アクティブ コントロールを有効にすると、すべてのミーティング参加者と参加者の現在のアクティビティ ステータス (ミュート、共有、アクティブ スピーカーなど) を示す参加者リストを取得できます。レイアウト選択パネルを使用して、タッチ インターフェイスからシームレスにレイアウトを変更できます。

新しいウェイクアップ エクスペリエンス (すべての製品)

SX10/DX70: ハーフ ウェイクのみ

その他の製品: ハーフウェイクおよびスタンバイ、モーション検知付き

新しいウェイクアップ エクスペリエンスでは、ハーフ ウェイク状態が導入されています。この状態は、デバイスを緩やかに起動し、起動方法について、ユーザに対してより良いガイダンスを提供します。

モーション検知ウェイク アップが有効な場合、誰かが室内に入るとデバイスは自動的にハーフ ウェイク状態になります。また、ユーザが Cisco Proximity クライアントとデバイスをペアリングしたときにもこの状態で起動します。(DX70 でも同様です)

Bluetooth ヘッドセットのサポート (DX70, DX80)

Bluetooth ヘッドセットをデバイスで使用できます。ヘッドセットは HFP (Hands Free Protocol) をサポートする必要があります。ユーザ インターフェイスの Bluetooth ペアリング モードで、Bluetooth を有効化してデバイスを設定することができます。

ワイヤレス ネットワーク用の EAP 認証フレームワークのサポート (DX70, DX80, Room Kit)

デバイスは、WPA-PSK と WPA2-PSK に加えて、Wi-Fi 接続用に WPA-EAP 認証フレームワークをサポートするようになりました。全部で次の方式がサポートされています。

- Open
- WPA-PSK (AES)
- WPA2-PSK (AES)
- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- EAP-FAST
- PEAP
- EAP-MSCHAPv2
- EAP-GTC

ルーム分析の追加

(SX10, DX70, DX80 を除く全製品)

室内の人の存在を検知: デバイスは、室内に人がいるかどうかを検出する機能を備えています。この機能には超音波が使用されており、部屋が使用されているかどうかのみを判断し、部屋にいた人物の記録は保持されません。

人数カウント (Room Kit, Codec Plus, Room 55 のみ): 通話中、およびセルフビュー画像の表示中に、デバイスは室内にいる人の数をカウントします。通話時以外でも人数をカウントするようにデバイスを設定できますが、デバイスがスタンバイ状態のときは人数をカウントできません。室内にいた人物の記録を保持することはなく、顔の数だけを検知します。

ネットワーク ポート 2 は無効にできません (DX70, DX80)

ビデオ会議デバイスの 2 番目のネットワーク ポートを介して、コンピュータをネットワークに接続することができます。この場合、デバイスとコンピュータの両方をサポートするためのネットワーク コンセントは 1 つだけが必要です。

セキュリティ上の理由から、公共の環境でデバイスを使用する場合は、このネットワーク ポートを無効にすることをお勧めします。これにより、第三者がデバイスを介してコンピュータをネットワークに接続するのを防ぐことができます。

CE9.1 での xConfiguration の変更点

新しい設定

Cameras Camera Framerate (*Room Kit*)

NetworkPort [2] Mode (*DX70, DX80*)

RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall (*Room Kit*)

RoomAnalytics PeoplePresenceDetector (*MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX20, SX80*)

削除された設定

なし。

変更された設定

Conference DefaultCall Rate (*MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX20, SX80*)

旧: デフォルト値: 3072

新: デフォルト値: 6000

Conference MultiStream Mode (*MX700, MX800, Room Kit, SX80*)

旧: 値スペース: Off, デフォルト値: Off

新: 値スペース: Auto/Off, デフォルト値: Auto

Network [1] IEEE8021X Password (*すべての製品*)

旧: 値スペース: 文字列 (0, 32)

新: 設定可能な値: 文字列 (0, 50)

Peripherals Profile TouchPanels (*SX80, Room Kit*)

旧: デフォルト値: NotSet

新: デフォルト値: Minimum1

Video Input Connector [n] PresentationSelection (*すべての製品*)

旧: 値スペース: AutoShare/Manual/OnConnect (*MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80*)

旧: 値スペース: AutoShare/Desktop/Hidden/Manual/OnConnect (*DX70, DX80*)

新: 値スペース: AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect (*すべての製品*)

Video Output Connector [1..2] MonitorRole (*Room Kit*)

旧: デフォルト値: Connector [1]: First, Connector [2]: Second

新: デフォルト値: Auto

CE9.1 での xCommand の変更点

新しいコマンド

SystemUnit FirstTimeWizard Stop *(すべての製品)*

UserInterface Extensions Set *(すべての製品)*

削除されたコマンド

Camera PositionReset *(Room Kit)*

Camera TriggerAutofocus *(Room Kit)*

変更されたコマンド

Audio Select *(DX70, DX80)*

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

Audio Volume Decrease *(DX70, DX80)*

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

Audio Volume Increase *(DX70, DX80)*

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

Audio Volume Set *(DX70, DX80)*

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

Audio Volume SetToDefault *(DX70, DX80)*

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

ダイヤル *(DX70, DX80)*

旧: CallRate: 整数 (64 ~ 6000)

新: CallRate: 整数 (64 ~ 3072)

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start *(MX700, MX800, Room Kit, SX80)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, USER

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop *(MX700, MX800, Room Kit, SX80)*

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, USER

Presentation Start *(Room Kit)*

旧: ConnectorID: 整数 (0 ~ 65534)

新: ConnectorID: 整数 (1 ~ 2)

旧: PresentationSource: 整数 (0 ~ 65534)

新: PresentationSource: 整数 (1 ~ 2)

Presentation Stop *(Room Kit)*

旧: PresentationSource: 整数 (0 ~ 65534)

新: PresentationSource: 整数 (1 ~ 2)

SystemUnit FactoryReset *(すべての製品)*

旧: Keep: LocalSetup/Network/Spark/Provisioning

新: Keep: LocalSetup/Network/Spark/Provisioning/SerialPort/
Certificates (使用されていません)

CE9.1 での xStatus の変更点

新しいステータス

Audio Output Connectors Line ConnectionStatus *(Room Kit)*
 Audio Output Connectors Line ConnectionStatus *(Room Kit)*
 Audio Devices Bluetooth ActiveProfile *(DX70, DX80)*
 Audio VolumeHeadsetBluetooth *(DX70, DX80)*
 RoomAnalytics PeopleCount Current *(Room Kit)*
 RoomAnalytics PeoplePresence *(SX20, SX80, Room Kit, MX200, MX300, MX700, MX800)*
 SystemUnit Software OptionKeys Encryption *(SX20, Room Kit, DX70, DX80)*
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType *(Room Kit)*
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name *(Room Kit)*
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus *(Room Kit)*
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId *(Room Kit)*

削除されたステータス

Cameras Camera [n] Flip *(Room Kit)*
 Cameras Camera [n] HardwareID *(Room Kit)*
 Cameras Camera [n] MacAddress *(DX70, DX80, Room Kit)*
 Cameras Camera [n] Position Focus *(Room Kit)*
 Cameras Camera [n] SerialNumber *(Room Kit)*
 Cameras Camera [n] SoftwareID *(Room Kit)*
 Video Input Source [n] TmdsClockPresent *(Room Kit)*

変更されたステータス

Diagnostics Message Type *(すべての製品)*

旧: 値スペース : CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / ConfigurationFile / DefaultCallProtocolRegistered / EthernetDuplexMatches / FanStatus / PresenterTrack / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasValidReleaseKey / IpCameraStatus / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack /

ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / LockDown / RoomControl / MediaBlockingDetected / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / NTPStatus / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected / SiplceAndAnatConflict / SIPListenPortAndRegistration / TCPMediaFallback / TemperatureCheck / TLSVerifyRequiredCerts / TouchPanelConnection / ControlSystemConnection / TurnBandwidth / UdpPortRangeViolation / UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera / VideoInputStability / VideoInputSignalQuality / SparkConnectivity / SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection / SpeakerTrackVideoInputs / SpeakerTrackEthernetConnection / ANATOnVCS / ECRreferenceDelay / AudioECRefDelay / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingInterference / AudioPairingTokenDecode / AudioInternalSpeakerDisabled / AbnormalCallTermination / HasActiveCallProtocol / SipOrH323ButNotBothEnabled / PresentationSourceSelection / SoftwareUpgrade / PlatformSanity / ContactInfoMismatch / MicrophoneReinforcement / FirstTimeWizardNotCompleted / CaptivePortalDetected / MonitorDelay
新: 値スペース : CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / CamerasDetectedNolr / ConfigurationFile / DefaultCallProtocolRegistered / EthernetDuplexMatches / FanStatus / PresenterTrack / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasValidReleaseKey / IpCameraStatus / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack / ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / LockDown / RoomControl / MediaBlockingDetected / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / NTPStatus / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected / SiplceAndAnatConflict / SIPListenPortAndRegistration / TCPMediaFallback / TemperatureCheck / TLSVerifyRequiredCerts / TouchPanelConnection / ControlSystemConnection / TurnBandwidth / UdpPortRangeViolation / UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera / VideoInputStability / VideoInputSignalQuality / SparkConnectivity / SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection / SpeakerTrackVideoInputs / SpeakerTrackEthernetConnection / ANATOnVCS / ECRreferenceDelay / AudioECRefDelay / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingInterference / AudioPairingTokenDecode / AudioInternalSpeakerDisabled / AbnormalCallTermination / HasActiveCallProtocol / SipOrH323ButNotBothEnabled / PresentationSourceSelection / SoftwareUpgrade / PlatformSanity / ContactInfoMismatch / MicrophoneReinforcement / FirstTimeWizardNotCompleted / CaptivePortalDetected / MonitorDelay / WifiCARrequired



Standby State (すべての製品)

旧: 値スペース: Standby/EnteringStandby/Off

新: 値スペース: Standby/EnteringStandby/Halfwake/Off

CE9.0 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.0 (CE9.0) の新規および変更されたデバイス設定の概要と、新機能および改善点について、CE8.3と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

ユーザ インターフェイスの更新 (すべての製品)

Touch 10 のユーザ インターフェイス、画面上のユーザ インターフェイス、統合タッチ画面のユーザ インターフェイスが更新されました。ホーム画面上のメイン メニュー項目は、より目立つアクティビティで置き換えられました。

画面上に表示されるメニューに合わせて、一部の設定が Touch 10 の詳細設定メニューから削除されました。

動作検出のウェイク アップ (すべての製品)

モーション検知ウェイク アップは、会議室に誰かが入室したことを感知し、デバイスを自動的に起動します。この機能を有効にするには、次の設定を有効にする必要があります。

`xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection`

この機能が有効なときに、デバイスを手動でスタンバイ状態に設定することはできません。

室内制御エディタの更新 (すべての製品)

室内制御エディタが更新されて外観が新しくなり、ロジックと使い勝手が改善された、より効率的なコントロール インターフェイスになりました。さらに、新しい方向パッド ウィジェットと室内制御シミュレータが追加されています。

言語サポートの追加 (すべての製品)

画面上の表示と Touch コントローラ メニューに、ポルトガル語 (ポルトガル) のサポートが追加されました。

その他の変更点 (すべての製品)

- ・ HTTPS クライアント証明書のサポートが追加されました。
- ・ プレゼンテーション ケーブルを抜くと、すぐにプレゼンテーション共有が停止します。

CE9.0 での xConfiguration の変更点

新しい設定

Cameras SpeakerTrack Closeup (MX700, X800, SX80)

NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion (すべての製品)

NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity (すべての製品)

NetworkServices UPnP Mode (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

削除された設定

Audio Microphones PhantomVoltage (MX200 G2, MX300 G2, SX20)

変更された設定

Cameras Camera [n] * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Cameras SpeakerTrack * (MX700, X800, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Conference MultiStream Mode (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX20, SX80)

旧: 値スペース: Auto/Off

新: 値スペース: Off

UserInterface Language (すべての製品)

新: 値スペースに Portuguese が追加されました。

INTERATOR ユーザ ロールによる xConfigurations

新しいユーザ ロール INTEGRATOR が, CE9.0 で導入されました。これは, 次の設定に追加されています。

Audio DefaultVolume (すべての製品)

Audio Input HDMI [n] * (MX700, X800, SX80)

Audio Input Line [n] * (MX700, MX800, SX20, SX80)

Audio Input Microphone [n] * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

Audio MicrophoneReinforcement * (MX700, MX800, SX80)

Audio Microphones Mute Enabled (すべての製品)

Audio Output HDMI [n] * (SX80)

Audio Output Line [n] * (MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

Audio SoundsAndAlerts * (すべての製品)

Cameras Camera [n] * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

Cameras SpeakerTrack * (MX700, X800, SX80)

Conference DefaultCall Rate (すべての製品)

Conference DoNotDisturb DefaultTimeout (すべての製品)

GPIO Pin [n] Mode (MX700, X800, SX80)

Peripherals Profile * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

SerialPort BaudRate (MX700, MX800, X20, SX80)

SerialPort Mode (すべての製品)

Standby * (DX70, DX80, MX200 G2, MX300 G2, SX10, SX20, SX80)

Standby BootAction (MX700, MX800)

Standby Control (MX700, MX800)

Standby Delay (MX700, MX800)

Standby StandbyAction (MX700, MX800)

Standby WakeupAction (MX700, MX800)

SystemUnit Name (すべての製品)

Time Zone (すべての製品)

UserInterface OSD Output (すべての製品)

Video Input Connector [n] CameraControl Cameramd (すべての製品)

Video Input Connector [n] CameraControl Mode *(すべての製品)*

Video Input Connector [n] InputSourceType *(すべての製品)*

Video Input Connector [n] Name *(すべての製品)*

Video Input Connector [n] PresentationSelection *(すべての製品)*

Video Input Connector [n] Quality *(すべての製品)*

Video Input Connector [n] Visibility *(すべての製品)*

Video Monitors *(すべての製品)*

Video Output Connector [n] CEC Mode *(すべての製品)*

Video Output Connector [n] MonitorRole (MX700, MX800, SX20, SX80)

Video Output Connector [n] Resolution *(すべての製品)*

Video Presentation DefaultPIPPosition *(すべての製品)*

Video Selfview Default * *(すべての製品)*

Video Selfview OnCall * *(すべての製品)*

<path> * は、<path> で始まるすべての設定に変更が適用されることを意味します。

CE9.0 での xCommand の変更点

新しいコマンド

Audio Microphones ToggleMute (すべての製品)
Audio Volume ToggleMute (すべての製品)
Audio Sound Play (すべての製品)
Audio Sound Stop (すべての製品)
Cameras AutoFocus Diagnostics Start (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
Cameras AutoFocus Diagnostics Stop (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
SystemUnit SignInBanner Clear (すべての製品)
SystemUnit SignInBanner Get (すべての製品)
SystemUnit SignInBanner Set (すべての製品)
Video Output Monitor Backlight Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Brightness Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Blue Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Green Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Red Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Select (MX700, MX800)
Video Output Monitor Contrast Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor CSC Select (MX700, MX800)
Video Output Monitor Gamma Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Reset (MX700, MX800)
Video Output Monitor Sharpness Set (MX700, MX800)

変更されたコマンド

SystemUnit FactoryReset (すべての製品)
新: Keep: LocalSetup/Network/Spark/Provisioning

INTERATOR ユーザ ロールのある xCommand

Audio Microphones Mute (すべての製品)
Audio Microphones ToggleMute (すべての製品)
Audio Microphones Unmute (すべての製品)
Audio Sound Play (すべての製品)
Audio SoundsAndAlerts Ringtone List (すべての製品)
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play (すべての製品)
Audio Sound Stop (すべての製品)
Cameras AutoFocus Diagnostics Start (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
Cameras AutoFocus Diagnostics Stop (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
Cameras PresenterTrack ClearPosition (SX80, MX700, MX800)
Cameras PresenterTrack Set (SX80, MX700, MX800)
Cameras PresenterTrack StorePosition (SX80, MX700, MX800)
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start (SX80, MX700, MX800)
Peripherals Connect (すべての製品)
Peripherals List (すべての製品)
Standby Activate (すべての製品)
Standby Deactivate (すべての製品)
SystemUnit Boot (すべての製品)
UserInterface Extensions Clear (すべての製品)
UserInterface Extensions List (すべての製品)
UserInterface Extensions Widget SetValue (すべての製品)
UserInterface Extensions Widget UnsetValue (すべての製品)
UserInterface Message Alert Clear (すべての製品)
UserInterface Message Alert Display (すべての製品)
UserInterface Message Prompt Clear (すべての製品)
UserInterface Message Prompt Display (すべての製品)
UserInterface Message Prompt Response (すべての製品)
UserInterface Message TextLine Clear (すべての製品)



UserInterface Message TextLine Display (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource Add (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource List (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource Remove (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource Select (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource State Set (すべての製品)

UserManagement User Passphrase Change (すべての製品)

Video Input SetMainVideoSource (DX70, DX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX20, SX80)

CE9.0 での xStatus の変更点

新しいステータス

Cameras PresenterTrack Availability (MX700, MX800, SX80)

Cameras PresenterTrack PresenterDetected (MX700, MX800, SX80)

Cameras PresenterTrack Status (MX700, MX800, SX80)

Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name (すべての製品)

Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId (すべての製品)

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type (すべての製品)

旧: CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / ConfigurationFile / DefaultCallProtocolRegistered / EthernetDuplexMatches / FanStatus / PresenterTrack / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasValidReleaseKey / IpCameraStatus / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack / ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / LockDown / RoomControl / MediaBlockingDetected / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / NTPStatus / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / ProvisioningStatus / SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected / SipIccAndAnatConflict / TCPMediaFallback / TemperatureCheck / TLSVerifyRequiredCerts / TouchPanelConnection / ControlSystemConnection / TurnBandwidth / UdpPortRangeViolation / UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera / VideoInputStability / SparkConnectivity / SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection / SpeakerTrackVideoInputs / SpeakerTrackEthernetConnection / ANATOnVCS / ECRreferenceDelay / AudioECRefDelay / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingInterference / AudioPairingTokenDecode / AudioInternalSpeakerDisabled / AbnormalCallTermination / HasActiveCallProtocol / SipOrH323ButNotBothEnabled / PresentationSourceSelection / SoftwareUpgrade / PlatformSanity / ContactInfoMismatch / MicrophoneReinforcement

新: CAPFOperationState, CTLInstallation, CUCMVendorConfigurationFile, CallProtocolDualStackConfig, CallProtocolIPStackPlatformCompatibility, CallProtocolVcsProvisioningCompatibility, Camerald, CameraPairing, CameraSerial, CameraSoftwareVersion, CameraStatus, CamerasDetected, ConfigurationFile, DefaultCallProtocolRegistered, EthernetDuplexMatches, FanStatus, PresenterTrack, H320GatewayStatus, H323GatekeeperStatus, HasValidReleaseKey, IpCameraStatus,

IPv4Assignment, IPv6Assignment, IPv6Mtu, ISDNLinkCompatibility, ISDNLinkIpStack, ITLInstallation, InvalidSIPTransportConfig, LockDown, RoomControl, MediaBlockingDetected, NetLinkStatus, NetSpeedAutoNegotiated, NetworkQuality, NTPStatus, OSDVideoOutput, OutputConnectorLocations, ProvisioningDeveloperOptions, ProvisioningStatus, SIPEncryption, SIPListenPortAndOutboundMode, SIPProfileRegistration, SIPProfileType, SelectedVideoInputSourceConnected, SipIccAndAnatConflict, SIPListenPortAndRegistration, TCPMediaFallback, TemperatureCheck, TLSVerifyRequiredCerts, TouchPanelConnection, ControlSystemConnection, TurnBandwidth, UdpPortRangeViolation, UltrasoundSpeakerAvailability, ValidPasswords, VideoFromInternalCamera, VideoInputStability, VideoInputSignalQuality, SparkConnectivity, SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly, SpeakerTrackMicrophoneConnection, SpeakerTrackVideoInputs, SpeakerTrackEthernetConnection, ANATOnVCS, ECRreferenceDelay, AudioECRefDelay, AudioPairingNoise, AudioPairingRate, AudioPairingSNR, AudioPairingInterference, AudioPairingTokenDecode, AudioInternalSpeakerDisabled, AbnormalCallTermination, HasActiveCallProtocol, SipOrH323ButNotBothEnabled, PresentationSourceSelection, SoftwareUpgrade, PlatformSanity, ContactInfoMismatch, MicrophoneReinforcement, FirstTimeWizardNotCompleted, CaptivePortalDetected, MonitorDelay

INTERATOR ユーザ ロールのある xStatus

Audio Input Connectors Microphone[n] ConnectionStatus (MX200 G2, MX300 G2, SX10, SX20)

Audio Microphones Mute (すべての製品)

Audio Output Connectors Line[n] DelayMs (すべての製品)

Audio Volume (すべての製品)

Call[n] FacilityServiceId (すべての製品)

Call[n] ReceiveCallRate (すべての製品)

Call[n] TransmitCallRate (すべての製品)

Cameras Camera[n] Capabilities Options (すべての製品)

Cameras Camera[n] Connected (すべての製品)

Cameras Camera[n] Flip (MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] MacAddress (DX70, DX80, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] Manufacturer (すべての製品)

Cameras Camera[n] Model (すべての製品)

Cameras Camera[n] Position Focus (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] Position Pan (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)



Cameras Camera[n] Position Tilt (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)
Cameras Camera[n] Position Zoom (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)
Cameras Camera[n] SerialNumber (DX70, DX80, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)
Cameras Camera[n] SoftwareID (すべての製品)
Cameras PresenterTrack Availability (MX700, MX800, SX80)
Cameras PresenterTrack PresenterDetected (MX700, MX800, SX80)
Cameras PresenterTrack Status (MX700, MX800, SX80)
Cameras SpeakerTrack Availability (MX700, MX800, SX80)
Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector (MX700, MX800, SX80)
Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector (MX700, MX800, SX80)
Cameras SpeakerTrack Status (MX700, MX800, SX80)
Conference DoNotDisturb (すべての製品)
Conference Presentation CallId (すべての製品)
Conference Presentation LocalInstance[n] SendingMode (すべての製品)
Conference Presentation LocalInstance[n] Source s (すべての製品)
Conference Presentation Mode (すべての製品)
GPIO Pin[n] State (MX700, MX800, SX80)
Peripherals ConnectedDevice[n] HardwareInfo (すべての製品)
Peripherals ConnectedDevice[n] ID (すべての製品)
Peripherals ConnectedDevice[n] Name (すべての製品)
Peripherals ConnectedDevice[n] SoftwareInfo (すべての製品)
Peripherals ConnectedDevice[n] Status (すべての製品)
Peripherals ConnectedDevice[n] Type (すべての製品)
Peripherals ConnectedDevice[n] UpgradeStatus (すべての製品)
Standby State (すべての製品)
SystemUnit State NumberOfActiveCalls (すべての製品)
SystemUnit State NumberOfInProgressCalls (すべての製品)
Time SystemTime (すべての製品)
UserInterface Extensions Widget[n] Value (すべての製品)

UserInterface Extensions Widget[n] WidgetId (すべての製品)
Video ActiveSpeaker PIPPosition (すべての製品)
Video Input Connector[n] Connected (すべての製品)
Video Input Connector[n] SignalState (すべての製品)
Video Input Connector[n] SourceId (すべての製品)
Video Input Connector[n] Type (すべての製品)
Video Input Source[n] ConnectorId (すべての製品)
Video Input Source[n] FormatStatus (すべての製品)
Video Input Source[n] FormatType (すべての製品)
Video Input Source[n] Resolution Height (すべての製品)
Video Input Source[n] Resolution RefreshRate (すべての製品)
Video Input Source[n] Resolution Width (すべての製品)
Video Output Connector[n] Connected (すべての製品)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] DeviceType (すべての製品)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] Name (すべての製品)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] PowerControl (すべての製品)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] PowerStatus (すべての製品)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] VendorId (すべての製品)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice Name (すべての製品)
Video Output Connector[n] ConnectedDevice PreferredFormat (すべての製品)
Video Selfview FullscreenMode (すべての製品)
Video Selfview Mode (すべての製品)
Video Selfview OnMonitorRole (すべての製品)
Video Selfview PIPPosition (すべての製品)



第 2 章

API について

API の基礎

この章では、デバイス API でサポートされるメカニズムが概説されます。

API へのアクセス方法、コマンド ラインの使用法、および API 各部分の用途を知ることができます。また、デバイス利用可能なフィードバック機能の使用法も記載されています。

API は主に次の 4 つのグループから構成されています。

- コマンド
- 構成
- ステータス
- イベント

これらの 4 つのグループは階層的に構造化されており、関連機能を容易に見つけることができます。次の章で、すべてのコマンド、設定およびステータスの完全な一覧を確認できます。

注: コマンドは、デバイスがサードパーティのシステムと対話する方法に影響を与える可能性がある値を返します。これらはリソースごとに変更され、文書化されていません。

API への接続

デバイス API にアクセスするには、いくつかの方法があります。

- SSH
- Telnet¹
- HTTP/HTTPS
- WebSocket
- シリアル接続²

選択する方法に関係なく、API の構造は同じです。用途に最も適した接続方法を選択してください。すべての製品に対してすべての方法が利用できないことに注意してください。

開始する前に、さまざまな方法についてこの項で確認してください。有効化する前に追加の設定変更が必要になる場合もあります。設定は、パスワードを除き Web インターフェイスの [設定 (Configuration)] メニューまたはコマンド ライン インターフェイスから設定できます。例は、コマンドライン インターフェイス用です。

SSH

SSH は安全な TCP/IP 接続であり、デバイスのデフォルトでは有効になっています。無効にできます。SSH 経由で API にアクセスするには、PuTTY などの SSH クライアントが必要です。

```
xConfiguration NetworkServices SSH Mode: <Off/On>
```

Telnet

Telnet¹ は、TCP/IP 規格におけるシリアル プロトコルと同じものだと見なすことができます。Telnet はデフォルトで無効になっています。Telnet を使用してデバイスに接続する前に、有効にする必要があります。

Telnet サービスを有効にするには、デバイスで次の設定を行います。この設定の変更にはデバイスの再起動は必要ありませんが、有効になるまでに時間がかかる場合があります。

```
xConfiguration NetworkServices Telnet Mode:
<Off/On>
```

HTTP/HTTPS

HTTP/HTTPS はコネクションレス プロトコルなので、永続的接続はありません。HTTP を介して API と通信するには、複数の方法があります。

HTTP および HTTPS サービスを有効や無効にするには、デバイスで次の設定を行います。

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode:<Off,
HTTP+HTTPS, HTTPS>
```

接続中 (Connecting)

API を調べるには、Web ブラウザでデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。これにより Web インターフェイスが開き、メニュー セレクションにある [\[統合 \(Integration\)\]](#) > [\[開発者 API \(Developer API\)\]](#) から API のドキュメントを確認できます。HTTP POST および GET メソッドは、コマンドを実行して、デバイスからフィードバックを取得するために使用されます。これはこのドキュメントの [「HTTP の使用」\(76 ページ\)](#) で説明されています。

WebSocket

WebSocket は、クライアントとデバイスの API 間の全二重通信チャンネルを提供するプロトコルです。API コマンドは、WebSocket を介して送信される前に、JSON-RPC オブジェクトに埋め込まれます。

WebSocket の使用を有効または無効にするには、次のように設定します。WebSocket を使用する前に、WebSocket が HTTP に関連付けられているため、HTTP または HTTPS が有効になっています。

```
xConfiguration NetworkServices WebSocket:
< Off, FollowHTTPService>
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode:<Off,
HTTP+HTTPS, HTTPS>
```

WebSocket を介して JSON-RPC オブジェクトの API コマンドを伝える方法については、[▶ 『WebSocket を介する xAPI』ガイド](#) を参照してください。

¹ Telnet は、DX, MX, SX シリーズでのみ使用できます。

RS-232/ シリアル接続

製品によっては、デバイスには、シリアル通信用に USB または標準的な COM ポートのいずれかがあります。²これは、IP アドレス、DNS、またはネットワークなしで使用できます。シリアル接続は、デフォルトで許可されます。³

```
xConfiguration SerialPort Mode: <Off/On>
```

ボー レートその他のシリアル ポート パラメータ

シリアル ポートは 115200 bps、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビットを使用します。デフォルトのボー レートは 115200 bps に設定されています。

SX20 は例外であり、シリアル ポートは 38400 bps、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビットを使用します。デフォルトのボー レートは 38400 bps に設定されています。

デバイスは多くのフィードバックを提供できます。したがって、この速度以上の接続を維持して停滞を防止することをお勧めします。

MX700、MX800、SX20、SX80、および Room シリーズでは、必要な場合、ボー レートを変更できます。

```
xConfiguration SerialPort BaudRate
```

初期ブート シーケンスで、デバイスは、設定されたボー レートに関係なく、38400 bps のボー レートを使用します。

ログインとパスワード

シリアル接続に、ログインを必須とするかどうかを選択できます。セキュリティ上の理由から、パスワード入力要求はデフォルトでオンになっていますが、オフにすることもできます。

```
xConfiguration SerialPort LoginRequired: <Off/On>
```

イーサネット ポート

メイン ネットワーク ポート - ネットワーク ポート 1 - は常に LAN 接続用に予約されています。⁴ このことは、すべてのデバイスに適用されます。

シスコのデバイスの一部には複数のネットワーク ポートが備わっています。追加のポートは、カメラ、Touch 10 などの周辺機器に使用できます。

このようなネットワークポートに接続されているデバイスはビデオ会議デバイスからローカル IP アドレスを取得するため、企業ネットワークには接続されていません。

- シスコ デバイスには、169.254.1.41 から 169.254.1.240 の範囲 (DHCP) でのダイナミック IP アドレスが割り当てられます。
- シスコ以外のデバイスには、ダイナミック IP アドレス (DHCP) : 169.254.1.30 を割り当てることができます。

注: シスコ以外のデバイスでダイナミック IP アドレスを取得できるのは、一度に 1 つだけです。

- さらに、シスコ以外のデバイスには、169.254.1.241 ~ 169.254.1.254 の範囲の静的 IP アドレスを割り当てることもできます。

この方法は、SSH を使用してデバイスに接続する場合にも使用できます。このケースでは、IP アドレス 169.254.1.1 を使用できます。

パワーオーバーイーサネット (PoE)

次の製品には、PoE を提供する 1 つ以上のイーサネットポートがあります。

- Codec Plus, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70 (Touch コントローラ シンボル  が付いています。)
- Codec Pro, Room 70 G2 (2 ポート: 1 つのポートには Touch コントローラ シンボル  が付いており、もう 1 つのポートは「PoE」と示されています。)

ユーザ ロール

1 つのユーザ アカウントは、1 つのユーザ ロールまたは複数の組み合わせを保持できます。デフォルトの admin ユーザーなどの、フル アクセス権を持つユーザー アカウントは、ADMIN、USER、AUDIT の各役割も持つ必要があります。

これらはユーザ ロールです。

ADMIN: このロールを持つユーザは、新規ユーザの作成、ほとんどの設定の変更、通話、および連絡先リストの検索ができます。このユーザは監査証明書のアップロードもセキュリティ監査設定の変更も行えません。

USER: このロールを持つユーザはコールの発信と連絡先リストの検索が可能です。このユーザは呼び出し音量の調整や時刻と日付の表示形式の変更など、いくつかの設定を変更できます。

AUDIT: このロールを持つユーザは、セキュリティ監査の設定の変更および監査証明書のアップロードが可能です。

ROOMCONTROL: このロールを持つユーザーは、カスタマイズされた UI パネル (室内制御など) を作成できます。このユーザは、UI 拡張エディタおよび対応する開発ツールにアクセスできます。

INTEGRATOR: このロールを持つユーザーは、高度な AV シナリオを設定したり、デバイスをサードパーティの機器と統合したりするために必要な設定、コマンド、およびステータスにアクセスできます。このユーザは、カスタマイズした UI パネルを作成することもできます。

² DX70、DX80、Room 55 Dual、および Room 70 では、シリアル接続を使用できません。

³ Webex Board 55 および 70 で使用できるのは、デフォルトのシリアル接続設定のみです。

⁴ デバイスによっては、ネットワーク ポート 1 に番号 1 とネットワーク シンボル  のいずれか、または両方が付いています。

パスワード

デバイスは完全な資格情報を持つデフォルトのユーザ アカウントに提供されます。ユーザ名は admin です。最初はデフォルト ユーザのパスワードは設定されていません。

デバイス設定へのアクセスを制限するために、admin ユーザにパスワードを設定する必要があります。さらに、同様のクレデンシャルを持つ他のユーザ用のパスワードを設定する必要があります。

パスワードは、デバイスの Web インターフェイスで設定できます。Web ブラウザを開き、アドレス バーにデバイスの IP アドレスを入力してサインインします。右上隅のユーザ名をクリックし、ドロップダウン メニューから [パスワードの変更 (Change passphrase)] を選択します。

API 出力

xPreference は RS-232, Telnet および SSH セッションの優先順位を設定するために使用されます。

出力モードは次のとおりです。

ターミナル: 回線ベースの制御システムで使用する回線ベース出力

XML: XML を理解する制御システムで使用する XML 出力。

JSON: JSON 形式は Web ベースのシステムと統合する際に便利です。

デフォルトの出力モードは **ターミナル** です。これを変更するには、各セッションのプリファレンスを個別に定義する必要があります。このガイドでの例は端末モードです。

出力モードを XML に設定するには、次のコマンドを発行します。

```
xPreferences outputmode xml
```

terminal モードに戻すには、次のコマンドを発行します。

```
xPreferences outputmode terminal
```

例: 端末モードのコマンド

```
xCommand Audio Volume Set Level:50
```

例: XML モードのコマンド

```
<Command>
  <Audio>
    <Volume>
      <Set command="True">
        <Level>50</Level>
      </Set>
    </Volume>
  </Audio>
</Command>
```

コマンドラインの使用

ヘルプ

サポートされているすべてのトップ レベルのコマンドのリストを取得するには、RS-232, Telnet または SSH を使用してデバイスに接続した後、`?` または `help` を入力します (例 1)。

Bye

`bye` コマンドを入力すると、コマンドライン インターフェイスが閉じます。

API コマンド

xConfiguration

コンフィギュレーションは、デバイス名やネットワーク設定などのデバイス設定です。これらはブートしても維持されます。[「設定」 \(70 ページ\)](#) を参照してください。

xCommand

コマンドは、番号をダイヤルする、電話帳を検索するといったアクションの実行をデバイスに指示します。[「コマンド」 \(70 ページ\)](#) を参照してください。

xStatus

ステータスには、接続されたコール、ゲートキーパー登録のステータス、接続された入出力ソースなどのデバイスの現在の状態が含まれます。

[「ステータス」 \(70 ページ\)](#) を参照してください。

xFeedback

`xFeedback` コマンドは、設定およびステータス階層のどの部分を監視するか指定するために使用されます。フィードバックは指定された RS 232, Telnet または SSH セッションでのみ発行されます。複数のセッションでデバイスに接続する場合は、セッションごとに個々のフィードバックを定義する必要があります。[「フィードバックメカニズム」 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

例 1:

?

- ユーザ コマンド -

```

help          xcommand      xconfiguration  xevent          xfeedback
xgetxml       xdocument     xpreferences    xtransaction    xstatus
bye           echo           log              systemtools
[OK]
```

xPreferences

`xPreferences` コマンドは RS-232, Telnet および SSH セッションの優先順位を設定するために使用されます。[「API 出力」 \(67 ページ\)](#) を参照してください。

Echo <on/off>

Echo が On に設定されている場合は、コマンドライン インターフェイスにテキストを入力すると、キー入力の内容が表示されます。

Echo が Off に設定されている場合は、コマンドライン インターフェイスにテキストを入力しても、ユーザ入力は表示されません。

xEvent

`xEvent` コマンドは、フィードバックに使用可能なイベントに関する情報を返します。[「イベント」 \(73 ページ\)](#) を参照してください。

xGetxml

`xGetxml` 要求は、要求にアタッチされるロケーション パラメータに基づいて XML ドキュメントを返します。表現式と一致する要素 (またはドキュメント全体) が返されます。[「フィードバックメカニズム」 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

その他のコマンド

systemtools

`systemtools` コマンドは、管理統制および診断用のコマンドライン ツールのセットです。このコマンドをシスコ テクニカル サポートと併用することで、高度なトラブルシューティングを行うことができます。Systemtools は、プログラミング API の一部ではありません。[「SystemTools コマンド」 \(511 ページ\)](#) を参照してください。

Log

`log` コマンドは、詳細ログを有効にするために使用されます。これはデバイスをデバッグする場合にのみ使用されます。

コマンドライン ショートカット

クライアントでサポートされていれば、使用できる時間節約になるショートカットがいくつかあります。

- コマンドおよび引数を完了するにはタブ補完。
- コマンド履歴内を移動するための↑↓キー。
- <CTRL-a>: 行の先頭にジャンプします。
- <CTRL-e>: 行の最後にジャンプします。
- <CTRL-r>: コマンド履歴をインクリメンタル検索します。
- <CTRL-w>: 現在の行を消去します。

検索

// を使用して、ステータスまたは設定の階層のどこでも要素を検索できます (例 1)。

また、複数の // を組み合わせることもできます (例 2)。

注: 検索のショートカットは API の検査ではうまく機能しますが、アプリケーションでは使用すべきではありません。新しいファームウェア リリースにアップグレードするときは、コマンドの曖昧さを回避するために、完全なパスを常に使用することを推奨します。

例 1:

OUT および HDMI で始まる単語を含むすべての設定をリストします。

```
xconfiguration //out//hdmi
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Mode: On
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Mode: Off
** end
```

例 2:

入力と出力の両方について、接続されたソースすべての解像度 (幅) を取得します。

```
xStatus //vid//res//wid
*s ビデオ入力ソース1の解像度の幅: 1920
*s ビデオ入力ソース2の解像度の幅: 0
*s ビデオ入力ソース3の解像度の幅: 0
*s ビデオ入力ソース4の解像度の幅: 0
*s ビデオ出力コネクタ1解像度幅: 1920
*s ビデオ出力コネクタ2解像度幅: 1280
*s ビデオ出力コネクタ3解像度幅: 1280
** end
```

値のタイプと形式

デバイスは次の値タイプをサポートしています。

- **整数値:** <x..y>
整数入力の有効範囲を定義します。x = 最小値, y = 最大値。
- **リテラル値:** <X/Y/L/Z>
特定の設定で使用可能な値を定義します。
- **文字列値:** <S: x, y>
この設定の有効な入力が、最短 x 文字、最長 y 文字の文字列であることを定義します。文字列には、さらに形式と長さを指定するルールも定義できます。

スペースを含む入力値は、引用符で囲む必要があります。

設定の値と、スペースを含むコマンドは、引用符で囲む必要があります。スペースを含まない値には引用符は不要です。

例:

```
正: xCommand dial number: "my number contains spaces"
正: xCommand dial number: 12345
誤: xCommand dial number: my number contains spaces
```

大文字と小文字の区別

すべてのコマンドは、大文字と小文字を区別しません。次のすべてのコマンドが正常に機能します。

```
XCOMMAND DIAL NUMBER: foo@bar.org
xcommand dial number: foo@bar.org
xCommand Dial Number: foo@bar.org
```

コマンド

コマンドは、番号をダイヤルする、電話帳を検索するといったアクションの実行をデバイスに指示します。すべてのコマンドは、プレフィックス `xCommand` から始まり、その後にコマンド パスが続きます。

コマンド ラインで `xCommand ?` と入力すると、最上位コマンドがすべて一覧表示されます。

コマンドとそのパラメータの全リストを表示するには、コマンド ラインで `xCommand ??` と入力します。

コマンドの引数はキーと値のペアです。

`xCommand` を発行する場合、コマンドは 1 つの引数と 1 つの必須パラメータという構成になります。このドキュメントでは、必須パラメータとオプション パラメータの両方を含む、すべての `xCommand` のコマンドの使用について説明します。オプションパラメータはカッコで囲みます。

例:

```
xCommand Dial Number: 123
```

`xCommand` はコマンド プレフィックスです。実行されるコマンドは Dial です。

この例には、1 つの引数 (Number: 123) が含まれています。Number はキーで、123 はその値です。キーと値のペアは、「:」で区切ります。

構成

コンフィギュレーションは、起動後も維持されるデバイス設定です。コマンドと同様に、設定も階層的に構成されます。

コマンド ラインで `xConfiguration ?` と入力すると、最上位のコンフィギュレーションがすべて一覧表示されます。

`xConfiguration ??` と入力すると、コンフィギュレーションとその設定可能値が一覧表示されます。

`xConfiguration` と入力すると、すべてのコンフィギュレーションとその現在の値がすべて一覧表示されます。一部の設定だけをリストするには、`xConfiguration` の後に、設定パスの 1 つ以上のパスを書き込みます。

例: H323 エイリアス ID を設定します

タイプ:

```
xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID:
"changed@company.com"
```

例: H323 エイリアス ID を取得します

タイプ:

```
xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID
```

結果:

```
*c xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID:
"changed@company.com"

**end
```

ステータス

ステータスには、接続されたコール、ゲートキーパー登録のステータス、接続された入出力ソースなどのデバイスの現在の状態が含まれます。

コマンド ラインで `xStatus ?` と入力すると、すべての最上位のステータスが一覧表示されます。

`xStatus` と入力すると、すべてのステータスとその現在の値が一覧表示されます。

ステータスの一部だけをリストするには、`xstatus` の後に、ステータス パスの該当部分 (address expression) を書き込みます。

```
xStatus <address expression>
```

複数行コマンド

複数行コマンドは、単一行コマンドよりも多くのデータを入力としてサポートするコマンドです。これらのコマンドの一般的な使用法は、室内制御の定義、ブランディング画像 (base64 エンコード)、マクロ、ウェルカム バナー、およびセキュリティ証明書のプロビジョニングを許可することです。

複数行コマンドを発行するには、他の xAPI コマンドと同様に発行を開始します。ただし、コマンドを入力したら、API を入力モードに設定します。このモードでは、その後に API で発行されたものはすべて、そのコマンドへの入力として扱われます (改行を含む)。次に、このコマンドで予想される入力フォーマットに従って、このコマンドへのペイロードを入力します。

入力したら、改行 ("\n") と、ピリオドと改行 (".\n") を含む別の行で、終了します。するとコマンドが実行され、コマンドが正常に実行されたかどうかに応じて、コマンドの結果が OK または ERROR で表示されます。

複数行の入力フォーマットを必要とするコマンドは、このマニュアルのコマンドの説明で、そのように記されています。

複数行コマンドは、このマニュアルの xCommand の概要セクションで、複数行として記されています。

例: ウェルカム バナー テキストを設定する

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set
Hello!
This is the second line of text.
This is the third.
Thank you!
.

OK
*r WelcomeBannerSetResult (status=OK):
** end
```

同期 API 呼び出し

API は非同期で動作します。つまり、コマンドの応答がコマンドの発行順序と同じ順序で戻るとは保証されません。またデバイスには、要求と応答の間のフィードバックを返すことがあります。これは、デバイスの変更により、ステータス変更やイベントの形式で返されます。

アプリケーションによっては、要求を応答と一致させることが重要な場合があります。このため、API は応答のタグ付けのメカニズムをサポートしています。

このメカニズムは、xcommand、xconfiguration、xstatus の、すべてのコマンドタイプで機能します。このメカニズムの一般的な用途は、アプリケーションにコマンドキューを作成し、デバイスに送信されるすべてのコマンドに一意的 ID を割り当てることです。その後、リスナーは、デバイスからのすべてのフィードバックをリッスンし、応答の ID をコマンドキューに対応する ID と照合します。これにより、元の要求と特定の応答を一致させることができます。

例:

```
xcommand Video Layout Add | resultId="mytag_1"
[OK]
*r VideoLayoutAddResult (status=OK):
LayoutId: 1
** resultId: "mytag_1"
** end
```

XML モードでは、属性として resultId がトップレベルの XmlDocument タグに追加されます。

```
xgetxml /Configuration/Video/Layout/Scaling | resultId="mytag_2"
<XmlDoc resultId="mytag_2">
<Configuration item="1">
  <Video item="1">
    <Layout item="1">
      <Scaling item="1" valueSpaceRef="...">Off</Scaling>
    </Layout>
  </Video>
</Configuration>
</XmlDoc>
```

イベント

Event は、フィードバックに使用できるイベントに関する情報を返します。この概要では、API で使用可能なイベントについていくつかの例を示します。

サポートされるイベントの概要を取得するには：

- `xEvent` - 最上位のイベントを一覧表示
- `xEvent <top level category>` - そのカテゴリで使用可能なすべてのイベントを一覧表示
- `xEvent *` - そのコーデックで利用可能なすべてのイベントを一覧表示します。

イベントの結果はデバイスの状態に応じて異なります。

例 1: 発信コールの表示

発信コールの表示は、発信コールがダイヤルされようとしているときに報告されるイベントです。コールが割り当てられている CallId を返します。

```
*e OutgoingCallIndication CallId: x
** end
```

例 2: コールの切断

コールの切断は、通話が切断されたときに報告されるイベントです。接続されたコールの CallId と、コールの切断の理由を返します。

```
*e CallDisconnect CallId: x CauseValue: 0
CauseString: "" CauseType: LocalDisconnect
OrigCallDirection: "outgoing"
** end
```

例 3: コールの成功

コールの成功は、コールが正常に接続されたとき、つまり、すべてのチャンネルが稼働し確立されている場合に報告されるイベントです。

```
*e CallSuccessful CallId: 132 Protocol: "h223"
Direction: "outgoing" CallRate: 768 RemoteURI:
"h223:integratorHQ@company.com" EncryptionIn:
"Off" EncryptionOut: "Off"
** end
```

例 4: FECC アクション リクエスト

FECC アクション リクエストは、相手先が FECC コマンドを送信している場合に報告されるイベントです。

```
*e FeccActionInd Id: 132 Req: 1 Pan: 1 PanRight:
1 Tilt: 0 TiltUp: 0 Zoom: 0 ZoomIn: 0 Focus: 0
FocusIn: 0 Timeout: 300 VideoSrc: 0 m: 0
** end
```

例 5: TString メッセージの受信

TString メッセージの受信は、相手先が TString メッセージを送信した場合に報告されるイベントです。

```
*e TString CallId: 132 Message: "ee"
** end
```

例 6: SString メッセージの受信

SString メッセージの受信は、相手先が SString メッセージを送信した場合に報告されるイベントです。

```
*e SString String: "ee" Id: 132
** end
```

フィードバックのメカニズム

同期されたアプリケーションとデバイス間の状態を確実に維持できるソリューションを構築するには、デバイスの状態の変更を報告する通知システムを設定します。

API は次の通知をサポートしています。

- コンフィギュレーションの変更
- ステータスの変更
- イベント通知

これらの通知は、明示的にデバイスに送信するように指示しない限り、送信されません。フィードバック式を登録することによって、フィードバックをサブスクライブできます。フィードバック式を登録する方法は、使用している接続方式に応じて異なります。

HTTP を使用する場合は、フィードバックの処理方法がこの項の説明と若干異なります。詳細については、「[HTTP 経由のデバイスからのフィードバック](#)」(78 ページ)を参照してください。

警告: デバイスから非常に大量のフィードバックが返されることがあります (特に、コールが接続後に切断された場合)。必要なフィードバックのみをサブスクライブしてください。

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスのフィードバックを取得するように登録しないでください。これにより、制御アプリケーションに処理するには多すぎるデータが提供され、応答が遅くなったり予期しない動作が起こる可能性があります。

フィードバック表現

フィードバックの登録に使用される表現は、XPath 言語の派生言語です。XML/JSON ドキュメントからノードを選択する方法を XPath 言語で記述します。CE ソフトウェアには、3 つの主要なフィードバック ドキュメントが含まれています。

ドキュメント	API コマンド	パス
ステータス	xStatus	/ステータス
設定	xConfiguration	/設定
イベント	xEvent	/イベント

フィードバックの登録に使用する構文は次のとおりです。
xFeedback register <path>

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスのフィードバックを取得するように登録しないでください。

コンフィギュレーションの変更は頻繁には生じない可能性が高いので、xFeedback register /Configuration を使用して、すべてのコンフィギュレーションの変更を取得するように登録するほうが安全です。

いくつかの例を検討することにより、フィードバック表現を構築する際にこの情報を活用する方法を理解できます。表現式を検証する簡単な方法は、ブラウザで <http://<ip-address>/getxml?location=path> を指定するか、端末から xgetxml <path> を実行して、その出力がフィードバックを必要とするノードと一致するかどうかを確認することです。

例 1: マイクのミュート状態

端末での照会

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Status/Audio/Microphones/Mute
```

例 2: すべてのビデオ入力コネクタの名前

端末での照会

```
xConfiguration Video Input Connector Name
*c xConfiguration Video Input Connector 1 Name:
"NameA"
*c xConfiguration Video Input Connector 2 Name:
"NameB"
*c xConfiguration Video Input Connector 3 Name:
"NameC"
*c xConfiguration Video Input Connector 4 Name:
"NameD"
*c xConfiguration Video Input Connector 5 Name:
"NameE"
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Configuration/Video/Input/
Connector/Name
```

例 3: ビデオ入力コネクタ 3 の名前

端末での照会

```
xConfiguration Video Input Connector 3 Name
*c xConfiguration Video Input Connector 3 Name:
"NameC"
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Configuration/Video/Input/
Connector[@item='3']/Name
```

ターミナル接続

フィードバックのサブスクリプションの管理

フィードバック表現を登録、一覧表示、および登録解除するには、コマンド xFeedback とその対応するサブ コマンドを使用します。

登録された表現は、現在のアクティブな接続に対してのみ有効です。2 つの Telnet セッションを開き、1 つのセッションでフィードバックを取得するために登録した場合、もう 1 つのセッションではフィードバックを受信しません。これは、セッションから切断した場合、再接続後にすべての表現を再度登録する必要があることも意味します。

最大 38 個の表現を登録できます。

フィードバック出力

フィードバックの出力は、xConfiguration および xStatus コマンドを使用してデバイスに問い合わせを行ったときに取得するものと全く同じものです。たとえば、コマンド ラインで xStatus Standby Active コマンドを発行した場合、結果は次のようになります。

```
*s Standby Active: On
** end
```

ステータスの変更に関するフィードバックについて登録した場合、デバイスがスタンバイ モードに移行したときに取得するフィードバックも全く同じになります。

```
*s Standby Active: On
** end
```

これは、デバイスに対してプログラミングを行う場合、1 つの形式を処理するだけでよいことを意味します。

例:フィードバックのサブスクリプションの管理

A:フィードバック表現式の登録

入力: xFeedback register /Status/Audio

結果: ** end

OK

入力: xFeedback register /Event/CallDisconnect

結果: ** end

OK

入力: xFeedback register /Configuration/Video/MainVideoSource

結果: ** end

OK

B:現在登録されている表現式の一覧表示

入力: xFeedback list

結果: /Configuration/Video/MainVideoSource

/Event/CallDisconnect

/Status/Audio

** end

OK

C:フィードバック表現式の登録解除

入力: xFeedback deregister /Event/CallDisconnect

結果: ** end

OK

入力: xFeedback deregister /Status/Audio

結果: ** end

OK

D:新しいフィードバック表現式の一覧表示。

入力: xFeedback list

結果: /Configuration/Video/MainVideoSource

** end

OK

HTTP の使用

デバイスは、HTTP および HTTPS 経由のコマンドおよびコンフィギュレーションの送信をサポートしています。この方法で設定とステータスを取得することもできます。このインターフェイスは、コマンドラインと同じ API を公開しますが、形式は XML です。

HTTP XMLAPI 認証

XMLAPI へのアクセスでは、ユーザは HTTP 基本アクセス認証を使い、「ADMIN」ロールを持つユーザとして認証される必要があります。認証されていない要求により、基本アクセス認証チャレンジを含む 401 HTTP 応答が返されます。HTTP 基本アクセス認証を使う方法は、使用している HTTP ライブラリやツールによって異なります。

アプリケーションが API を介して複数のコマンドを発行する場合は、セッション認証を使用することを強くお勧めします（下記参照）。標準の基本認証は、要求ごとに完全な再認証を行うため、アプリケーションのパフォーマンスに影響する場合があります。

HTTP XMLAPI セッション認証

API 要求のたびにユーザ名とパスワードの組み合わせを使って認証を行うと、場合によっては大きな遅延が発生することがあります。これを緩和するため、API はセッションベースの認証メカニズムをサポートしています。

セッションを開くには、基本アクセス認証を使用して <http://<ip-address>/xmlapi/session/begin> への POST を発行します。応答により、SessionId の Cookie が設定され、これを後続の要求で使用できます。

API セッション認証を使用する場合、使用後に明示的にセッションを閉じることが重要です。利用できる同時セッションの数は限られており、セッションは自動的にタイムアウトしないため、明示的にセッションを閉じない場合、デバイスで利用できるセッションの数がなくなる場合があります。

URL チート シート

次の表には、HTTP を介して API にアクセスする際に使用される主な URL が含まれています。

方法	URL	説明
GET	http://<ip-address>/status.xml	完全なステータス ドキュメント
GET	http://<ip-address>/configuration.xml	完全なコンフィギュレーション ドキュメント
GET	http://<ip-address>/command.xml	完全なコマンド ドキュメント
GET	http://<ip-address>/valuespace.xml	完全な値スペース ドキュメント
GET	http://<ip-address>/getxml?location=<path>	パスに基づいてドキュメントを取得
POST	http://<ip-address>/putxml	HTTP 本文の設定とコマンド

例: HTTP XMLAPI セッションの開始

要求:

```
POST /xmlapi/session/begin HTTP/1.1
Authorization: Basic <Base64 encoded authentication string>
```

応答:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54; Path=/; HttpOnly
```

このセッションは、デバイスの同時セッションの制限数の対象としてカウントされます。

セッションが開かれると、後続の要求に SessionId の Cookie が提供されます。これは、ツール/ライブラリによっては、自動的に行われます。

例: HTTP XMLAPI セッションを使用する

要求:

```
GET /configuration.xml HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

応答:

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx/1.8.0
Content-Type: text/xml; charset=UTF-8
Content-Length: 43549
Connection: keep-alive
<?xml version="1.0"?>
<Configuration product="Cisco Codec"
version="ce8.2.0" apiVersion="4"> ...
</Configuration>
```

使用後にセッションを閉じるには、提供された Cookie を使って、<http://<ip-address>/xmlapi/session/end> に POST を発行します。

例: HTTP XMLAPI セッションを閉じる

要求:

```
POST /xmlapi/session/end HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

応答:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=; Max-Age=0; Path=/; HttpOnly
```

ステータスと設定の取得

例 1: デバイスのすべてのステータス エントリを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status
```

例 2: デバイスのオーディオ ステータスのみを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status/Audio
```

例 3: デバイスのすべてのコンフィギュレーションを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Configuration
```

例 4: デバイスのすべてのビデオ コンフィギュレーションを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/
Configuration/Video
```

コマンドとコンフィギュレーションの送信

HTTP POST の使用

コンフィギュレーションやコマンドをデバイスに送信する場合は、HTTP ヘッダーの Content-Type が text/xml ([Content-Type: text/xml](#)) に設定されていることが重要です。POST の本文には XML コンテンツを含める必要があります。

例 1: デバイス名の変更

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type:text/xml
```

```
<Configuration>
  <SystemUnit>
    <Name>newName</Name>
  </SystemUnit>
</Configuration>
```

例 2: カメラ位置の設定

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type:text/xml
```

```
<Command>
  <Camera>
    <PositionSet command="True">
      <CameraId>1</CameraId>
      <Pan>200</Pan>
      <Tilt>200</Tilt>
    </PositionSet>
  </Camera>
</Command>
```

応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type:text/xml
Content-Length: 91
```

```
<?xml version="1.0"?>
<Command>
<CameraPositionSetResult item="1" status="OK"/>
</Command>
```

HTTP を介したデバイスからのフィードバック

API の状態の変更 (ステータス, イベント, コンフィギュレーションの更新) についての http フィードバック メッセージ (WebHook と呼ばれます) を, デバイスが投稿するように設定できます。HTTP Post フィードバック メッセージは, 指定された ServerURL に送信されます。イベントを XML または JSON のいずれの形式で送信するかを選択できます。最大 15 個のフィードバック表現を登録して, API の複数の部分の変更を登録できます。

フィードバックの登録

登録用のコマンドは xCommand HttpFeedback Register です。このコマンドの構文とその引数についてはこの項で説明します。

HttpFeedback Register 構文:

```
xCommand HttpFeedback Register
FeedbackSlot:<1..4>
ServerUrl(r):<S: 1, 2048>
Format: <XML/JSON>
Expression: <S: 1, 255>
```

HttpFeedback Register の引数:

FeedbackSlot: デバイスでは, HTTP フィードバックを要求する最大 4 スロットのサーバを登録できます。それらの 1 つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS) は表現式の登録に FeedbackSlot 3 を使用するので, TMS を使用している環境では FeedbackSlot 3 の使用を避けてください。

ServerUrl: デバイスで HTTP フィードバック メッセージの送信先となる HTTP サーバの URL。

Format: HTTP サーバからのフィードバックのフォーマットを XML または JSON に設定します。

表現 1 ~ 15: ステータス, コンフィギュレーション, またはイベント XML ドキュメントのどの部分をモニタするかを XPath 式で指定します。1 ~ 15 の XPath 式を指定できます。

フィードバックを受信する表現を登録します。表現式の形式の詳細については, [「フィードバック メカニズム」\(74 ページ\)](#) の項を参照してください。

例: コンフィギュレーションの変更, イベントの切断, コール ステータスの変更に関するフィードバックを登録します。

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type:text/xml

<Command>
  <HttpFeedback>
    <Register command="True">
      <FeedbackSlot>1</FeedbackSlot>
      <ServerUrl>http://127.0.0.1/
        myhttppostsripturl</ServerUrl>
      <Format>XML</Format>
      <Expression item="1">/Configuration</
        Expression>
      <Expression item="2">/Event/
        CallDisconnect</Expression>
      <Expression item="3">/Status/Call</
        Expression>
    </Register>
  </HttpFeedback>
</Command>
```

フィードバック出力

デバイスが登録済み HTTP サーバに変更について通知する場合, 本文にはポーリング時と同じ XML が含まれています。しかし, 1 つのわずかな違いがあります。ルート ノードには, 通知の発信元となるデバイスを指定する子を含む **識別** ノードが含まれます。これは, 1 つの HTTP サーバ URI を使って複数のデバイスを処理できることを意味します。

例: 音量の変更

```
<Configuration xmlns="http://www.company.com/XML/
  CUIL/2.0">
  <Identification>
    <SystemName>My Device Name</SystemName>
    <MACAddress>00:00:de:ad:be:ef</MACAddress>
    <IPAddress>192.168.1.100</IPAddress>
    <ProductType>Cisco Codec</ProductType>
    <ProductID>Cisco Codec SX80</ProductID>
    <SWVersion>CE8.3.0.199465</SWVersion>
    <HWBoard>101401-5 [08]</HWBoard>
    <SerialNumber>PH0000000</SerialNumber>
  </Identification>
  <Audio item="1">
    <Volume item="1">60</Volume>
  </Audio>
</Configuration>
```

端末モードから XML への変換

コマンドの変換

XML コマンドは端末コマンドと同じ構造を保持しますが、階層の説明に親子関係を使用します。この構造は以下の例で確認できます。

例 1: コールを設定する

Terminal

```
xCommand Dial Number: "12345" Protocol: H323
```

XML

```
<Command>
  <Dial command="True">
    <Number>12345</Number>
    <Protocol>H323</Protocol>
  </Dial>
</Command>
```

例 2: ボリューム レベルの割り当て

Terminal

```
xCommand Audio Volume Set Level:50
```

XML

```
<Command>
  <Audio>
    <Volume>
      <Set command="True">
        <Level>50</Level>
      </Set>
    </Volume>
  </Audio>
</Command>
```

コンフィギュレーションの変換

xConfiguration から XML への変換はコマンドと同様ですが、アレイにインデックスを指定するための特別な属性項目 = "NN" が追加されます。

例: ビデオ入力コネクタ 2 への入力ソース タイプの設定

Terminal

```
xConfiguration Video Input Connector 2
InputSourceType: camera
```

XML

```
<Configuration>
  <Video>
    <Input>
      <Connector item="2">
        <InputSourceType>camera</
InputSourceType>
      </Connector>
    </Input>
  </Video>
</Configuration>
```

推奨事項と禁止事項

ここでは、Cisco DX, MX, SX, および Room シリーズと Webex Board API をプログラミングする際のベスト プラクティスについて説明します。

リモコン コントロール エミュレーションを回避する

xCommand UserInterface OSD Key Click コマンドおよび xCommand UserInterface OSD Key Press コマンドは、使用しないことを強くお勧めします。これらのコマンドを API で使用することは可能ですが、ダイレクト コマンドを使用することをお勧めします。ダイレクト コマンドを使用すると、統合環境で下位互換性を確保できるからです。オンスクリーン ディスプレイではなく、デバイスに対してプログラムしてください。

完全なコマンドを使用する

プログラミングする際は必ず完全なコマンドを使用しなければなりません。つまり、xconf vid ではなく、xConfiguration Video を使用する必要があります。ショートカットは、コマンド ライン上の API の検索に使用できますが、プログラミングには使用できません。これは、追加のコマンドが API に追加されると、あいまいなコードが生じる可能性があるためです。

不要なフィードバックに登録しない

あまりに多くのフィードバックを登録すると、制御アプリケーションで輻輳が発生する可能性があります。フィードバックの量は現在のバージョンでは問題ありませんが、フィードバックの量が今後のリリースで増加する可能性があります。

第 3 章

xConfiguration コマンド

xConfiguration コマンドの説明

この章では、xConfiguration コマンドの完全なリストを確認できます。

マニュアルの更新バージョンがないか、定期的に Web サイトにアクセスすることを推奨します。

移動先: ▶ <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

音声の設定	88	xConfiguration Audio KeyClickDetector Enabled	100
xConfiguration Audio DefaultVolume	88	xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled	100
xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode	88	xConfiguration Audio Microphones PhantomPower	101
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level	89	xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode	101
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode	89	xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode	102
xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	90	xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Gain	102
xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer ID	90	xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay DelayMs	102
xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer Mode	90	xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Mode	103
xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	91	xConfiguration Audio Output ARC [n] Mode	103
xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource	91	xConfiguration Audio Output ConnectorSetup	104
xConfiguration Audio Input Line [n] Channel	92	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs	105
xConfiguration Audio Input Line [n] Level	92	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode	105
xConfiguration Audio Input Line [n] Mode	93	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level	106
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Channel	93	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode	106
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode	94	xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode	107
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation	94	xConfiguration Audio Output Line [n] Channel	107
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction	95	xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs	108
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID	95	xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode	108
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode	95	xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID	109
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level	96	xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode	109
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode	96	xConfiguration Audio Output Line [n] Level	109
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Type	97	xConfiguration Audio Output Line [n] Mode	110
xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower	97	xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType	110
xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	98	xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone	111
xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource	98	xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume	111
xConfiguration Audio Input MicrophoneMode	99	xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume	111
xConfiguration Audio KeyClickDetector Attenuate	99		



BYOD の設定	112	xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout	125
xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled	112	xConfiguration Conference Encryption Mode	125
CallHistory の設定	112	xConfiguration Conference FarEndControl Mode	126
xConfiguration CallHistory Mode	112	xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability	126
Cameras の設定	113	xConfiguration Conference FarEndMessage Mode	126
xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber	113	xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate	127
xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode	113	xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate	127
xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode	114	xConfiguration Conference MaxTotalReceiveCallRate	128
xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel	114	xConfiguration Conference MaxTotalTransmitCallRate	128
xConfiguration Cameras Camera [n] Flip	115	xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode	129
xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode	115	xConfiguration Conference Multipoint Mode	129
xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode	116	xConfiguration Conference MultiStream Mode	130
xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level	116	FacilityService の設定	130
xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror	117	xConfiguration FacilityService Service [n] Type	130
xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode	117	xConfiguration FacilityService Service [n] Name	131
xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level	118	xConfiguration FacilityService Service [n] Number	131
xConfiguration Cameras Camera Framerate	118	xConfiguration FacilityService Service [n] CallType	132
xConfiguration Cameras Preset TriggerAutofocus	119	GPIO の設定	132
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode	119	xConfiguration GPIO Pin [n] Mode	132
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup	120	H323 の設定	133
xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode	120	xConfiguration H323 Authentication Mode	133
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode	121	xConfiguration H323 Authentication LoginName	134
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft	121	xConfiguration H323 Authentication Password	134
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight	122	xConfiguration H323 CallSetup Mode	135
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode	122	xConfiguration H323 Encryption KeySize	135
Conference の設定	123	xConfiguration H323 Gatekeeper Address	135
xConfiguration Conference AutoAnswer Mode	123	xConfiguration H323 H323Alias E164	136
xConfiguration Conference AutoAnswer Mute	123	xConfiguration H323 H323Alias ID	136
xConfiguration Conference AutoAnswer Delay	123	xConfiguration H323 NAT Mode	136
xConfiguration Conference DefaultCall Protocol	124	xConfiguration H323 NAT Address	137
xConfiguration Conference DefaultCall Rate	124		



HttpClient の設定	137	xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment	149
xConfiguration HttpClient Mode	137	xConfiguration Network [n] IPv4 Address	150
xConfiguration HttpClient AllowHTTP	138	xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway	150
xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS	138	xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask	150
HttpFeedback の設定	139	xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment	151
xConfiguration HttpFeedback TlsVerify	139	xConfiguration Network [n] IPv6 Address	151
ロギングの設定	139	xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway	151
xConfiguration Logging External Mode	139	xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions	152
xConfiguration Logging External Protocol	140	xConfiguration Network [n] MTU	153
xConfiguration Logging External Server Address	140	xConfiguration Network [n] QoS Mode	152
xConfiguration Logging External Server Port	140	xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio	153
xConfiguration Logging External TlsVerify	141	xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video	153
xConfiguration Logging Internal Mode	141	xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data	154
Macros の設定	142	xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling	154
xConfiguration Macros Mode	142	xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6	155
xConfiguration Macros AutoStart	142	xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP	155
ネットワークの設定	143	xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow	156
xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode	143	xConfiguration Network [n] Speed	156
xConfiguration Network [n] DNS Domain Name	143	xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode	157
xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address	144	xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId	157
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode	144	NetworkPort の設定	158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify	145	xConfiguration NetworkPort [n] Mode	158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate	145	NetworkServices の設定	158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity	146	xConfiguration NetworkServices CDP Mode	158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password	146	xConfiguration NetworkServices H323 Mode	158
xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity	146	xConfiguration NetworkServices HTTP Mode	159
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5	147	xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName	159
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls	147	xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password	159
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls	148	xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode	160
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap	148	xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url	160
xConfiguration Network [n] IPStack	149	xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl	160
		xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion	161
		xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity	161



xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate.....	161	Phonebook の設定	173
xConfiguration NetworkServices NTP Mode	162	xConfiguration Phonebook Server [n] ID	173
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address	162	xConfiguration Phonebook Server [n] Pagination	173
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Key	163	xConfiguration Phonebook Server [n] TlsVerify	174
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyId	163	xConfiguration Phonebook Server [n] Type	174
xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithn	164	xConfiguration Phonebook Server [n] URL	175
xConfiguration NetworkServices SIP Mode	164	Provisioning の設定	175
xConfiguration NetworkServices SMTP Mode	164	xConfiguration Provisioning Connectivity	175
xConfiguration NetworkServices SMTP Server	164	xConfiguration Provisioning ExternalManager Address	176
xConfiguration NetworkServices SMTP Port	165	xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress	176
xConfiguration NetworkServices SMTP Username	165	xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol	176
xConfiguration NetworkServices SMTP Password	165	xConfiguration Provisioning ExternalManager Path	177
xConfiguration NetworkServices SMTP From	165	xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain	177
xConfiguration NetworkServices SMTP Security	166	xConfiguration Provisioning Mode	177
xConfiguration NetworkServices SNMP Mode	166	xConfiguration Provisioning LoginName	178
xConfiguration NetworkServices SNMP Host [n] Address	167	xConfiguration Provisioning Password	178
xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName	167	xConfiguration Provisioning TlsVerify	178
xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact	167	Proximity の設定	179
xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation	168	xConfiguration Proximity Mode	179
xConfiguration NetworkServices SSH Mode	168	xConfiguration Proximity Services CallControl	179
xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm	168	xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients	179
xConfiguration NetworkServices Telnet Mode	168	xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients	180
xConfiguration NetworkServices UPnP Mode	169	RoomAnalytics の設定	180
xConfiguration NetworkServices Websocket	169	xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode	180
xConfiguration NetworkServices WelcomeText	170	xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall	181
xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed	170	xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector	181
Peripherals の設定	171	セキュリティ設定	182
xConfiguration Peripherals InputDevice Mode	171	xConfiguration Security Audit Logging Mode	182
xConfiguration Peripherals Profile Cameras	171	xConfiguration Security Audit OnError Action	182
xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems	172	xConfiguration Security Audit Server Address	182
xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels	172		



xConfiguration Security Audit Server Port	183	xConfiguration Standby Signage InteractionMode	192
xConfiguration Security Audit Server PortAssignment	183	xConfiguration Standby Signage Mode	192
xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime	183	xConfiguration Standby Signage RefreshInterval	193
xConfiguration Security Session InactivityTimeout	184	xConfiguration Standby Signage Url	193
xConfiguration Security Session MaxFailedLogins	184	xConfiguration Standby StandbyAction	193
xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser	184	xConfiguration Standby WakeupAction	193
xConfiguration Security Session MaxTotalSessions	184	xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection	194
xConfiguration Security Session ShowLastLogon	185	xConfiguration Standby PowerSave	194
SerialPort の設定	185	SystemUnit の設定	195
xConfiguration SerialPort Mode	185	xConfiguration SystemUnit Name	195
xConfiguration SerialPort BaudRate	186	xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode	195
xConfiguration SerialPort LoginRequired	186	xConfiguration SystemUnit CrashReporting Url	195
SIP の設定	187	Time の設定	196
xConfiguration SIP ANAT	187	xConfiguration Time TimeFormat	196
xConfiguration SIP Authentication UserName	187	xConfiguration Time DateFormat	196
xConfiguration SIP Authentication Password	187	xConfiguration Time Zone	196
xConfiguration SIP DefaultTransport	187	xConfiguration Time WorkDay Start	198
xConfiguration SIP DisplayName	188	xConfiguration Time WorkDay End	198
xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate	188	xConfiguration Time WorkWeek FirstDayOfWeek	198
xConfiguration SIP Ice Mode	188	xConfiguration Time WorkWeek LastDayOfWeek	198
xConfiguration SIP ListenPort	189	UserInterface の設定	199
xConfiguration SIP MinimumTLSVersion	189	xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification	199
xConfiguration SIP Proxy [n] Address	189	xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors	199
xConfiguration SIP Turn Server	190	xConfiguration UserInterface ContactInfo Type	200
xConfiguration SIP Turn UserName	190	xConfiguration UserInterface CustomMessage	200
xConfiguration SIP Turn Password	190	xConfiguration UserInterface KeyTones Mode	200
xConfiguration SIP URI	190	xConfiguration UserInterface Features Call End	201
Standby の設定	191	xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls	201
xConfiguration Standby BootAction	191	xConfiguration UserInterface Features Call Start	201
xConfiguration Standby Control	191	xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute	201
xConfiguration Standby Delay	191	xConfiguration UserInterface Features HideAll	202
xConfiguration Standby Signage Audio	192	xConfiguration UserInterface Features Share Start	202



xConfiguration UserInterface Features Whiteboard Start	202	xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection	215
xConfiguration UserInterface Language	202	xConfiguration Video Input Connector [n] Quality	216
xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator	203	xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility	217
xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage	203	xConfiguration Video Monitors	218
xConfiguration UserInterface OSD Output	204	xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode	219
xConfiguration UserInterface Phonebook Mode	204	xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole	220
xConfiguration UserInterface Security Mode	205	xConfiguration Video Output Connector [n] OverscanLevel	220
xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode	205	xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution	221
xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility	206	xConfiguration Video Presentation DefaultSource	222
xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode	206	xConfiguration Video Presentation Priority	222
xConfiguration UserInterface UsbPromotion	206	xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode	223
xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode	207	xConfiguration Video Selfview Default Mode	223
UserManagement の設定	207	xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole	224
xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter	207	xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition	224
xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group	208	xConfiguration Video Selfview Mirrored	225
xConfiguration UserManagement LDAP Attribute	208	xConfiguration Video Selfview OnCall Mode	225
xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN	208	xConfiguration Video Selfview OnCall Duration	225
xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN	208	WebEngine の設定	226
xConfiguration UserManagement LDAP Encryption	208	xConfiguration WebEngine Mode	226
xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion	209	xConfiguration WebEngine RemoteDebugging	226
xConfiguration UserManagement LDAP Mode	209		
xConfiguration UserManagement LDAP Server Address	210		
xConfiguration UserManagement LDAP Server Port	210		
xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate	210		
Video の設定	211		
xConfiguration Video DefaultMainSource	211		
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Camerald	211		
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode	212		
xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode	212		
xConfiguration Video Input Connector [n] DviType	213		
xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode	213		
xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType	214		
xConfiguration Video Input Connector [n] Name	214		
xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution	215		

音声の設定

xConfiguration Audio DefaultVolume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

スピーカーのデフォルト音量を定義します。ビデオ会議デバイスのスイッチをオンにするか再起動すると、音量がこの値に設定されます。実行中に音量を変更するには、ユーザ インターフェイスのコントロールを使用します。また、API コマンド (xCommand Audio Volume) を使用して、デバイスの稼働中に音量を変更したり、デフォルト値にリセットしたりすることもできます。

使用方法:

xConfiguration Audio DefaultVolume: DefaultVolume

説明:

DefaultVolume:

整数 (0 ~ 100)

範囲: 1 ~ 100 の値を選択します。これは、-34.5 dB ~ 15 dB の範囲内の 0.5 dB 単位に相当します。0 に設定すると、音声が入ります。

デフォルト値:

50 [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

70 [Board]

xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode

適用対象: *CodecPlus CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

各 HDMI 出力には、関連付けられた音声リターンチャンネル (ARC) があります。この ARC を使用して、HDMI 出力に接続されている画面またはテレビからビデオ会議デバイスに音声を送信することができます。音声転送を許可するかどうかによって、各 HDMI 出力コネクタ (n) を個別に決定することができます。

USAGE:

xConfiguration Audio Input ARC [n] Mode: Mode

値は次のとおりです。

n: ARC 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 1 [CodecPro]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPro]

範囲: 3 ~ 3 (Room 70 Dual G2) , 2 ~ 3 (Room 70 Single G2) [Room70G2]

Mode:

Off/On

Off: HDMI 出力 n の ARC チャンネルを無効にします (音声はビデオ会議デバイスに送信されません)。

On: HDMI 出力 n の ARC チャンネルを有効にします (音声はビデオ会議デバイスに送信されます)。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level: Level

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3 [SX80]

範囲: 2 ~ 3 シングル カメラ デバイス用, 3 ~ 3 デュアル カメラ デバイス用
[MX700/MX800/MX800D]

範囲: 2 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 5 [CodecPro]

範囲: 1 ~ 1 [Room Kit RoomKitMini]

範囲: 1 ~ 2 [Room55]

範囲: 2 ~ 5 [Room70G2]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタの音声を有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode: Mode

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3 [SX80]

範囲: 2 ~ 3 シングル カメラ デバイス用, 3 ~ 3 デュアル カメラ デバイス用
[MX700/MX800/MX800D]

範囲: 2 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 5 [CodecPro]

範囲: 1 ~ 1 [Room Kit RoomKitMini]

範囲: 1 ~ 2 [Room55]

範囲: 2 ~ 5 [Room70G2]

Mode:

Off/On

Off: HDMI 入力 で音声を無効にします。

On: HDMI 入力 で音声を有効にします。

デフォルト値:

On [MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

HDMI [1 ~ 2]: Off HDMI [3]: On [SX80]

xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定を使用して、このプレゼンテーション ソースが現在画面上に表示されていない場合、またはプレゼンテーション ソースが接続されている間常に音声を再生する場合音声再生を停止するかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:
MuteOnInactiveVideo

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3 [*SX80*]

範囲: 2 ~ 3 シングル カメラ デバイス用, 3 ~ 3 デュアル カメラ デバイス用
[*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 2 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro*]

範囲: 1 ~ 2 [*Room55*]

範囲: 2 ~ 5 [*Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*Room Kit RoomKitMini*]

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: 音声は、プレゼンテーション ソースが接続されている間、ローカルおよび相手先に対して常に再生されます。HDMI 入力ソースを指定する必要はありません。

On: 音声は、接続されているプレゼンテーション ソースが画面上に表示されている間、ローカルおよび相手先に対して再生されます。

デフォルト値:

On [*SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

HDMI [1,2]: Off HDMI [3,4,5]: On [*CodecPro*]

HDMI [2]: Off HDMI [3, 4, 5]: On [*Room70G2*]

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer ID

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ライン入りに接続されたオーディオ ソースのイコライザ ID を選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザ ID を設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ライン入りに接続されたオーディオ ソースに関するイコライザ モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

Off/On

Off: イコライザなし。

On: ライン入りに接続されているオーディオ ソースのイコライザを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: *SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

オーディオ ソースをビデオ入力コネクタ上のビデオ ソースに関連付けることができ、ビデオ ソースが提供されるかどうかに応じて音声の再生/ミュートを決定できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:
MuteOnInactiveVideo

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4 [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX20*]

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: オーディオ ソースはビデオ ソースに関連付けられません。ビデオ ソースが提供されるか否かに関係なく、音声はローカルおよび相手先で再生されます。

On: オーディオ ソースはビデオ ソースに関連付けられます。関連付けられたビデオ ソースが提供されると、音声は再生されます (ローカルおよび相手先で)。ビデオ ソースが表示されない場合、音声はニュートされます。

デフォルト値:

Line [1, 2]: On Line [3, 4]: Off [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

On [*SX20*]

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource

適用対象: *SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ入力コネクタ上でビデオ ソースにオーディオ ソースを関連付けることができます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource:
VideoInputSource

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4 [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX20*]

VideoInputSource:

1/2/3/4 [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

1/2 [*SX20*]

オーディオ ソースに関連付けるビデオ入力コネクタを選択します。

デフォルト値:

Line [1, 2]: 4 Line [3, 4]: 1 [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

2 [*SX20*]

xConfiguration Audio Input Line [n] Channel

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ライン入力のオーディオ ソースがモノラル信号であるか、マルチチャンネル信号の一部であるかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Channel: Channel

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Channel:

Left/Mono/Right

Left: 音声ライン入力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

Mono: 音声ライン入力信号はモノラル信号です。

Right: 音声ライン入力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

Left

xConfiguration Audio Input Line [n] Level

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ラインの入力コネクタのゲインを設定します。接続しているオーディオ送信元の出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、22 dBu です。

例: オーディオ ソースの最大出力レベルが 8 dBu の場合、ゲインの設定は $22 \text{ dBu} - 8 \text{ dBu} = 14 \text{ dB}$ にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Level: Level

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Level:

整数 (0 ~ 24)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

10

xConfiguration Audio Input Line [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

音声入力ラインのモードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

Off/On

Off: 音声ライン入力を無効にします。

On: 音声ライン入力をイネーブルにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Channel

適用対象: *CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイク入力の信号がモノラル信号であるか、マルチチャンネル信号の一部であるかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Channel: Channel

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

Channel:

Left/Mono/Right

Left: マイク入力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

Mono: マイク入力信号はモノラル信号です。

Right: マイク入力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

Mono

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

エコー キャンセラは、音声環境で検出された変更があると、室内の音声特性に合わせて継続的に自己調整を行います。音声条件に大幅な変更を加えた場合は、エコー キャンセラの再調整に 1 ~ 2 秒かかることがあります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 2 [SX20]

範囲: 2 ~ 2 [SX10]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ~ 3 [Room Kit, Room 55]

Mode:

Off/On

Off: エコー コントロールをオフにします。外部のエコー キャンセラもしくは再生機器が使われている場合に推奨します。

On: エコー コントロールをオンにします。一般的には相手先で自らの音声聞こえないようにするために、オンに設定することが推奨されます。選択すると、エコー キャンセレーションは常にアクティブになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスには室内の残響を減らす組み込みの信号処理が備わっています。残響除去を使用するには、Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation: Dereverberation

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 2 [SX20]

範囲: 2 ~ 2 [SX10]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ~ 3 [Room Kit, Room 55]

Dereverberation:

Off/On

Off: 響除去をオフにします。

On: 残響除去をオンにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスにはノイズ リダクションが組み込まれており、これにより、定常的なバックグラウンド ノイズ (空調システム, 冷却ファンなどのノイズ) が軽減されます。さらに、ハイパス フィルタ (ハム フィルタ) により、非常に低い周波数のノイズが軽減されます。ノイズ リダクションを使用するには、Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction:
NoiseReduction

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20*]

範囲: 2 ~ 2 [*SX10*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 3 [*Room Kit, Room 55*]

NoiseReduction:

Off/On

Off: ノイズ リダクションをオフにします。

On: ノイズ リダクションをオンにします。低周波ノイズがある場合、推奨されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイク入りに接続されたソースのイコライザ ID を選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザ ID を設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイク入りに接続されたソースのイコライザ モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

Mode:

Off/On

Off: イコライザなし。

On: マイク入りに接続されているソースのイコライザを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイクの入力コネクタのゲインを設定します。接続しているオーディオ送信元の出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。

通常、未処理の音声信号は信号レベルが大幅に変動するため、十分な信号のヘッドルームを取れるようにすることが非常に重要だということに注意してください。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、製品によって次のように異なります。-18 dBu (SX10, SX20, MX200G2/MX300G2, Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room 70, Room 55 Dual), 22 dBu (SX80, MX700/MX800), 24 dBu (Codec Pro, Room 70 G2)。

例:マイクの最大出力レベルが -44 dBu で、SX80 に接続されている場合、ゲインの設定は 22 dBu (-44 dBu) = 66 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level: Level

説明:

n:マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20*]

範囲: 2 ~ 2 [*SX10*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 3 [*MX200G2/MX300G2, Room Kit, Room 55*]

Level:

整数 (0 ~ 26) [*RoomKit Room55*]

整数 (0 ~ 24) [*SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 CodecPlus Room70/Room55D*]

整数 (0 ~ 70) [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

14 [*SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

17 [*SX10*]

58 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイク コネクタで音声を無効または有効にします。

SX10, MX200 G2, MX300 G2, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55: Microphone [1] はデバイスの内蔵マイクです。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode: Mode

説明:

n:マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX10, SX20*]

範囲: 1 ~ 3 [*Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room70/Room55D*]

範囲: 1 ~ 1 [*MX200G2/MX300G2*]

Mode:

Off/On

Off: 音声入力マイクのコネクタを無効にします。

On: 音声入力マイクのコネクタを有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Type

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイクのコネクタは、エレクトレット タイプのマイク向けです。マイク コネクタは Line または Microphone タイプに設定できます。前置増幅器のゲインは、Audio Input Microphone Level の設定で完全に決まります。選択したタイプによって生じる調整範囲の制限はありません。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Type: Type

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

タイプ:

Line/Microphone

Microphone: 入力ソースに 48 V のファントム電源が必要な場合は、Microphone を選択します。

Line: 48 V のファントム電源が必要ない場合、または適切な動作に必要な場合、Line を選択します。

デフォルト値:

Microphone

xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower

適用対象: CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイク入力でファントム電源 (48 V +/- 1 V) を使用するかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower: PhantomPower

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

PhantomPower:

Off/On

Off: マイク入力でファントム電源を無効にします。ファントム電源を必要としない機器 (外部ミキサーなど) に接続する場合は、この設定を使用します。

On: マイク入力でファントム電源を有効にします。Cisco Table Microphone や Cisco 天井マイクを含め、ファントム電源を必要とするマイクに直接接続する場合は、この設定を使用します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

マイクをビデオ入力コネクタのビデオ ソースに関連付けることができます。さらに、ビデオ ソースが提供されるか否かに応じて、音声を再生するかミュートにするかを決定できます。デフォルトでは、音声はミュートされません。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:
MuteOnInactiveVideo

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: ビデオ ソースが関連付けられていません。

On: ビデオ ソースは関連付けられており、関連ビデオ ソースが表示されない場合は、音声はミュートになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

オーディオ ソースに関連付けるビデオ入力コネクタを選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource:
VideoInputSource

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

VideoInputSource:

1/2/3/4 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

1/2/3/4/5/6 [CodecPro Room70G2]

オーディオ ソースに関連付けるビデオ入力コネクタを選択します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input MicrophoneMode

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定は DX80 のみに適用されます。

DX80 では両方の脚にマイクが搭載されています。マイク モードを Focused に設定すると、マイクを組み合わせて音声感度が高くなります。その結果、室内のノイズが聞こえなくなり、デバイスの正面に座った人の声がよく聞こえるようになります。デバイスの正面に座っていない人の声は聞こえなくなります。

マイクロフォン モードを Wide に設定すると、デバイスは他のデバイスと同様に動作します。横に座っている人の声が聞こえるようになり、また室内のノイズもより聞こえるようになります。

話者が 1 人だけの場合、Focused モードを使用することをお勧めします。デバイスの前で複数の人が話す場合は Wide モードを使用してください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input MicrophoneMode: MicrophoneMode

説明:

MicrophoneMode:

Focused/Wide

Focused: 1 点に集中された音の感度。デバイスの真正面にないソースからの音は抑制されます。

Wide: デフォルトのマイク動作で、通常の音声感度です。

デフォルト値:

Wide

xConfiguration Audio KeyClickDetector Attenuate

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスがキーボードからのクリック ノイズを検出し、マイク信号を自動的に減衰させることができます。キー入力のノイズが他の参加者の邪魔をする可能性があるため、会議出席者がキーボードで入力を開始するときにはこの機能が便利です。参加者がキーボードで入力しながら話す場合、マイクの信号は減衰しません。[オーディオ キー クリック デテクタ有効化 (Audio KeyClickDetector Enabled)] 設定が On に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio KeyClickDetector Attenuate: Attenuate

説明:

減衰:

False/True

False: マイクの信号の減衰は無効です。

True: キーボードのクリック ノイズが検出された場合、デバイスによりマイクの信号が減衰されません。音声または音声とキーボードのクリックが併せて検出された場合、マイクの信号は減衰されません。

デフォルト値:

True

xConfiguration Audio KeyClickDetector Enabled

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスがキーボードからのクリック ノイズを検出し、マイク信号を自動的に減衰させることができます。キー入力のノイズが他の参加者の邪魔をする可能性があるため、会議出席者がキーボードで入力を開始するときにはこの機能が便利です。マイクの信号の減衰を有効にするには、[オーディオ キー クリック ディテクタ減衰 (Audio KeyClickDetector Attenuate)]を On にします。

使用方法:

xConfiguration Audio KeyClickDetector Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

False: キー クリックの検出は無効です。

True: デバイスによりキーボードからクリック ノイズが検出されます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスでのマイク ミュートの動作を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

True/InCallOnly

True: 音声ミュートが使用可能になります。

InCallOnly: 音声ミュートはデバイスがコール中の場合にだけ使用できます。アイドル状態のときは、マイクロフォンをミュートにできません。これは、外部の電話サービス/音声システムがデバイスを介して接続され、デバイスがコール中でないときに使用可能にする場合に便利です。InCallOnly に設定されたとき、音声システムが誤ってミュートにされることを防止できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Audio Microphones PhantomPower

適用対象: *SX20 MX200G2/MX300G2, RoomKit, CodecPlus, Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN

マイク入力でファントム電源 (11 V +/- 1 V) を使用するかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones PhantomPower: PhantomPower

説明:

PhantomPower:

Off/On

Off: マイク入力でファントム電源を無効にします。ファントム電源を必要としない機器 (外部ミキサーなど) に接続する場合は、この設定を使用します。

On: マイク入力でファントム電源を有効にします。Cisco Table Microphone や Cisco 天井マイクを含め、ファントム電源を必要とするマイクに直接接続する場合は、この設定を使用します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

各マイクでマイク補強モードを個別に設定します。Mode = On のすべてのマイクからの信号がミックスされ、選択した MicrophoneReinforcement 出力に送信されます。Audio MicrophoneReinforcement Output Line Mode 設定も参照してください。

使用方法:

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

Mode:

Off/On

On: マイクの信号が、相手先に加えて、選択した MicrophoneReinforcement 出力にも送信されます。

Off: マイクの信号は相手先のみ送信されます。選択した MicrophoneReinforcement 出力には送信されません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

各ライン出力でマイクの補強モードを個別に設定します。Mode = On の場合、通常の出力信号に外部マイク機器のミックス音声を加えられてライン出力されます。Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone Mode 設定も参照してください。

使用方法:

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode: Mode

説明:

n: マイク出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

Off/On

On: この出力により、相手先の音声、ローカル プレゼンテーションの音声、およびマイク補強ミックスが送信されます。

Off: この出力により、相手先の音声とローカル プレゼンテーションの音声を送信されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Gain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

選択した MicrophoneReinforcement 出力に送信されるミックス済みマイク信号に適用されるゲイン (dB)。

使用方法:

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Gain: Gain

説明:

Gain:

整数 (-54 ~ 15)

ローカル出力に送信する必要があるマイク信号のレベルを調整するために、このゲインを使用します。値 -54 はオフであることを意味し、マイクから出力に信号は供給されません。

デフォルト値:

-54

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay DelayMs

適用対象: *CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

リップ同期を実現するには、各 ARC ライン出力で、他の接続デバイス (TV, 外付けスピーカーなど) の遅延に合わせた追加の遅延を設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output ARC [n] Delay Mode 設定での定義に従い、一定の遅延になるか、外部モニターで測定または報告された遅延に相対的な遅延になります。

USAGE:

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay DelayMs: DelayMs

値は次のとおりです。

n: 音声 APC 出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Mode

適用対象: *CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Audio Output ARC [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声 ARC 出力に遅延を追加できます。追加される遅延は、一定のミリ秒数か、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output ARC [n] Delay Mode: Mode

値は次のとおりです。

n: 音声 APC 出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は、検出された遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

RelativeToHDMI [CodecPro]

Fixed [Room70G2]

xConfiguration Audio Output ARC [n] Mode

適用対象: *CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

HDMI [n] 入力コネクタの音声リターンチャンネル (ARC) を有効にするかどうかを選択します。Quad Camera を使用して音声を再生する場合は、ARC出力を有効にする必要があります。

Room 70 G2 には、Quad Camera が統合スピーカーシステムの一部として含まれています。ARC 出力は有効にしておくことをお勧めします。内蔵スピーカーシステムを完全に無効にする場合は、[オーディオ出力 内蔵スピーカー モード (Audio Output InternalSpeaker Mode)] 設定を使用します。

USAGE:

xConfiguration Audio Output ARC [n] Mode: Mode

値は次のとおりです。

n: 音声 APC 出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: HDMI 入力 で ARC チャンネルを無効にします。

On: HDMI 入力 で ARC チャンネルを有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output ConnectorSetup

適用対象: *CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

オーディオ入力とオーディオ出力を手動で設定するか、使用しているカメラのタイプと接続されているスクリーンに基づいてビデオ会議デバイスが自動的に実行するかを選択できます。

自動モードでは、音声入力と出力を手動で追加、更新、削除、または接続することはできません。したがって、以下の API コマンドは何の効果もありません。xCommand Audio Setup *, xcommand audio Setup *, xCommand audio Setup * と xCommand audio Localinput *。

手動モードに移行する場合: 既存のオーディオ設定はクリアされ (xCommand Audio セットアップがクリアされます)、入力および出力グループは製品のデフォルト設定に従って設定されます。[オーディオ 出力 HDMI [n] モード (Audio Output HDMI [n] Mode)] および [オーディオ 出力 ARC [1] モード (Audio Output ARC [1] Mode)] 設定はデフォルト値に設定されます。Codec Pro の自動遅延測定が有効になっています。

[自動 (Auto)] モードへの移行時: HDMI および ARC 出力コネクタは、デフォルトグループに接続されます。Audio Output HDMI [n] モードと、オーディオ出力の ARC [1] モード設定は変更されません。Codec Pro の遅延測定が停止されます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output ConnectorSetup: [ConnectorSetup](#)

説明:

[ConnectorSetup](#):

Auto/Manual

Auto: Code Pro のビデオ会議デバイスでは、カメラやいずれかの HDMI 出力に接続された画面を介して音声を再生します。ビデオ会議デバイスは、次のリストで利用可能な最初のデバイスで音声を再生することを選択します。

1. カメラ コントロールがビデオ会議デバイスのカメラ コントロール コネクタのいずれか (イーサネット 2 または 3) に接続されており、HDMI がビデオ会議デバイスのカメラ入力 (HDMI 1 入力) に接続されている Quad Camera。さらに、Audio Output ARC [1] モードとビデオ入力コネクタ [1] はオンになっている必要があります。カメラを介して音声を再生するには、HDMI 1 入力の音声リターンチャンネル (ARC) が使用されます。
2. 音声出力 HDMI [1] モード設定がオンになっている場合は、HDMI 1 の出力に接続された画面。
3. 音声出力 HDMI [2] モード設定がオンになっている場合、HDMI 2 の出力に接続された画面。
4. 音声出力 HDMI [3] モード設定がオンになっている場合、HDMI 3 の出力に接続された画面。

音声は Quad Camera を通じて再生される場合、ビデオ会議デバイスは、画面とカメラの間の遅延を測定して、カメラの音声を画面上のビデオに同期させることができます (リップ シンク)。遅延を測定するために、ビデオ会議デバイスが画面に信号を送信し、画面がその信号を ARC (オーディオ リターン チャンネル) を介してビデオ会議デバイスに返します。遅延測定では、上記の一覧で CEC (消費者向け電子機器制御) をサポートする最初の画面で、ビデオ出力コネクタ [n] CEC モードがオンに設定されています。

音声は画面内で再生される場合、追加の lip 同期遅延が画面上の役割になります。ビデオ会議デバイスが遅延することはありません。

Room 70 G2 では、[オーディオ 出力 ARC [1] モード (Audio Output ARC [1] Mode)] および [オーディオ 出力 内蔵スピーカー モード (Audio Output InternalSpeaker Mode)] がオンで、内蔵画面の [オーディオ 出力 HDMI [n] モード (Audio Output HDMI [n] Mode)] がオンの場合、ビデオ会議デバイスは内蔵スピーカーシステムを通じてオーディオを再生します。統合されたスピーカーシステムと画面の関係が明確なため、自動遅延測定は必要ありません。

[手動 (Manual)]: audio Console アプリケーションまたは API (xCommand Audio Localinput *, xCommand Audio Localinput *) を使用して、オーディオ入出力を設定し、手動で出力する必要があります。

Room 70 G2 では、オーディオ コンソール アプリケーションまたは API (xCommand Audio LocalOutput *) を使用して明示的にコネクタを追加すると、外部画面をオーディオ出力に使用することができます。この場合、外部画面では、内蔵スピーカー システムで再生される音声のステレオ ダウン ミックスが再生されます。超音波信号は、外部画面やライン出力を介しては再生されず、内蔵スピーカー システムでのみ再生されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs

適用対象: *CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

リップ同期を実現するには、各 HDMI ライン出力で、他の接続デバイス (TV、外付けスピーカーなど) の遅延に合わせた追加の遅延を設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output HDMI [n] Delay Mode 設定での定義に従い、一定の遅延になるか、外部モニターで測定または報告された遅延に相対的な遅延になります。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs: DelayMs

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 3

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode

適用対象: *CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声 HDMI 出力に遅延を追加できません。追加される遅延は、一定のミリ秒数か、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 3

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、検出された遅延または外部モニターで報告された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は、顕出された遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

Fixed

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level: Level

説明:

n: HDMI 出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [*Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX80*]

範囲: 1 ~ 1 (単一画面デバイスの場合), 1 ~ 2 (デュアル画面デバイスの場合) [*MX700/MX800/MX800D*]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

HDMI 出力コネクタの音声チャンネルを有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode: Mode

説明:

n: HDMI 出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [*Codec Plus*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX80*]

範囲: 1 ~ 1 (単一画面デバイスの場合), 1 ~ 2 (デュアル画面デバイスの場合) [*MX700/MX800/MX800D*]

Mode:

Off/On

Off: 音声出力にコネクタが使用されません。

On: 音声出力にコネクタを使用できます。Codec Pro および Room 70 G2 では、Audio Output コネクタの設定に依存しています。

デフォルト値:

Room 70 Dual G2: HDMI 1, 2: On HDMI 3: Off

Room 70 Single G2: HDMI 1: On HDMI 2, 3: Off [*Room70G2*]

On [*MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro*]

HDMI 1: On HDMI 2: Off [*SX80*]

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode

適用対象: *MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

カメラの内蔵スピーカーを使用するかどうかを定義します。この設定を適用するには、Quad Camera に Codec Plus が接続されている必要があります。

Room 70 G2, MX700, および MX800 では、統合されたモニタの Audio Output HDMI [n] Mode の設定がオンに設定されていないと、内蔵スピーカーの音声を再生できません。Room 70 G2 についても、Audio Output ARC 1 Mode 設定がオンになっている必要があります。

Codec Plus, MX300 G2, MX200 G2 以外のすべての製品では、統合スピーカーの使用を制限して、超音波のみを再生することができます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On/UltrasoundOnly [MX700/MX800/MX800D RoomKit Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Off/On [MX200G2/MX300G2 CodecPlus]

Off: デバイスの統合スピーカーを無効にします。

On: デバイスの統合スピーカーを有効にします。

UltrasoundOnly: デバイスの内蔵スピーカーのみで超音波を有効にします

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output Line [n] Channel

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

音声ライン出力がモノラル信号またはマルチチャンネル信号の一部のいずれであるかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Channel: Channel

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

Channel:

Left/Mono/Right

Left: 音声ライン出力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

Mono: オーディオライン出力信号はモノラル信号です。

Right: 音声ライン出力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

Line [1,3,5]: Left Line [2,4,6]: Right

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

リップ シンクを実現するために、他の接続されているデバイス (たとえば、TV、外部スピーカー) の遅延と釣り合う追加の遅延を各音声ライン出力に設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output Line [n] Delay Mode 設定での定義に従い、固定であるか、HDMI 出力の遅延に対して相対的です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs: DelayMs

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20*]

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Audio Output Line [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声ライン出力に遅延を追加できます。追加される遅延は、固定のミリ秒数か、(接続済み TV に通常備わっている) HDMI 出力で検出された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20*]

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、HDMI 出力で検出された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は HDMI の遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors Line [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

Fixed [SX80 MX700/MX800/MX800D Room70G2]

RelativeToHDMI [SX10 SX20 CodecPro]

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

出力ラインに接続されたオーディオ ソースのイコライザ ID を選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザ ID を設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ライン出力に接続されたオーディオ ソースのイコライザ モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

Mode:

Off/On

Off: イコライザなし。

オン: オーディオ出力ラインのイコライザを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Output Line [n] Level

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ラインの出力コネクタのゲインを設定します。接続されているデバイスのオーディオ出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、製品によって次のように異なります。22 dBu (SX80, MX700/MX800), 8 dBu (Room 70, Room 55 Dual), 18 dBu (Codec Pro, Room 70 G2)。

例: オーディオ デバイスの最大出力レベルが 10 dBu で、SX80 に接続されている場合、ゲインの設定は 10 dBu - 22 dBu = -12 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Level: Level

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [Room 70 / Room 55D]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

-10 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

0 [CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

xConfiguration Audio Output Line [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

音声ライン出力のモードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

Mode:

Off/On

Off: 音声ライン出力を無効にします。

On: 音声ライン出力を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType

適用対象: *RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

出力タイプは、接続デバイスに一致するように設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType: OutputType

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

OutputType:

LineOut/Loudspeaker/Recorder/Subwoofer [RoomKit]

LineOut/Loudspeaker/Recorder [CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

Loudspeaker: スピーカーがライン出力に接続されている場合、スピーカーを使用します。このモードでのコネクタ出力レベルは、音量のマスターコントロールと、システムサウンドすべて（着信音、webex アシスタントなど）を含めた出力信号に従って設定されます。

録画機能が回線の出力に接続されている場合は、よく：使用記録します。このモードでは出力レベルは固定され、システム音は含まれません。音声にはローカルでのプレゼンテーションソース、ローカルのマイク、およびあらゆる遠隔ソースが含まれます。

Subwoofer: サブウーファーがライン出力に接続されている場合、サブウーファーを使用します。このモードでは、低音はライン出力に送信され、それ以外のオーディオ信号は内蔵スピーカーで再生されます。

LineOut: 他のデバイスのライン出力を使用します。このモードでは、内蔵スピーカーはフルレンジのオーディオを再生します。出力レベルは固定され、システム音声は含まれません。音声にはローカルでのプレゼンテーションソースおよびあらゆる遠隔ソースが含まれます。

デフォルト値:

Loudspeaker [RoomKit CodecPlus Room55]

LineOut [Room70/Room55D]

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

着信コールに使用する着信音を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone: RingTone

説明:

RingTone:

Sunrise/Mischief/Ripples/Reflections/Vibes/Delight/Evolve/Playful/Ascent/Calculation/Mellow/Ringer

リストから着信音を選択します。

デフォルト値:

Sunrise [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Waves [Board]

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

着信コールの着信音量を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume: RingVolume

説明:

RingVolume:

整数 (0 ~ 100)

範囲: 値は 5 刻みで 0 ~ 100 (-34.5 dB ~ 15 dB) になります。音量 0 = オフです。

デフォルト値:

50 [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

40 [MX200G2/MX300G2]

30 [MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定は、Intelligent Proximity 機能に適用されます。超音波のペアリング メッセージの最大音量を設定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume: MaxVolume

説明:

MaxVolume:

整数 (0 ~ 90) [*SX20 SX80 CodecPlus CodecPro*]

整数 (0 ~ 70) [*DX70/DX80 SX10 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*]

値は指定の範囲内から選択します。0 に設定すると、超音波がオフになります。

デフォルト値:

70

BYOD の設定

xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定を使用すると、タッチ リダイレクト機能を有効または無効にすることができます。タッチ リダイレクトを使用すると、Webex Board の画面からラップトップを制御することができます。ラップトップは、HDMI ケーブル (有線共有) と USB-C ケーブルによって Board に接続する必要があります。ボードからラップトップへの接続には、USB-C - USB-C ケーブルまたは USB-C - USB-A ケーブルを使用できます。

タッチ リダイレクトは、コール中でないときにのみ機能します。

ソフトウェアバージョン CE9.9.0 では、タッチ リダイレクトが常に有効になり、この設定は使用できません。また、この機能は第 1 世代のボード (Webex Board 55 および 70, S シリーズ以外) では使用できないことにも注意してください。

使用方法:

xConfiguration BYOD TouchForwarding Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

False/True

False: タッチ リダイレクトが無効になります。

True: タッチ リダイレクトが有効になります。

デフォルト値:

True

CallHistory の設定

xConfiguration CallHistory Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

不在着信や応答されなかったコールを含めて、発着信コールに関する情報を保存するかどうかを決定します (通話履歴)。これにより、ユーザ インターフェイスの Recents リストにコールが表示されるかどうかが決まります。

使用方法:

xConfiguration CallHistory Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: 新しいエントリが通話履歴に追加されません。

On: 新しいエントリは通話履歴一覧に保存されます。

デフォルト値:

On

Cameras の設定

xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

カメラ ID は、Camera [n] の数字 n です。デフォルトでは、カメラ ID はカメラに自動的に割り当てられます。EDID 情報がカメラからビデオ会議デバイスに送信されない場合、カメラ ID は再起動後に保持されません。これは、ビデオ会議デバイスの再起動時にカメラが新しいカメラ ID を取得する可能性があることを意味します。

ビデオ会議デバイスが複数のカメラから EDID 情報を受信しない構成を考慮するには、Cameras Camera AssignedSerialNumber 設定を使用する必要があります。この設定は、カメラ ID をカメラのシリアル番号に関連付けることでカメラにカメラ ID を割り当てられるようにします。この設定はビデオ会議デバイスが工場出荷時の状態にリセットされるまで維持されます。

ビデオ会議デバイスが EDID 情報を受信しない一般的な状況として、3G SDI を使用して Cisco TelePresence Precision 60 カメラを接続する場合、Cisco TelePresence Precision 40 (Cisco TelePresence PrecisionHD 1080p4xS2) カメラを接続する場合、EDID 情報を送信しない HDMI リピータを使用する場合があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber: "AssignedSerialNumber"

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

AssignedSerialNumber:

文字列 (0, 20)

カメラのシリアル番号。

デフォルト値:

""

xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このコンフィギュレーションは、逆光補正をオンまたはオフにします。逆光補正は、部屋の中で人物の背後に強い光がある場合に役立ちます。逆光補正がないと、こちらの画像が相手に非常に暗い状態で見えてしまいます。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode: DefaultMode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 Board*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

DefaultMode:

Off/On

Off: カメラの逆光補正をオフにします。

On: カメラの逆光補正をオンにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

カメラの明るさモードを定義します。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 Board]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

Mode:

Auto/Manual

Auto: カメラの明るさはデバイスによって自動的に設定されます。

Manual: カメラの明るさの手動設定を有効にします。明るさのレベルは、Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

明るさのレベルを定義します。カメラの明るさモード Cameras Camera [n] Brightness Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel: DefaultLevel

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 Board]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

DefaultLevel:

整数 (1 ~ 31)

明るさレベル。

デフォルト値:

20

xConfiguration Cameras Camera [n] Flip

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

フリップ モード (垂直フリップ) を使用すると、画像を上下反転できます。フリッピングは、セルフビューおよび遠端に送信されるビデオの両方に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Flip: Flip

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 CodecPro*]

範囲: 2 ~ 7 シングル カメラ デバイス用, 3 ~ 7 デュアル カメラ デバイス用 [*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20*]

Flip:

Auto/Off/On [*SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*]

Auto [*SX10*]

Auto: 上下逆にマウントされたことをカメラが検出すると、画像が自動的に反転します。上下逆にマウントされたかどうかをカメラが自動的に検出できない場合、画像は変更されません。

Off: 画像を通常の方法で画面に表示します。

On: 画像を上下反転させて表示します。この設定は、カメラが上下逆にマウントされたが、マウント方向を自動的に検出できない場合に使用されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

カメラのフォーカス モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 CodecPro Room70G2*]

範囲: 2 ~ 7 シングル カメラ デバイス用, 3 ~ 7 デュアル カメラ デバイス用 [*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 Board*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

Mode:

Auto/AutoLimited/Manual [*SX10, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, Codec Plus*]

Auto/Manual [*CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board*]

Auto: オート フォーカスの動作は製品によって異なります。Webex Board, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の場合、およびコーデック (SX80 または Codec Plus) と一緒に Cisco Quad Camera を使用する場合、通話がつながった時点、およびビューが変更された後にカメラがシングル ショット オート フォーカスを行います。Cisco TelePresence Precision 40 または Cisco TelePresence PrecisionHD 12x カメラを備えた SX10, SX20, MX200 G2, MX300 G2, および SX80 の場合、通話が接続されたとき、またはパン、チルト、ズームが行われたときに、カメラはシングル ショット オート フォーカスを行います。MX700/MX800 で、コーデック (SX80 または Codec Plus) を備えた Cisco TelePresence Precision 60 カメラを使う場合、カメラは連続オート フォーカスを行います。この場合、通話がつながったとき、パン、チルト、ズームが行われたとき、またカメラが風景の変化を識別したときに、オート フォーカスが実行されます。

AutoLimited: このモードは、MX700 / MX800 で、コーデック (SX80 または Codec Plus) を備えた Cisco TelePresence Precision 60 カメラを使う場合にのみ適用されます。ほとんどの場合、このモードはオート フォーカスと同様に動作します。AutoLimited により、フォーカスを合わせようとし続ける可能性を減らすことができます。問題となる状況は、コントラストがない、またはコントラストが低い広い場所です。たとえば装飾のない壁、または部分的に空白のあるホワイトボードなどもこのおそれがあります。オート フォーカスと比べて、このモードを使用する方が、背景にフォーカスが合う可能性が高まります。

Manual: オート フォーカスをオフにし、カメラの焦点を手動で調整します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定は、ガンマ補正を有効にします。ガンマは、画像ピクセルとモニタの明るさとの間の関係を表します。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [SX20 MX200G2/MX300G2 Board]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

Mode:

Auto/Manual

Auto: 自動がデフォルトであり、推奨設定です。

Manual: 手動モードではガンマ値はガンマ レベル設定で変更されます。Cameras Camera [n] Gamma Level を参照してください。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ガンマ レベルを設定して、使用するガンマ修正テーブルを選択できます。この設定は、明るさの設定を変更しても十分な結果が得られない困難な光条件に役立つことがあります。カメラのガンマ モード Cameras Camera [n] Gamma Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level: Level

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [SX20 MX200G2/MX300G2 Boards]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

Level:

整数 (0 ~ 7)

ガンマ レベルを定義します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ミラー モード (水平反転) を使用して画面の画像を反転できます。ミラーリングは、セルフビューおよび遠端に送信されるビデオの両方に適用されます。スピーカー トラッキングがオンのときはミラーリングが自動的に無効になります。

この設定は、Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror: Mirror

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 CodecPro Room70G2]

範囲: 2 ~ 7 シングル カメラ デバイス用, 3 ~ 7 デュアル カメラ デバイス用
[MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 1 [SX10, SX20, MX200G2/MX300G2]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

Mirror:

Auto/Off/On [SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

Off/On [MX200G2/MX300G2]

Auto: 上下逆にマウントされたことをカメラが検出すると、画像が自動的に反転します。上下逆にマウントされたかどうかをカメラが自動的に検出できない場合、画像は変更されません。MX700/MX800 カメラ: 常に他人から見えているように画像を表示します。

Off: 他人から見えている自分のように画像を表示します。MX200 G2, MX700/MX800 統合カメラ: 鏡に映っている自分のように画像を表示します。

On: 鏡に映っている自分のように画像を表示します。MX200 G2, MX700/MX800 カメラ: 他人から見えているように画像を表示します。

デフォルト値:

Auto [SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

MX300G2: Off MX200G2: On [MX200G2/MX300G2]

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

カメラのホワイト バランス モードを定義します。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [SX10, SX20, MX200G2/MX300G2]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

Mode:

Auto/Manual

Auto: カメラはカメラのビューに合わせて常にホワイト バランスを調整します。

Manual: カメラのホワイトバランスの手動設定を有効にします。ホワイト バランスのレベルは Cameras Camera [n] Whitebalance Level 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ホワイトバランスのレベルを定義します。Cameras Camera [n] Whitebalance Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level: Level

説明:

n:カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10, SX20, MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

Level:

整数 (1 ~ 16)

ホワイトバランスのレベル。

デフォルト値:

1

xConfiguration Cameras Camera Framerate

適用対象: *RoomKit RoomKitMini Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デフォルトとして、カメラは 1 秒あたり 30 フレームを出力します。これにより、通常の帯域と照明条件であってもクローズアップと広い視野両方の画像の品質が良くなります。条件がさらに良い場合、カメラから 1 秒あたり 60 フレームの出力となり、全般的に良い品質となる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera Framerate: Framerate

説明:

Framerate:

30/60

30 :カメラは、1 秒あたり 30 フレームを出力します。

60:カメラは 1 秒あたり 60 フレームを出力します。

デフォルト値:

30

xConfiguration Cameras Preset TriggerAutofocus

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN

現在位置 (パン, チルト), ズームおよびフォーカスはプリセットで保存されます。この設定を使用して、カメラを再フォーカスするか、プリセットで保存されたフォーカス値を使用するかどうかを指定します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Preset TriggerAutofocus: [TriggerAutofocus](#)

説明:

[TriggerAutofocus](#):

Auto/Off/On

Auto: プリセットを選択しない場合に、カメラの種類に応じてカメラを再フォーカスするかどうかを指定します。

Off: プリセットで保存されたフォーカス値が使用されます。プリセットを選択する場合、カメラは再フォーカスしません。

On: プリセットを選択する場合、カメラは再フォーカスします。プリセットで保存されたフォーカス値が上書きされる可能性があります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

スピーカー トラッキングやベスト オーバービューのサポートでカメラを使用する場合のみ、この設定が適用されます。

Cisco Quad Camera: スピーカー トラッキングは自動カメラ フレーミングを使用し、部屋にいる人の場所に基づいて最適なカメラ表示を選択します。Quad Cameraは、通話中のスピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。

Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラ: デュアル カメラ アセンブリは、2 台のカメラで構成され、アクティブ スピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。スピーカーの変更が検出された場合、ビデオ会議デバイスでは、最適なカメラのビューが常に適用されるように、2 台のカメラを自動的に切り替えることができます。異なるスイッチング モードについては、「Cameras SpeakerTrack TrackingMode」を参照してください。

内蔵スピーカー トラック カメラ付きビデオ会議デバイス (Room Kit, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2) : スピーカー トラッキングは自動カメラ フレーミングを使用し、部屋にいる人の場所に基づいて最適なカメラ表示を選択します。カメラは、通話中のスピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。

ベスト オーバービューをサポートしている、スピーカートラッキング (Room Kit Mini, Board) 以外のビデオ会議デバイスでは、ユーザが部屋のどこにいるかに基づいて最適なカメラ ビューを選択するために、自動カメラフレーミングを使用します。

デュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えた MX700/MX800: デュアル カメラ アセンブリは、2 台のカメラで構成され、アクティブ スピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。スピーカーの変更が検出された場合、ビデオ会議デバイスでは、最適なカメラのビューが常に適用されるように、2 台のカメラを自動的に切り替えることができます。異なるスイッチング モードについては、「Cameras SpeakerTrack TrackingMode」を参照してください。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode: [Mode](#)

説明:

[Mode](#):

Auto/Off

Auto: スピーカートラッキング (Room Kit Mini ではサポートされていません) およびベスト オーバービュー (SX80 および MX700/MX800 ではサポートされていません) がオンになっています。デバイスは室内の人々を検出し自動的に最適なカメラ フレーミングを選択します。ユーザは、Touch コントロールのカメラのコントロールパネルで、機能のオン/オフを即座に切り替えることができますが、その機能は、各コールの後に再度オンになり、デバイスが次のユーザに対応できるようになります。

Off: スピーカートラッキング (Room Kit Mini ではサポートされていません) およびベスト オーバー

ビュー (SX80 および MX700/MX800 ではサポートされていません) がオフになっています。Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラ、またはデュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えたMX700/MX800 を使う場合、2 台のカメラは個別のカメラとして動作します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

カメラの SpeakerTrack モードが Auto に設定されている場合のみ、この設定が適用されます。ルーム内の人と話すと、デバイスがその人を検出し、最適のカメラ フレーミングを選択します。これはクローズ アップといい、室内のすべての人を含まない場合があります。室内のすべての人を常に表示しておきたい場合、クローズ アップ機能をオフにできます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup: Closeup

説明:

Closeup:

Auto/Off

Auto: デバイスは、話している人にズームインします。

Off: デバイスは、室内のすべての人が常にカメラのフレームに入るように維持されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

スピーカーのトラッキング アルゴリズムは、2 つのモード (高速なモードと低速なモード) の変更に応じて変わります。このモードは、カメラのビューが新しいスピーカーに移行するタイミングを決定します。

SX80, Codec Pro: この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラを使用している場合に Cameras SpeakerTrack Mode が Auto に設定されている場合にのみ適用されます。

MX700, MX800: この設定は、デュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えたデバイスを使用し、Cameras SpeakerTrack Mode が Auto に設定されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode: TrackingMode

説明:

TrackingMode:

Auto/Conservative [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro]

デフォルト値:

Auto [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro]

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

個々のカメラが接続されているビデオ入力を自動的に検出するか、それとも手動で設定するかを定義します。ビデオ会議デバイスがカメラから EDID 情報を受信しない状況の場合、手動設定を選択する必要があります。通常、これは、EDID 情報を送信しない HDMI リピータを使用する場合にあてはまります。

SX80, Codec Pro: この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラがビデオ会議デバイスに接続されている場合にのみ適用されます。

MX700, MX800: このバージョンでは適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Manual [SX80 CodecPro]

Auto: カメラが接続されているビデオ入力を自動的に検出します。

Manual: カメラが接続されているビデオ入力を手動で定義します。Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft および Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight 設定を使用します。

デフォルト値:

Auto [SX80 CodecPro]

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

SpeakerTrack 60 の左側のカメラが接続されているビデオ入力の数値を定義します。

SX80, Codec Pro: この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラがビデオ会議デバイスに接続されている場合にのみ適用されます。さらに、Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode を Manual に設定する必要があります。

MX700, MX800: このバージョンでは適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft: CameraLeft

説明:

CameraLeft:

整数 (1 ~ 5) [SX80 CodecPro]

有効なビデオ入力の番号を設定します。たとえば、左側のカメラがビデオ入力 1 に接続されている場合は、1 に設定します。

デフォルト値:

1 [SX80 CodecPro]

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

SpeakerTrack 60 の右側のカメラが接続されているビデオ入力の数値を定義します。

SX80, Codec Pro: この設定は, Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラがビデオ会議デバイスに接続されている場合にのみ適用されます。さらに, Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode を Manual に設定する必要があります。

MX700, MX800: このバージョンでは適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight: CameraRight

説明:

CameraRight:

整数 (1 ~ 5) [SX80 CodecPro]

有効なビデオ入力の番号を設定します。たとえば, 右側のカメラがビデオ入力 2 に接続されている場合は, 2 に設定します。

デフォルト値:

2 [SX80 CodecPro]

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ホワイトボードへのスナップ機能はスピーカー トラッキング機能の拡張です。そのため, スピーカー トラッキングをサポートするカメラが必要になります。プレゼンタがホワイトボードの横に立っている場合, Snap to Whiteboard が有効になっていると, カメラはプレゼンタとホワイトボードの両方をキャプチャします。この機能が無効の場合, プレゼンタのみがキャプチャされます。[ホワイトボードへのスナップ (Snap to Whiteboard)] 機能はタッチ コントローラまたはウェブ インターフェイスで設定されます。

SX80, Codec Plus, Codec Pro: 接続されたカメラがスピーカー トラッキングをサポートしている場合にのみ適用されます。

MX700, MX800: デバイスがデュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えている場合のみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: Snap to Whiteboard 機能は無効です。

On: Snap to Whiteboard 機能は有効です。

デフォルト値:

Off

Conference の設定

xConfiguration Conference AutoAnswer Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

自動応答モードを定義します。デバイスを使用してコールに応答する前に数秒間待機する場合は **会議 自動応答 遅延** (Conference AutoAnswer Delay) 設定を使用し、コールに応答するときにマイクをミュートする場合は **会議 自動応答 ミュート** (Conference AutoAnswer Mute) 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスのユーザ インターフェイスから手動で着信コールに応答できます。

On: 通話中でない限り、デバイスが自動的に着信コールに応答します。常に手動で、通話中の着信コールの応答や拒否が行えます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

着信コールに自動応答する場合にマイクをミュートにするかどうかを定義します。AutoAnswer Mode が有効にされている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Mute: Mute

説明:

Mute:

Off/On

Off: 着信コールはミュートにされません。

On: 着信コールは自動的に応答されるときミュートにされます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Delay

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスによって自動的に応答される前に着信コールがどれくらい待つ必要があるかを定義します (秒単位)。AutoAnswer Mode が有効にされている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Delay: Delay

説明:

Delay:

整数 (0 ~ 50)

自動応答遅延 (秒単位)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Conference DefaultCall Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスからコールを発信するときに使用するデフォルトのコール プロトコルを定義します。

使用方法:

xConfiguration Conference DefaultCall Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

Auto/H320/H323/Sip/Spark

Auto: 使用可能なプロトコルに基づいた通信プロトコルの自動選択をイネーブルにします。複数のプロトコルが使用可能な場合、優先順位は次の通りです: 1) SIP, 2) H323, 3) H320。デバイスが登録を実行できない場合、自動選択により H323 が選択されます。

H320: すべてのコールが H.320 コールとしてセットアップされます (Cisco TelePresence ISDN リンクとともに使用している場合のみ)。

H323: すべてのコールが H.323 コールとして設定されます。

SIP: すべてのコールが SIP コールとして設定されます。

Spark: Webex 登録済みデバイスのために予約されています。使用しません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference DefaultCall Rate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスからコールを発信するときに使用するデフォルトのコール レートを定義します。

使用方法:

xConfiguration Conference DefaultCall Rate: Rate

説明:

Rate:

整数 (64 ~ 6000) [*SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*]

整数 (64 ~ 10000) [*Board*]

整数 (64 ~ 3072) [*DX70/DX80, SX10*]

デフォルトのコール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

10000 [Board]

3072 [DX70/DX80, SX10]

xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定はサイレント セッションのデフォルト期間, つまり着信コールが拒否され, 不在履歴として登録される時間を決定します。セッションは, ユーザ インターフェイスを使用して早期に終了できます。

使用方法:

xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout: DefaultTimeout

説明:

DefaultTimeout:

整数 (1 ~ 1440)

応答不可セッションが自動的にタイムアウトするまでの分数 (最大 1440 分 = 24 時間)。

デフォルト値:

60

xConfiguration Conference Encryption Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

会議の暗号化モードを定義します。会議が開始されると, 数秒間画面に鍵と「Encryption On」または「Encryption Off」という文字が表示されます。

SX20 以外のすべての製品: 注: 暗号化オプション キーがデバイスにインストールされていない場合, 暗号化モードは常に Off になります。

SX20: 注: CE-NC ソフトウェア (暗号なし) がデバイスにインストールされている場合, 暗号化モードは常に Off になります。

使用方法:

xConfiguration Conference Encryption Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On/BestEffort

Off: デバイスは, 暗号化を使用しません。

On: デバイスは, 暗号化されたコールだけを許可します。

BestEffort: デバイスは暗号化を可能な限り使用します。

> ポイント ツー ポイント コール: 遠端デバイスで暗号化 (AES-128) がサポートされている場合, コールは暗号化されます。そうでない場合は, コールは暗号化なしで送信されます。

> MultiSite コール: 暗号化されたマルチサイト会議を実現するためには, すべてのサイトが暗号化をサポートしている必要があります。そうでない場合は, 会議は暗号化されません。

デフォルト値:

BestEffort

xConfiguration Conference FarEndControl Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート側 (遠端) にこちら側のビデオ ソースの選択とローカル カメラの制御 (パン, チルト, ズーム) を許可するかどうか決定できます。

使用方法:

xConfiguration Conference FarEndControl Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: 相手先はこちら側のビデオ ソースの選択やローカル カメラの制御 (パン, チルト, ズーム) を許可されません。

On: 遠端はこちら側のビデオ ソースの選択とローカル カメラの制御 (パン, 傾斜, ズーム) を許可します。カメラの制御とビデオ ソースの選択は, こちら側でも通常どおり可能です。

デフォルト値:

On

xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

遠端制御 (H.224) 信号機能モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Conference FarEndControl SignalCapability: SignalCapability

説明:

SignalCapability:

Off/On

Off: 遠端制御信号機能をディセーブルにします。

On: 遠端制御信号機能をイネーブルにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Conference FarEndMessage Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

制御システムまたはマクロと併用するための, ポイントツーポイント通話における 2 種のデバイス間のデータ送信の許可状況を切り替えます。SIP コールでのみ動作します。この設定は, 遠隔メッセージ送信コマンドの xCommand のコール使用を有効化または無効化します。

使用方法:

xConfiguration Conference FarEndMessage Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: 2 つのデバイス間でメッセージ送信を行うことはできません

On: ポイントツーポイント通話で 2 つのデバイス間のメッセージ送信を行うことができます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

コールの発信または受信時に使用する最大受信ビット レートを定義します。これは個別のコールの最大ビット レートです。すべての同時アクティブ コールに集約した最大レートを設定するには、Conference MaxTotalReceiveCallRate 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate: MaxReceiveCallRate

説明:

MaxReceiveCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

整数 (64 ~ 10000) [Board]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80, SX10]

最大受信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

10000 [Board]

3072 [DX70/DX80, SX10]

xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

コールの発信または受信時に使用する最大送信ビット レートを定義します。これは個別のコールの最大ビット レートです。すべての同時アクティブ コールに集約した最大レートを設定するには、Conference MaxTotalTransmitCallRate 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate: MaxTransmitCallRate

説明:

MaxTransmitCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80, SX10]

最大送信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

3072 [DX70/DX80, SX10]

xConfiguration Conference MaxTotalReceiveCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

受信全体の最大許容ビット レートを定義します。

この設定は、デバイス内蔵の MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイントのビデオ会議をホストする場合に適用されます。ビット レートは任意の時点におけるすべてのアクティブ コール間で均等に分割されます。これは、誰かがマルチポイント会議に参加または退出するとき、またはコールが保留 (中断) されるか再開されるときに個々のコールが適切に高速化または低速化されることを意味します。個々のコールの最大受信ビット レートは、Conference MaxReceiveCallRate 設定により定義されます。

DX70, DX80 および SX10: この製品は、同時に複数のコールをサポートしないため、合計送信帯域は 1 つのコールの送信ビット レートと同じになります (参照: Conference MaxReceiveCallRate 設定)。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxTotalReceiveCallRate: MaxTotalReceiveCallRate

説明:

MaxTotalReceiveCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

整数 (64 ~ 10000) [Board]

整数 (64 ~ 15000) [CodecPro Room 70G2]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80, SX10]

最大受信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

10000 [Board]

15000 [CodecPro Room70G2]

3072 [DX70/DX80, SX10]

xConfiguration Conference MaxTotalTransmitCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

送信全体の最大許容ビット レートを定義します。

この設定は、デバイス内蔵の MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイントのビデオ会議をホストする場合に適用されます。ビット レートは任意の時点におけるすべてのアクティブ コール間で均等に分割されます。これは、誰かがマルチポイント会議に参加または退出するとき、またはコールが保留 (中断) されるか再開されるときに個々のコールが適切に高速化または低速化されることを意味します。個々のコールの最大送信ビット レートは、Conference MaxTransmitCallRate 設定により定義されます。

DX70, DX80, SX10: この製品は、同時に複数のコールをサポートしないため、合計送信帯域は 1 つのコールの送信ビット レートと同じになります (参照: Conference MaxTransmitCallRate 設定)。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxTotalTransmitCallRate: MaxTotalTransmitCallRate

説明:

MaxTotalTransmitCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

整数 (64 ~ 15000) [CodecPro Room 70G2]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80, SX10]

最大送信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

15000 [CodecPro Room70G2]

3072 [DX70/DX80, SX10]

xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのコールが切断されたときに、マイクを自動的にミュート解除するかどうかを定義します。会議室またはその他の共有リソースでは、このようにして次のユーザのためにデバイスを準備する場合があります。

使用方法:

xConfiguration Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: コール中にミュートにされている場合、コールが切断された後もマイクロフォンをミュートにされたままにします。

On: コールが切断された後にマイクロフォンのミュートを解除します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Conference Multipoint Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ポイント ツー ポイント ビデオ コール (二者間のコール) から、より多くの参加者で行うマルチポイント会議に展開する方法を定義します (アドホック会議)。ローカルのリソースのみに依存する組み込みの MultiSite 機能と、集中型のインフラストラクチャ (マルチポイント コントロール ユニット: MCU) をベースとする別のソリューションの両方を使用することができます。

MultiSite 機能はアップグレードオプションであり、すべてのデバイスで使用できるとは限りません。デバイスには、MultiSite オプション キーをインストールする必要があります。SX10、DX70、および DX80 の場合、MultiSite 機能は使用できません。

Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) に登録されている場合、デバイスは他のビデオデバイス呼び出す場合に MultiSite を使用できます。Cisco Unified Communications Manager (CUCM) バージョン 8.6.2 以降に登録されている場合、デバイスは、CUCM 会議ブリッジ、またはデバイス内蔵の MultiSite 機能を使用できます。使用するオプションは CUCM によってセットアップされます。

いずれの場合も、デバイスが会議に参加者を追加できるように MCU を呼び出す場合、MCU を介してマルチパーティ会議がセットアップされます (直接リモート追加)。

使用方法:

xConfiguration Conference Multipoint Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/CUCMMediaResourceGroupList/MultiSite/Off [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

Auto/CUCMMediaResourceGroupList [DX70/DX80 SX10]

Auto: マルチ ポイント メソッドが自動的に選択されます。

MultiSite オプション キーをデバイスにインストールして、他のビデオ デバイス (MCU 以外) を呼び出す場合、マルチパーティ会議は、組み込みの MultiSite 機能を使ってセットアップされません。参加者を追加できるのは MultiSite のホストのみです。これにより、カスケード会議ができなくなります。デバイスに MultiSite オプション キーがない場合、複数のビデオ デバイスをビデオで呼び出すことはできません。SX10、DX70、および DX80 以外のすべての製品は、音声のみの参加者を 1 人追加できます。

MultiSite オプション キーに関係なく、デバイスが会議に参加者を追加する (Direct Remote Add) MCU を呼び出す場合、MCU を介してマルチパーティ会議をセットアップすることができます。

[CUCMMediaResourceGroupList]: マルチパーティ会議は、CUCM で設定された会議ブリッジによってホストされます。この設定は、CUCM 環境で CUCM によってプロビジョニングされるため、ユーザが手動で設定すべきではありません。

MultiSite: デバイスに MultiSite オプション キーがインストールされている場合は、組み込み MultiSite 機能を使ってマルチパーティ会議がセットアップします。デバイスに MultiSite オプショ

ン キーがない場合、複数のデバイスをビデオでコールすることはできません。音声のみのデバイスを 1 つ追加できます。

Off: 複数のデバイスをビデオでコールすることはできませんが、音声のみのデバイスを追加することができます。デバイスが会議に参加者を追加できるように MCU を呼び出す場合、MCU を介してマルチパーティ会議がセットアップされます (Direct Remote Add)。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference MultiStream Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスでは、電話会議のマルチストリーム ビデオをサポートしています。

使用方法:

xConfiguration Conference MultiStream Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off

Auto: 電話会議インフラストラクチャがマルチストリーム機能をサポートしている場合は、マルチストリームが使用されます。最低限必要なバージョン: CMS 2.2, CUCM 11.5, VCS X8.7。

Off: マルチストリームが無効になります。

デフォルト値:

Auto

FacilityService の設定

xConfiguration FacilityService Service [n] Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

最大 5 種類のファシリティ サービスを同時にサポートできます。この設定で、どのようなサービスかを選択できます。ファシリティ サービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。施設サービスは、ユーザ インターフェイスから利用できます。これらは、リモート制御を使用するデバイスでは利用できません。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] Type: Type

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

Type:

Catering/Concierge/Emergency/Helpdesk/Security/Transportation/Other

Catering: ケータリング サービスには、このオプションを選択します。

Concierge: コンシェルジュ サービスには、このオプションを選択します。

Emergency: 緊急サービスには、このオプションを選択します。

Helpdesk: ヘルプ デスク サービスには、このオプションを選択します。

Security: セキュリティ サービスには、このオプションを選択します。

Transportation: 転送サービスには、このオプションを選択します。

Other: その他のオプションでカバーされないサービスには、このオプションを選択します。

デフォルト値:

ヘルプデスク

xConfiguration FacilityService Service [n] Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ファシリティ サービスの名前を定義します。最大 5 種類のファシリティ サービスがサポートされます。ファシリティ サービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。名前は、上部バーの疑問符アイコンをタップすると表示されるファシリティ サービス コール ボタンに表示されます。施設サービスは、ユーザ インターフェイスから利用できます。これらは、リモート制御を使用するデバイスでは利用できません。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] Name: "Name"

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

Name:

文字列 (0, 1024)

ファシリティ サービスの名前。

デフォルト値:

Service 1: "Live Support" その他のサービス: ""

xConfiguration FacilityService Service [n] Number

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ファシリティ サービスの番号 (URI または電話番号) を定義します。最大 5 種類のファシリティ サービスがサポートされます。ファシリティ サービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。施設サービスは、ユーザ インターフェイスから利用できます。これらは、リモート制御を使用するデバイスでは利用できません。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] Number: "Number"

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

番号:

文字列 (0, 1024)

ファシリティ サービスの番号 (URI または電話番号)。

デフォルト値:

""

xConfiguration FacilityService Service [n] CallType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

各ファシリティ サービスのコール タイプを定義します。最大 5 種類のファシリティ サービスがサポートされます。ファシリティ サービスは、FacilityService Service [n] Name と FacilityService Service [n] Number の両方の設定が正しく設定されていないと使用できません。施設サービスは、ユーザ インターフェイスから利用できます。これらは、リモート制御を使用するデバイスでは利用できません。

使用方法:

xConfiguration FacilityService Service [n] CallType: CallType

説明:

n: サービスを特定する固有 ID

範囲: 1 ~ 5

CallType:

Audio/Video

Audio: オーディオ コールには、このオプションを選択します。

Video: ビデオ コールには、このオプションを選択します。

デフォルト値:

ビデオ

GPIO の設定

xConfiguration GPIO Pin [n] Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

4 つの GPIO のピンは個別に設定されます。状態は、xStatus GPIO Pin [1..4] State により取得できません。デフォルトの PIN 状態は High (+12 V) です。ピンは、出力としてアクティブ化すると、0 V (低) に設定され、非アクティブ化すると、+12 V (高) に設定されます。ピンを入力としてアクティブ化するには、ピンの電圧を 0 V に下げる必要があります、非アクティブ化するには、電圧を +12 V に上げる必要があります。

使用方法:

xConfiguration GPIO Pin [n] Mode: Mode

説明:

n: GPIO ピン番号。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

InputAcceptAllCalls/InputDisconnectAllCalls/InputMuteMicrophones/InputNoAction/OutputAllCallsEncrypted/OutputInCall/OutputManualState/OutputMicrophonesMuted/OutputPresentationOn/OutputStandbyActive

InputAcceptAllCalls: ピンがアクティブになると、すべての着信コールを受け入れる xCommand Call Accept コマンドが発行されます。

InputDisconnectAllCalls: ピンがアクティブになると、すべてのコールを切断する xCommand Call Disconnect コマンドが発行されます。

InputMuteMicrophones: ピンがアクティブになると、マイクがミュートになります。非アクティブになると、マイクがミュート解除されます。

InputNoAction: ピン状態は設定できますが、操作は行われません。

OutputAllCallsEncrypted: すべての通話が暗号化されるとピンがアクティブになり、複数の通話が暗号化されないと非アクティブになります。

OutputInCall: 通話中の場合はピンがアクティブになり、通話中でない場合は非アクティブになります。

OutputManualState: ピン状態を xCommand GPIO ManualState Set PinX: High/Low により設定できます。それぞれ、+12 V または 0 V に設定されます。

OutputMicrophonesMuted: マイクがミュートされるとピンがアクティブ化され、ミュート解除されると非アクティブ化されます。

OutputPresentationOn: プレゼンテーションがアクティブになるとピンがアクティブ化され、プレゼンテーションが非アクティブのときは非アクティブ化されます。

OutputStandbyActive: デバイスがスタンバイ モードになると PIN が有効化され、スタンバイ モードが終了すると無効化されます。

デフォルト値:

InputNoAction

H.323 の設定

xConfiguration H323 Authentication Mode

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 プロファイルの認証モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスは H.323 ゲートキーパーに対して自身の認証を試行せず、通常の登録を試行します。

On: 認証が必要なことを H.323 ゲートキーパーから示されると、デバイスはゲートキーパーに対して自身の認証を試みます。デバイスとゲートキーパーの両方で、H323 Authentication LoginName と H323 Authentication Password の設定を定義する必要があります。

デフォルト値:

Off



xConfiguration H323 Authentication LoginName

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスは認証のために、H.323 ゲートキーパーに H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを送信します。認証はデバイスから H.323 ゲートキーパーへの単方向の認証です。つまり、デバイスはゲートキーパーに認証されます。認証が不要であることを H.323 ゲートキーパーが示している場合でも、デバイスは登録を試行します。[H.323 認証モード (H.323 Authentication Mode)] がイネーブルになっている必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 50)

認証ログイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 Authentication Password

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスは認証のために、H.323 ゲートキーパーに H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを送信します。認証はデバイスから H.323 ゲートキーパーへの単方向の認証です。つまり、デバイスはゲートキーパーに認証されます。認証が不要であることを H.323 ゲートキーパーが示している場合でも、デバイスは登録を試行します。[H.323 認証モード (H.323 Authentication Mode)] がイネーブルになっている必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication Password: "Password"

説明:

Password:

文字列 (0, 50)

認証パスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 CallSetup Mode

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 コールを確立するときにゲートキーパーとダイレクト コールのどちらを使用するかを定義します。

ダイレクト H.323 コールは、H323 CallSetup Mode が Gatekeeper に設定されている場合も発信できません。

使用方法:

xConfiguration H323 CallSetup Mode: Mode

説明:

Mode:

Direct/Gatekeeper

Direct: IP アドレスに直接ダイヤルすることによってのみ、H.323 コールを発信できます。

Gatekeeper: デバイスは、H.323 コールを発信するためにゲートキーパーを使用します。このオプションを選択する場合は、H323 Gatekeeper Address も設定する必要があります。

デフォルト値:

Gatekeeper

xConfiguration H323 Encryption KeySize

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN

Advanced Encryption Standard (AES) 暗号化キーの確立時に使用する Diffie-Hellman キー交換方式の最小または最大のキー サイズを定義します。

使用方法:

xConfiguration H323 Encryption KeySize: KeySize

説明:

KeySize:

Max1024bit/Min1024bit/Min2048bit

Max1024bit: 最大サイズは 1024 ビットです。

Min1024bit: 最小サイズは 1024 ビットです。

Min2048bit: 最小サイズは 2048 ビットです。

デフォルト値:

Min1024bit

xConfiguration H323 Gatekeeper Address

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN

ゲートキーパーの IP アドレスを定義します。H323 CallSetup Mode を Gatekeeper に設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Gatekeeper Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 H323Alias E164

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 エイリアス E.164 は、H.323 ゲートキーパーに設定されたナンバリング プランに従ってデバイスのアドレスを定義します。E.164 エイリアスは電話番号と同じであり、アクセス コードと結合される場合もあります。

使用方法:

xConfiguration H323 H323Alias E164: "E164"

説明:

E164:

文字列 (0, 30)

H.323 Alias E.164 のアドレス。使用できる文字は、0 ~ 9, *, # です。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 H323Alias ID

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 エイリアス ID を定義します。この ID は、H.323 ゲートキーパーでデバイスのアドレス指定に使用され、コール リストに表示されます。

使用方法:

xConfiguration H323 H323Alias ID: "ID"

説明:

ID:

文字列 (0, 49)

H.323 エイリアス ID。例: "firstname.lastname@company.com", "My H.323 Alias ID"

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 NAT Mode

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ファイアウォール トラバーサル テクノロジーは、ファイアウォール障壁を通過するセキュアなパスを作成し、外部のビデオ会議デバイスに接続されたときの音声/ビデオ データの正しい交換を可能にします (IP トラフィックが NAT ルータを通過する場合)。注: NAT は、ゲートキーパーとの組み合わせでは動作しません。

使用方法:

xConfiguration H323 NAT Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off/On

Auto: H323 NAT アドレスと実際の IP アドレスのどちらをシグナリングに使用するかをデバイスが決定します。これにより、LAN 上のデバイス、または WAN のデバイスにコールを発信できるようになります。H323 NAT アドレスが間違っているか設定されていない場合、実際の IP アドレスが使用されます。

Off: デバイスは、実際の IP アドレスをシグナリングします。

On: デバイスは、Q.931 および H.245 内にある実際の IP アドレスの代わりに、設定された H323 NAT アドレスをシグナリングします。NAT サーバ アドレスは、スタートアップ メニューに [My IP Address: 10.0.2.1] と表示されます。H323 NAT アドレスが間違っているか設定されていない場合、H.323 コールは設定できません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 NAT Address

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

NAT 対応ルータの外部/グローバル IP アドレスを定義します。ルータに送信されるパケットは、ビデオ会議デバイスにルーティングされます。ゲートキーパーに登録されている場合は NAT を使用できないことに注意してください。

ルータで、次のポートはビデオ会議デバイスの IP アドレスにルーティングする必要があります。

* ポート 1720

*ポート 5555-6555

*ポート 2326-2487

使用方法:

xConfiguration H323 NAT Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

HttpClient の設定

xConfiguration HttpClient Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP(S) 要求および応答を使用する外部 HTTP(S) サーバとのコミュニケーションを許可または禁止します。

使用方法:

xConfiguration HttpClient Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: ビデオ会議デバイスは外部 HTTP(S) サーバと通信できません。

On: ビデオ会議デバイスは外部 HTTP(S) サーバと通信できるようになります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration HttpClient AllowHTTP

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

HttpClient モード の設定は、外部 HTTPs サーバとの通信を許可または禁止するために使用されます。モード設定では HTTP と HTTPS の区別をしていません。HTTP の使用を許可または禁止するには、HttpClient AllowHTTP 設定を使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration HttpClient AllowHTTP: AllowHTTP

説明:

AllowHTTP:

False/True

False :ビデオ会議デバイスは、HTTPS のみで通信できます。

True :ビデオ会議デバイスは、HTTPS と HTTP の両方で通信できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

サーバの証明書を最初に確認せずに、HTTPS を使用したサーバとの通信をビデオ会議デバイスに許可するかどうかを選択することができます。

デバイスによる証明書検証プロセスのスキップを許可する設定になっていても、自動的にスキップされません。証明書検証なしでデータをサーバで交換するには AllowInsecureHTTPS パラメータを各 xCommand HttpClient コマンドで具体的に設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

False : デバイスは常に、HTTPS サーバに有効な証明書があるかどうかを確認します。証明書の検証に失敗した場合、サーバとの通信は行われません。

True : デバイスは、サーバと通信する前に証明書検証プロセスをスキップすることができます。

デフォルト値:

False

HttpFeedback の設定

xConfiguration HttpFeedback TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定は、ビデオ会議デバイスが任意の HTTPS 通信のために HTTPS サーバに接続するときに適用されます (HttpClient Post/Put/Patch/Get/Delete コマンドを参照してください)。電話帳、プロビジョニング、および外部ログサーバについては、「Phonebook Server 1 TlsVerify, Provisioning TlsVerify および Logging External TlsVerify の設定」を参照してください。

デバイスと HTTPS サーバ間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (プレインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロードするリスト) に含める必要があります。

一般に、HTTPS 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) のバージョンは 1.1 です。このルールには次の 2 つの例外があります。1) 互換性のため、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウドサービスに登録されているデバイスは、常にバージョン 1.2 を使用しています。

注: アップグレード後にデバイスが工場出荷時状態にリセットされておらず、旧 NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate の設定である場合、この値は CE 9.8 以前のソフトウェアバージョンから CE 9.9 (またはそれ以降) にアップグレードされたデバイスに対して Off に設定されます。明示的に On に設定されません。

使用方法:

xConfiguration HttpFeedback TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない証明書の場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

ロギングの設定

xConfiguration Logging External Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスログをリモート syslog サーバに保管するかどうかを決定。ロギングモード設定がオフに設定されている場合、この設定には効果がありません。

リモートサーバのアドレスをロギング外部サーバ アドレス設定に入力する必要があります。ロギング外部サーバ ポートセットに記載されていない限り、標準規格 syslog ポートが使用されます。

使用方法:

xConfiguration Logging External Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスログはリモート syslog サーバに保存されません。

On: デバイスログはリモート syslog サーバに保存されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Logging External Protocol

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート ログイング サーバに対して使用するプロトコルを決定します。syslog プロトコル over TLS (Transport Layer Security), またはプレーンテキストの syslog プロトコルのいずれかを使用できます。syslog プロトコルの詳細については, RFC 5424 を参照してください。

使用方法:

xConfiguration Logging External Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

Syslog/SyslogTLS

Syslog:プレーン テキストの syslog プロトコル。

SyslogTLS:syslog プロトコル over TLS。

デフォルト値:

SyslogTLS

xConfiguration Logging External Server Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート syslog サーバの IP アドレス。

使用方法:

xConfiguration Logging External Server Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス, IPv6 アドレス, または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Logging External Server Port

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート syslog サーバがメッセージをリッスンするポート。0 に設定した場合, デバイスは標準の syslog ポートを使用します。syslog の標準 syslog ポートは 514 で, TLS を使用した syslog の標準 syslog ポートは 6514 です。

使用方法:

xConfiguration Logging External Server Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

リモート syslog サーバが使用しているポート番号。0 は, デバイスが標準 syslog ポートを使用することを意味します。

デフォルト値:

514

xConfiguration Logging External TlsVerify

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定は、ビデオ会議デバイスがリモートの syslog サーバに接続している場合に適用されます。通常のログ作成 (Logging External Mode の設定を参照) と監査ログ (Security Audit Logging Mode の設定を参照) の両方に適用されます。

デバイスと syslog サーバ間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (プレインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロードするリスト) に含める必要があります。

syslog 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) のバージョンは 1.1 です。

使用方法:

xConfiguration Logging External TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは syslog サーバの証明書を確認しません。

On: デバイスは、syslog サーバの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない証明書の場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Logging Internal Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システム ログをデバイス (ローカル ファイル) に保存するかどうかを決定します。これらは、ログバンドルをデバイスからダウンロードした際に得られるファイルです。ロギングモード設定がオフに設定されている場合、この設定には効果がありません。

使用方法:

xConfiguration Logging Internal Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: システム ログはデバイスに保存されません。

On: システム ログはデバイスに保存されます。

デフォルト値:

On

Macros の設定

xConfiguration Macros Mode

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロによって、ビデオ会議デバイスの一部を自動化することができる JavaScript コードのスニペットを記述できます。このようにしてカスタム動作を作成します。デフォルトではマクロの使用は無効化されていますが、最初にマクロ エディタを開くときにデバイスでのマクロ使用を有効にするかどうか確認を求められます。デバイスのマクロの使用を手動で有効にする場合や、完全に無効にする場合は、この設定を使用します。マクロ エディタ内でのマクロの使用を無効にすることができます。ただし、デバイスがマクロをリセットするたびにマクロが自動的に再度有効化されるため、マクロの実行は常時無効にはなりません。

使用方法:

xConfiguration Macros Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: このデバイス上でのマクロの使用を完全に無効にします。

On: このデバイス上でのマクロの使用を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Macros AutoStart

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのマクロは、マクロ ランタイムに呼び出され、ビデオ会議デバイスにおいてシングル プロセスで実行します。デフォルトでは実行されている必要がありますが、手動での停止と開始を選択することができます。自動開始が有効化されている場合、デバイスを再起動するときにランタイムは自動的に再度開始します。

使用方法:

xConfiguration Macros AutoStart: AutoStart

説明:

AutoStart:

Off/On

Off: デバイスの再起動後、マクロ ランタイムは自動的に開始しません。

On: デバイスの再起動後、マクロ ランタイムは自動的に開始します。

デフォルト値:

On

ネットワークの設定

xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張 (DNSSEC) は、DNS の拡張セットです。署名されたゾーンの DNS の応答を認証するために使用されます。署名されていないゾーンを引き続き許可します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張を無効にします。

On: ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] DNS Domain Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

DNS ドメイン名は非修飾名に追加されるデフォルトのドメイン名サフィックスです。

例: DNS ドメイン名が「company.com」で、ルックアップする名前が「MyVideoSystem」の場合、DNS ルックアップ「MyVideoSystem.company.com」になります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS Domain Name: "Name"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Name:

文字列 (0, 64)

DNS ドメイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

DNS サーバのネットワーク アドレスを定義します。最大 3 つまでのアドレスを指定できます。ネットワーク アドレスが不明の場合、管理者またはインターネット サービス プロバイダーにお問い合わせます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

m: DNS サーバを識別するインデックス。最大 3 台の DNS サーバが許可されます。

範囲: 1 ~ 3

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスは、イーサネット ネットワークに認証済みネットワーク アクセスを提供するために使用される、ポート ベースのネットワーク アクセス コントロールによって、IEEE 802.1X LAN ネットワークに接続できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: 802.1X 認証が無効になります。

On: 802.1X 認証が有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

TLS を使用する場合の、ローカル CA リストの証明書に対する IEEE802.1x 接続のサーバ側証明書の検証です。CA リストをビデオ会議デバイスにアップロードする必要があります。これは、ウェブ インターフェイスから実行できます。

この設定は、Network [1] IEEE8021X Eap Tls が有効 (On) の場合にのみ有効です。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify: TlsVerify

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

TlsVerify:

Off/On

Off: Off に設定する場合、ローカル CA リストに対するサーバ側 X.509 証明書を確認せずに、TLS 接続が許可されます。これは、デバイスに CA リストがアップロードされていない場合に選択する必要があります。

On: On に設定する場合、すべての TLS 接続のローカル CA リストに対して、サーバ側 X.509 証明書が検証されます。有効な証明書を持つサーバだけが許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IEEE802.1x 接続中の、秘密キーと証明書のペアを使用した認証。認証 X.509 証明書は、ビデオ デバイスにアップロードされている必要があります。これは、Web インターフェイスから実行できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate: UseClientCertificate

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

UseClientCertificate:

Off/On

Off: Off に設定した場合、クライアント側の証明書は使用されません (サーバ側のみ)。

On: On に設定した場合、クライアント (ビデオ会議デバイス) はサーバと相互認証 TLS ハンドシェイクを実行します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

802.1X 認証用のユーザー名を定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity: "Identity"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Identity:

文字列 (0, 64)

802.1X 認証用のユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

802.1X 認証用のパスワードを定義します。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password: "Password"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

パスワード:

文字列 (0, 50)

802.1X 認証用のパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

802.1X 匿名 ID 文字列は、別のトンネリングされた ID をサポートする EAP-PEAP および EAP-TTLS などの EAP (Extensible Authentication Protocol) タイプとともに、非暗号化 ID として使用されます。設定された場合、匿名 ID は最初の (非暗号化) EAP ID 要求に使用されます。

使用方法:

```
xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity: "AnonymousIdentity"
```

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

AnonymousIdentity:

文字列 (0, 64)

802.1X 匿名 ID 文字列。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

MD5 (メッセージダイジェスト アルゴリズム 5) モードを定義します。これは、共有秘密に依存するチャレンジ ハンドシェイク認証プロトコルです。MD5 は弱いセキュリティです。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5: Md5

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Md5:

Off/On

Off: EAP-MD5 プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-MD5 プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

TTLS (トンネル方式トランスポート層セキュリティ) モードを定義します。クライアント証明書の要件なしで LAN クライアントを認証します。Funk Software および Certicom によって開発されました。通常 Agere Systems, Proxim および Avaya でサポートされます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls: Ttls

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Ttls:

Off/On

Off: EAP-TTLS プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-TTLS プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IEEE802.1x 接続用の EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) の使用をイネーブルまたはディセーブルにします。RFC5216 で定義された EAP-TLS プロトコルは最もセキュアな EAP 標準の 1 つと見なされています。LAN クライアントは、クライアント証明書を使用して認証されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls: Tls

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

[Tls]:

Off/On

Off: EAP-TLS プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-TLS プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

PEAP (Protected Extensible Authentication Protocol) モードを定義します。クライアント証明書の要件なしで LAN クライアントを認証します。Microsoft, Cisco と RSA Security により開発されました。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap: Peap

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Peap:

Off/On

Off: EAP-PEAP プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-PEAP プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IPStack

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスのネットワーク インターフェイスで IPv4, IPv6, またはデュアル IP スタックを使用する必要がある場合に選択します。注: この設定を変更した後, 反映されるまでに 30 秒間待つ必要があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPStack: IPStack

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

IPStack:

Dual IPv4/IPv6

Dual: Dual に設定すると, ネットワーク インターフェイスは両方の IP バージョンで同時に動作することができ, また, IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を同時に持つことができます。

IPv4: IPv4 に設定すると, デバイスのネットワーク インターフェイスで IPv4 が使用されます。

IPv6: IPv6 に設定すると, デバイスのネットワーク インターフェイスで IPv6 が使用されます。

デフォルト値:

Dual

xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが IPv4 アドレス, サブネット マスク, およびゲートウェイ アドレスを取得する方法を定義します。

SX10, SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, および Touch 10 では, アドレス割り当てに DHCP を利用する場合, MAC アドレスが DHCP リクエストでのクライアント識別子として使用されます。MAC アドレスによって最後に付加される「01」は, 他の製品に使用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment: Assignment

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Assignment:

Static DHCP

Static: アドレスは, Network IPv4 Address, Network IPv4 Gateway, Network IPv4 SubnetMask の各設定 (静的アドレス) を使用して手動で設定する必要があります。

DHCP: デバイス アドレスは DHCP サーバによって自動的に割り当てられます。

デフォルト値:

DHCP

xConfiguration Network [n] IPv4 Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスのスタティック IPv4 ネットワーク アドレスを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv4 ネットワークのサブネット マスクを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask: "SubnetMask"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

SubnetMask:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv4 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway: "Gateway"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Gateway:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが IPv6 アドレスおよびデフォルト ゲートウェイ アドレスを取得する方法を定義します。SX10, SX20, SX80, MX200 G2, MX300 G2, および Touch 10 では、アドレス割り当てに DHCPv6 を利用する場合、MAC アドレスが DHCP リクエストでのクライアント識別子として使用されません。MAC アドレスによって最後に付加される「01」は、他の製品に使用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment: Assignment

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Assignment:

静的 (Static) /DHCPv6/Autoconf

Static: デバイスおよびゲートウェイの IP アドレスは、Network IPv6 Address および Network IPv6 Gateway の各設定を使用して手動で設定する必要があります。NTP アドレスや DNS サーバ アドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバから取得する必要があります。Network IPv6 DHCPOption 設定は、どの方法を使用するかを決定します。

DHCPv6: オプションを含むすべての IPv6 アドレスは、DHCPv6 サーバから取得されます。詳細については RFC3315 を参照してください。Network IPv6 DHCPOption 設定は無視されます。

Autoconf: IPv6 ネットワーク インターフェイスの IPv6 ステータス自動設定をイネーブルにします。詳細については RFC4862 を参照してください。NTP アドレスや DNS サーバ アドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバから取得する必要があります。Network IPv6 DHCPOption 設定は、どの方法を使用するかを決定します。

デフォルト値:

Autoconf

xConfiguration Network [n] IPv6 Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスのスタティック IPv6 ネットワーク アドレスを定義します。Network IPv6 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

アドレス:

文字列 (0, 64)

ネットワーク マスクを含む有効な IPv6 アドレス。例: 2001:DB8::/48

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv6 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。この設定は、Network IPv6 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway: "Gateway"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Gateway:

文字列 (0, 64)

有効な IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

DHCPv6 サーバから一連の DHCP オプション (NTP および DNS サーバ アドレスなど) を取得します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions: DHCPOptions

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

DHCPOptions:

Off/On

Off: DHCPv6 サーバからの DHCP オプションの取得を無効にします。

On: 選択した DHCP オプションのセットの DHCPv6 サーバからの取得をイネーブルにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] MTU

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

イーサネット MTU (最大伝送ユニット) サイズを定義します。MTU サイズは、ネットワーク インフラストラクチャでサポートする必要があります。IPv4 の場合、最小サイズは 576 で、IPv6 の場合、最小サイズは 1280 です。

使用方法:

xConfiguration Network [n] MTU: MTU

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

MTU:

整数 (576 ~ 1500)

MTU の値を設定します (バイト単位)。

デフォルト値:

1500

xConfiguration Network [n] QoS Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

QoS (Quality of Service) は、ネットワーク内のオーディオ、ビデオおよびデータの優先順位を操作するメソッドです。QoS 設定はインフラストラクチャでサポートされている必要があります。DiffServ (ディファレンシエーテッド サービス) は、ネットワーク トラフィックの分類と管理を行い、現代的 IP ネットワークに QoS を提供するためにシンプルかつスケーラブルで粗粒度のメカニズムを指定する、コンピュータ ネットワーキング アーキテクチャです。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off Diffserv

Off: QoS モードは使用されません。

Diffserv: QoS モードを Diffserv に設定すると、Network QoS Diffserv Audio, Network QoS Diffserv Video, Network QoS Diffserv Data, Network QoS Diffserv Signalling, Network QoS Diffserv ICMPv6, および Network QoS Diffserv NTP の各設定を使用してパケットの優先順位が付けられます。

デフォルト値:

Diffserv

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で音声パケットに持たせる優先順位を定義します。

パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。音声に推奨されるクラスは、10 進数値 32 と等しい CS4 です。これを確認するには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio: Audio

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Audio:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワークでの音声パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内でビデオ パケットに持たせる優先順位を定義します。プレゼンテーション チャンネル (共有コンテンツ) 上のパケットも、ビデオ パケットのカテゴリに属します。パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。ビデオに推奨されるクラスは、10 進数値 32 と等しい CS4 です。これを確認するには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video: Video

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Video:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワークでのビデオ パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内でデータ パケットに持たせる優先順位を定義します。

パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。データに対する推奨値は 0 (ベスト エフォート) です。これを確認するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data: Data

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Data:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワークでのデータ パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内でリアルタイム処理に不可欠 (時間依存) であると考えられるシグナリング パケットに持たせる優先順位を定義します。

パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。シグナリングに推奨されるクラスは、10 進数値 24 と等しい CS3 です。これを確認するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling: Signalling

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Signalling:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワークでの信号パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で ICMPv6 パケットに持たせる優先順位を定義します。

パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。ICMPv6 に対する推奨値は 0 (ベスト エフォート) です。これを確認するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6: ICMPv6

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

ICMPv6:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワークでの ICMPv6 パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で NTP パケットに持たせる優先順位を定義します。

パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。NTP に対する推奨値は 0 (ベスト エフォート) です。これを確認するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP: NTP

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

NTP:

整数 (0 ~ 63)

IP ネットワークでの NTP パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート アクセスで HTTP, HTTPS, SSH, Telnet からデバイスに許可する IP アドレス (IPv4/IPv6) を定義します。

ネットワーク マスク (IP 範囲) は <ip address>/N で指定されます。ここで N は IPv4 では 1 ~ 32 の範囲および IPv6 では 1 ~ 128 の範囲を表します。/N は最初の N ビットがセットされたネットワークマスクの共通インジケータです。たとえば 192.168.0.0/24 は、192.168.0 で開始するどのアドレスとも一致します。これらはアドレスの最初の 24 ビットだからです。複数の IP アドレスはスペースで区切られます。

Telnet は、SX シリーズ、MX シリーズ、および DX70/DX80 でのみサポートされます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow: "allow"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

allow:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] Speed

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

イーサネット リンクの色度を定義します。デフォルト値では、ネットワークとネゴシエートして自動的に速度が設定されます。このため、デフォルト値は変更しないことをお勧めします。自動ネゴシエーションを使用しない場合、選択した速度を、ネットワーク インフラストラクチャの最も近いスイッチがサポートしているか確認してください。

使用方法:

xConfiguration Network [n] Speed: Speed

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Speed:

Auto/10half/10full/100half/100full [SX10]

Auto/10half/10full/100half/100full/1000full [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

Auto: リンク速度を自動でネゴシエートします。

10half: 10 Mbps 半二重に強制リンクします。

10full: 10 Mbps 全二重に強制リンクします。

100half: 100 Mbps 半二重に強制リンクします。

100full: 100 Mbps 全二重に強制リンクします。

1000full: 1 Gbps 全二重に強制リンクします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

VLAN 音声モードを定義します。Cisco UCM (Cisco Unified Communications Manager) をプロビジョニング インフラストラクチャとして使用している場合、VLAN Voice Mode が Auto に自動的に設定されます。NetworkServices CDP Mode 設定が Off になっている場合は、Auto モードは機能しないことに注意してください。

使用方法:

xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: Cisco Discovery Protocol (CDP) が使用可能な場合は、音声 VLAN に ID を割り当てます。CDP を使用できない場合、VLAN はイネーブルになりません。

Manual: VLAN ID は、Network VLAN Voice VlanId の設定を使用して手動で設定されます。CDP を使用できる場合、手動設定値は、CDP によって割り当てられた値によって却下されます。

Off: VLAN はイネーブルになりません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

VLAN 音声 ID を定義します。この設定は、ネットワーク VLAN 音声モード が Manual に設定されている場合にだけ有効になります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId: VlanId

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

VlanId:

整数 (1 ~ 4094)

VLAN 音声 ID を設定します。

デフォルト値:

1

NetworkPort の設定

xConfiguration NetworkPort [n] Mode

適用対象: DX70/DX80

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ会議デバイスには、2 つのネットワークポートがあります。最初のネットワーク ポートは、デバイスをイーサネット LAN に接続するためのものです。2 番目のネットワーク ポート (コンピュータ ネットワーク ポートとも呼ばれます) では、デバイスを介してイーサネット LAN にコンピュータを接続することができます。このように、ネットワーク コンセントが 1 つあればデバイスとコンピュータの両方をサポートすることができます。

公共の場所でビデオ会議デバイスを使用する場合は、ユーザーがデバイスを介してコンピュータをネットワーク接続することを防ぐため、このネットワーク ポートを無効にすることをお勧めします。

この設定への変更を反映させるには、デバイスを再起動する必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkPort [n] Mode: Mode

説明:

n: ネットワーク ポートを識別する一意の ID。

範囲: 2 ~ 2

Mode:

Off/On

Off: コンピュータ ネットワーク ポートは無効です。

On: コンピュータ ネットワーク ポートは使用可能です。

デフォルト値:

On

NetworkServices の設定

xConfiguration NetworkServices CDP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

CDP (Cisco Discovery Protocol) デーモンを有効または無効にします。CDP を有効にすると、デバイスは特定の統計情報とデバイス ID を CDP 対応スイッチにレポートします。CDP を無効にする場合、Network VLAN Voice Mode: Auto 設定は機能しません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices CDP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: CDP デーモンは無効です。

On: CDP デーモンはイネーブルです。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices H323 Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスでの H.323 コールの受発信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices H323 Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: H.323 コールの発信と受信の可能性をディセーブルにします。

On: H.323 コールの発信と受信の可能性を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP または HTTPS (セキュア HTTP) プロトコルによるデバイスへのアクセスを許可するかどうかを指定します。デバイスの Web インターフェイスは HTTP または HTTPS を使用することに注意してください。この設定を Off にすると、ウェブ インターフェイスを使用できなくなります。

セキュリティの強化 (ウェブ サーバから返されるページと要求の暗号化/暗号化解除) が必要な場合、HTTPS のみを許可します。

注: 以前のソフトウェア バージョンから CE9.4 (以降) にアップグレードされ、アップグレード後に工場出荷時の設定にリセットされていない状態で提供されるデバイスについて、デフォルト値は HTTP + HTTPS となります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/HTTP+HTTPS/HTTPS

Off: HTTP や HTTPS によるデバイスへのアクセスを禁止します。

HTTP+HTTPS: HTTP と HTTPS の両方によるデバイスへのアクセスを許可します。

HTTPS: HTTPS によるデバイスへのアクセスを許可し、HTTP によるアクセスを禁止します。

デフォルト値:

HTTPS (CE9.4 では HTTP+HTTPS から HTTPS に変更)

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

これは、HTTP プロキシへの認証に使用されるクレデンシャルのユーザー名部分です。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 80)

認証ログイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

これは、HTTP プロキシへの認証に使われるクレデンシャルのパスワード部分です。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password: "Password"

説明:

Password:

文字列 (0, 64)

認証パスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Cisco Webex クラウド サービスに登録されているデバイスを設定して、HTTPS および WebSocket トラフィックにプロキシ サーバを使用することができます。Cisco Webex の HTTP プロキシを手動でセットアップすることができます。自動設定 (PACUrl) , 完全自動 (WPAD) , またはオフにしておくことができます。

デバイスが CUCM または VCS などのオンプレミス サービスに登録されている場合は、この設定をオフのままにしておきます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode: Mode

説明:

Mode:

Manual/Off/PACUrl/WPAD

Manual: ネットワーク サービス HTTP プロキシ URL 設定にプロキシ サーバのアドレスを入力します。必要に応じて、ネットワーク サービス HTTP プロキシ ログイン名/パスワード設定に HTTP プロキシのログイン名とパスワードを追加します。

Off: HTTP プロキシ モードがオフになっています。

PACUrl: HTTP プロキシは自動構成です。ネットワーク サービス HTTP プロキシ PACUrl 設定で PAC (プロキシ自動設定) スクリプトの URL を入力する必要があります。

WPAD: WPAD (Web プロキシ自動検出) を使用して、HTTP のプロキシは完全に自動化されかつ自動構成されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP プロキシ サーバの URL を設定します。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url: "Url"

説明:

URL:

文字列 (0, 255)

HTTP プロキシ サーバの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL を設定します。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が PACUrl に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl: "PACUrl"

説明:

PACUrl:

文字列 (0, 255)

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可する TLS (Transport Layer Security) プロトコルの最低バージョンを設定します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以降のサポート。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以降のサポート。

デフォルト値:

TLSv1.1

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP Strict Transport Security ヘッダーにより、Web サイトからブラウザに対して、サイトを HTTP を使用してロードすることを避け、サイトへの HTTP を使用したアクセスはすべて HTTPS リクエストに自動変換する必要があることを通知します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity:

StrictTransportSecurity

説明:

StrictTransportSecurity:

Off/On

Off: HTTP Strict Transport Security 機能が無効になります。

On: HTTP Strict Transport Security 機能が有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ会議デバイスが HTTPS クライアント (ウェブ ブラウザなど) に接続すると、クライアントは自分自身を識別するためにビデオ会議デバイスに証明書を提示するように要求されることがあります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate:

VerifyClientCertificate

説明:

VerifyClientCertificate:

Off/On

Off: クライアント証明書を確認しません。

On: 信頼できる認証局 (CA) によって署名された証明書を提示するようクライアントに要求します。これには、信頼できる CA のリストがデバイスに事前にアップロードされている必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices NTP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) は、リファレンス タイム サーバにデバイスの時刻と日付を同期するために使用されます。時間の更新のために、タイム サーバに定期的に照会します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: デバイスは時間を参照するために NTP サーバを使用します。デフォルトでは、サーバのアドレスはネットワークの DHCP サーバから取得されます。DHCP サーバを使用しない場合や、DHCP サーバが NTP サーバのアドレスを提供しない場合は、NetworkServices NTP Server [n] Address 設定で指定された NTP サーバ アドレスが使用されます。

Manual: デバイスは、NetworkServices NTP Server [n] Address 設定で指定された NTP サーバを使って時間を参照します。

Off: デバイスは NTP サーバを使用しません。NetworkServices NTP Server [n] Address 設定は無視されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

NetworkServices NTP Mode が Manual に設定された場合、および NetworkServices NTP Mode が Auto に設定されアドレスが DHCP サーバから提供されない場合に使用される NTP サーバのアドレスです。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address: "Address"

説明:

n: NTP サーバに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス, IPv6 アドレス, または DNS 名。

デフォルト値:

"0.tandberg.pool.ntp.org"

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Key

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

NTP 情報が信頼できる送信元から来ていることを確かめるために、ビデオ会議デバイスは NTP 送信元が使用する ID とキーのペアリングを把握する必要があります。キーおよび ID それぞれの設定には、NetworkServices NTP サーバ [n] キーおよび NetworkServices NTP サーバ [n] KeyId 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Key: "key"

説明:

n: NTP サーバに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

凡例:

文字列 (0, 2045)

NTP ソースが使用する ID またはキーペアの一部であるキー。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

NTP 情報が信頼できる送信元から来ていることを確かめるために、ビデオ会議デバイスは NTP 送信元が使用する ID とキーのペアリングを把握する必要があります。キーおよび ID それぞれの設定には、NetworkServices NTP サーバ [n] キーおよび NetworkServices NTP サーバ [n] KeyId 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyId: "KeyId"

説明:

n: NTP サーバに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

KeyId:

文字列 (0, 10)

NTP ソースが使用する ID/キーペアの一部である ID。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithn

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

NTP サーバが使用し、ビデオ会議デバイスが時間メッセージを認証するために使用する必要がある、認証ハッシュ機能を選択します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithn: KeyAlgorithn

説明:

n: NTP サーバに対応する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

KeyAlgorithn:

None/SHA1/SHA256

None: NTPサーバはハッシュ機能を使用しません。

SHA1: NTPサーバは SHA-1 ハッシュ機能を使用します。

SHA256: NTP サーバは SHA-256 ハッシュ機能を使用します (ハッシュ機能の SHA-2 群から)。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SIP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスで SIP コールの発信および受信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SIP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: SIP コールの発信と受信の可能性をディセーブルにします。

On: SIP コールの発信と受信の可能性を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices SMTP Mode

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

SMTP (簡易メール転送プロトコル) を使用するようにデバイスを設定して、デバイスから中継用のメール サーバーに電子メールを送信することができます。これは、ユーザーが組織内外の人に電子メールでホワイトボードやプレゼンテーションを送信する場合に必要です。

暗号化通信を使用するように設定されているデバイスでは ([ネットワークサービス SMTP セキュリティ (NetworkServices SMTP Security)] 設定を参照), SMTP サーバーの証明書が検証された場合にのみ接続が許可されます。証明書チェックを無視することはできません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: SMTP (および電子メール) サポートを無効にします。

On: 電子メールの送信用に SMTP サポートを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices SMTP Server

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

これは SMTP サーバーのアドレスです。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Server: "Server"

説明:

Server:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス, IPv6 アドレス, または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP Port

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このポートは、デバイスから SMTP サーバへの送信メールに使用されます。

暗号化の設定 (NetworkServices SMTP Security) と SMTP サーバの要件に基づいてポート番号を設定します。デフォルト値は使用しないでください。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

デバイスからの送信メールに使用されるポート。

デフォルト値:

0

xConfiguration NetworkServices SMTP Username

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

これは、SMTP サーバでデバイスを認証するために使用されるクレデンシャルのユーザー名の部分です。この設定は、SMTP サーバによって要求される場合があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Username: "Username"

説明:

Username:

文字列 (0, 50)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP Password

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

これは、SMTP サーバでデバイスを認証するために使用されるクレデンシャルのパスワード部分です。この設定は、SMTP サーバによって要求される場合があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 64)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP From

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスから電子メールメッセージを送信するときに使用する、メッセージの送信元メールアドレスの名前を指定します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP From: "From"

説明:

送信元:

文字列 (0, 255)

SMTP サーバの要件を満たす電子メール アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SMTP Security

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスと SMTP サーバー間の通信を保護するかどうかと、その方法を選択します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SMTP Security: *Security*

説明:

セキュリティ:

None/StartTls/Tls

None: 暗号化なしで SMTP サーバーに接続します。

StartTls: 最初に暗号化なしで SMTP サーバーに接続してから、STARTTLS コマンドを送信して暗号化接続 (TLS) にアップグレードします。

Tls: TLS (トランスポート層セキュリティ) 経由で SMTP に接続します。

デフォルト値:

None

xConfiguration NetworkServices SNMP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ネットワーク管理システムでは、管理上の対応を補償する条件についてネットワーク接続デバイス (ルータ、サーバ、スイッチ、プロジェクタなど) をモニタするために SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) が使用されます。保証の管理上の注意使用されます。SNMP は、デバイス設定を表す変数の形式で管理対象デバイス上の管理データを公開します。これらの変数は、その後照会でき (ReadOnly に設定)、管理アプリケーションによって設定できる場合もあります (ReadWrite に設定)。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP Mode: *Mode*

説明:

Mode:

Off/ReadOnly/ReadWrite

Off: SNMP ネットワーク サービスを無効にします。

ReadOnly: SNMP ネットワーク サービスを照会のみイネーブルにします。

ReadWrite: SNMP ネットワーク サービスの照会とコマンドの両方をイネーブルにします。

デフォルト値:

ReadOnly

xConfiguration NetworkServices SNMP Host [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

最大 3 つの SNMP マネージャのアドレスを定義します。

デバイスの SNMP エージェント (コーデック内) は、デバイス ロケーションやデバイス接点についてなど、SNMP マネージャ (PC プログラムなど) からのリクエストに応答します。SNMP トラップはサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP Host [n] Address: "Address"

説明:

n: SNMP ホストを識別します。最大 3 台の SNMP ホストが許可されます。

範囲: 1 ~ 3

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス, IPv6 アドレス, または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ネットワーク サービス SNMP コミュニティの名前を定義します。SNMP コミュニティ名は SNMP 要求を認証するために使用されます。SNMP 要求は、デバイスの SNMP エージェントから応答を受け取るため、パスワード (大文字と小文字を区別) を持つ必要があります。デフォルトのパスワードは「public」です。Cisco TelePresence 管理スイート (TMS) がある場合、同じ SNMP コミュニティがそこで設定されていることを確認する必要があります。注: SNMP コミュニティのパスワードは大文字と小文字が区別されます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName: "CommunityName"

説明:

CommunityName:

文字列 (0, 50)

SNMP コミュニティ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ネットワーク サービス SNMP システムの連絡先の名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact: "SystemContact"

説明:

SystemContact:

文字列 (0, 50)

SNMP システムの連絡先の名前。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ネットワーク サービス SNMP システム ロケーションの名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation: "SystemLocation"

説明:

SystemLocation:

文字列 (0, 50)

SNMP システムの場所の名前です。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SSH Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SSH (セキュア シェル) プロトコルは、ビデオ会議デバイスとローカル コンピュータ間でのセキュアな暗号化通信を提供できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SSH Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: SSH プロトコルは無効になります。

On: SSH プロトコルはイネーブルになります (デフォルト)。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SSH ホストキーに使用される暗号化アルゴリズムを選択します。2048 ビットのキーサイズを用いる RSA (リベスト・シャミル・エイドルマンアルゴリズム), NIST 曲線の P-384 を用いる ECDSA (楕円曲線デジタル署名アルゴリズム), ed25519 署名方式を用いる EdDSA (エドワード曲線デジタル署名アルゴリズム) から選択します。

USAGE:

xConfiguration NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm: HostKeyAlgorithm

値は次のとおりです。

HostKeyAlgorithm:

ECDSA/RSA/ed25519

ECDSA: ECDSA アルゴリズムを使用します (nist-384p)。

RSA: RSA アルゴリズムを使用します (2048 bits)。

ed25519: ed25519 アルゴリズムを使用します。

デフォルト値:

RSA

xConfiguration NetworkServices Telnet Mode

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN

Telnet は、インターネットまたはローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続で使用されるネットワーク プロトコルです。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices Telnet Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: Telnet プロトコルは無効になります。これが出荷時の設定です。

On: Telnet プロトコルはイネーブルになります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices UPnP Mode

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN

UPnP (ユニバーサル プラグ アンド プレイ) を完全に無効にするか、ビデオ会議デバイスがオンになった後または再起動した後に、短時間だけ UPnP を有効にします。

デフォルトでは、ビデオ会議デバイスをオンにするか再起動すると、UPnP が有効になります。その後、NetworkServices UPnP Timeout の設定で定義されたタイムアウト時間が経過すると、UPnP は自動的に無効になります。

UPnP が有効になると、デバイスはネットワーク上での自身のプレゼンスをアドバタイズします。このアドバタイズによって、タッチ コントローラはビデオ会議デバイスを自動的に検出できるようになります。タッチ コントローラとペアリングするために、手動でデバイスの IP アドレスを入力する必要はありません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices UPnP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: UPnP は無効になります。ビデオ会議デバイスは自身のプレゼンスをアドバタイズしないため、タッチ コントローラをデバイスとペアリングするためにはデバイスの IP アドレスを手動で入力する必要があります。

On: UPnP は有効になります。ビデオ会議デバイスはタイムアウト期間が経過するまで、自身のプレゼンスをアドバタイズします。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices Websocket

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

非セキュアおよびセキュア バージョン (ws および wss) の両方で、デバイスの API に WebSocket プロトコルから相互作用することができます。WebSocket は HTTP に結びついているので、HTTP または HTTPS を有効にしてから WebSockets を使用する必要があります (NetworkServices HTTP モード設定を参照)。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices Websocket: Websocket

説明:

WebSocket:

FollowHTTPService/Off

FollowHTTPService: HTTP または HTTPS が有効な場合、WebSocket プロトコル経由での通信は許可されます。

オフ: WebSocket プロトコル経由での通信は許可されません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices WelcomeText

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SSH または Telnet 経由でデバイスにログインする際に、ユーザーに表示する情報を選択します。

Telnet は、SX シリーズ、MX シリーズ、および DX70/DX80 でのみサポートされます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices WelcomeText: WelcomeText

説明:

WelcomeText:

Off/On

Off: ようこそテキストは次のとおりです: ログインに成功しました (Login successfu)

On: ようこそテキストは次のとおりです: <システム名>; ソフトウェア バージョン; ソフトウェアのリリース日; ログインに成功しました (Login successful)

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed

適用対象: DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Wi-Fi アダプタが組み込まれているデバイスは、イーサネットまたは Wi-Fi 経由でネットワークに接続できます。イーサネットと Wi-Fi の両方がデフォルトで許可され、ユーザはどちらを使用するかをユーザ インターフェイスから選択できます。この設定を使用して、管理者はユーザ インターフェイスがセットアップできないように Wi-Fi 設定を無効にすることができます。

このデバイスは次の標準規格をサポートしています: IEEE 802.11a, IEEE 802.11b, IEEE 802.11g, IEEE 802.11n, および IEEE 802.11ac (IEEE 802.11ac は DX70 および DX80 ではサポートされません)。デバイスは次のセキュリティ プロトコルをサポートします: WPA-PSK (AES), WPA2-PSK (AES), EAP-TLS, EAP-TTLS, EAP-FAST, PEAP, EAP-MSCHAPv2, EAP-GTC, およびオープン ネットワーク (セキュリティ保護なし)。

デバイスの背面の定格ラベルに記載されている PID (製品 ID) に NR (無線なし) の文字が含まれている場合、デバイスは Wi-Fi をサポートしていません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed: Allowed

説明:

Allowed:

False/True

False: Wi-Fi は使用できません。イーサネット経由でネットワークに接続する必要があります。

True: イーサネットと Wi-Fi の両方を使用できます。

デフォルト値:

True

Peripherals の設定

xConfiguration Peripherals InputDevice Mode

適用対象: *DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

USB キーボードまたはワイヤレスリモート制御などのサードパーティー入力デバイスの、USB ドングルとの使用を許可するかどうかを定義します。入力デバイスはそれ自体を USB キーボードとしてアダプタ化する必要があります。ご自身で、キークリックに対する応答として行うアクションを定義して実装する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Peripherals InputDevice Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

オフ: サードパーティー入力デバイスは許可されません。

オン: サードパーティ製の USB 入力デバイスを使用して、ビデオ会議デバイスの特定の機能を制御できます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Peripherals Profile Cameras

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスに接続されることが予想されるタッチ パネルの数を定義します。この情報はデバイスの診断サービスで使用します。接続されたカメラの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile Cameras: Cameras

説明:

Cameras:

NotSet/Minimum1/0/1/2/3/4/5/6/7

NotSet: カメラの確認は実行されません。

Minimum1: 少なくとも 1 台のカメラがデバイスに接続されている必要があります。

0 ~ 7: デバイスへの接続が予想されるカメラの数を選択します。

デフォルト値:

Minimum1

xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

サードパーティ製の制御システム (Crestron または AMX など) をビデオ会議デバイスに接続する予定であれば、定義します。この情報はビデオ会議デバイスの診断サービスで使用します。接続された制御システムの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。サードパーティ制御システムは 1 つのみサポートされるので注意してください。

1 に設定する場合、xCommand Peripherals Pair コマンドおよび HeartBeat コマンドを使用して、制御システムからビデオ会議デバイスにハート ビートを送信する必要があります。これが失敗すると、ビデオ会議デバイスにより制御システムへの接続を失ったことを示す警告が表示されます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems: [ControlSystems](#)

説明:

ControlSystems:

1/NotSet [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

NotSet [Board]

1:1 つのサードパーティ製制御システムをデバイスに接続する必要があります。

NotSet: サードパーティ製制御システムの検査は実行されません。

デフォルト値:

NotSet

xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスに接続する予定の Cisco Touch コントローラの数を実験します。この情報はデバイスの診断サービスで使用します。接続されたタッチ コントローラの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels: [TouchPanels](#)

説明:

TouchPanels:

設定されていない (NotSet) /最小 1 (Minimum1) /0/1/2/3/4/5

NotSet: タッチ パネル チェックは実行されません。

Minimum1: 少なくとも 1 台の Cisco Touch コントローラがデバイスに接続されている必要があります。

0 ~ 5: デバイスへの接続が予想される Touch コントローラの数を選択します。公式にサポートされるシスコ タッチ コントローラは、1 台のみであることに注意してください。

デフォルト値:

NotSet [SX10, SX20]

Minimum1 [SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Phonebook の設定

xConfiguration Phonebook Server [n] ID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

外部電話帳の名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] ID: "ID"

説明:

n: 電話帳サーバを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

ID:

文字列 (0, 64)

外部の電話帳の名前。

デフォルト値:

""

xConfiguration Phonebook Server [n] Pagination

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

電話帳サーバがページネーション(ウェルカムページ)に対応するかどうかを定義します。ページネーションとはサーバが連続検索に対応しているかどうか、さらにこれらの検索がオフセットに関連付けられるかどうかを意味します。これにより、ユーザインターフェイスは完全な検索結果を得るために必要な可能な限り多くの連続検索を実行できます。

ページネーションが無効の場合、デバイスは検索を 1 度行い、最大 100 エントリを検索結果に返します。それ以上の検索結果をさらにスクロールすることはできません。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] Pagination: Pagination

説明:

n: 電話帳サーバを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

Pagination:

Disabled/Enabled

無効: 電話帳サーバはページネーションに対応しません。デバイスはシングル検索を行い、検索結果の最大エントリ数は 100 です。

有効: 電話帳サーバはページネーションに対応しています。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Phonebook Server [n] TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定は、ビデオ会議デバイスが HTTPS 経由で外部の電話帳サーバに接続するときに適用されます。

デバイスと HTTPS サーバ間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (プレインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロードするリスト) に含める必要があります。

一般に、HTTPS 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) のバージョンは 1.1 です。このルールには次の 2 つの例外があります。1) 互換性のため、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウドサービスに登録されているデバイスは、常にバージョン 1.2 を使用しています。

注: アップグレード後にデバイスが工場出荷時状態にリセットされておらず、旧 NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate の設定である場合、この値は CE 9.8 以前のソフトウェアバージョンから CE 9.9 (またはそれ以降) にアップグレードされたデバイスに対して Off に設定されます。明示的に On に設定されません。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない証明書の場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Phonebook Server [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

電話帳サーバの種類を選択します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] Type: Type

説明:

n: 電話帳サーバを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

タイプ:

Off/CUCM/Spark/TMS/VCS

Off: 電話帳を使用しません。

CUCM: 電話帳が Cisco Unified Communications Manager 上に配置されます。

Spark: 電話帳が Cisco Webex クラウドサービス内に配置されます。

TMS: 電話帳が Cisco TelePresence Management Suite サーバ上に配置されます。

VCS: 電話帳が Cisco TelePresence Video Communication Server 上に配置されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Phonebook Server [n] URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

外部電話帳サーバのアドレス (URL) を定義します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] URL: "URL"

説明:

n: 電話帳サーバを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

URL:

文字列 (0, 255)

外部電話帳サーバの有効なアドレス (URL)。

デフォルト値:

""

Provisioning の設定

xConfiguration Provisioning Connectivity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、プロビジョニング サーバからの内部または外部の設定を要求するかどうかを、デバイスが検出する方法を制御します。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Connectivity: Connectivity

説明:

Connectivity:

Internal/External/Auto

Internal: 内部コンフィギュレーションを要求します。

External: 外部コンフィギュレーションを要求します。

Auto: 内部または外部のコンフィギュレーションを要求するかどうかを自動的に NAPTR クエリーを使用して検出します。NAPTR の応答に「e」フラグがある場合、外部コンフィギュレーションが要求されます。それ以外の場合、内部コンフィギュレーションが要求されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Provisioning ExternalManager Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムの IP アドレスまたは DNS 名を定義します。外部マネージャのアドレス (およびパス) が設定されている場合、デバイスは起動時にこのアドレスにメッセージを送信します。このメッセージを受信すると、結果として外部マネージャ/プロビジョニング システムはそのユニットにコンフィギュレーション/コマンドを返すことができます。

CUCM または TMS プロビジョニングを使用する場合、外部マネージャ アドレスを自動的に提供するために DHCP サーバをセットアップできます (TMS には DHCP オプション 242, CUCM には DHCP オプション 150)。プロビジョニング 外部マネージャアドレス で設定されたアドレスは、DHCP によって提供されるアドレスを上書きします。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス, IPv6 アドレス, または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが Cisco Unified Communications Manager (CUCM) でプロビジョニングされており、代替 CUCM が冗長性に利用可能な場合にのみ使用できます。代替 CUCM のアドレスを定義します。メインの CUCM が使用できない場合、デバイスは代替 CUCM でプロビジョニングされます。メインの CUCM が再び使用可能になると、デバイスはこの CUCM によってプロビジョニングされます。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress: "AlternateAddress"

説明:

AlternateAddress:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス, IPv6 アドレス, または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムに要求を送信する際に、HTTP (非セキュアな通信) または HTTPS (セキュアな通信) のどちらのプロトコルを使用するかを定義します。

選択したプロトコルは、NetworkServices HTTP Mode の設定で有効になっている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

HTTPS/HTTP

HTTPS: HTTPS を介してリクエストを送信します。

HTTP: HTTP を介してリクエストを送信します。

デフォルト値:

HTTP

xConfiguration Provisioning ExternalManager Path

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムへのパスを定義します。いくつかの管理 サービスが同じサーバに存在する、つまり同じ外部マネージャのアドレスを共有する場合、この設定が必要です。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Path: "Path"

説明:

パス:

文字列 (0, 255)

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムへの有効なパス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

VCS プロビジョニング サーバの SIP ドメインを定義します。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain: "Domain"

説明:

ドメイン:

文字列 (0, 64)

有効なドメイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プロビジョニング システム (外部マネージャ) を使用してデバイスを設定できます。これにより、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のデバイスを同時に管理することができます。この設定により、使用するプロビジョニング システムの種類を選択します。プロビジョニングは、オフに切り替えることも可能です。詳細については、プロビジョニング システムのプロバイダー/担当者にお問い合わせください。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/Auto/CUCM/Edge/Webex/TMS/VCS

Off: デバイスはプロビジョニング システムによって設定されません。

Auto: DHCP サーバでセットアップされる対象としてプロビジョニング サーバが自動的に選択されます。

CUCM: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からデバイスに設定をプッシュします。

Edge: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からデバイスに設定をプッシュします。デバイスは Expressway インフラストラクチャを介して CUCM に接続します。Expressway を経由して登録するには、暗号化オプションキーがデバイスにインストールされている必要があります。

Webex: Cisco Webex クラウド サービスからデバイスに設定をプッシュします。

TMS: TMS (Cisco TelePresence Management System) からデバイスに設定をプッシュします。

VCS: VCS (Cisco TelePresence Video Communication Server) からデバイスに設定をプッシュします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Provisioning LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

これは、プロビジョニング サーバでデバイスを認証するために使用されるクレデンシャルのユーザー名部分です。この設定は、プロビジョニング サーバが要求する場合、使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 80)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

これは、プロビジョニング サーバでデバイスを認証するために使用されるクレデンシャルのパスワード部分です。この設定は、プロビジョニング サーバが要求する場合、使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Password: "Password"

説明:

Password:

文字列 (0, 64)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning TlsVerify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、ビデオ会議デバイスが HTTPS 経由でプロビジョニング サーバに接続するときに適用されます。

デバイスと HTTPS サーバ間の接続を確立する前に、デバイスは、サーバの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているかどうかを確認します。CA 証明書は、デバイスの CA リスト (プレインストールされているリストまたは Web インターフェイスか API を使用して手動でアップロードするリスト) に含める必要があります。

一般に、HTTPS 接続の最小 TLS (トランスポート層セキュリティ) のバージョンは 1.1 です。このルールには次の 2 つの例外があります。1) 互換性のため、CUCM に登録されているデバイスの最小 TLS バージョンは 1.0 です。2) Webex クラウドサービスに登録されているデバイスは、常にバージョン 1.2 を使用しています。

注: アップグレード後にデバイスが工場出荷時状態にリセットされておらず、旧 NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate の設定である場合、この値は CE 9.8 以前のソフトウェアバージョンから CE 9.9 (またはそれ以降) にアップグレードされたデバイスに対して Off に設定されます。明示的に On に設定されません。

デバイスが Expressway (別称: MRA または Edge) 経由で Cisco Webex クラウド サービスや CUCM からプロビジョニングされている場合、この設定に関係なく、常に証明書のチェックが実行されます。

使用方法:

xConfiguration Provisioning TlsVerify: TlsVerify

説明:

TlsVerify:

Off/On

Off: デバイスは HTTPS サーバの証明書を確認しません。

On: デバイスは、HTTPS サーバの証明書が信頼できるかどうかを確認します。信頼できない証明書の場合、デバイスとサーバ間の接続は確立されません。

デフォルト値:

On

Proximity の設定

xConfiguration Proximity Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが超音波ペアリング メッセージを発信するかどうかを決定します。

デバイスが超音波を発信すると、Proximity クライアントはデバイスが近くにあることを検知できます。クライアントを使用するには、少なくとも 1 つの Proximity サービスをイネーブルにする必要があります (Proximity Services 設定を参照)。一般的に、すべてのプロキシミティ サービスを有効にすることをお勧めします。

使用方法:

xConfiguration Proximity Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスは超音波を発しないため、Proximity サービスを使用できません。

On: デバイスが超音波を発信すると、Proximity クライアントはデバイスが近くにあることを検知できます。有効になっているプロキシミティ サービスを使用できます。

デフォルト値:

On [MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

Off [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 CodecPlus CodecPro]

xConfiguration Proximity Services CallControl

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Proximity クライアントで基本的なコール制御機能を有効または無効にします。この設定を有効にすると、Proximity クライアントを使用してコールを制御できます (ダイヤル、ミュート、音量、コールの終了など)。このサービスはモバイル デバイス (iOS および Android) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services CallControl: CallControl

説明:

CallControl:

Enabled/Disabled

Enabled: Proximity クライアントからのコール制御が有効になります。

Disabled: Proximity クライアントからのコール制御が無効になります。

デフォルト値:

Disabled

xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

クライアントからのコンテンツ共有を有効または無効にします。この設定を有効にするとデバイスで無線によって Proximity クライアントからコンテンツを共有できます (ラップトップ画面の共有など)。このサービスはラップトップ (OS X および Windows) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients: FromClients

説明:

FromClients:

Enabled/Disabled

Enabled: Proximity クライアントからのコンテンツ共有が有効になります。

Disabled: Proximity クライアントからのコンテンツ共有が無効になります。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Proximity クライアントに対するコンテンツ共有を有効または無効にします。有効にすると、Proximity のクライアントはデバイスからプレゼンテーションを受け取ります。詳細を拡大して、以前のコンテンツを表示し、スナップショットを作成できます。このサービスはモバイル デバイス (iOS および Android) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients: ToClients

説明:

ToClients:

Enabled/Disabled

Enabled: Proximity クライアントに対するコンテンツ共有が有効になります。

Disabled: Proximity クライアントに対するコンテンツ共有が無効になります。

デフォルト値:

Disabled

RoomAnalytics の設定

xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスは室内の固定周囲ノイズ レベル (背景雑音レベル) を算出することができます。結果は RoomAnalytics AmbientNoise レベル dBA ステータスにレポートされます。新しい周囲ノイズレベルが検出されるとステータスが更新されます。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

On: デバイスは固定周囲ノイズ レベルを定期的に予測します。

Off: デバイスは固定周囲ノイズ レベルを定期的に予測しません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall

適用対象: *SX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

顔検出を使用して、デバイスが室内にいる人の人数を特定できます。デフォルトでは、デバイスは通話中のときまたはセルフ ビューに画像を表示したときのみ人数を数えます。

Codec Plus, Codec Pro, SX80: デバイスに Cisco Quad Camera が接続されている場合にのみ適用されます。MX700/MX800: 適用されません。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall: [PeopleCountOutOfCall](#)

説明:

[PeopleCountOutOfCall:](#)

Off/On [SX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

Off: デバイスは、デバイスが通話中のときまたはセルフ ビューがオンのときのみ、人数を数えます。

On: デバイスは、デバイスがスタンバイ モードでない限り、人数を数えます。セルフ ビューがオフであっても、これは非通話中の人数を含みます。

デフォルト値:

Off [SX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus*

CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスは、人が室内に存在しているかどうかを確認し、その結果を [室内在室分析 (RoomAnalytics PeoplePresence)] のステータスにレポートすることができます。この機能は、超音波に基づいています。詳細については、ステータスの説明を参照してください。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector: [PeoplePresenceDetector](#)

説明:

[PeoplePresenceDetector:](#)

Off/On

Off: ユーザの存在に関する情報は、デバイスのステータスで報告されません。

On: ユーザの存在に関する情報は、デバイスのステータスで報告されます。

デフォルト値:

Off

セキュリティ設定

xConfiguration Security Audit Logging Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: AUDIT

監査ログを記録または送信する場所を定義します。監査ログは syslog サーバに送信されます。ログインモード設定がオフに設定されている場合、この設定には効果がありません。

External モードまたは ExternalSecure モードを使用する場合は、セキュリティ監査サーバアドレス設定に監査サーバのアドレスを入力する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Logging Mode: Mode

説明:

Mode:

External/ExternalSecure/Internal/Off

External: デバイスは外部監査 syslog サーバに監査ログを送信します。syslog サーバでは UDP をサポートする必要があります。

ExternalSecure: デバイスは、監査 CA リストの証明書で検証された外部 syslog サーバに暗号化された監査ログを送信します。監査 CA リスト ファイルが Web インターフェイスからデバイスにアップロードされている必要があります。CA のリストの証明書の common_name パラメータは syslog サーバの IP アドレスまたは DNS 名と一致する必要があり、セキュア TCP サーバでセキュア (TLS) TCP syslog メッセージをリッスンするように設定される必要があります。

Internal: デバイスは内部ログに監査ログを記録し、いっぱいになった場合はログをローテーションします。

Off: 監査ロギングは実行されません。

デフォルト値:

Internal

xConfiguration Security Audit OnError Action

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: AUDIT

syslog サーバへの接続が失われた場合の動作を定義します。この設定は、Security Audit Logging Mode が ExternalSecure に設定されている場合のみ関連します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit OnError Action: Action

説明:

アクション:

Halt/Ignore

Halt: 停止状態が検出された場合、デバイスはリブートし、停止状態が過ぎ去るまではオーディタだけが装置の操作を許可されます。停止状態が過ぎ去ると、監査ログは syslog サーバに再スプールされます。ネットワークの違反 (物理リンクなし)、動作中の外 Syslog サーバが存在しない (または syslog への間違ったアドレスまたはポート)、TLS 認証が失敗した (使用中の場合)、ローカルバックアップ (再スプール) ログがいっぱいになった、などの停止状態があります。

Ignore: デバイスは通常の動作を続行し、満杯になった場合は内部ログをローテーションします。接続が復元されると syslog サーバに再度監査ログを送信します。

デフォルト値:

Ignore

xConfiguration Security Audit Server Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: AUDIT

監査ログの送信先である syslog サーバの IP アドレスまたは DNS 名を設定します。この設定は、Security Audit Logging Mode が External または ExternalSecure に設定されている場合のみ関連します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Server Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Security Audit Server Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: AUDIT

監査ログは syslog サーバに送信されます。デバイスが監査ログを送信する syslog サーバのポートを定義します。この設定は、Security Audit PortAssignment がマニュアルに設定されている場合にのみ関連します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Server Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

監査サーバのポートを設定します。

デフォルト値:

514

xConfiguration Security Audit Server PortAssignment

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: AUDIT

監査ログは syslog サーバに送信されます。外部 syslog サーバのポート番号の割り当て方法を定義できます。この設定は、Security Audit Logging Mode が External または ExternalSecure に設定されている場合のみ関連します。使用しているポート番号を確認するために、Security Audit Server Port 状態をチェックできます。ウェブ インターフェイスで [セットアップ (Setup)] > [ステータス (Status)] に移動するか、コマンドライン インターフェイスの場合はコマンド xStatus Security Audit Server Port を実行します。

使用方法:

xConfiguration Security Audit Server PortAssignment: PortAssignment

説明:

PortAssignment:

Auto/Manual

Auto: [セキュリティ監査ロギング モード (Security Audit Logging Mode)] が [外部 (External)] にセットされている場合、UDP ポート番号 514 を使用します。Security Audit Logging Mode が ExternalSecure にセットされている場合、TCP ポート番号 6514 を使用します。

Manual: [セキュリティ監査サーバのポート (Security Audit Server Port)] 設定で定義されたポート値を使用します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ユーザが Web または SSH セッションのログインに失敗したあと、デバイスがユーザをロックアウトする時間を定義します。

この設定への変更を反映させるには、デバイスを再起動します。

使用方法:

xConfiguration Security Session FailedLoginsLockoutTime: FailedLoginsLockoutTime

説明:

FailedLoginsLockoutTime:

整数 (0 ~ 10000)

ロックアウト時間 (分) を設定します。

デフォルト値:

60

xConfiguration Security Session InactivityTimeout

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ユーザが Web, SSH または Telnet セッションから自動的にログアウトする前に、デバイスがユーザの非アクティブ状態をどれくらいの時間受け入れるかを定義します。この設定への変更を反映させるには、デバイスを再起動します。

Telnet は、SX シリーズ、MX シリーズ、および DX70/DX80 でのみサポートされます。

使用方法:

xConfiguration Security Session InactivityTimeout: InactivityTimeout

説明:

InactivityTimeout:

整数 (0 ~ 10000)

非アクティブ タイムアウト (分単位) を設定します。非アクティブな状態でも強制的に自動ログアウトしない場合は、0 を選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Security Session MaxFailedLogins

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ウェブまたは SSH セッションにログイン試行を失敗できるユーザ 1 人あたりの最大数を定義します。ユーザが試行の最大数を超えた場合、ユーザはロックアウトされます。0 は、失敗できるログインの回数に制限がないことを意味します。

この設定への変更を反映させるには、デバイスを再起動します。

使用方法:

xConfiguration Security Session MaxFailedLogins: MaxFailedLogins

説明:

MaxFailedLogins:

整数 (0 ~ 10)

ユーザ 1 人あたりの失敗できるログイン試行の最高回数を設定します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ユーザ 1 人あたりの最大同時セッション数は 20 セッションです。

使用方法:

xConfiguration Security Session MaxSessionsPerUser: MaxSessionsPerUser

説明:

MaxSessionsPerUser:

整数 (1 ~ 20)

ユーザ 1 人あたりの最大同時セッション数を設定します。

デフォルト値:

20

xConfiguration Security Session MaxTotalSessions

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

同時セッションの合計最大数は 20 セッションです。

使用方法:

xConfiguration Security Session MaxTotalSessions: MaxTotalSessions

説明:

MaxTotalSessions:

整数 (1 ~ 20)

同時セッションの合計最大数を設定します。

デフォルト値:

20

xConfiguration Security Session ShowLastLogon

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

SSH または Telnet を使用してデバイスにログインしたとき、前回ログインに成功したセッションの UserId, 時刻および日付が表示されます。

Telnet は, SX シリーズ, MX シリーズ, および DX70/DX80 でのみサポートされます。

使用方法:

xConfiguration Security Session ShowLastLogon: ShowLastLogon

説明:

ShowLastLogon:

Off/On

On:最後のセッションに関する情報を表示します。

Off:最後のセッションに関する情報を表示しません。

デフォルト値:

Off

SerialPort の設定

xConfiguration SerialPort Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

シリアル ポートを有効/無効にします。

この設定は, 第 1 世代の Board (Webex Board 55 および Webex Board 70) では使用できません。

使用方法:

xConfiguration SerialPort Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off:シリアル ポートを無効にします。

On:シリアル ポートをイネーブルにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration SerialPort BaudRate

適用対象: *SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

シリアル ポートに、ボー レート (データ送信レート, ビット/秒) を設定します。

シリアル ポートの他の接続パラメータは次の通りです。データ ビット: 8。パリティ: なし。ストップ ビット: 1。フロー制御: なし。

この設定は、第 1 世代の Board (Webex Board 55 および Webex Board 70) では使用できません。

使用方法:

xConfiguration SerialPort BaudRate: BaudRate

説明:

BaudRate:

115200 [RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

9600/19200/38400/57600/115200 [SX20, SX80, MX700/MX800/MX800D]

リストされているボー レート (bps) からボー レートを選択します。

デフォルト値:

115200 [SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

38400 [SX20]

xConfiguration SerialPort LoginRequired

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

シリアル ポートに接続するときにログインが必要かどうかを定義します。

この設定は、第 1 世代の Board (Webex Board 55 および Webex Board 70) では使用できません。

使用方法:

xConfiguration SerialPort LoginRequired: LoginRequired

説明:

LoginRequired:

Off/On

Off: ユーザーはログインせずに、シリアル ポート経由でデバイスにアクセスできます。

On: シリアル ポート経由でデバイスに接続するときに、ログインが必要です。

デフォルト値:

On

SIP の設定

xConfiguration SIP ANAT

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ANAT (Alternative Network Address Types) は RFC 4091 で規定されている複数のアドレスとアドレス タイプのメディア ネゴシエーションを有効にします。

使用方法:

xConfiguration SIP ANAT: ANAT

説明:

ANAT:

Off/On

Off: ANAT を無効にします。

On: ANAT を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration SIP Authentication UserName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

これは、SIP プロキシへの認証に使用されるクレデンシャルのユーザー名部分です。

使用方法:

xConfiguration SIP Authentication UserName: "UserName"

説明:

UserName:

文字列 (0, 128)

有効なユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Authentication Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

これは、SIP プロキシへの認証に使用されるクレデンシャルのパスワード部分です。

使用方法:

xConfiguration SIP Authentication Password: "Password"

説明:

Password:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP DefaultTransport

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

LAN で使用するトランスポート プロトコルを選択します。

使用方法:

xConfiguration SIP DefaultTransport: DefaultTransport

説明:

DefaultTransport:

Auto/TCP/Tls/UDP

TCP: デバイスはデフォルトの転送方法として常に TCP を使用します。

UDP: デバイスはデフォルトの転送方法として常に UDP を使用します。

Tls: デバイスはデフォルトの転送方法として常に TLS を使用します。TLS 接続の場合、SIP CA リストをデバイスにアップロードできます。このような CA リストがデバイスにない場合は匿名の Diffie Hellman が使用されます。

Auto: デバイスは、TLS, TCP, UDP の順序でトランスポート プロトコルを使用して接続を試みます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration SIP DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

これを設定した場合、着信コールは、SIP URI ではなく、表示名を報告します。

使用方法:

xConfiguration SIP DisplayName: "DisplayName"

説明:

DisplayName:

文字列 (0, 550)

SIP URI の代わりに表示する名前。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ICE プロトコルでは、どのメディア ルートを使用するかについて結論に達するための時間が必要です (最大でコールの最初の 5 秒)。この時間内に、この設定に従って、デバイスのメディアが、デフォルトの候補に送信されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate: DefaultCandidate

説明:

DefaultCandidate:

Host/Rfx/Relay

Host:メディアをデバイスのプライベート IP アドレスへ送信します。

Rfx:TURN サーバが認識しているデバイスのパブリック IP アドレスにメディアを送信します。

Relay:TURN サーバで割り当てられた IP アドレスおよびポートにメディアを送信します。

デフォルト値:

Host

xConfiguration SIP Ice Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ICE (Interactive Connectivity Establishment, RFC 5245) は、最適化されたメディア パスの検出にデバイスで使用できる NAT トラバーサル ソリューションです。このため、音声とビデオの最短ルートがデバイス間で常に確保されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Ice Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off/On

Auto:TURN サーバが提供されている場合は ICE が有効になり、提供されていない場合は ICE が無効になります。

Off:ICE が無効になります。

On:ICE が有効になります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration SIP ListenPort

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオンまたはオフにします。オフにした場合、デバイスは SIP プロキシ (CUCM または VCS) を介してのみ到達可能になります。セキュリティ対策として、デバイスが SIP プロキシに設定されている場合は SIP ListenPort をオフにする必要があります。

使用方法:

xConfiguration SIP ListenPort: ListenPort

説明:

ListenPort:

Auto/Off/On

Auto: デバイスが SIP プロキシに登録されている場合、SIP TCP/UDP ポートでの着信接続に対するリスニングは自動的にオフになります。それ以外の場合は、オンになります。

Off: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオフにします。

On: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオンにします。

デフォルト値:

On [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Auto [Board]

xConfiguration SIP MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可する TLS (Transport Layer Security) プロトコルの最低バージョンを設定します。

使用方法:

xConfiguration SIP MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以上をサポートします。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以上をサポートします。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以上をサポートします。

デフォルト値:

TLSv1.0

xConfiguration SIP Proxy [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

プロキシ アドレスは発信プロキシに手動で設定されたアドレスです。完全修飾ドメイン名、または IP アドレスを使用することが可能です。デフォルト ポートは、TCP および UDP の場合は 5060 ですが、もう 1 ポート準備できます。

使用方法:

xConfiguration SIP Proxy [n] Address: "Address"

説明:

n: プロキシを識別するインデックス (最大 4 つのプロキシを定義できます)。

範囲: 1 ~ 4

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn Server

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

TURN (Traversal Using Relay NAT) サーバのアドレスを定義します。これはメディア リレー フォールバックとして使用され、また、デバイス固有のパブリック IP アドレスを検出するためにも使用されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn Server: "Server"

説明:

Server:

文字列 (0, 255)

推奨する形式は DNS SRV レコード (例: `_turn._udp.<ドメイン>`) ですが、有効な IPv4 または IPv6 アドレスも指定できます。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn UserName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

TURN サーバへのアクセスに必要なユーザー名を定義します。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn UserName: "UserName"

説明:

UserName:

文字列 (0, 128)

有効なユーザー名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn Password

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

TURN サーバへのアクセスに必要なパスワードを定義します。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP URI

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

SIP URI (Uniform Resource Identifier) は、デバイスの識別に使用されるアドレスです。URI が登録され、SIP サービスによりデバイスへの着信コールのルーティングに使用されます。SIP URI 構文は RFC 3261 で定義されています。

使用方法:

xConfiguration SIP URI: "URI"

説明:

URI:

文字列 (0, 255)

SIP URI の構文に準拠しているアドレス (URI)。

デフォルト値:

""

Standby の設定

xConfiguration Standby BootAction

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ会議デバイスの再起動後のカメラの位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby BootAction: BootAction

説明:

BootAction:

None/DefaultCameraPosition/RestoreCameraPosition

None: アクションはありません。

RestoreCameraPosition: ビデオ会議デバイスを再起動すると、カメラは再起動前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition: ビデオ会議デバイスを再起動すると、カメラは工場出荷時のデフォルトの位置に移動します。

デフォルト値:

DefaultCameraPosition [SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

RestoreCameraPosition [SX10, SX20]

xConfiguration Standby Control

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスがスタンバイ モードに移行するかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby Control: Control

説明:

Control:

Off/On

Off: デバイスはスタンバイ モードを開始しません。

On: Standby Delay がタイムアウトになったときにデバイスはスタンバイ モードを開始します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Standby Delay

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

スタンバイ モードに入る前に、デバイスがアイドル モードのまま経過する時間の長さ (分単位) を定義します。[スタンバイ制御 (Standby Control)] が有効である必要があります。

使用方法:

xConfiguration Standby Delay: Delay

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

スタンバイ遅延 (分単位) を設定します。

デフォルト値:

10 [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

4 [Board]

xConfiguration Standby Signage Audio

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デフォルトでは、デバイスは、Web ページに音声がある場合でも、デジタル信号モードで音声を再生しません。この設定を使用して、デフォルトの動作を上書きすることができます。

使用方法:

xConfiguration Standby Signage Audio: Audio

説明:

Audio:

Off/On

Off: デバイスは、Web ページで音声を再生しません。

On: Web ページに音声が含まれている場合、デバイスは音声を再生します。音量は、デバイスの音量設定に従います。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Standby Signage InteractionMode

適用対象: *Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デフォルトでは、ユーザーがデジタル サイネージの Web ページを操作することはできません。この設定を使用すると、Web ページとの対話機能を有効にすることができます。

使用方法:

xConfiguration Standby Signage InteractionMode: InteractionMode

説明:

InteractionMode:

Interactive/NonInteractive

Interactive: Web ページを操作することができます。

NonInteractive: Web ページを操作することはできません。

デフォルト値:

NonInteractive

xConfiguration Standby Signage Mode

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

URL (Web ページ) からのコンテンツは、従来のハーフ ウェイク バックグラウンド イメージおよび情報を置き換えることができます。この機能は、「デジタル サイネージ」と呼ばれます。ユーザは、インタラクティブな画面 (Webex Board) でデバイスの Web ページを操作できます。たとえば、リンクをクリックしたり、フォームにテキストを入力したりします。

デジタル サイネージを使用すると、デバイスが通常の方法でスタンバイ状態に入ることを防止できません。そのため、Standby Delay の設定は、デバイスがスタンバイ状態になるまでのデジタル サイネージの表示時間を決定します。

使用方法:

xConfiguration Standby Signage Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: デバイスでデジタル サイネージが有効になっていません。

On: WebEngine Mode 設定がオンになっている場合、デジタル サイネージが有効化され、デバイスのハーフ ウェイク モードに置き換えられます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Standby Signage RefreshInterval

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定を使用して、Web ページを定期的に更新することができます。これは、Web ページ自体を更新できない場合に便利です。更新間隔をインタラクティブ モードで設定することは推奨されません。

使用方法:

xConfiguration Standby Signage RefreshInterval: RefreshInterval

説明:

RefreshInterval:

整数 (1~ 1440)

各 Web ページの更新間隔を秒数で表示します。値が 0 の場合、Web ページは強制的に更新されなくなります。

デフォルト値:

0

xConfiguration Standby Signage Url

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

画面 (デジタル サイネージ) に表示する Web ページの URL を設定します。URL の長さが 0 の場合、デバイスに通常のハーフ ウェイク モードが保持されます。URL が機能していない場合、デバイスは通常のハーフ ウェイク モードを保持し、診断メッセージが発行されます。

使用方法:

xConfiguration Standby Signage Url: "Url"

説明:

URL:

文字列 (0, 2000)

Web ページの URL

デフォルト値:

""

xConfiguration Standby StandbyAction

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

スタンバイ モードに入るときのカメラ位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby StandbyAction: StandbyAction

説明:

StandbyAction:

None/PrivacyPosition

None : アクションはありません。

PrivacyPosition : ビデオ 会議デバイスがスタンバイになると、プライバシー保護のためカメラは横向きになります。

デフォルト値:

PrivacyPosition

xConfiguration Standby WakeupAction

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

スタンバイ モードを抜けるときのカメラ位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby WakeupAction: WakeupAction

説明:

WakeupAction:

None/RestoreCameraPosition/DefaultCameraPosition

None : アクションはありません。

RestoreCameraPosition : ビデオ会議デバイスがスタンバイ状態から復帰すると、カメラはスタンバイ前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition : ビデオ会議デバイスがスタンバイ状態になると、カメラは工場出荷時のデフォルトの位置に移動します。

デフォルト値:

RestoreCameraPosition

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

モーション検出の自動ウェイク アップは、ユーザがいつ部屋に入室したかを検出する機能です。この機能は、超音波検出に基づいています。

使用方法:

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection: [WakeupOnMotionDetection](#)

説明:

[WakeupOnMotionDetection](#):

Off/On

Off: 動体検知ウェイクアップは無効です。

On: 人が部屋に入ってくると、デバイスが自動的にスタンバイからウェイク アップします。DX70 および SX10 には適用されません。

デフォルト値:

On [MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

Off [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 CodecPlus CodecPro]

xConfiguration Standby PowerSave

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定を使用すると、就業外時間中のビデオ会議デバイスの電力消費を削減できます。省電力モードは、通常のスタンバイ モードを拡張したものです。

デバイスが省電力モードになると、デバイスの一部のモジュール (たとえば、内蔵カメラ) にも電力が供給されます。ビデオ会議デバイスおよびタッチ コントローラは、通常のスタンバイ時と同様に動作します。タッチ パネルをタップすると、デバイスは省電力モードから復帰します。

省電力モードからデバイスを復帰させる場合、通常のスタンバイから復帰するよりも時間がかかります。これは、カメラを起動する必要があるためです。ただちに通話できますが、カメラの起動プロセスが完了するまで、ビデオは発信できません。

使用方法:

xConfiguration Standby PowerSave: [PowerSave](#)

説明:

[PowerSave](#):

Never/OutsideOfficeHours

Never: デバイスは省電力モードには移行せず、通常のスタンバイにのみ移行します。

OutsideOfficeHours: デバイスは就業外時間中に省電力モードに移行します。次の設定を使用して、就業時間を指定する必要があります: Time WorkWeek FirstDayOfWeek, Time WorkWeek LastDayOfWeek, Time WorkDay Start, および Time WorkDay End。

デフォルト値:

なし (Never)

SystemUnit の設定

xConfiguration SystemUnit Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイス名を定義します。デバイスが SNMP エージェントとして機能している場合に、デバイス名は DHCP リクエストでホスト名として送信されます。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit Name: "Name"

説明:

Name:

文字列 (0, 50)

デバイス名を定義します。

デフォルト値:

""

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスがクラッシュすると、デバイスは解析のために [Cisco Automatic Crash Report ツール (Cisco Automatic Crash Report tool)] (ACR) ヘログを自動的に送信できます。ACR ツールは、シスコの内部使用のみであり、お客様は利用できません。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: ACR ツールにログは送信されません。

On: ACR ツールにログは自動的に送信されます。

デフォルト値:

Off [DX70/DX80, SX10, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D]

On [RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Url

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスがクラッシュすると、デバイスは解析のために [Cisco Automatic Crash Report ツール (Cisco Automatic Crash Report tool)] (ACR) ヘログを自動的に送信できます。ACR ツールは、シスコの内部使用のみであり、お客様は利用できません。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Url: "Url"

説明:

URL:

文字列 (0, 255)

[シスコ自動クラッシュレポートツール (Cisco Automatic Crash Report tool)] の URL。

デフォルト値:

"" [DX70/DX80, SX10, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D]

"acr.cisco.com" [RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

Time の設定

xConfiguration Time TimeFormat

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

時刻の形式を定義します。

使用方法:

xConfiguration Time TimeFormat: TimeFormat

説明:

TimeFormat:

24H/12H

24H: 24 時間の時間フォーマットを設定します。

12H: 12 時間 (AM/PM) の時間フォーマットを設定します。

デフォルト値:

24H

xConfiguration Time DateFormat

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

日付の形式を定義します。

使用方法:

xConfiguration Time DateFormat: DateFormat

説明:

DateFormat:

DD_MM_YY/MM_DD_YY/YY_MM_DD

DD_MM_YY: 2010 年 1 月 30 日は「30.01.10」と表示されます。

MM_DD_YY: 2010 年 1 月 30 日は「01.30.10」と表示されます。

YY_MM_DD: 2010 年 1 月 30 日は「10.01.30」と表示されます。

デフォルト値:

DD_MM_YY

xConfiguration Time Zone

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスが物理的に存在する地域のタイムゾーンを設定します。値スペースの情報は、tz データベース (別名: IANA タイムゾーン データベース) から取得しています。

使用方法:

xConfiguration Time Zone: Zone

説明:

Zone:

アフリカ/アビジャン, アフリカ/アクラ, アフリカ/アディスアベバ, アフリカ/アルジェ, アフリカ/アスマラ, アフリカ/アスメラ, アフリカ/バマコ, アフリカ/バンギ, アフリカ/バンジュール, アフリカ/ピサウ, アフリカ/ブランタイア, アフリカ/ブラザビル, アフリカ/ブジュンブラ, アフリカ/カイロ, アフリカ/カサブランカ, アフリカ/セウタ, アフリカ/コナクリ, アフリカ/ダカール, アフリカ/ダルエスサラーム, アフリカ/ジブチ, アフリカ/ドゥアラ, アフリカ/アイウン, アフリカ/フリータウン, アフリカ/ガボローネ, アフリカ/ハラレー, アフリカ/ヨハネスブルク, アフリカ/ジュバ, アフリカ/カンバラ, アフリカ/ハルツーム, アフリカ/キガリ, アフリカ/キンシャサ, アフリカ/ラゴス, アフリカ/リーブルビル, アフリカ/ロメ, アフリカ/ルアンダ, アフリカ/ルブンバシ, アフリカ/ルサカ, アフリカ/マラボ, アフリカ/マプト, アフリカ/マセール, アフリカ/ムババーネ, アフリカ/モガディシュ, アフリカ/モンロヴィア, アフリカ/ナイロビ, アフリカ/ンジャメナ, アフリカ/ニアメイ, アフリカ/ヌアクショット, アフリカ/ワガドゥグ, アフリカ/ボルトノボ, アフリカ/サントメ・プリンシペ, アフリカ/ティンブクトゥ, アフリカ/トリポリ, アフリカ/チュニス, アフリカ/ウィントフック, アメリカ/アダック, アメリカ/アンカレッジ, アメリカ/アンギラ, アメリカ/アンティグア, アメリカ/アラグアイーナ, アメリカ/アルゼンチン/ブエノスアイレス, アメリカ/アルゼンチン/カタマルカ, アメリカ/アルゼンチン/コモドロー・リバディア, アメリカ/アルゼンチン/コルドバ, アメリカ/アルゼンチン/フファイ, アメリカ/アルゼンチン/ラ・リオージャ, アメリカ/アルゼンチン/メンドーサ, アメリカ/アルゼンチン/リオ・ガレゴス, アメリカ/アルゼンチン/サルタ, アメリカ/アルゼンチン/サンファン, アメリカ/アルゼンチン/サンルイス, アメリカ/アルゼンチン/トゥクマン, アメリカ/アルゼンチン/ウシュアイア, アメリカ/アルバ, アメリカ/アスンシオン, アメリカ/アティコーカン, アメリカ/アトーチャ, アメリカ/バヒア, アメリカ/バヒア・バンデラス, アメリカ/バルバドス, アメリカ/ベレン, アメリカ/ベリーズ, アメリカ/ブランサルトン, アメリカ/ボア・ビスタ, アメリカ/ボゴタ, アメリカ/ボイシ, アメリカ/ブエノスアイレス, アメリカ/ケンブリッジベイ, アメリカ/カンボグランデ, アメリカ/カンクーン, アメリカ/カラカス, アメリカ/カタマルカ, アメリカ/カイエン, アメリカ/ケイマン, アメリカ/シカゴ, アメリカ/チワワ, アメリカ/コラル・ハーバー, アメリカ/コルドバ, アメリカ/コスタリカ, アメリカ/クレストン, アメリカ/クイアバ, アメリカ/キュラソー, アメリカ/デンマルクシオン, アメリカ/ドーソン, アメリカ/ドーソングリーク, アメリカ/デンバー, アメリカ/デトロイト, アメリカ/ドミニカ, アメリカ/エドモントン, アメリカ/エイルネベ, アメリカ/エルサルバドル, アメリカ/エンセナダ, アメリカ/フォート・ネルソン, アメリカ/フォート・ウェイン, アメリカ/フォルタレザ, アメリカ/グレース・ミ, アメリカ/ゴットホープ, アメリカ/グース・ベイ, アメリカ/グランドターク, アメリカ/グレナダ, アメリカ/グアダルルーベ, アメリカ/グアテマラ, アメリカ/グアヤキル, アメリカ/ガイアナ, アメリカ/ハリファクス, アメリカ/ハバナ, アメリカ/エルモシージョ, アメリカ/インディアナ/インディアナポリス, アメリカ/インディアナ/ノックス, アメリカ/インディアナ/マレンゴ, アメリカ/インディアナ/ピーターズバーグ, アメリカ/インディアナ/テルシティ, アメリカ/インディアナ/ヴィベイ, アメリカ/インディアナ/ヴァンセンヌ, アメリカ/インディアナ/ウィナマク, アメリカ/インディアナポリス, アメリカ/イヌヴィック, アメリカ/イカルイト, アメリカ/ジャマイカ, アメリカ/フファイ, アメリカ/ジュノー, アメリカ/ケンタッキー/ルイビル, アメリカ/ケンタッキー/モンティチェロ, アメリカ/ノックス, アメリカ/クラレンダイク, アメリカ/ラパス, アメリカ/リマ, アメリカ/

ロサンゼルス, アメリカ/ルイビル, アメリカ/ローワー・プリンシズ, アメリカ/マセイオ, アメリカ/マナグア, アメリカ/マナウス, アメリカ/マリゴ, アメリカ/マルティニーク, アメリカ/マタモロス, アメリカ/マサトラン, アメリカ/メンドーサ, アメリカ/メノミニ, アメリカ/メリダ, アメリカ/メトラカッタ, アメリカ/メキシコシティ, アメリカ/ミクロン島, アメリカ/モンクトン, アメリカ/モントレ, アメリカ/モンテビデオ, アメリカ/モントリオール, アメリカ/モンセラート, アメリカ/ナッソー, アメリカ/ニューヨーク, アメリカ/ニピゴン, アメリカ/ノーム, アメリカ/ノローニヤ, アメリカ/ノースダコタ/ビュラ, アメリカ/ノースダコタ/センター, アメリカ/ノースダコタ/ニュー・セラム, アメリカ/オジナガ, アメリカ/パナマ, アメリカ/パングナータング, アメリカ/パラマリボ, アメリカ/フェニックス, アメリカ/ポルトーブラン, アメリカ/ポルトオプスベイン, アメリカ/ポルト・アクレ, アメリカ/ポルト・ヴェーリョ, アメリカ/プエルトリコ, アメリカ/レイニエーリバー, アメリカ/ランキン・インレット, アメリカ/レシフェ, アメリカ/レジーナ, アメリカ/レゾリュート, アメリカ/リオ・ブランコ, アメリカ/ロサリオ, アメリカ/サンタイザベル, アメリカ/サンタレム, アメリカ/サンチアゴ, アメリカ/サントドミンゴ, アメリカ/サンパウロ, アメリカ/スコールスビーサンド, アメリカ/シブアック, アメリカ/シトカ, アメリカ/サン・バルテルミー島, アメリカ/セント・ジョーンズ, アメリカ/セントクリストファー・ネイビス, アメリカ/セントルシア, アメリカ/セント・トーマス, アメリカ/サン・ヴィンセント, アメリカ/スウィフトカレント, アメリカ/テグシガルバ, アメリカ/スーリー, アメリカ/サンダーベイ, アメリカ/ティファナ, アメリカ/トロント, アメリカ/トルトラ, アメリカ/バンクーバー, アメリカ/バージン, アメリカ/ホワイトハウス, アメリカ/ウィニベグ, アメリカ/ヤクタート, アメリカ/イエローナイフ, 南極/ケーシー, 南極/デービス, 南極/デモン・デュルヴィル, 南極/マックオーリー, 南極/モーズン, 南極/マクマルド, 南極/パーマー, 南極/ロセラ, 南極/南極点, 南極/昭和, 南極/トロール, 南極/ポストーク, 北極/ロングイェールビーン, アジア/アデン, アジア/アルマトイ, アジア/アンマン, アジア/アナティル, アジア/アクタウ, アジア/アクトベ, アジア/アシガバート, アジア/アシガバート, アジア/バグダッド, アジア/バーレーン, アジア/バクー, アジア/バンコク, アジア/バルナウル, アジア/ベイルート, アジア/ビシュケク, アジア/ブルネイ, アジア/カルカッタ, アジア/チタ, アジア/チョイバルサン, アジア/重慶, アジア/重慶, アジア/コロンボ, アジア/ダッカ, アジア/ダマスカス, アジア/ダッカ, アジア/ディリ, アジア/ドバイ, アジア/ドゥシャンベ, アジア/ガザ, アジア/ハルビン, アジア/ヘブロン, アジア/ホーチミンシティ, アジア/香港, アジア/ホブド, アジア/イルクーツク, アジア/イスタンブール, アジア/ジャカルタ, アジア/ジャヤブラ, アジア/エルサレム, アジア/カブール, アジア/カムチャッカ, アジア/カラチ, アジア/カシュガル, アジア/カトマンズ, アジア/カトマンズ, アジア/ハンドウイガ, アジア/コルカタ, アジア/クラスノヤルスク, アジア/クアラルンプール, アジア/クチン, アジア/クウェート, アジア/マカオ, アジア/マカオ, アジア/マダダン, アジア/マカッサル, アジア/マニラ, アジア/マスカット, アジア/ニコシア, アジア/ノヴォクズネツク, アジア/ノヴォシビルスク, アジア/オムスク, アジア/オラル, アジア/ポンペ, アジア/ポンティアナック, アジア/平壤, アジア/カタール, アジア/クズロルダ, アジア/ラングーン, アジア/リヤド, アジア/サイゴン, アジア/サハリン, アジア/サマルカンド, アジア/ソウル, アジア/上海, アジア/シンガポール, アジア/スレドネコリムスク, アジア/台北, アジア/タシケント, アジア/タヒリシ, アジア/テヘラン, アジア/テルアビブ, アジア/ティンブー, アジア/ティンブー, アジア/東京, アジア/アトムスク, アジア/ウジュンバタン, アジア/ウランバートル, アジア/ウランバートル, アジア/ウルムチ, アジア/ウスチ=ネラ, アジア/ヴィエンチャン, アジア/ウラジオストク, アジア/ヤクーツク, アジア/エカテリンブルク, アジア/エレバン, 大西洋/アゾレス諸島, 大西洋/バミューダ諸島, 大西洋/カナリア諸島, 大西洋/カーボベルデ, 大西洋/フェロー諸島, 大西洋/フェロー諸島, 大西洋/ヤンマイエン島, 大西洋/マデイラ島, 大西洋/レイキヤビク, 大西洋/南ジョージア, 大西洋/セントヘレナ, 大西洋/スタンレー, オーストラリア/ACT, オーストラリア/アデレード, オーストラリア/ブリスベン, オーストラリア/ブロークンヒル, オーストラリア/キャンベラ, オーストラリア/カリー, オーストラリア/ダーウィン, オーストラリア/ユークラ, オーストラリア/ホバート, オーストラリア/LHI, オーストラリア/リンデマン, オーストラリア/ロード・ハウ, オーストラリア/メルボルン, オーストラリア/NSW, オーストラリア/ノース, オーストラリア/パース, オーストラリア/クイーンズランド, オーストラリア/サウス, オーストラリア/シドニー, オーストラリア/タスマニア, オーストラリア/ヴィクトリア, オーストラリア/ウエスト, オーストラリア/ヤンコウイナ, ブラジル/アクレ, ブラジル/デ・ノローニヤ, ブラジル/イースト, CET, CST6CDT, カナダ/アトランティック, カ

ナダ/セントラル, カナダ/イーストサスカチュワン, カナダ/イースタン, カナダ/マウンテン, カナダ/ニューファンドランド, カナダ/パシフィック, カナダ/サスカチュワン, カナダ/ユーコン, チリ/コンチネンタル, チリ/イースター島, キューバ, EET, EST, EST5EDT, エジプト, Eire, その他/GMT, その他/GMT+0, その他/GMT+1, その他/GMT+10, その他/GMT+11, その他/GMT+12, その他/GMT+2, その他/GMT+3, その他/GMT+4, その他/GMT+5, その他/GMT+6, その他/GMT+7, その他/GMT+8, その他/GMT+9, その他/GMT-0, その他/GMT-1, その他/GMT-10, その他/GMT-11, その他/GMT-12, その他/GMT-13, その他/GMT-14, その他/GMT-2, その他/GMT-3, その他/GMT-4, その他/GMT-5, その他/GMT-6, その他/GMT-7, その他/GMT-8, その他/GMT-9, その他/GMT0, その他/グリニッジ, その他/UCT, その他/UTC, その他/ユニバーサル, その他/ズールー, ヨーロッパ/アムステルダム, ヨーロッパ/アンドラ, ヨーロッパ/アストラハン, ヨーロッパ/アテナ, ヨーロッパ/ベルファスト, ヨーロッパ/ベルグラード, ヨーロッパ/ベルリン, ヨーロッパ/ブラティスラヴァ, ヨーロッパ/ブリュッセル, ヨーロッパ/ブカレスト, ヨーロッパ/ブダペスト, ヨーロッパ/ビュージンゲン, ヨーロッパ/キシノウ, ヨーロッパ/コペンハーゲン, ヨーロッパ/ダブリン, ヨーロッパ/ジブラルタル, ヨーロッパ/ガーンジー, ヨーロッパ/ヘルシンキ, ヨーロッパ/マン島, ヨーロッパ/イスタンブール, ヨーロッパ/ジャージー, ヨーロッパ/カリーニングラード, ヨーロッパ/キエフ, ヨーロッパ/キロフ, ヨーロッパ/リスボン, ヨーロッパ/リュブリヤナ, ヨーロッパ/ロンドン, ヨーロッパ/ルクセンブルク, ヨーロッパ/マドリッド, ヨーロッパ/マルタ, ヨーロッパ/マリエハムン, ヨーロッパ/ミンスク, ヨーロッパ/モナコ, ヨーロッパ/モスクワ, ヨーロッパ/ニコシア, ヨーロッパ/オスロ, ヨーロッパ/パリ, ヨーロッパ/ポドゴリツァ, ヨーロッパ/プラーハ, ヨーロッパ/リガ, ヨーロッパ/ローマ, ヨーロッパ/サラマ, ヨーロッパ/サンマリノ, ヨーロッパ/サラエボ, ヨーロッパ/シンフェロポリ, ヨーロッパ/スコピエ, ヨーロッパ/ソフィア, ヨーロッパ/ストックホルム, ヨーロッパ/タリン, ヨーロッパ/ティラーナ, ヨーロッパ/ティラスポリ, ヨーロッパ/ウリヤノフスク, ヨーロッパ/ウージュホロド, ヨーロッパ/ファドゥーツ, ヨーロッパ/バチカン, ヨーロッパ/ウィーン, ヨーロッパ/ヴィリニユス, ヨーロッパ/ヴォルゴグラード, ヨーロッパ/ワルシャワ, ヨーロッパ/ザグレブ, ヨーロッパ/ザポリージャ, ヨーロッパ/チューリッヒ, 英国, 英国エア, GMT, GMT+0, GMT-0, GMT0, グリニッジ, HST, 香港, アイスランド, インド洋/アンタナナリボ, インド洋/チャゴス, インド洋/クリスマス諸島, インド洋/ココス, インド洋/コモロ諸島, インド洋/ケルゲレン諸島, インド洋/マヘ島, インド洋/モルディブ, インド洋/モーリシャス諸島, インド洋/マヨット, インド洋/ルニオン, イラン, イスラエル, ジャマイカ, 日本, ケゼリン, リビア, MET, MST, MST7MDT, メキシコ/バハノルテ, メキシコ/バハスル, メキシコ/一般, NZ, NZ-CHAT, ナバホ, PRC, PST8PDT, 太平洋/アビア, 太平洋/オークランド, 太平洋/ブーゲンビル, 太平洋/チャタム, 太平洋/チューク諸島, 太平洋/イースター島, 太平洋/エファアテ島, 太平洋/エンダーベリー島, 太平洋/ファカオフォ島, 太平洋/フィジー, 太平洋/フナフティ島, 太平洋/ガラバゴス諸島, 太平洋/ガンビア, 太平洋/ガダルカナル, 太平洋/グアム, 太平洋/ホノルル, 太平洋/ジョンストン, 太平洋/クリスィマスイ, 太平洋/コスラエ, 太平洋/クエゼリン, 太平洋/マジロ, 太平洋/マルキーズ諸島, 太平洋/ミッドウェー島, 太平洋/ナウル, 太平洋/ニウエ, 太平洋/ノーフォーク, 太平洋/ヌメア, 太平洋/パゴパゴ, 太平洋/パラオ, 太平洋/ピトケアン, 太平洋/ボンペイ, 太平洋/ボナペ, 太平洋/ポートモレスビー, 太平洋/ラロトンガ, 太平洋/サイパン, 太平洋/サモア, 太平洋/タヒチ, 太平洋/タラワ, 太平洋/トンガタプ, 太平洋/トラック, 太平洋/ウェーキ, 太平洋/ウォリス, 太平洋/ヤップ, ポーランド, ポルトガル, ROC, ROK, シンガポール, トルコ, UCT, 米国/アラスカ, 米国/アリユーション, 米国/アリゾナ, 米国/セントラル, 米国/東インディアン, 米国/イースタン, 米国/ハワイ, 米国/インディアナスターク, 米国/ミシガン, 米国/マウンテン, 米国/パシフィック, 米国/パシフィックニュー, 米国/サモア, UTC, ユニバーサル, W-SU, WET, ズールー

リストからタイムゾーンを選択します。

デフォルト値:

Etc/UTC

xConfiguration Time WorkDay Start

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek, Time WorkWeek LastDayOfWeek, Time WorkDay Start, および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkDay Start: "Start"

説明:

Start:

文字列 (5, 5)

24 時間表記を使用した就業開始時刻。

デフォルト値:

"07:00"

xConfiguration Time WorkDay End

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek, Time WorkWeek LastDayOfWeek, Time WorkDay Start, および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkDay End: "End"

説明:

End:

文字列 (5, 5)

24 時間表記を使用した就業終了時刻。

デフォルト値:

"18:00"

xConfiguration Time WorkWeek FirstDayOfWeek

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek, Time WorkWeek LastDayOfWeek, Time WorkDay Start, および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkWeek FirstDayOfWeek: FirstDayOfWeek

説明:

FirstDayOfWeek:

Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday

就業が開始される曜日。

デフォルト値:

Monday

xConfiguration Time WorkWeek LastDayOfWeek

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek, Time WorkWeek LastDayOfWeek, Time WorkDay Start, および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkWeek LastDayOfWeek: LastDayOfWeek

説明:

LastDayOfWeek:

Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday

就業が終了する曜日。

デフォルト値:

Friday

UserInterface の設定

xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

画面表示を強調した着信コールの通知を利用できます。画面とタッチ 10 は約 1 秒ごと (1.75 Hz) に赤と白に点滅し、聴覚が不自由なユーザが着信コールに気づきやすくするようにしています。デバイスが通話中の場合、進行中の通話の妨げになるため画面は点滅しません、その代わりに、通常の通知が画面とタッチパネルに表示されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification:
IncomingCallNotification

説明:

IncomingCallNotification:

AmplifiedVisuals/Default

AmplifiedVisuals: デバイスが着信したときに画面とタッチ パネル上での画面表示の強調を有効にします。

Default: スクリーンとタッチパネル上での通知を使用したデフォルトの動作を有効にします。

デフォルト値:

Default

xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスがブランド カスタマイズによりセット アップされている場合、この設定は、デバイスが起動している時に表示されるロゴの色に影響します。ロゴをフルカラーで表示するか、またはロゴの不透明度を下げるかによって、画面上の背景や他の要素とより自然にブレンドするように設定することができます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Branding AwakeBranding Colors: Colors

説明:

色:

Auto/Native

Auto: ロゴの不透明度は低減されます。

Native: ロゴはフルカラーです。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface ContactInfo Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ユーザ インターフェイスに表示する連絡先情報の種類を選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface ContactInfo Type: Type

説明:

タイプ:

Auto/DisplayName/E164Alias/H320Number/H323Id/IPv4/IPv6/None/SipUri/SystemName

Auto:他のデバイスがこの会議デバイスに到達するためにダイヤルする必要があるアドレスを表示します。アドレスはデフォルトのコール プロトコルおよびデバイス登録によって異なります。

None:どのようなコンタクト情報も表示しません。

IPv4:デバイスの IPv4 アドレスを示します。

IPv6:デバイスの IPv6 アドレスを示します。

H323Id:デバイスの H.323 ID を表示します (H323 H323Alias ID の設定を参照)。

H320Number:連絡先情報としてデバイスの H.320 番号を表示します (Cisco TelePresence ISDN リンクを使用している場合のみサポート)。

E164Alias:連絡先情報としてデバイスの H.323 E164 エイリアスを表示します (H323 H323Alias E164 の設定を参照)。

SipUri:デバイスの SIP URI を表示します (SIP URI の設定を参照する)。

SystemName:デバイス名を表示します (SystemUnit Name の設定を参照する)。

DisplayName:デバイスの表示名を表示します (SIP DisplayName の設定を参照する)。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface CustomMessage

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

アウェイク モードのとき、スクリーンの下部左側にカスタム メッセージを表示することができます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface CustomMessage: "CustomMessage"

説明:

CustomMessage:

文字列 (0, 128)

カスタム メッセージを追加します。カスタム メッセージを削除するには空の文字列を追加します。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface KeyTones Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

テキストまたは数値を入力する際に、キーボード クリック効果音 (キー トーン) が鳴るようにデバイスを設定できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface KeyTones Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off:キー トーンは再生されません。

On:キー トーンがオンになります。

デフォルト値:

Off [DX70/DX80 Board]

On [SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

xConfiguration UserInterface Features Call End

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザインターフェイスからデフォルトの通話終了ボタンを削除するかどうかを選択します。設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call End: End

説明:

End:

Auto/Hidden

Auto: デフォルトボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトボタンをユーザ インターフェイスから削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザインターフェイスからデフォルトの保留、転送、および通話再開ボタンを削除するかどうかを選択します。設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call MidCallControls: MidCallControls

説明:

MidCallControls:

Auto/Hidden

Auto: デフォルトボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: ユーザ インターフェイスからデフォルトボタンを削除する

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザインターフェイスから、デフォルトの通話ボタン (ディレクトリ、お気に入り、および直近の通話リスト)、さらにデフォルトの着信追加参加者ボタンを削除するかどうかを選択します。設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call Start: Start

説明:

Start:

Auto/Hidden

Auto: デフォルトボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: ユーザ インターフェイスからデフォルトボタンを削除する

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザインターフェイスにデフォルトの[ビデオをオフにする]ボタンを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Call VideoMute: VideoMute

説明:

VideoMute:

Auto/Hidden

Auto: この機能が継続的な通話でサポートされている場合、ユーザインターフェイスに[ビデオをオフにする]ボタンが表示されます。

Hidden: [ビデオをオフにする]ボタンはユーザインターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features HideAll

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザインターフェイスからデフォルトボタンを削除するかどうかを選択します。設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features HideAll: HideAll

説明:

HideAll:

False/True

False: すべてのデフォルトボタンをユーザインターフェイスで表示します。

True: すべてのデフォルトボタンをユーザインターフェイスで表示しません。

デフォルト値:

False

xConfiguration UserInterface Features Share Start

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザインターフェイスから、コンテンツの共有とコール発信の両方で、コンテンツを共有およびプレビューするためのデフォルトボタンやその他の UI 要素を削除するかどうかを選択します。設定はボタンと UI 要素だけを削除し、機能などは削除しません。Proximity または Cisco Webex Teams アプリを使ってコンテンツの共有は可能です。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Share Start: Start

説明:

Start:

Auto/Hidden

Auto: デフォルトボタンと UI 要素をユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトボタンと UI 要素をユーザ インターフェイスから削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Features Whiteboard Start

適用対象: *DX70/DX80 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザ インターフェイスからデフォルトの [ホワイトボード (Whiteboard)] ボタンを削除するかどうかを選択します。設定はボタンだけを削除し、機能などは削除しません。この設定は、Cisco Webex に登録されているデバイスにのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Features Whiteboard Start: Start

説明:

Start:

Auto/Hidden

Auto: デフォルトボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトボタンをユーザ インターフェイスから削除します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface Language

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ユーザ インターフェイスで使用される言語を選択します。該当する言語がサポートされていない場合、デフォルトの言語 (Medium) が使用されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Language: Language

説明:

Language:

Arabic/Catalan/ChineseSimplified/ChineseTraditional/Czech/Danish/Dutch/English/EnglishUK/Finnish/French/FrenchCanadian/German/Hebrew/Hungarian/Italian/Japanese/Korean/Norwegian/Polish/Portuguese/PortugueseBrazilian/Russian/Spanish/SpanishLatin/Swedish/Turkish

リストから言語を選択します。

デフォルト値:

English

xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

暗号化インジケータが画面に表示される時間の長さを定義します。暗号化された通話のアイコンは、ロックされた南京錠です。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD EncryptionIndicator: [EncryptionIndicator](#)

説明:

[EncryptionIndicator](#):

Auto/AlwaysOn/AlwaysOff

Auto: コールが暗号化されている場合は、「コールは暗号化されています (Call is encrypted)」という通知が 5 秒間表示されます。その後、通話の残りの部分では暗号化インジケータ アイコンが表示されます。

コールが暗号化されていない場合は、「コールは暗号化されていません (Call is not encrypted)」という通知が 5 秒間表示されます。暗号化インジケータ アイコンは表示されません。

AlwaysOn: 「コールは暗号化されています (Call is encrypted)」という通知が 5 秒間表示されます。その後、通話の残りの部分では暗号化インジケータ アイコンが表示されます。

AlwaysOff: 暗号化インジケータは画面上に表示されません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

カスタム メッセージは、デバイスが起動中の状態のとき、メイン スクリーンの中央に表示できます。カスタム メッセージは、デバイスの使用開始方法の指示を与えるデフォルト メッセージに置き換えられます。カスタム メッセージを追加せずにデフォルト メッセージを削除することもできます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage: "[HalfwakeMessage](#)"

説明:

[HalfwakeMessage](#):

文字列 (0, 128)

カスタム メッセージ。空の文字列: デフォルト メッセージを復元します。空白のみ: メッセージは一切表示されません。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface OSD Output

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

オンスクリーン用の情報とインジケータ (OSD) を表示するモニタを定義します。デバイスがリモート制御で制御されている場合、この画面にスクリーン メニューも表示されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD Output: Output

説明:

出力:

1 [SX10 Room55 Board]

Auto/1/2 [SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room70/Room55D]

Auto/1/2/3 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

Auto [DX70/DX80 RoomKitMini]

Auto: 内蔵画面があるデバイスの場合、画面に表示される情報とインジケータが内蔵画面に送信されます。デバイスに 2 つの内蔵画面がある場合は、左側のモニタが使用されます。

内蔵画面のないデバイスの場合、デバイスは、ビデオ出力に接続されたモニタを検出し、最初に接続されたモニタに画面表示用の情報とインジケータを送信します。マルチモニタを設定して、デバイスをオンにする前にすべてのモニタを接続した場合、オンスクリーン用の情報とインジケータは番号が最も小さいビデオ出力に送信されます。ビデオ出力の番号は、出力コネクタ 1 (HDMI 1) から始まります。

1..n: デバイスは画面に表示される情報とインジケータを、指定した出力に送信します。デバイスの出力コネクタ n にオンスクリーン用の情報とインジケータを送信するには、n を選択します。

内蔵画面があるデバイスの場合、最も低い数値が内蔵画面を示します。

デフォルト値:

1 [SX10 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room55 Room70G2 Board]

Auto [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room70/Room55D]

xConfiguration UserInterface Phonebook Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定は、ユーザーが連絡先をディレクトリに追加または変更したり、お気に入りリストをデバイスのユーザ インターフェイスに追加または変更可能かどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Phonebook Mode: Mode

説明:

Mode:

ReadOnly/ReadWrite

ReadOnly: 連絡先をお気に入りリストに追加したり、お気に入りリストの連絡先を編集したりはできません。また、通話前にディレクトリやお気に入りリストから連絡先を編集することはできません。

ReadWrite: 連絡先をお気に入りリストに追加したり、お気に入りリストの連絡先を編集したりできます。また、通話前にディレクトリやお気に入りリストから連絡先を編集することができます。

デフォルト値:

ReadWrite

xConfiguration UserInterface Security Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定では、重要なデバイス情報 (例: ビデオ会議デバイスの連絡先情報や IP アドレス、タッチ コントローラ、および UCM/VCS レジストラ) がユーザー インターフェイス (ドロップダウン メニューと設定パネル) で公開されるのを防ぐことができます。設定パネルに移動するとこのような情報は非表示になっていないので注意してください。

管理者権限を持たない人に連絡先情報、IP アドレス、MAC アドレス、シリアル番号およびソフトウェアのバージョンを絶対に公開しない場合は、[ユーザー インターフェイス設定メニュー モード (UserInterface SettingsMenu Mode)] を [ロック (Locked)] に設定します。また、管理者権限を持つすべてのユーザ アカウントにパスワードを設定することも必要です。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Security Mode: Mode

説明:

Mode:

Normal/Strong

Normal: IP アドレスやその他のデバイス情報がユーザー インターフェイスに表示されます。

Strong: 連絡先情報および IP アドレスは、ユーザ インターフェイス (ドロップ ダウン メニューと設定パネル) に表示されません。

デフォルト値:

Normal

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ユーザ インターフェイス (Touch 10 またはオンスクリーン) の設定パネルは、そのデバイスの管理者パスワードで保護できます。このパスワードが空白の場合、誰でも設定パネルの設定にアクセスできます (例: デバイスを初期設定へリセット)。認証を有効にすると、認証を必要とするすべての設定に南京錠のアイコンが表示されます。設定を選択するときに、管理者のユーザ名とパスワードを入力するよう求められます。認証が必須でない設定には、南京錠のアイコンが表示されません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode: Mode

説明:

Mode:

Locked/Unlocked

Locked: 管理者のユーザ名とパスワードによる認証が必要です。

Unlocked: 認証は必要ありません。

デフォルト値:

Unlocked

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイス名 (または連絡先情報) と、関連するドロップ ダウン メニューやユーザ インタフェースの [設定 (Settings)] パネルに表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Visibility: Visibility

説明:

Visibility:

Auto/Hidden

Auto: デバイス名とドロップ ダウン メニューを表示し、ユーザ インタフェース上の [設定 (Settings)] パネルを表示します。

Hidden: デバイス名をドロップ ダウン メニューとユーザ インタフェースの [設定 (Settings)] パネルで非表示にします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスを設定してサウンド エフェクトを作成することができます (例: 他のユーザが Proximity でラップトップやモバイルに接続するときのサウンド エフェクト)。

キーボードは、テキストを入力したときに [サウンド エフェクト (sound effect)] をクリックします (UserInterface Keytones Mode の設定を参照してください)。

使用方法:

xConfiguration UserInterface SoundEffects Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: サウンド エフェクトがありません。

On: サウンド エフェクトがオンになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration UserInterface UsbPromotion

適用対象: *RoomKitMini*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ハーフ ウェイク画面に、このデバイスを USB カメラとして使用できることを知らせるテキストを表示するかどうかを選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface UsbPromotion: UsbPromotion

説明:

UsbPromotion:

Off/On

Off: USB カメラの情報テキストは表示されません。

On: USB カメラの情報テキストが表示されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode

適用対象: *RoomKitMini*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスは、Web カメラとして使用することも、通常のビデオ会議デバイスとして使用することもできます。オンプレミスまたはクラウドコールサービス (CUCM, VCS, Webex など) に登録されていない場合でも、web カメラとして使用できます。

この設定は、ビデオ会議デバイスが登録されていない場合に、ユーザー インターフェイスを Web カメラのみのシナリオに適応させるかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface WebcamOnlyMode: *WebcamOnlyMode*

説明:

WebcamOnlyMode:

Auto/Off

Auto: デバイスがコール サービスに登録されている場合は、ユーザ インターフェイス全体が表示されます。デバイスが登録されていない場合はコールに使用できないため、関係のないユーザ インターフェイス要素は削除されます。

Off: 常にユーザ インターフェイス全体がデバイスに表示されます。

デフォルト値:

Auto

UserManagement の設定

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

どのユーザに管理者権限を付与する必要があるか決定するために LDAP フィルタが使用されます。

LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルタをつねに設定する必要があります。LDAP 管理者フィルタが優先されるため、ユーザ管理 LDAP 管理者フィルタが設定されている場合であっても、ユーザ管理 LDAP 管理者グループ設定は無視されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter: "*Filter*"

説明:

Filter:

文字列 (0, 1024)

この文字列の構文については、LDAP の仕様を参照してください。例: "(|(memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com)(sAMAccountName=username))"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

この AD (Active Directory) グループのメンバーには、管理者権限が付与されます。この設定は、memberOf:1.2.840.113556.1.4.1941:=<group name> の短縮形です。

LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルタをつねに設定する必要があります。LDAP 管理者フィルタが優先されるため、ユーザ管理 LDAP 管理者フィルタが設定されている場合であっても、ユーザ管理 LDAP 管理者グループ設定は無視されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group: "Group"

説明:

Group:

文字列 (0, 255)

AD グループの識別名。例: "CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Attribute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定のユーザ名にマップするために使用する属性。設定しない場合、sAMAccountName が使用されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Attribute: "Attribute"

説明:

Attribute:

文字列 (0, 255)

属性名。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

検索を開始するエントリの識別名 (ベース)。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN: "BaseDN"

説明:

BaseDN:

文字列 (0, 255)

ベースの識別名。例: "DC=company, DC=com"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Encryption

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスと LDAP サーバとの間の通信を保護する方法を定義します。ポート番号は、UserManagement LDAP Server Port 設定を使用してポート番号をオーバーライドできます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Encryption: Encryption

説明:

Encryption:

LDAPS/None/STARTTLS

LDAPS: TLS (Transport Layer Security) を使用してポート 636 上で LDAP サーバに接続します。

None: ポート 389 上の LDAP サーバに接続します (暗号化なし)。

STARTTLS: ポート 389 の LDAP サーバに接続して、暗号化された接続 (TLS) にアップグレードするための STARTTLS コマンドを送信します。

デフォルト値:

LDAPS

xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可する TLS (Transport Layer Security) プロトコルの最低バージョンを設定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以上をサポートします。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以上をサポートします。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以上をサポートします。

デフォルト値:

TLSv1.2

xConfiguration UserManagement LDAP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスは、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバを、ユーザー名とパスワードを一元的に保存および検証する場所として使用することをサポートします。この設定を使用して、LDAP 認証を使用するかどうかを設定します。実装は、Microsoft Active Directory (AD) サービスでテスト済みです。

LDAP モードをオンにする場合、設定に合わせたユーザ管理 LDAP 設定の構成を確認してください。いくつかの例を示します。

例 1:

- ユーザ管理 LDAP モード: On
- ユーザ管理 LDAP アドレス: "192.0.2.20"
- ユーザ管理 LDAP ベース DN: "DC=company, DC=com"
- ユーザ管理 LDAP 管理グループ: "CN=admin group, OU=company group, DC=company, DC=com"

例 2:

- ユーザ管理 LDAP モード: On
- ユーザ管理 LDAP アドレス: "192.0.2.20"
- ユーザ管理 LDAP ベース DN: "DC=company, DC=com"
- ユーザ管理 LDAP 管理フィルタ: "(| (memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com)(sAMAccountName=username))"

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: LDAP 認証は使用不可です。

On: LDAP 認証は許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserManagement LDAP Server Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

LDAP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Server Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス, IPv6 アドレス, またはホスト名。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Server Port

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

LDAP サーバに接続するポートをオンに設定します。0 に設定した場合は、選択したプロトコルのデフォルトを使用します (「UserManagement LDAP Encryption 設定」を参照する)。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Server Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

LDAP サーバのポート番号。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスを LDAP サーバに接続すると、サーバはデバイスに証明書を提示して身元を示します。この設定は、デバイスがサーバの証明書を確認するかどうかを決定するために使用します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate:

VerifyServerCertificate

説明:

VerifyServerCertificate:

Off/On

Off: デバイスは LDAP サーバの証明書を検証しません。

On: デバイスは、LDAP サーバの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているか必ず検証します。デバイスにアップロードする信頼できる CA の一覧に、その CA を事前に追加する必要があります。デバイスのウェブ インターフェイスを使用して、信頼できる CA の一覧を管理します (詳細については、管理者ガイドを参照)。

デフォルト値:

On

Video の設定

xConfiguration Video DefaultMainSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

発信を開始する際にデフォルトのメイン ビデオ ソースとして使用されるビデオ入力ソースを定義します。

使用方法:

xConfiguration Video DefaultMainSource: DefaultMainSource

説明:

DefaultMainSource:

1/2/3/4/5/6 [CodecPro]

1/2/3/4 [SX80 MX700/MX800/MX800D Room70G2]

1/2 [SX20]

1 [DX70/DX80 SX10 RoomKitMini Board]

1/2/3 [MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

デフォルトのメインビデオソースとして使用されるソース。

デフォルト値:

1

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

カメラ ID は、このビデオ入力に接続されているカメラの一意の ID です。

複数のカメラを備えたデバイスでは、xStatus Camera API コマンドを使用して、さまざまなカメラの ID を表示できます。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId: CameraId

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

範囲: 1 ~ 5 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

CameraId:

コネクタ n: 1/2/3/4/5/6/7 [CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ n: 1 [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini Room55 Board]

コネクタ 1, 2, 3, 4: 1/2/3/4/5/6/7 コネクタ 5: 1 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

複数のカメラを備えたデバイスの場合は、カメラの ID を選択します。1 台のカメラを備えたデバイスでは、値は固定されており、変更できません。

デフォルト値:

コネクタ n: n [CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ n: 1 [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini Room55 Board]

コネクタ n: n コネクタ 5: 1 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このビデオ入力コネクタに接続されているカメラを制御するかどうかを定義します。一部のコネクタでは制御できません (Off のみを選択できます)。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

範囲: 1 ~ 5 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

Mode:

コネクタ *n*: Off/On [CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ *n*: Off [DX70/DX80]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2, 3, 4: Off [MX200G2/MX300G2]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2, 3: Off [SX10 Room55]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2: Off [SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

コネクタ 1, 2, 3, 4: Off/On コネクタ 5: Off [SX80, MX700/MX800/MX800D]

Off: カメラ制御をディセーブルにします。

On: カメラ制御をイネーブルにします。

デフォルト値:

コネクタ *n*: On [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ 1, 2, 3, 4, 5: On コネクタ 6: Off [CodecPro Room70G2]

コネクタ *n*: Off [DX70/DX80]

コネクタ 1: On コネクタ 2, 3, 4: Off [MX200G2/MX300G2]

コネクタ 1: On コネクタ 2, 3: Off [SX10 Room55]

コネクタ 1: On コネクタ 2: Off [SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

コネクタ 1, 2, 3: On コネクタ 4, 5: Off [SX80, MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode

適用対象: RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ入力 (HDMI) は、Consumer Electronics Control (CEC) をサポートします。この設定を有効にすると、接続デバイスの情報 (デバイスの種類やデバイス名) がビデオ会議デバイスのステータスで使用可能になります (Video Input Connector[n] ConnectedDevice CEC [n])。ただし、接続デバイスは CEC もサポートすることが条件となります。

カメラのスピーカーから音声がなくなるため、Cisco クワッド カメラがある場合はコネクタの CEC のスイッチを切らないでください。CEC は、ビデオ会議デバイスからカメラに音声を送信するために使用されるチャンネルである HDMI ARC (オーディオ リターン チャンネル) に必要です。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 5 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ~ 3 [Room 55]

範囲: 2 ~ 2 [RoomKit RoomKitMini Board]

Mode:

コネクタ *n*: Off/On [RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70G2 Board]

コネクタ 1: On その他のコネクタ: Off/On [Room70/Room55D]

Off: CEC が無効です。

On: CEC が有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Video Input Connector [n] DviType

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN

公式 DVI 規格は、デジタル信号とアナログ信号の両方をサポートします。ほとんどの場合、デフォルトの AutoDetect 設定で信号がアナログ RGB かデジタルかを検出できます。ただし DVI-I ケーブルを使用した場合 (これらのケーブルはアナログとデジタル両方の信号を伝送できます)、まれに自動検出に失敗することがあります。この設定により、AutoDetect を上書きし、正しい DVI ビデオ入力を選択できます。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] DviType: DviType

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 4 ~ 4 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

範囲: 2 ~ 2 [SX20, MX200G2/MX300G2]

DviType:

AutoDetect/Digital/AnalogRGB/AnalogYPbPr

AutoDetect: 信号がアナログ RGB かデジタルかを自動的に検出するには、AutoDetect に設定します。

Digital: アナログとデジタルの両方のピンを持つ DVI-I ケーブルを使用し、AutoDetect が失敗する場合、Digital に設定すると DVI ビデオ入力を強制的に Digital にします。

AnalogRGB: アナログとデジタルの両方のピンを持つ DVI-I ケーブルを使用し、AutoDetect が失敗する場合、AnalogRGB に設定すると DVI ビデオ入力を強制的に AnalogRGB にします。

AnalogYPbPr: コンポーネント (YPbPr) の信号を自動検出できないため、AnalogYPbPr に設定して DVI ビデオ入力を強制的にアナログ YPbPr にします。

デフォルト値:

AutoDetect

xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode

適用対象: CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスの HDMI 入力の 1 つを HDCP 保護コンテンツをサポートするように設定することができます (高帯域幅デジタル コンテンツ保護、バージョン 1.4)。これにより、Google ChromeCast、AppleTV、または HDTV デコーダなどのデバイスを接続してビデオ会議デバイスの画面を再利用できます。通話中にこの種のコンテンツを共有することはできません。

HDCP をサポートするために入力コネクタが設定される場合、このタイプのコンテンツ用に予約されません。つまり、何が接続されているかに関係なく、コール中にこの特定のコネクタから任意のコンテンツを共有することはできません。

保護されたコンテンツが表示される画面は HDCP をサポートしている必要があります。Codec Plus、Room 70 (Single と Dual)、および Room 55 Dual の場合は、保護されたコンテンツが出力コネクタ 1 に接続された画面に常に表示されます。Codec Pro および Room 70 G2 (Single と Dual) の場合は、出力コネクタ 1 と 2 に接続された画面に表示されます。また、Room 55 の場合は、内蔵画面に表示されます。Room シリーズのデバイス内蔵画面は HDCP をサポートしています。

注: Room 55 (Room 55 デュアルではない) に外部スクリーンを接続した場合は、内蔵画面にも HDCP コンテンツを表示できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 5 [CodecPro Room70G2]

範囲: 2 ~ 3 [Room 55]

Mode:

コネクタ 1, 3: Off, コネクタ 2: Off/On [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ 1, 2, 3, 4: Off コネクタ 5: Off/On [CodecPro Room70G2]

コネクタ 2: Off, コネクタ 3: Off/On [Room55]

オフ: ビデオ入力コネクタ上の HDCP 保護コンテンツのサポートを無効にします。

オン: ビデオ入力コネクタ上の HDCP 保護コンテンツのサポートを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ入力に接続された入力ソースのタイプを選択します。

デバイスが 1 台の内蔵カメラを備えている場合、コネクタ 1 は内蔵カメラを指します。デバイスが 2 台の統合カメラ (デュアル カメラ) を備えている場合、コネクタ 1 とコネクタ 2 は内蔵カメラを指します。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType: InputSourceType

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

範囲: 1 ~ 5 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

InputSourceType:

コネクタ n: PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other [SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ 1: camera コネクタ 2: PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other [DX70/DX80, Room Kit RoomKitMini Board]

コネクタ 1: camera その他のコネクタ: PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other [SX10 MX200G2/MX300G2 Room55]

PC: コンピュータがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

camera: カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

document_camera: ドキュメント カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

mediaplayer: メディア プレーヤーがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

whiteboard: ホワイトボード カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

other: 他のオプションが当てはまらない場合に使用します。

デフォルト値:

コネクタ 1, 2, 6: camera コネクタ 3, 4, 5: PC [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: camera その他のコネクタ: PC [SX10 MX200G2/MX300G2 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

コネクタ 1: camera コネクタ 2: PC [DX70/DX80 SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

コネクタ 1, 2: camera コネクタ 3, 4: PC コネクタ 5: other [SX80 MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ入力コネクタの名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Name: "Name"

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

範囲: 1 ~ 5 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

Name:

文字列 (0, 50)

ビデオ入力コネクタの名前。

デフォルト値:

コネクタ 1: "Camera 1" コネクタ 2: "Camera 2" コネクタ 3: "PC 1 (HDMI)" コネクタ 4: "PC 2 (HDMI)" コネクタ 5: "PC 3 (HDMI)" コネクタ 6: "Camera 3 (SDI)" [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC 1 (HDMI)" コネクタ 3: "PC 2 (HDMI)" [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2, 3: "" [Room55]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC" [RoomKit RoomKitMini Board]

コネクタ: "" [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2]

コネクタ 1: "Camera 1" コネクタ 2: "" for single camera devices, "Camera 2" for dual camera devices コネクタ 3: "PC (HDMI)" Connector 4: "PC (VGA)" Connector 5: "" [MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ会議デバイスに HDMI 経由でシステムに接続した入力ソース (例: ラップトップ) の解像度として通知されている推奨の画面解像度と更新間隔を定義します。ソース デバイス (例, ラップトップのディスプレイ構成ソフトウェア) によって手動でオーバーライドされない限り, ソース側の解像度の選択するためのロジックは, 自動的にこの解像度とリフレッシュ レートを選択します。

2560_1440_60 と 3840_2160_30 のフォーマットは, 1920_1080_60 フォーマットと比較すると約 2 倍の量のデータを使用し, HDMI 1.4b データレート以上に対応したプレゼンテーション ケーブル (またはアダプタ) を必要とします。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution:
PreferredResolution

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 2 ~ 3 [*Room 55*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 2 [*RoomKit RoomKitMini Board*]

PreferredResolution:

コネクタ 1, 2: 1920_1080_60 コネクタ 3, 4, 5: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [*CodecPro Room70G2*]

コネクタ 1: 1920_1080_60 コネクタ 2, 3: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

コネクタ n: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [*RoomKit RoomKitMini Room55 Board*]

1920_1080_60: 解像度は 1920 X 1080, リフレッシュ レートは 60 Hz です。

2560_1440_60: 解像度は 2560 X 1440, リフレッシュ レートは 60 Hz です。

3840_2160_30: 解像度は 3840 X 2160, リフレッシュ レートは 30 Hz です。

デフォルト値:

1920_1080_60 [*CodecPro Room70G2*]

コネクタ n: 1920_1080_60 [*RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board*]

xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ入力にプレゼンテーション ソースを接続するとき, ビデオ会議デバイスの動作を定義します。デバイスがスタンバイ モードの場合, プレゼンテーション ソースを接続すると起動します。遠端とプレゼンテーションを共有するには, この設定が AutoShare に設定されていないければ, 追加操作 (ユーザ インターフェイスで [共有 (Share)] を選択) が必要です。

複数のカメラを備えたデバイスの場合: どの入力ソースでもプレゼンテーション ソースとして使用できます。通常, メイン カメラはプレゼンテーション ソースとして使用されません。

内蔵カメラを備えたデバイスの場合: 内蔵カメラはプレゼンテーション ソースとして利用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection:
PresentationSelection

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 2 [*DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Board*]

範囲: 2 ~ 3 [*SX10, Room 55*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20*]

範囲: 1 ~ 4 [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 2 ~ 4 [*MX200G2/MX300G2*]

PresentationSelection:

コネクタ n: AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect [*DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*]

コネクタ 1: Manual コネクタ 2: AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect (シングル カメラ デバイスの場合), Manual (デュアル カメラ デバイスの場合) コネクタ 3, 4: AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect [*MX700/MX800/MX800D*]

AutoShare: 通話時に, ビデオ入力のコンテンツは, ケーブルを接続するかまたはソースが有効になると (たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど), 自動的に遠端とローカル画面に表示されます。ユーザ インターフェイス上で [共有 (Share)] を選択する必要はありません。コールの発信時または応答時にプレゼンテーション ソースがすでに接続されている場合は, ユーザ インターフェイス上で [共有 (Share)] を手動で選択する必要があります。

Desktop: ビデオ入力のコンテンツは, ケーブルを接続するかまたはソースが有効になると (たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど), 画面に表示されます。これは, アイドル状態のときと通話中のときの両方に適用されます。また, ビデオ入力のコンテンツは, 通話の終了時にアクティブ入力であれば, 画面に表示されたままとなります。

Manual: ユーザ インターフェイスで [共有 (Share)] を選択するまでビデオ入力の内容は画面に表示されません。

OnConnect: ビデオ入力のコンテンツは、ケーブルを接続するかまたはソースが起動すると (たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど)、画面に表示されます。それ以外の場合は、Manual モードと同じ動作です。

デフォルト値:

コネクタ 1, 2, 6: Manual コネクタ 3, 4, 5: OnConnect [CodecPro Room70G2]
 コネクタ 1: Manual その他のコネクタ: OnConnect [CodecPlus Room70/Room55D]
 コネクタ n: Desktop [DX70/DX80]
 コネクタ n: OnConnect [SX10 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini Room55]
 コネクタ n: AutoShare [Board]
 コネクタ 1, 2: Manual コネクタ 3, 4: OnConnect [SX80 MX700/MX800/MX800D]
 コネクタ 1: Manual コネクタ 2: OnConnect [SX20]

xConfiguration Video Input Connector [n] Quality

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオのエンコーディングと送信のときには、高解像度と高フレーム レートとの間にトレード オフが存在します。一部のビデオ ソースでは、高フレーム レートが高解像度より重要である場合や、逆の場合もあります。この設定で、高フレーム レートと高解像度のどちらを優先するかを指定します。

デバイスにより、クアッド カメラ、SpeakerTrack 60 カメラ、または Precision 60 が検出されると、この設定は自動的に Motion に設定されます。ユーザが手動でこの設定を変更した場合、再起動後またはカメラの再接続後に、Motion に戻ります。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Quality: Quality

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ~ 2 [DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Board]

範囲: 2 ~ 3 [SX10, Room 55]

範囲: 1 ~ 2 [SX20]

範囲: 1 ~ 5 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

範囲: 2 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

Quality:

コネクタ n: Motion/Sharpness

Motion: できるだけ高いフレーム レートにします。通常、多数の参加者がいる場合や画像の動きが激しい場合など、高フレーム レートが必要なときに使用されます。

Sharpness: できるだけ高い解像度にします。詳細なイメージやグラフィックに高い品質が必要な場合に使用されます。

デフォルト値:

コネクタ 1, 2, 6: Motion コネクタ 3, 4, 5: Sharpness [CodecPro Room70G2]
 コネクタ 1: Motion コネクタ 2, 3: Sharpness [CodecPlus Room70/Room55D]
 コネクタ n: Sharpness [DX70/DX80 SX10 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini Room55 Board]
 コネクタ 1: Motion コネクタ 2: Sharpness [SX20]
 コネクタ 1, 2, 5: Motion コネクタ 3, 4: Sharpness [SX80 MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ユーザ インターフェイスのメニューにあるビデオ入力コネクタの表示を定義します。
内蔵カメラを備えたデバイスの場合: コネクタ 1 はデバイス内蔵のカメラであり、プレゼンテーションソースとしては利用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility: Visibility

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

範囲: 1 ~ 5 [SX80, MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

Visibility:

コネクタ *n*: Always/IfSignal/Never [SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always/IfSignal/Never [DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Board]

コネクタ 1: Never その他のコネクタ: Always/IfSignal/Never [SX10 MX200G2/MX300G2]

Always: ビデオ入力コネクタ用メニュー選択は、ユーザ インターフェイスに常に表示されます。

IfSignal: ビデオ入力コネクタ用メニュー選択は、ビデオ入力に何か接続されている場合のみ表示されます。

Never: 入力の送信元はプレゼンテーション ソースとして使用されないため、ユーザ インターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

コネクタ 1: Never その他のコネクタ: IfSignal [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: Never その他のコネクタ: Always [CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always [Room Kit RoomKitMini]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: IfSignal [DX70/DX80 Board]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always コネクタ 3: IfSignal [SX10]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always コネクタ 3, 4: IfSignal [MX200G2/MX300G2]

コネクタ 1, 2, 3: IfSignal コネクタ 4: Always コネクタ 5: Never [SX80 MX700/MX800/MX800D]

コネクタ 1: IfSignal コネクタ 2: Always [SX20]

xConfiguration Video Monitors

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

各画面/出力にはモニタ ロールが割り当てられます。1 画面のみをサポートする DX70, DX80, および SX10のモニタ ロールは First です。MX200 G2 および MX300 G2 の内蔵画面のモニタ ロールは First です。オプションの外部画面のモニタ ロールは Second です。その他の製品のモニタ ロールは、Video Output Connector [n] MonitorRole 設定を使用して設定されます。

モニタ ロールによって、画面上に表示されるレイアウト (コールの参加者とプレゼンテーション) が決定されます。モニタ ロールが異なる画面のレイアウトは異なります。モニター ロールが同じ画面は同じレイアウトになります (SX20 を除く)。SX20 は 2 つの画面で同じレイアウトをサポートしていません。

Video Monitors で設定するモニタ レイアウト モードには、部屋のセットアップで利用する各レイアウト数を反映させてください。いくつかの画面がプレゼンテーション用に確保できることに注意してください。

使用方法:

xConfiguration Video Monitors: [Monitors](#)

説明:

Monitors:

Auto/Single/Dual/DualPresentationOnly [SX20 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

*Auto/Single/Dual/DualPresentationOnly/TriplePresentationOnly/Triple [SX80 MX700/MX800/
MX800D CodecPro Room70G2]*

Auto/DualPresentationOnly [MX200G2/MX300G2]

Single [DX70/DX80, SX10]

Auto: デバイスに接続された画面数は自動的に検出され、レイアウトはモニタ ロールの設定に従って画面に割り振られます。

Single: レイアウトは、デバイスの画面に表示されます。デバイスが複数の画面を備えている場合、すべての画面に同じレイアウトが表示されます (SX20 を除く)。2 つの画面を備えた SX20 の場合、1 つの画面が無効になります。

Dual: レイアウトはモニタ ロールが First および Second である画面に配信されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、コールの参加者はすべてモニタ ロールが First である画面に表示され、プレゼンテーションはモニタ ロールが Second である画面に表示されます。

DualPresentationOnly: コールすべての参加者がモニタ ロールが First である画面に表示されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、プレゼンテーションはモニタ ロールが Second である画面に表示されます。

Triple: レイアウトはモニタ ロールが First, Second, Third である画面に配信されます。Second のモニタ ロールがある画面がまず使用され、次に First, 最後に Third が使用されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、コールの参加者はすべてモニタ ロールが First およ

び Second である画面に表示され、プレゼンテーションはモニタ ロールが Third の画面に表示されます。

TriplePresentationOnly: コールのすべての参加者がモニタ ロール First および Second の画面に配信されます。Second のモニタ ロールがある画面がまず使用され、次に First の画面が使用されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、プレゼンテーションはモニタ ロールが Third の画面に表示されます。

デフォルト値:

*Auto [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55
Room70/Room55D Room70G2]*

Single [DX70/DX80, SX10]

xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

ビデオ出力 (HDMI) は、Consumer Electronics Control (CEC) をサポートします。

この設定が [オン (On)] の場合、ビデオ会議デバイス自身がスタンバイになるときに、CEC を使用して画面をスタンバイ状態にセットします。同様に、デバイスがスタンバイから復帰するときに、デバイス自身が画面を起動します。

画面のアクティブなビデオ入力がユーザによって変更されることがあります。コールが開始されると、デバイスはアクティブなビデオ入力が画面の別の入力に切り替えられたかどうかを検出します。すると、デバイスは入力を切り戻すため、デバイスがアクティブなビデオ入力ソースになります (SX20, SX80, および MX シリーズではサポートされません)。

デバイスがスタンバイ状態に入るときにデバイスがアクティブな入力ソースでない場合、画面はスタンバイに設定されません (SX20, SX80, および MX シリーズではサポートされません)。

出力に接続した画面に CEC 互換性があること、および CEC が画面上で有効であることが必須条件です。

CEC については、製造業者によって異なるマーケティング名称が使用されていることに注意してください。例: Anynet+ (Samsung), Aquos Link (シャープ), BRAVIA Sync (Sony), HDMI-CEC (日立), Kuro Link (パイオニア), CE-Link および Regza Link (東芝), RIHD (オンキヨー), HDAVI Control, EZ-Sync, VIERA Link (Panasonic), EasyLink (Philips), NetCommand for HDMI (三菱)。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode: Mode

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 RoomKitMini*]

範囲: 2 ~ 2 [*MX200G2/MX300G2 Room55*]

範囲: 2 ~ 2: MX800 Single 対応。MX700 および MX800 Dual には使用できません [*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 2 ~ 2: Room 70 Single 対応。Room 70 Dual では利用できません [*Room70/Room55D*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20, SX80, Room Kit, Codec Plus*]

Mode:

Off/On

Off: CEC が無効です。

On: CEC が有効になります。

デフォルト値:

On [*SX10 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55*]

Off [*SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*]

xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole

適用対象: *SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

モニタ ロールは、ビデオ出力に接続された画面にどのビデオ ストリームを表示するかを示します。すべての出力用の Video Monitors 設定および MonitorRole 設定とともに、各画面に表示されるレイアウト (ビデオ ストリーム) を定義します。

この設定でサポートしている画面は 1 つだけのため、Room Kit Mini には適用されません。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole: MonitorRole

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 2 ~ 2 [*Room 55*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20 RoomKit CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 1 ~ 1 [*RoomKitMini*]

MonitorRole:

Auto/First/Second/PresentationOnly [*SX20 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

Auto/First/Second/Third/PresentationOnly/Recorder [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

Auto: 画面が接続されたときにデバイスが検知し、Video Monitors 設定に対応するモニタ ロール (First, Second, Third) を自動的に割り当てます。

First/Second/Third: マルチ画面設定での画面の役割を定義します。シングル画面設定では、First, Second, Third の間に相違はありません。

PresentationOnly: アクティブな場合プレゼンテーション ビデオ ストリームを表示し、他のものは表示しません。このモニタ ロールの画面および出力は Video Monitors 設定によって無視されます。

Recorder: ローカル メイン ビデオ (セルフビュー) を含むすべての参加者を表示します。アクティブであれば、プレゼンテーションも表示されます。このモニタ ロールの画面および出力は Video Monitors 設定によって無視されます。

デフォルト値:

コネクタ *n*: *Auto* [*SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70G2*]

デュアル: コネクタ 1, 2: *Auto*; シングル: コネクタ 1: *Auto* コネクタ 2: *PresentationOnly* [*Room70/Room55D*]

コネクタ 1: *First* コネクタ 2: *Second* [*SX20*]

xConfiguration Video Output Connector [n] OverscanLevel

適用対象: *SX10 SX20 MX200G2/MX300G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタによっては、画像全体を表示できない可能性があります。これはモニタに表示したときに、デバイスから送信される画像の外側が、切断されることを意味します。

デバイスに使用可能なフレームの外側を使用しないように指示するには、この設定を使用します。この部分はモニタによって切断されている可能性があります。この場合、画面上のビデオとメッセージの両方が拡大縮小されます。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] OverscanLevel: OverscanLevel

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [*SX10*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20*]

範囲: 2 ~ 2 [*MX200G2/MX300G2*]

OverscanLevel:

None/Medium/High

None: デバイスは出力解像度すべてを使用します。

Medium: デバイスは出力解像度の外側 3% を使用しません。

High: システムは出力解像度の外側 6% を使用しません。

デフォルト値:

なし

xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続している画面の解像度とリフレッシュ レートを定義します。

1920_1200_60 より大きなフォーマットには、高品質なディスプレイ ケーブルを使用する必要があります。動作が保証されている範囲については、3840_2160_60 でシスコが事前に選定したディスプレイ ケーブルを使用するか、または「プレミアム HDMI 認証」プログラムに合格したケーブルを使用します。

UHD テレビおよび画面には、3840_2160_30 (30 Hz) のみしか使用できないものもありますが、3840_2160_60 (60 Hz) はデフォルト設定ではありません。このような場合、テレビと画面の関連設定で、デバイスが接続されている HDMI 入力として 3840_2160_60 を許可するように再設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution: Resolution

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [DX70/DX80 SX10 RoomKitMini Board]

範囲: 1 ~ 2 [SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 3 [SX80 CodecPro Room70G2]

範囲: 2 ~ 3: MX800 Single 対応。MX700 および MX800 Dual には使用できません [MX700/MX800/MX800D]

Resolution:

コネクタ 1, 2: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 コネクタ 3: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [CodecPro Room70G2]

1920_1080_60 [DX70/DX80]

3840_2160_60 [Board]

コネクタ 1: 3840_2160_60 コネクタ 2: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 [Room55]

Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 [RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ n: Auto [SX10]

コネクタ n: Auto/1280_720_50/1280_720_60/1920_1080_50/1920_1080_60 [SX20]

コネクタ n: Auto/1280_720_50/1280_720_60/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

コネクタ 1: 1920_1080_60 コネクタ 2: Auto/1024_768_60/1280_1024_60/1280_720_50/1280_720_60/1920_1080_50/1920_1080_60/1280_768_60/1360_768_60/1366_768_60 [MX200G2/MX300G2]

Auto: デバイスは接続されたモニタのネゴシエーションに基づいて自動的に最適な解像度の設定を試行します。

1280_720_50: 解像度は 1280 X 720, リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1280_720_60: 解像度は 1280 X 720, リフレッシュ レートは 60 Hz です。

1920_1080_50: 解像度は 1920 X 1080, リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1920_1080_60: 解像度は 1920 X 1080, リフレッシュ レートは 60 Hz です。

1920_1200_50: 解像度は 1920 X 1200, リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1920_1200_60: 解像度は 1920 X 1200, リフレッシュ レートは 60 Hz です。

2560_1440_60: 解像度は 2560 X 1440, リフレッシュ レートは 60 Hz です。

3840_2160_30: 解像度は 3840 X 2160, リフレッシュ レートは 30 Hz です。

3840_2160_60: 解像度は 3840 x 2160, リフレッシュ レートは 60 Hz です。

デフォルト値:

1920_1080_60 [DX70/DX80]

3840_2160_60 [Board]

コネクタ 1: 3840_2160_60 コネクタ 2: Auto [Room55]

コネクタ n: Auto [SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ 1: 1920_1080_60 コネクタ 2: Auto [MX200G2/MX300G2]

xConfiguration Video Presentation DefaultSource

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デフォルトのプレゼンテーション ソースとして使用するビデオ入力ソースを定義します。この設定は、API およびサードパーティのユーザ インターフェイスで使用できます。シスコが提供するユーザ インターフェイスを使用する場合は無関係です。

使用方法:

xConfiguration Video Presentation DefaultSource: DefaultSource

説明:

DefaultSource:

1/2/3/4/5 [*CodecPro Room70G2*]

1/2/3/4 [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

1/2/3 [*CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

1/2 [*SX20 RoomKit RoomKitMini Board*]

2 [*DX70/DX80, SX10, MX200G2/MX300G2*]

デフォルトのプレゼンテーション ソースとして使用するビデオ入力ソース。

デフォルト値:

3 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

2 [*DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/
Room55D Board*]

xConfiguration Video Presentation Priority

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

帯域幅がメインビデオチャンネルとプレゼンテーションチャンネル間で分散される方法を決定します。

使用方法:

xConfiguration Video Presentation Priority: Priority

説明:

優先度:

Equal/High/Low

Equal: 利用可能なビデオ伝送帯域幅がメインチャンネルとプレゼンテーションチャンネルの間で分散されます。

High: プレゼンテーションチャンネルは、メインビデオチャンネルを犠牲にして、利用可能な帯域の大部分に割り当てられます。

Low: メインビデオチャンネルは、プレゼンテーションチャンネルを犠牲にして、利用可能な帯域の大部分に割り当てられます。

デフォルト値:

Equal

xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

コール終了後に、メイン ビデオ ソース (セルフビュー) を全画面表示するか、小さいピクチャインピクチャ (PiP) として表示するかを定義します。この設定はセルフビューがオンになっている場合にのみ有効です (Video Selfview Default Mode の設定を参照)。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode: FullscreenMode

説明:

FullscreenMode:

Off/Current/On

Off: セルフビューは PiP として表示されます。

Current: セルフビューの画像のサイズはコール終了時に未変更の状態に保たれます。つまりコール中に PiP であった場合はコール終了後も PiP のままであり、コール中に全画面であった場合はコール終了後も全画面のままです。

On: セルフビューの画像は全画面表示されます。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Default Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

コール終了後にメイン ビデオ ソース (セルフビュー) を画面に表示するかどうかを定義します。セルフビュー ウィンドウの位置とサイズはそれぞれ、Video Selfview Default PiPPosition と Video Selfview Default FullscreenMode の設定によって決まります。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/Current/On

Off: セルフビューはコール退出時にオフにされます。

Current: セルフビューはそのままの状態が残ります。つまりコール中にオンであった場合はコール終了後もオンのままであり、コール中にオフであった場合はコール終了後もオフのままです。

On: セルフビューはコール退出時にオンにされます。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

コールの後にメイン ビデオ ソース (セルフビュー) を表示する画面/出力を設定します。この値は、さまざまな出力のモニタ ロールを反映します。

各画面にはモニタ ロールが割り当てられます。DX70 と DX80 のモニタ ロールは First です (外部画面をサポートしません)。MX200 G2 および MX300 G2 の内蔵画面のモニタ ロールは First です。オプションの外部画面のモニタ ロールは Second です。その他の製品のモニタ ロールは、Video Output Connector [n] MonitorRole 設定を使用して設定されます。

OnMonitorRole 設定は、セルフ ビューが全画面で表示されたとき、およびセルフビューがピクチャインピクチャ (PiP) で表示されたときの両方に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole: OnMonitorRole

説明:

OnMonitorRole:

Current/First/Second [SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D Board]

Current/First/Second/Third [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

First [DX70/DX80]

Current: コールを中止すると、セルフビュー画像がコール中と同じ出力上に維持されます。

First: モニタ ロールが First である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

Second: モニタ ロールが Second である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

Third: モニタ ロールが Third である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

デフォルト値:

Current [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

First [DX70/DX80]

xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

コール終了後に小さいセルフビュー ピクチャインピクチャ (PiP) を表示する画面上の位置を定義します。この設定は、セルフビューがオンになっており (Video Selfview Default Mode 設定を参照)、全画面表示がオフになっている場合 (Video Selfview Default FullscreenMode 設定を参照) にのみ有効です。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition: PIPPosition

説明:

PIPPosition:

Current/UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

Current: セルフビュー PiP の位置はコール終了後にも変更されません。

UpperLeft: セルフビュー PiP が画面の左上隅に表示されます。

UpperCenter: セルフビュー PiP が画面の上部中央に表示されます。

UpperRight: セルフビュー PiP が画面の右上隅に表示されます。

CenterLeft: セルフビュー PiP が画面の左中央に表示されます。

CenterRight: セルフビュー PiP が画面の右中央に表示されます。

LowerLeft: セルフビュー PiP が画面の左下隅に表示されます。

LowerRight: セルフビュー PiP が画面の右下隅に表示されます。

デフォルト値:

Current [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

LowerRight [Board]

xConfiguration Video Selfview Mirrored

適用対象: DX70/DX80

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスを設定して、実際に相手に見えるように、または自分自身を鏡で見るように、セルフビューを表示することができます。

この設定は相手に送信されるビデオには影響しません。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Mirrored: Mirrored

説明:

Mirrored:

Off/On

Off: 他人から見えている自分のようにセルフビューを表示します。

On: 鏡に映っている自分のようにセルフビューを表示します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Video Selfview OnCall Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

コールをセットアップする短い間、この設定を使用してセルフ ビューがオンにされます。セルフビューをオンのままにしておく時間の長さは、Video Selfview OnCall Duration 設定で定義します。これは一般にセルフ ビューがオフの場合に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview OnCall Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: セルフ ビューはコール セットアップ中に自動的に表示されません。

On: セルフ ビューはコール セットアップ中に自動的に表示されます。

デフォルト値:

On [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Off [Board]

xConfiguration Video Selfview OnCall Duration

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

この設定は Video Selfview OnCall Mode 設定がオンになっている場合にのみ有効です。この場合、ここで設定された秒数により、自動的にオフにされる前にセルフ ビューが表示される期間が決まります。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview OnCall Duration: Duration

説明:

期間:

整数 (1 ~ 60)

範囲: セルフ ビューをオンにする期間を選択します。有効な範囲は、1 ~ 60 秒です。

デフォルト値:

10

WebEngine の設定

xConfiguration WebEngine Mode

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

Web エンジン、デジタル サイネージや Web アプリなど、デバイスの Web ビューを使用する機能が動作するための前提条件です。

使用方法:

xConfiguration WebEngine Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: Web エンジンが無効になります。

On: Web エンジンが有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration WebEngine RemoteDebugging

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

Web ページに問題が発生した場合は、RemoteDebugging をオンにすることを推奨します。リモートデバッグを使用すると、Chrome 開発者コンソールにアクセスして、Web ページの潜在的な問題を識別することができます。有効にすると、画面の下部にバナーが表示され、モニタされる可能性があることをユーザに警告します。ヘッダには、開発者コンソールを開くためにローカルの Chrome ブラウザに入力可能な URL も表示されます。

使用後は、必ず RemoteDebugging をオフにしてください。

使用方法:

xConfiguration WebEngine RemoteDebugging: RemoteDebugging

説明:

RemoteDebugging:

Off/On

Off: リモート デバッグがオフに切り替わります。

On: リモート デバッグがオンに切り替わります。

デフォルト値:

Off

第 4 章

xCommand コマンド

xCommand コマンドの説明

この章では、すべての xCommand タイプ コマンドとパラメータの完全なリストを示します。

マニュアルの更新バージョンがないか、定期的に Web サイトにアクセスすることを推奨します。移動先: <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

Audio コマンド	234	xCommand Audio Sound Play.....	247
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run.....	234	xCommand Audio Sound Stop.....	247
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay.....	235	xCommand Audio SpeakerCheck.....	248
xCommand Audio Equalizer List.....	235	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List.....	248
xCommand Audio Equalizer Update.....	236	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play.....	248
xCommand Audio LocalInput Add.....	236	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop.....	248
xCommand Audio LocalInput AddConnector.....	237	xCommand Audio Volume Decrease.....	249
xCommand Audio LocalInput Remove.....	238	xCommand Audio Volume Increase.....	249
xCommand Audio LocalInput RemoveConnector.....	238	xCommand Audio Volume Mute.....	249
xCommand Audio LocalInput Update.....	239	xCommand Audio Volume Set.....	250
xCommand Audio LocalOutput Add.....	240	xCommand Audio Volume SetToDefault.....	250
xCommand Audio LocalOutput AddConnector.....	241	xCommand Audio Volume ToggleMute.....	250
xCommand Audio LocalOutput ConnectInput.....	241	xCommand Audio Volume Unmute.....	251
xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput.....	242	xCommand Audio VuMeter Start.....	251
xCommand Audio LocalOutput Remove.....	242	xCommand Audio VuMeter Stop.....	252
xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector.....	243	xCommand Audio VuMeter StopAll.....	253
xCommand Audio LocalOutput Update.....	243		
xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain.....	244	Bookings コマンド	253
xCommand Audio Microphones Mute.....	245	xCommand Bookings Clear.....	253
xCommand Audio Microphones ToggleMute.....	245	xCommand Bookings Get.....	253
xCommand Audio Microphones Unmute.....	245	xCommand Bookings List.....	254
xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput.....	245	xCommand Bookings NotificationSnooze.....	254
xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput.....	246		
xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain.....	246	Call コマンド	255
xCommand Audio Select.....	247	xCommand Call Accept.....	255
xCommand Audio Setup Clear.....	247	xCommand Call Disconnect.....	255
xCommand Audio Setup Reset.....	247	xCommand Call DTMFSend.....	255
		xCommand Call FarEndControl Camera Move.....	256



xCommand Call FarEndControl Camera Stop.....	256	Cameras コマンド	267
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate.....	256	xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start.....	267
xCommand Call FarEndControl Source Select.....	257	xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop.....	267
xCommand Call FarEndMessage Send.....	257	xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition.....	268
xCommand Call FarEndMessage SStringSend.....	258	xCommand Cameras PresenterTrack Set.....	268
xCommand Call FarEndMessage TStringSend.....	258	xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition.....	269
xCommand Call Forward.....	258	xCommand Cameras SpeakerTrack Activate.....	269
xCommand Call Hold.....	258	xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate.....	269
xCommand Call Ignore.....	259	xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start.....	269
xCommand Call Join.....	259	xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop.....	270
xCommand Call Reject.....	259	xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition.....	270
xCommand Call Resume.....	259	xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition.....	270
xCommand Call UnattendedTransfer.....	260	xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance.....	271
CallHistory コマンド	260	xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition.....	271
xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls.....	260	Conference コマンド	272
xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall.....	260	xCommand Conference Call AuthenticationResponse.....	272
xCommand CallHistory DeleteAll.....	261	xCommand Conference DoNotDisturb Activate.....	272
xCommand CallHistory DeleteEntry.....	261	xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate.....	272
xCommand CallHistory Get.....	261	xCommand Conference Participant Admit.....	273
xCommand CallHistory Recents.....	262	xCommand Conference Participant Disconnect.....	273
Camera コマンド	262	xCommand Conference Participant Mute.....	274
xCommand Camera PositionReset.....	262	xCommand Conference Participant Search.....	274
xCommand Camera PositionSet.....	263	xCommand Conference Recording Pause.....	275
xCommand Camera Preset Activate.....	263	xCommand Conference Recording Resume.....	275
xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition.....	263	xCommand Conference Recording Start.....	275
xCommand Camera Preset Edit.....	264	xCommand Conference Recording Stop.....	275
xCommand Camera Preset List.....	264	xCommand Conference SpeakerLock Release.....	276
xCommand Camera Preset Remove.....	265	xCommand Conference SpeakerLock Set.....	276
xCommand Camera Preset Show.....	265	Diagnostics コマンド	276
xCommand Camera Preset Store.....	265	xCommand Diagnostics Run.....	276
xCommand Camera Ramp.....	266	Dial コマンド	277
xCommand Camera TriggerAutofocus.....	267	xCommand Dial.....	277



GPIO コマンド	278	xCommand Macros Runtime Restart	288
xCommand GPIO ManualState Set	278	xCommand Macros Runtime Start	289
HttpClient commands	278	xCommand Macros Runtime Status	289
xCommand HttpClient Allow Hostname Add	278	xCommand Macros Runtime Stop	289
xCommand HttpClient Allow Hostname Clear	278	Message コマンド	289
xCommand HttpClient Allow Hostname List	279	xCommand Message Send	289
xCommand HttpClient Allow Hostname Remove	279	Peripherals コマンド	290
xCommand HttpClient Delete	279	xCommand Peripherals Connect	290
xCommand HttpClient Get	280	xCommand Peripherals HeartBeat	290
xCommand HttpClient Patch	281	xCommand Peripherals List	291
xCommand HttpClient Post	282	xCommand Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start	291
xCommand HttpClient Put	283	xCommand Peripherals Pairing Pair	291
HttpFeedback コマンド	284	xCommand Peripherals Pairing Unpair	292
xCommand HttpFeedback Deregister	284	xCommand Peripherals Purge	292
xCommand HttpFeedback Enable	284	Phonebook コマンド	292
xCommand HttpFeedback Register	285	xCommand Phonebook Contact Add	292
Logging コマンド	285	xCommand Phonebook Contact Delete	293
xCommand Logging SendLogs	285	xCommand Phonebook Contact Modify	293
Macros コマンド	286	xCommand Phonebook ContactMethod Add	294
xCommand Macros Log Clear	286	xCommand Phonebook ContactMethod Delete	294
xCommand Macros Log Get	286	xCommand Phonebook ContactMethod Modify	295
xCommand Macros Macro Activate	286	xCommand Phonebook Folder Add	295
xCommand Macros Macro Deactivate	286	xCommand Phonebook Folder Delete	295
xCommand Macros Macro Get	287	xCommand Phonebook Folder Modify	296
xCommand Macros Macro Remove	287	xCommand Phonebook Search	296
xCommand Macros Macro RemoveAll	287	Presentation コマンド	297
xCommand Macros Macro Rename	287	xCommand Presentation Start	297
xCommand Macros Macro Roles Set	288	xCommand Presentation Stop	298
xCommand Macros Macro Save	288		



Provisioning コマンド	298	xCommand Security Session List	307
xCommand Provisioning CompleteUpgrade.....	298	xCommand Security Session Terminate.....	307
xCommand Provisioning PostponeUpgrade.....	298		
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login.....	299	Standby コマンド	307
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout.....	299	xCommand Standby Activate.....	307
xCommand Provisioning RoomType Activate.....	299	xCommand Standby Deactivate.....	307
xCommand Provisioning Service Fetch.....	300	xCommand Standby Halfwake.....	307
		xCommand Standby ResetHalfwakeTimer.....	308
		xCommand Standby ResetTimer.....	308
Proximity コマンド	301		
xCommand Proximity Services Activate.....	301	SystemUnit コマンド	308
xCommand Proximity Services Deactivate.....	301	xCommand SystemUnit Boot.....	308
		xCommand SystemUnit FactoryReset.....	309
RoomPreset コマンド	301	xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop.....	309
xCommand RoomPreset Activate.....	301	xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll.....	310
xCommand RoomPreset Clear.....	301	xCommand SystemUnit OptionKey Add.....	310
xCommand RoomPreset Store.....	302	xCommand SystemUnit OptionKey List.....	310
		xCommand SystemUnit OptionKey Remove.....	310
Security コマンド	302	xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll.....	310
xCommand Security Certificates CA Add.....	302	xCommand SystemUnit ProductPlatform Set.....	311
xCommand Security Certificates CA Delete.....	302	xCommand SystemUnit SignInBanner Clear.....	311
xCommand Security Certificates CA Show.....	303	xCommand SystemUnit SignInBanner Get.....	311
xCommand Security Certificates Services Activate.....	303	xCommand SystemUnit SignInBanner Set.....	311
xCommand Security Certificates Services Add.....	303	xCommand SystemUnit SoftReset.....	311
xCommand Security Certificates Services Deactivate.....	303	xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade.....	312
xCommand Security Certificates Services Delete.....	304	xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear.....	312
xCommand Security Certificates Services Show.....	304	xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get.....	312
xCommand Security Certificates ThirdParty Disable.....	304	xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set.....	312
xCommand Security Certificates ThirdParty Enable.....	304		
xCommand Security Certificates ThirdParty List.....	305	Time コマンド	313
xCommand Security Certificates ThirdParty Show.....	305	xCommand Time DateTime Get.....	313
xCommand Security Certificates Webex Show.....	305	xCommand Time DateTime Set.....	313
xCommand Security FIPSMODE Activate.....	306		
xCommand Security Persistency.....	306		
xCommand Security Session Get.....	307		



UserInterface コマンド	313
xCommand UserInterface Branding Clear	313
xCommand UserInterface Branding Delete	313
xCommand UserInterface Branding Fetch	314
xCommand UserInterface Branding Get	314
xCommand UserInterface Branding Updated	315
xCommand UserInterface Branding Upload	315
xCommand UserInterface Extensions Clear	316
xCommand UserInterface Extensions List	316
xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked	316
xCommand UserInterface Extensions Panel Close	316
xCommand UserInterface Extensions Panel Open	317
xCommand UserInterface Extensions Panel Remove	317
xCommand UserInterface Extensions Panel Save	317
xCommand UserInterface Extensions Panel Update	317
xCommand UserInterface Extensions Set	318
xCommand UserInterface Extensions Widget Action	318
xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue	318
xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue	318
xCommand UserInterface Message Alert Clear	319
xCommand UserInterface Message Alert Display	319
xCommand UserInterface Message Prompt Clear	319
xCommand UserInterface Message Prompt Display	320
xCommand UserInterface Message Prompt Response	320
xCommand UserInterface Message TextInput Clear	321
xCommand UserInterface Message TextInput Display	321
xCommand UserInterface Message TextInput Response	322
xCommand UserInterface Message TextLine Clear	322
xCommand UserInterface Message TextLine Display	323
xCommand UserInterface OSD Key Click	323
xCommand UserInterface OSD Key Press	323
xCommand UserInterface OSD Key Release	324
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add	324
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List	325

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove	325
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll	325
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select	325
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set	326
xCommand UserInterface WebView Clear	326
xCommand UserInterface WebView Display	326

UserManagement コマンド	327
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create	327
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete	327
xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently	327
xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState	327
xCommand UserManagement User Add	328
xCommand UserManagement User Delete	328
xCommand UserManagement User Get	329
xCommand UserManagement User List	329
xCommand UserManagement User Modify	329
xCommand UserManagement User Passphrase Change	330
xCommand UserManagement User Passphrase Set	330
xCommand UserManagement User Unblock	330

Video コマンド	331
xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set	331
xCommand Video CEC Input KeyClick	331
xCommand Video CEC Output KeyClick	332
xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest	332
xCommand Video Input MainVideo Mute	332
xCommand Video Input MainVideo Unmute	332
xCommand Video Input SetMainVideoSource	333
xCommand Video Input Source SetActiveConnector	333
xCommand Video Layout LayoutFamily Set	334
xCommand Video Matrix Assign	334
xCommand Video Matrix Reset	335
xCommand Video Matrix Swap	335
xCommand Video Matrix Unassign	336



xCommand Video Output Monitor Backlight Set	336
xCommand Video Output Monitor Brightness Set.....	336
xCommand Video Output Monitor Color Blue Set	337
xCommand Video Output Monitor Color Green Set	337
xCommand Video Output Monitor Color Red Set.....	337
xCommand Video Output Monitor Color Select	337
xCommand Video Output Monitor Contrast Set	338
xCommand Video Output Monitor CSC Select.....	338
xCommand Video Output Monitor Gamma Set	338
xCommand Video Output Monitor Reset	338
xCommand Video Output Monitor Sharpness Set.....	339
xCommand Video PresentationPIP Set.....	339
xCommand Video PresentationView Set	339
xCommand Video Selfview Set.....	340
WebEngine コマンド	340
xCommand UserInterface WebEngine DeleteStorage.....	340
Webex コマンド	341
xCommand Webex Registration Cancel	341
xCommand Webex Registration Start.....	341

Audio コマンド

xCommand Audio LocalInput, xCommand Audio LocalOutput, xCommand Audio RemoteOutput コマンドは、現在 SX80 および Codec Pro で使用できるオーディオ コンソール アプリケーションによる内部使用向けです。オーディオ コンソールは、オーディオ チェーンの設定と構成のためのグラフィカル インターフェイスを提供します。

オーディオ チェーンは、仮想ローカル入力に割り当てられた物理入力コネクタで構成されます。仮想ローカル入力は、仮想ローカル出力に接続されます。仮想ローカル出力には、物理出力コネクタが割り当てられます。上記のコマンドは、物理コネクタと仮想入出力間の論理接続を定義します。また、仮想入力が、ゲイン、均等化、チャンネル ミックスなどを信号に加える方法を定義します。

コールの発信時に、(遠端側からの) リモート入力信号がすべてのローカル出力に自動的に追加されます。同様に、すべてのローカル入力は (遠端側への) リモート出力ゲートに自動的に追加されます。

xCommand は再起動すると保持されないことに注意してください。したがって、オーディオ チェーンの設定を保持するには、起動スクリプトにコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。オーディオ コンソールを使用してオーディオ チェーンを設定すると、起動スクリプトが自動的に生成され、アクティブ化されます。

起動スクリプト、マクロおよびオーディオ コンソールの詳細については、デバイスの『管理者ガイド』および『カスタマイズ ガイド』を参照してください。

xCommand Audio Diagnostics Advanced Run

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドは、すべてのオーディオ出力コネクタの連続したノイズ信号を送信し、その出力とマイク間のルーム インパルス応答 (RIR) を測定します。RIR が検出されると、検出されたマイク (入力) の数、検出された出力コネクタの数、および出力と入力間に検出された遅延がレポートとして返されます。

例:

```
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run Volume: 50 MeasurementLength: 1
```

Result returned ->

OK

```
*r AdvancedRunResult (status=OK):
```

```
*r AdvancedRunResult HdmiSpeakersDelay: "100 ms"
```

```
*r AdvancedRunResult NumHdmiSpeakersDetected: 2
```

```
*r AdvancedRunResult NumMicsDetected: 1
```

```
** end
```

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics Advanced Run [MeasurementLength: MeasurementLength]  
[Volume: Volume]
```

説明:

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 100)

測定時間の長さ (秒数)。ノイズの多い環境では、測定時間が長いほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 3

Volume:

整数 (0 ~ 50)

テスト信号の音量。ノイズの多い環境では、音量が大きいくほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 20

xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドは、ビデオ会議デバイスに接続されているデバイスの音声遅延や遅延時間を計測します。一般的には、HDMI コネクタを介してビデオ会議デバイスに接続されているテレビの遅延を測定する目的で使用します。テレビで大きな遅延が発生すると、ビデオ通話のリアルタイム エクスペリエンスがかなり劣化します。遅延が 50 ミリ秒を超える場合、遅延が短くなるようなテレビ設定を見つけることをお勧めします。遅延を減らすことができる一般的なテレビ設定には、ゲーム モードと PC モードがあります。

このコマンドは、出力と入力 (マイク) の間の遅延を測定します。つまり、外部の音響エコーキャンセラやオーディオ ミキサーを使用している場合、このコマンドはそれらのデバイスの遅延も測定します。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay [MeasurementLength: MeasurementLength]  
[Output: Output] [Volume: Volume]
```

説明:

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 100)

測定時間の長さ (秒数)。ノイズの多い環境では、測定時間が長いほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 6

Output:

HDMI/Line/Internal/All

HDMI: HDMI 出力に接続されているデバイスの遅延を測定します。

Line: ライン出力に接続されているデバイスの遅延を測定します (ライン出力のあるビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

Internal: 内部スピーカーの遅延を測定します (内部スピーカーのあるビデオ会議デバイスでのみ利用可能)。

All: すべての出力の遅延の最大値を測定します。

デフォルト値: HDMI

Volume:

整数 (0 ~ 50)

テスト信号の音量。ノイズの多い環境では、音量が大きいほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 20

xCommand Audio Equalizer List

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

このコマンドは現在のイコライザ パラメータをリストします。EqualizerId が指定されていない場合、このコマンドは 8 つのイコライザすべてをリストします。

USAGE:

```
xCommand Audio Equalizer List [EqualizerId: EqualizerId]
```

値は次のとおりです。

EqualizerId:

整数 (1 ~ 8)

各 EqualizerId には、パラメータ FilterType, Gain および Q-value を持つ 6 つの 2 次フィルタセクションがあります。

xCommand Audio Equalizer Update

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

このコマンドは、選択された EqualizerId および Section のイコライザ パラメータ を設定します。利用可能な 8 つの各イコライザは、6 つのカスケード 2 次 IIR フィルタで構成されています。

USAGE:

xCommand Audio Equalizer Update EqualizerId: EqualizerId FilterType: FilterType
Frequency: "Frequency" Gain: "Gain" Q: "Q" Section: Section

値は次のとおりです。

EqualizerId:

整数 (1 ~ 8)

FilterType:

highpass/highshelf/lowpass/lowshelf/none/peaking

Frequency:

文字列 (0, 32)

Gain:

文字列 (0, 32)

Q:

文字列 (0, 32)

Section:

整数 (1 ~ 6)

xCommand Audio LocalInput Add

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

仮想のローカル出力を作成し、その識別子 (InputID) を生成します。ローカルの入力は一連の入力コネクタに関連付けられており、ローカル入力の名前、関連付けられた入力コネクタから信号をミキシングする方法、Automatic Gain Control (AGC) とミュートの使用、モノラルとステレオのいずれの信号を発信するか、および Direct モードを使用して入力処理をバイパスするかどうかを指定できます。

ローカルの入力モジュールの最大数は 8 です。制限を超えると、エラー メッセージを受け取ります。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput Add [InputId: InputId] [Name: "Name"] [AGC: AGC]
[Channels: Channels] [Direct: Direct] [MixerMode: MixerMode] [Mute: Mute]

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の一意的識別子。InputID を指定しない場合、デバイスによって自動的に作成されません。後でローカル入力を参照する場合に備えて、InputId を指定することをお勧めします。

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル入力を記述する名前を選択します。名前を指定しない場合、文字列は空になります。

AGC:

On/Off

On: 音声レベルが一定に維持されるように、ゲインが連続して調整されます (デフォルト)。

Off: オートゲイン コントロール (AGC) なし。

Channels:

整数 (1 ~ 2)

1: 入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします (デフォルト)。

2: 入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

Direct:

On/Off

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます (デフォルト)。

MixerMode:

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が特に強い場合、他のすべてのコネクタの信号がそれぞれ 20 dB 減衰されます。

Fixed: 入力信号はすべて同じ重みがあり、結果として合わせて同等ゲインでミキシングされます (デフォルト)。

GainShared: 1 つまたは少数の入力信号が特に強い場合、ミキシング後の信号の合計ゲインが常時同じになるように、他の入力信号が数 dB 減衰されます。

Auto と GainShared はマイク入力用です。ライン入力と HDMI 入力には Fixed をお勧めします。

Mute:

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします (デフォルト)。

Off: ミュートなし。

xCommand Audio LocalInput AddConnector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力にコネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType, ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル入力にのみ接続できます。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput AddConnector InputId: InputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType:

HDMI/Line/Microphone [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

HDMI/ARC/Microphone [*CodecPro, Room70G2*]

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId:

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 3)、Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 4)、Microphone コネクタの場合は整数 (1 ~ 8) [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 5)、HDMI ARC (オーディオ リターン チャンネル) コネクタの場合は整数 (1 ~ 3)、Microphone コネクタの場合は整数 (1 ~ 8) [*CodecPro, Room70G2*]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalInput Remove

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力を削除します。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput Remove InputId: InputId

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalInput RemoveConnector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力から入力コネクタを取り出します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType, ConnectorId) を入力する必要があります。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput RemoveConnector InputId: InputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力を示す固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType:

HDMI/Line/Microphone [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

HDMI/ARC/Microphone [*CodecPro, Room70G2*]

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId:

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 3), Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 4), Microphone コネクタの場合は整数 (1 ~ 8) [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 5), HDMI ARC (オーディオ リターン チャンネル) コネクタの場合は整数 (1 ~ 3), Microphone コネクタの場合は整数 (1 ~ 8) [*CodecPro, Room70G2*]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalInput Update

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力の設定を更新します。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Update InputId: InputId [Name: "Name"] [AGC: AGC]
[Channels: Channels] [Direct: Direct] [MixerMode: MixerMode] [Mute: Mute]
```

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力を示す固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル入力を記述する名前を選択します。

AGC:

On/Off

On: 音声レベルが一定に維持されるように、ゲインが連続して調整されます。

Off: オートゲイン コントロール (AGC) なし。

Channels:

整数 (1 ~ 2)

1: 入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: 入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

Direct:

On/Off

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます。

MixerMode:

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が特に強い場合、他のすべてのコネクタの信号がそれぞれ 20 dB 減衰されます。

Fixed: 入力信号のウェイトがすべて同じになります。その結果、同じゲインで混合されます。

GainShared: 1 つまたは少数の入力信号が特に強い場合、ミキシング後の信号の合計ゲインが常時同じになるように、他の入力信号が数 dB 減衰されます。

Auto と GainShared はマイク向けです。ライン入力や HDMI 入力には Fixed をお勧めします。

Mute:

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします。

Off: ミュートなし。

xCommand Audio LocalOutput Add

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

仮想ローカル出力を作成し、それに対する識別子 (OutputId) を生成します。ローカル出力は、ローカル入力信号とリモート入力信号をミックスしたものです。xCommand Audio LocalOutput ConnectInput コマンドを使用して、含めるローカル入力を指定します。デフォルトでは、コール中にこのローカル出力にリモート入力信号 (遠端から) が自動的に追加されます。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、AutoconnectRemote パラメータを使用します。ローカル出力は、出力コネクタのセットに関連付けられ、それらはすべて同じ信号を受信します。

ローカル出力モジュールの最大数は 6 です。制限を超えると、エラー メッセージを受け取ります。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

USAGE:

```
xCommand Audio LocalOutput Add [OutputId: OutputId] [Name: "Name"]
[AutoconnectRemote: AutoconnectRemote] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Channels:
Channels] [VolumeControlled: VolumeControlled]
```

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の一意の識別子。OutputId を指定しない場合、デバイスによって自動的に作成されます。後でローカル出力モジュールを参照する場合に備えて、OutputId を指定することをお勧めします。

デフォルト値: 0

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル出力を記述した名前を選択します。

デフォルト値: ""

AutoconnectRemote:

On/Off

On: コール時に、リモート入力信号がローカル出力に自動的に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に追加されません。

デフォルト値: On

Loudspeaker:

On/Off

On: 関連付けられたコネクタの少なくとも 1 つがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これにより、エコー キャンセラがこの信号を参照信号として使用するようになるので、この設定は重要です。

Off: 関連付けられたコネクタに 1 つもスピーカーが接続されていない場合、Off を選択します。スピーカーを接続できるローカル出力は 1 つのみであることにご注意ください。

デフォルト値: Off

Channels:

整数 (1 ~ 2)

1: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

デフォルト値: 1

VolumeControlled:

On/Off

On: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールで設定したレベル、または xCommand Audio Volume コマンドで設定したレベルに応じて変化します。スピーカーがオンになっている場合、指定した内容に関係なく、VolumeControlled が強制的にオンになります。

Off: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールにも xCommand Audio Volume コマンドにも影響されません。

デフォルト値: Off

xCommand Audio LocalOutput AddConnector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力に出力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType, ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル出力にのみ接続できます。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput AddConnector OutputId: OutputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType:

HDMI/Line [SX80, CodecPro]

HDMI/Line/ARC [MX700/MX800/MX800D, Room70G2]

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId:

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 2), Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 6) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 3), Line 出力コネクタの場合は整数 (1 ~ 6), HDMI ARC (オーディオ リターン チャネル) コネクタの場合は整数 (1 ~ 1) [CodecPro, Room70G2] コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalOutput ConnectInput

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、ローカル入力またはリモート入力をローカル出力に接続します。ローカル入力は、任意の数のローカル出力に接続できます。同様に、任意の数のローカル入力を各ローカル出力に接続することができます。(遠端側からの) リモート入力信号が、コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput, すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput, リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput ConnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId [InputGain: InputGain]

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ローカル入力またはリモート入力をローカル出力から切断します。コールの終了時に (遠端側からの) リモート入力信号は自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput, すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput, リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput Remove

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力を削除します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput Remove OutputId: OutputId

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力から出力コネクタを取り外します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType, ConnectorId) を入力する必要があります。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector OutputId: OutputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType:

HDMI/Line [SX80, CodecPro]

HDMI/Line/InternalSpeaker [MX700/MX800/MX800D, Room70G2]

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId:

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 2), Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 6)
[SX80, MX700/MX800/MX800D]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 3), Line 出力コネクタの場合は整数 (1 ~ 6), HDMI ARC (オーディオ リターン チャネル) コネクタの場合は整数 (1 ~ 1) [CodecPro, Room70G2]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalOutput Update

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力の設定を更新します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用する必要があります。

USAGE:

xCommand Audio LocalOutput Update OutputId: OutputId [Name: "Name"] [AutoconnectRemote: AutoconnectRemote] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Channels: Channels] [VolumeControlled: VolumeControlled]

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

Name:

文字列 (0, 255)

ローカル出力を記述した名前を選択します。

AutoconnectRemote:

On/Off

On: コール時に、リモート入力信号がローカル出力に自動的に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に追加されません。

Loudspeaker:

On/Off

On: 関連付けられたコネクタの少なくとも 1 つがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これにより、エコー キャンセラがこの信号を参照信号として使用するようになるので、この設定は重要です。

Off: 関連付けられたコネクタに 1 つもスピーカーが接続されていない場合、Off を選択します。スピーカーを接続できるローカル出力は 1 つのみであることにご注意ください。

Channels:

整数 (1 ~ 2)

1: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

VolumeControlled:

On/Off

On: 音量 (ボリューム) は, ユーザ インターフェイスの音量制御または xCommand Audio Volume コマンドによって設定されたレベルに従って変化します。スピーカーがオンになっている場合, 指定した内容に関係なく, VolumeControlled が強制的にオンになります。

Off: 音量 (ボリューム) は, ユーザ インターフェイスの音量コントロールにも xCommand Audio Volume コマンドにも影響されません。

xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ローカル出力に接続されているローカルまたはリモート入力のゲインを更新します。(遠端側からの) リモート入力信号が, コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され, コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput, すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput, リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは, 主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。オーディオ コンソールを使用しない場合, 再起動しても定義が保持されるようにするには, 起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか, マクロ フレームワークを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain OutputId: OutputId InputId: InputId [InputGain: InputGain]

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは, xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は, xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は, コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

xCommand Audio Microphones Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

すべてのマイクロフォンをミュートにします。

使用方法:

xCommand Audio Microphones Mute

xCommand Audio Microphones ToggleMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

マイクのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

xCommand Audio Microphones ToggleMute

xCommand Audio Microphones Unmute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

すべてのマイクのミュートを解除します。

使用方法:

xCommand Audio Microphones Unmute

xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、入力をローカル出力に接続します。入力は任意の数のリモート出力ゲートに接続でき、任意の数の入力を 1 つのリモート出力ゲートに接続できます。コールの発信時にすべてのローカル入力がすべてのリモート出力ゲートに自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中にのみ適用されます。パラメータとして ID を指定して、入力をリモート出力に接続します。入力は任意の数のリモート出力ゲートに接続でき、任意の数の入力を 1 つのリモート出力ゲートに接続できます。コールの発信時にすべてのローカル入力がすべてのリモート出力ゲートに自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中にのみ適用されます。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId
[InputGain: InputGain]

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、入力をリモート出力から切断します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput, すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中にのみ適用されます。パラメータとして ID を指定して、入力をリモート出力から接続解除します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput, すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中にのみ適用されます。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート出力に接続されている入力のゲインを更新します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput, すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中にのみ適用されます。リモート出力に接続されている入力のゲインを更新します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput, すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主にオーディオ コンソールによる内部使用を目的としています。これは通話中にのみ適用されます。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain OutputId: OutputId InputId: InputId [InputGain: InputGain]

説明:

OutputId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

InputGain:

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

デフォルト値: 0

xCommand Audio Select

適用対象: *DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

使用するオーディオ デバイスのタイプを選択します (内蔵のスピーカーとマイク, ヘッドセット, ハンドセット)。

使用方法:

xCommand Audio Select Device: Device

説明:

Device:

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカーと内蔵マイク, Bluetooth ヘッドセット, アナログ ヘッドセット (DX70 と DX のみ), USB ヘッドセット, または USB ハンドセットのいずれを使用するかを選択します。

xCommand Audio Setup Clear

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのローカル入力およびローカル出力を削除します。

使用方法:

xCommand Audio Setup Clear

xCommand Audio Setup Reset

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このコマンドは、ビデオ会議デバイスのオーディオ設定をリセットします (オーディオ コンソール アプリケーションまたは API コマンドを使用して設定します)。有効な場合は、すべてのローカル入出力とローカル出力を削除し、コネクタとグループをデフォルト値に戻して、再起動後も同じようにオーディオ設定を再構築します。

使用方法:

xCommand Audio Setup Reset

xCommand Audio Sound Play

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

指定したオーディオ サウンドを再生します。

使用方法:

xCommand Audio Sound Play [Loop: Loop] Sound: Sound

説明:

Loop:

Off/On

オーディオ サウンドの再生をループするかどうかを指定します。デフォルトでは、サウンドがループされます。このパラメータの設定に関係なく、一部の音声 (Busy, CallWaiting, Dial, Ringing, および SpecialInfo) は Audio Sound Stop コマンドが発行されるまで再生されます。

デフォルト値: Off

Sound:

Alert/Announcement/Binding/Bump/Busy/CallDisconnect/CallInitiate/CallWaiting/Dial/KeyInput/KeyInputDelete/KeyTone/Nav/NavBack/Notification/OK/Pairing/PresentationConnect/Ringing/SignIn/SpecialInfo/StartListening/TelephoneCall/VideoCall/VolumeAdjust/WakeUp

再生する着信音を選択します。

xCommand Audio Sound Stop

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

オーディオ サウンドを停止します。

使用方法:

xCommand Audio Sound Stop

xCommand Audio SpeakerCheck

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

すべての内蔵スピーカーが正しく接続されていることを確認するためのテストを実行します。左から右への順序でテスト トーンが各スピーカーから発されます。スピーカーが正しい順序で再生されない場合は、スピーカー ケーブルを再接続して、正しいシーケンスを取得してください。すべてのスピーカーはテスト シーケンスの一部です。テスト シーケンスが正しく実行されていることを確認するため、デバイスと同じ部屋にいない必要があります。

デバイスは、接続されたマイクロフォンを使用して、テスト信号をリッスンします。テストの結果は API に返されます。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay [MeasurementLength: MeasurementLength
[Output: Output] [Volume: Volume]
```

説明:

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 5)

各スピーカーのテスト信号の継続時間 (秒単位)。

デフォルト値: 1

Volume:

整数 (1 ~ 30)

テスト信号レベル。

デフォルト値: 1

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

利用可能なすべての着信音を表示します。着信音を選択するには、xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone 設定を使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List
```

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

使用可能な着信音のうちの 1 つを再生します。利用可能な着信音の一覧を取得するには、xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List コマンドを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play [Loop: Loop] RingTone: "RingTone"
```

説明:

Loop:

On/Off

選択した着信音をループで繰り返します。オーディオをオフにするには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop xCommand を使用します。

デフォルト値: Off

RingTone:

文字列 (1, 100)

呼出音の名前。

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

選択した着信音の再生を停止します。着信音の再生をもう一度始めるには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play xCommand を使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop
```

xCommand Audio Volume Decrease

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量を下げます。デフォルトで、音量は 5 ステップずつ減少します (各ステップは 0.5 dB)。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、Steps パラメータを使用します。

DX70, DX80, Room Kit, Room Kit Mini, および Room 55 には、複数のオーディオ ユニット (組み込みスピーカー、ヘッドセットおよびハンドセット) が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となる音声ユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Decrease [Device: Device] [Steps: Steps]

説明:

Device: [DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 と DX80 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を下げるかを選択します。

Steps:

整数 (1 ~ 10)

音量を下げる際のステップ数を選択します。1 ステップは 0.5 dB です。

デフォルト値: 5

xCommand Audio Volume Increase

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量を上げます。デフォルトで、音量は 5 ステップずつ増加します (各ステップは 0.5 dB)。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、Steps パラメータを使用します。

DX70, DX80, Room Kit, Room Kit Mini, および Room 55 には、複数のオーディオ ユニット (組み込みスピーカー、ヘッドセットおよびハンドセット) が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となる音声ユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Increase [Device: Device] [Steps: Steps]

説明:

Device: [DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 と DX80 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を上げるかを選択します。

Steps:

整数 (1 ~ 10)

音量を上げる際のステップ数を選択します。1 ステップは 0.5 dB です。

デフォルト値: 5

xCommand Audio Volume Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量をミュートにします。

DX70, DX80, Room Kit, Room Kit Mini, および Room 55 には、複数のオーディオ ユニット (組み込みスピーカー、ヘッドセットおよびハンドセット) が搭載されています。このコマンドは選択したオーディオ ユニットだけに影響します。選択したユニットの詳細については、xStatus Audio SelectedDevice コマンドと xCommand Audio Select コマンドをご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Mute

xCommand Audio Volume Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスの音量を指定されたレベルに設定します。

DX70, DX80, Room Kit, Room Kit Mini, および Room 55 には、複数のオーディオ ユニット (組み込みスピーカー、ヘッドセットおよびハンドセット) が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となるユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Set [Device: Device] Level: Level

説明:

Device: [DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 と DX80 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を設定するかを選択します。

Level:

整数 (0 ~ 100)

ゲイン レベルを選択します。70 は 0 dB ゲインに等しく、100 は 15 dB ゲインに等しくなります。

xCommand Audio Volume SetToDefault

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xConfiguration Audio DefaultVolume 設定で定義されているデフォルトのレベルに音量を設定します。

DX70, DX80, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, DX70 および DX80 には、複数のオーディオユニット (組み込みスピーカー、ヘッドセットおよびハンドセット) が搭載されています。このコマンドは一度に 1 つのユニットにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となる音声ユニットを指定できます。ユニットを指定しない場合、最後に選択したユニットが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume SetToDefault [Device: Device]

説明:

Device: [DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55]

Internal/HeadsetUSB/HandsetUSB [RoomKit RoomKitMini Room55]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB [DX70/DX80]

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 と DX80 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を設定するかを選択します。

xCommand Audio Volume ToggleMute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スピーカーのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

xCommand Audio Volume ToggleMute

xCommand Audio Volume Unmute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ミュート後にデバイスの音量を元に戻します。

使用方法:

```
xCommand Audio Volume Unmute
```

xCommand Audio VuMeter Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

VU メーターを起動して、指定したコネクタのオーディオ信号レベルを表示します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType, ConnectorId) を指定する必要があります。VU メーターは、20 kHz 未満の周波数の入力レベルを測定します。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter Start ConnectorID: ConnectorID ConnectorType:
ConnectorType [IncludePairingQuality: IncludePairingQuality] [IntervalMs:
IntervalMs]
```

説明:

ConnectorID

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8), Line の場合は整数 (1 ~ 4), HDMI の場合は整数 (1 ~ 3) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8), HDMI の場合は整数 (1 ~ 5) [CodecPro, Room70G2]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2), Line の場合は整数 (1 ~ 1) [SX20]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2), HDMI の場合は整数 (1 ~ 1) [SX10, RoomKit, CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

マイクの場合は整数 (1 ~ 1), HDMI の場合は整数 (1 ~ 1) [RoomKitMini Board]

マイクの場合は整数 (1 ~ 3), ラインの場合は整数 (1 ~ 1), HDMI の場合は整数 (1 ~ 2) [MX200G2/MX300G2]

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80]

コネクタの番号を選択します。

ConnectorType がマイクの場合は以下に注意してください。デバイスに内蔵マイクがある場合、そのマイクは Microphone [1] となります。入力コネクタに接続されている外部マイクは Microphone [2] から開始します。DX70 および DX80 については、Microphone [1] は選択されているオーディオ デバイスを指し、これは内蔵マイク、または接続されているヘッドセットやハンドセットのいずれかとなります。選択したデバイスの詳細については、xStatus Audio SelectedDevice コマンドと xCommand Audio Select コマンドをご覧ください。

ConnectorType:

HDMI/Line/Microphone [SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D]

Line/Microphone [SX20]

HDMI/Microphone [DX70/DX80 SX10 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

HDMI/Microphone/MicArray [Board]

コネクタのタイプを選択します。

IncludePairingQuality:

Off/On

デバイスはペアリング品質を測定できます (値 0 ~ 100)。同じ部屋に他の超音波源がない場合はこの値は高くなりますが、同じ部屋に他の超音波源がある場合はこの値は低くなります。ペアリング品質をモニタリングするには、デバイスの Web インターフェイスにサインイン後、[設定 (Setup)] > [周辺機器 (Peripherals)] > [マイク (Microphones)] に移動して、[ペアリング レートの表示 (Show Pairing Rate)] チェックボックスをオンにします。または、xFeedback コマンドと xEvents コマンドを使用して値をモニタリングします。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドと xEvents コマンドに関する説明を参照してください。

デフォルト値: Off

IntervalMs:

10..1000

VuMeter 値の更新間隔をミリ秒単位で指定します。値は 10 ms のステップで指定できます。

デフォルト値: 100

xCommand Audio VuMeter Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

指定されたコネクタの VU メーターを停止します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType, ConnectorId) を指定する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio VuMeter Stop ConnectorID: ConnectorID ConnectorType: ConnectorType

説明:

ConnectorID

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8), Line の場合は整数 (1 ~ 4), HDMI の場合は整数 (1 ~ 3) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8), HDMI の場合は整数 (1 ~ 5) [CodecPro, Room70G2]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2), Line の場合は整数 (1 ~ 1) [SX20]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2), HDMI の場合は整数 (1 ~ 1) [SX10, RoomKit, CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

マイクの場合は整数 (1 ~ 1), HDMI の場合は整数 (1 ~ 1) [RoomKitMini Board]

マイクの場合は整数 (1 ~ 3), ラインの場合は整数 (1 ~ 1), HDMI の場合は整数 (1 ~ 2) [MX200G2/MX300G2]

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80]

コネクタの番号を選択します。

ConnectorType がマイクの場合は以下に注意してください。デバイスに内蔵マイクがある場合、そのマイクは Microphone [1] となります。入力コネクタに接続されている外部マイクは Microphone [2] から開始します。DX70 および DX80 については、Microphone [1] は選択されているオーディオ デバイスを指し、これは内蔵マイク、または接続されているヘッドセットやハンドセットのいずれかとなります。選択したデバイスの詳細については、xStatus Audio SelectedDevice コマンドと xCommand Audio Select コマンドをご覧ください。

ConnectorType:

HDMI/Line/Microphone [SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D]

Line/Microphone [SX20]

HDMI/Microphone [DX70/DX80 SX10 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

HDMI/Microphone/MicArray [Board]

コネクタのタイプを選択します。

xCommand Audio VuMeter StopAll

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

すべての VU メーターを停止します。

使用方法:

```
xCommand Audio VuMeter StopAll
```

Bookings コマンド

xCommand Bookings Clear

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在の予約の保存されたリストを消去します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Clear
```

xCommand Bookings Get

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

特定の ID の予約情報を表示します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Get Id: "Id"
```

説明:

Id:

文字列 (0, 128)

通話または電話会議の予約 ID。

xCommand Bookings List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスに保存された予約を表示します。予約の詳細のリストは管理システムから受信されます。すべてのパラメータはオプションで、検索結果を制限するために使用できます。

パラメータを設定しない場合、過去、現在、将来の予約がすべて表示されます。昨日より前の予約をリストしないようにするには、DayOffset = 0 を使用します。

使用方法:

```
xCommand Bookings List [Days: Days] [DayOffset: DayOffset] [Limit: Limit]
[Offset: Offset]
```

説明:

Volume:

整数 (1 ~ 365)

予約を取得する日数。

DayOffset:

整数 (0 ~ 365)

検索を開始する日 (今日: 0, 明日: 1, ...)。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (1 ~ 65534)

一覧表示する予約の最大数。

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

この検索用の予約のオフセット番号。

デフォルト値: 0

xCommand Bookings NotificationSnooze

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このデバイスに保存されている予約の通知をスヌーズに設定します。

使用方法:

```
xCommand Bookings NotificationSnooze [Id: "Id"] [SecondsToSnooze:
SecondsToSnooze]
```

説明:

Id:

文字列 (0, 128)

通知のスヌーズ設定の ID。

SecondsToSnooze:

整数 (1 ~ 3600)

秒数で表されたスヌーズの期間。

デフォルト値: 300

Call コマンド

xCommand Call Accept

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信コールを承認します。CallId を指定しない場合、すべての着信コールが受け入れられます。

使用方法:

```
xCommand Call Accept [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call Disconnect

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コールを切断します。

使用方法:

```
xCommand Call Disconnect [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call DTMFSend

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端に DTMF トーンを送信します。

使用方法:

```
xCommand Call DTMFSend [CallId: CallId] DTMFString: "DTMFString"
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

DTMFString:

文字列 (0, 32)

DTMF 文字列を入力します。

xCommand Call FarEndControl Camera Move

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端カメラ (リモート カメラ) を動かします。

注: 遠端カメラは停止コマンド (参照: xCommand FarEndControl Camera Stop) が発行されるまで、指定された方向に移動を続けます。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Stop [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

Value:

Left/Right/Up/Down/ZoomIn/ZoomOut

カメラを動かすアクションを選択します。

xCommand Call FarEndControl Camera Stop

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand FarEndControl Camera Move が発行された後に相手先カメラを停止します。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Stop [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コール中は、このコマンドを使用して遠端コーデックのプリセットをアクティブにします。プリセットには、遠端コーデックのカメラの位置と入力ビデオ スイッチャ設定が含まれます。

遠端コーデックでローカルに xCommand Preset Store コマンドを使用するか、リモート コーデックから xCommand FarEndControl Preset Store コマンドを使用することによって、事前にプリセットを遠端コーデックに保存しておく必要があります。

注: FarEndControl コマンドが機能するためには、遠端コーデックの xConfiguration Conference FarEndControl Mode 設定をオンに切り替える必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate [CallId: CallId] PresetId:
```

PresetId

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

遠端コーデックの識別に CallId が必要になるのは、マルチポイント コール時のみです。xCommand ダイアルコマンドを発行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

遠端コーデックに保存されたプリセットの ID。

xCommand Call FarEndControl Source Select

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端デバイスのメイン ソースとして使用するビデオ入力ソースを選択します。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Source Select [CallId: CallId] SourceId: SourceId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: -1

SourceId:

整数 (0 ~ 15)

遠端のビデオ入力ソースを選択します。

xCommand Call FarEndMessage Send

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータを送信します。SIP コールでのみ動作します。Conference FarEndMessage Mode が On に設定されている必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndMessage Send Text: "Text" Type: "Type" [CallId: CallId]
```

説明:

Text:

文字列 (1, 1450)

遠端に送信するメッセージを入力します。

Type:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージ タイプを入力します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call FarEndMessage SStringSend

適用対象: SX80

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータを送信します。H.323 コールおよび SIP コールで機能します。H.224 データ チャンネル (UDP) を使用します。新しいバージョンのコマンド (xCommand CallFarEndMessage Send) の使用をお勧めします。

使用方法:

xCommand Call FarEndMessage SStringSend Message: "Message" [CallId: CallId]

説明:

Message:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージを入力します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call FarEndMessage TStringSend

適用対象: SX80

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータを送信します。H.323 コールでのみ動作します。H.245 データ チャンネル (TCP) を使用します。

使用方法:

xCommand Call FarEndMessage TStringSend Message: "Message" CallId: CallId

説明:

Message:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージを入力します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call Forward

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信コールの転送先となる番号または URI を指定します。表示名は、転送先のローカル参照です。すべてのコールを転送するようにデバイスを構成した場合、このローカル参照とともにメッセージが画面に表示されます。

使用方法:

xCommand Call Forward DisplayName: "DisplayName" Number: "Number"

説明:

DisplayName:

文字列 (0, 255)

転送先のローカル参照。

Number:

文字列 (0, 255)

着信コールの転送先となる電話番号または URI。

xCommand Call Hold

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールを保留にします。

使用方法:

xCommand Call Hold [CallId: CallId] [Reason: Reason]

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

Reason:

Conference/Transfer/Other

内部使用に限定されます。

デフォルト値: Other

























xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ホワイトボードまでのカメラの距離を設定します。カメラがホワイトボードを自動的にフレーミングするには、この情報が必要です。

使用方法:

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance Distance: Distance
[WhiteboardId: WhiteboardId]

説明:

Distance:

整数 (0 ~ 65534)

ホワイトボードまでの距離をセンチメートル単位で設定します。機能がシームレスに動作するように、正確な測定値を使用してください。

WhiteboardId:

整数 (1 ~ 8)

ホワイトボードへのスナップ機能に使用するカメラ位置用に設定された ID。現在は ID 1 のみを使用できます。

デフォルト値: 1

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

指定したカメラの位置を、ホワイトボードへのスナップ位置として保存します。ホワイトボードの周囲に発言者用のスペースの余裕があるようにイメージを組み立てます。ホワイトボードへのスナップ機能を使用するには、xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode で機能を有効にして、xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode でトラッキングを有効にする必要があります。

注:デュアル カメラを備えた MX700 および MX800, SpeakerTrack 60 カメラを備えた SX80 および Codec Pro の場合、両方のカメラにホワイトボードへのスナップの位置を保存する必要があります。

使用方法:

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition CameraId: CameraId
[WhiteboardId: WhiteboardId]

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [RoomKit, Room55, Room70/Room55D]

整数 (1 ~ 2) [Codec Plus]

整数 (1 ~ 7) [SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2]

位置指定されるカメラの ID。

WhiteboardId:

整数 (1 ~ 8)

位置に ID 番号を付与できます。現在使用できる ID は 1 のみです。

デフォルト値: 1

Conference コマンド

xCommand Conference Call AuthenticationResponse

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドは、Cisco Webex に登録されているデバイスでのみ使用できます。このコマンドは、Conference Call[n] AuthenticationRequest のステータスに基づいて、認証リクエストに応答します。

使用方法:

```
xCommand Conference Call AuthenticationResponse [CallId: CallId]
```

```
ParticipantRole: ParticipantRole [Pin: Pin]
```

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

ParticipantRole:

Host/Panelist/Guest

Host: ホストとして参加

Panelist: パネリストとして参加

Guest: ゲストとして参加

Pin:

文字列 (0, 32)

PIN コードConference Call[n] AuthenticationRequest ステータスに、PIN コードの指定が必要であることを示しているときに、ホスト、パネリストまたはゲストとして参加する場合は、この値を指定する必要があります。

デフォルト値: ""

xCommand Conference DoNotDisturb Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

このコマンドはサイレント モードをオンにし、Timeout パラメータを使用することで再度オフにする時期を制御できます。サイレントがオンになると、すべての着信コールは拒否されて不在着信として登録されます。発信者はビジー信号を受信します。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Activate [Timeout: Timeout]
```

説明:

Timeout:

整数 (1 ~ 1440)

サイレントがオフになるまでの分数を設定します。設定しなかった場合、サイレントは 1440 分 (24 時間) 後にタイムアウトします。

xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

サイレント モードをオフにします。サイレントがオフになると、着信コールは通常どおり着信します。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate
```

xCommand Conference Participant Admit

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

待機している参加者に対して、コールまたはミーティングへの参加を許可します。このコマンドは、Cisco Webex に登録されているデバイスでのみ使用できます。

会議の ParticipantList Search コマンドの結果が「待機中」になっている場合、参加者は許可を待っている状態になります (*r ParticipantListSearchResult Participant [n] Status = "waiting")。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant Admit CallId: CallId ParticipantId: "ParticipantId"
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

コール中の参加者を表す一意の識別子です。

xCommand Conference Participant Disconnect

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

参加者をコールまたは会議から切断します。会議用の Conference Call[n] Capabilities ParticipantDisconnect ステータスが Available になっている場合に限り、その参加者を切断することができます。

使用方法:

```
xCommand Conference Participant Disconnect CallId: CallId ParticipantId: "ParticipantId"
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

コール中の参加者を表す一意の識別子です。

xCommand Conference Participant Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールまたは会議中の参加者をミュートにします。Conference Call[n] Capabilities ParticipantMute ステータスが Available である場合のみ、参加者をミュートできます。

使用方法:

xCommand Conference Participant Mute AudioMute: AudioMute CallId: CallId
ParticipantId: "ParticipantId"

説明:

AudioMute:

On/Off

参加者の必要なミュート状態を示します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

ParticipantId:

文字列 (0, 255)

コール中の参加者を表す一意の識別子です。

xCommand Conference Participant Search

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールまたは会議の参加者のリストを検索します。Conference Call[n] Capabilities ParticipantList ステータスが Available である場合にのみ検索可能な参加者の一覧があります。

使用方法:

xCommand Conference Participant Search [CallId: CallId] [Limit: Limit] [Offset: Offset] [SearchString: "SearchString"]

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

コールの固有識別子。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

Limit: 結果セットのレコード数 (参加者数) をこの数値に制限します。たとえば、Limit を 10 に設定した場合、結果のセットには、ヒットの総数が 10 より多くても、2 エントリだけが含まれます。

デフォルト値: 200

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

検索のこのオフセットで始まるレコードを取得します。

デフォルト値: 0

SearchString:

文字列 (0, 255)

URI または DisplayName コールすべての参加者を返すように検索する場合は、このパラメータを空のままにします。

デフォルト値: ""

xCommand Conference Recording Pause

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の録音を一時停止するかどうかを定義します。会議の録音時に録音を一時停止する場合は、この設定を使用できます。この録音を再開するには、Conference Recording Resume を使用します。

使用方法:

xCommand Conference Recording Pause [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallID を識別します。

xCommand Conference Recording Resume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の録音を再開するかどうかを定義します。会議の録音をするとき、既に一時停止している録音を再開する場合にこの設定を使用することができます。

使用方法:

xCommand Conference Recording Resume [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallID を識別します。

xCommand Conference Recording Start

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議を録音するかどうかを定義します。録音を開始する場合は、会議に参加した時点で、この設定を使用できます。録音コマンドは、インフラストラクチャ (Cisco Meeting Server) が録音をサポートしている場合にのみ使用できます。

使用方法:

xCommand Conference Recording Start [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallID を識別します。

xCommand Conference Recording Stop

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の録音を停止するかどうかを定義します。会議の録音時に、この設定を使用して録音を停止することができます。

使用方法:

xCommand Conference Recording Stop [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (1 ~ 65534)

リモート参加者の CallID を識別します。

xCommand Conference SpeakerLock Release

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Conference SpeakerLock Set によって設定されたロック中のスピーカーを解除します。デフォルトの音声スイッチングがオンに戻ります。

使用方法:

```
xCommand Conference SpeakerLock Release
```

xCommand Conference SpeakerLock Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

手動でいずれかのスピーカーを重要スピーカーの位置にロックする場合に使用します。これによってデフォルトの音声スイッチングは上書きされます。

使用方法:

```
xCommand Conference SpeakerLock Set Target: Target [CallId: CallId]
```

説明:

Target:

ローカル/リモート

ローカル参加者かリモート参加者かを特定します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート参加者の CallID を識別します。Target が「remote」に設定されている場合にのみ該当します。

デフォルト値: 0

Diagnostics コマンド

xCommand Diagnostics Run

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このコマンドは、デバイス上で自己診断コマンドを実行します。

使用方法:

```
xCommand Diagnostics Run [ResultSet: ResultSet]
```

説明:

ResultSet:

Alerts/All/None

診断結果を「アラート」、「すべて」、または「なし」にフィルタリングできます。設定しなかった場合は、すべての結果が表示されます。

デフォルト値: Alerts

Dial コマンド

xCommand Dial

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスからダイヤルします。他の一部のコマンドに必要な CallId および Conferenceld に関する情報を返します。

使用方法:

```
xCommand Dial Number: "Number" [Protocol: Protocol] [CallRate: CallRate]
[CallType: CallType] [BookingId: "BookingId"] [Appearance: Appearance]
[DisplayName: "DisplayName"] [TrackingData: "TrackingData"]
```

説明:

Number:

文字列 (0, 255)

番号またはアドレスを入力します。

Protocol:

H320/H323/Sip/Spark

コール プロトコルを選択します。

CallRate:

整数 (64 ~ 6000) [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

整数 (64 ~ 10000) [Board]

整数 (64 ~ 3072) [SX10]

コール レートを設定します。

CallType:

Audio/Video/Auto

コール タイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。Auto を選択すると、デバイスは自動的にコール タイプを検出します。

BookingId:

文字列 (0, 255)

外部予約システム (TMS, CTS-MAN など) が、発信コールと予約システムの会議用内部 ID を照合する自己参照に使用できる ID。これはどのような文字列にすることもできます (GUID など)。予約 ID はコールのコール ログ、コール イベントなどで提供されます。

デフォルト値: ""

Appearance:

整数 (1 ~ 999999999)

該当なし内部使用専用。

DisplayName:

文字列 (0, 255)

リモート参加者の表示名

デフォルト値: ""

TrackingData:

文字列 (0, 255)

コールにタグを追加して、通話履歴の中で識別できるようにします。

デフォルト値:

GPIO コマンド

xCommand GPIO ManualState Set

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

OutputManualState モードに設定された GPIO ピンの状態を設定します (参照: xConfiguration GPIO Pin [1..4] Mode)。

使用方法:

```
xCommand GPIO ManualState Set [Pin1: Pin1] [Pin2: Pin2] [Pin3: Pin3] [Pin4: Pin4]
```

説明:

Pin1:

High/Low

Pin2:

High/Low

Pin3:

High/Low

Pin4:

High/Low

HttpClient commands

xCommand HttpClient Allow Hostname Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可されているサーバ (ホスト) のリストに HTTP(S) サーバを追加します。

The HttpClient Allow Hostname コマンドを使用して、最大 10 の許可されたホストのリストを設定し、保持することができます。リストが空でない限り、リスト内のサーバーにのみHTTP (S) 要求を送信できます。リストに対するチェックは、非セキュア (HTTP) およびセキュア (HTTPS) なデータ転送の両方で実行されます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Add Expression: "Expression"
```

説明:

Expression:

文字列 (2, 200)

HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレスに一致する正規表現。

xCommand HttpClient Allow Hostname Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可されたサーバ (ホスト) のリストからすべての HTTP(S) サーバを削除し、空のリストを残します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Clear
```

xCommand HttpClient Allow Hostname List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可されている HTTP(S) サーバ (ホスト) のリストを返します。

The HttpClient Allow Hostname コマンドを使用して、最大 10 の許可されたホストのリストを設定し、保持することができます。リストが空でない限り、リスト内のサーバーにのみ HTTP (S) 要求を送信できます。リストに対するチェックは、非セキュア (HTTP) およびセキュア (HTTPS) なデータ転送の両方で実行されます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname List
```

xCommand HttpClient Allow Hostname Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可されたサーバ (ホスト) のリストから HTTP(S) サーバを削除します。リスト内の各エントリの ID を検索するには、HttpClient Allow Hostname List コマンドを使用してください。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Allow Hostname Remove Id: Id
```

説明:

Id:

整数 (0 ~ 9)

リストから削除する HTTP(S) サーバの ID。

xCommand HttpClient Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) 削除リクエストを送信します。HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには、AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは、xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。このコマンドは、HTTP ステータス コードとサーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーおよびボディ) を返します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Delete [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResponseBody: ResponseBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合、デバイスは証明書検証プロセスをスキップして、サーバにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

Header:

文字列 (0, 1024)

HTTP ヘッダー フィールド 1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドは、最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし、これはサーバ側には影響しません。要求を受信し、サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResponseBody:

None/PlainText/Base64

None: コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText: コマンド結果は、HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64: コマンドの結果に含まれる前に、HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

Timeout:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと、API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL : <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) GET リクエストを送信します。HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには、AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは、xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。このコマンドは、HTTP ステータス コードとサーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーおよびボディ) を返します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Get [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResponseBody: ResponseBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合、デバイスは証明書検証プロセスをスキップして、サーバにデータを送信します。False に設定すると、サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

Header:

文字列 (0, 1024)

HTTP ヘッダー フィールド 1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合、コマンドは、最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし、これはサーバ側には影響しません。要求を受信し、サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResponseBody:

None/PlainText/Base64

None: コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText: コマンド結果は、HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合、コマンドはステータスエラーを返し、印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64 : コマンドの結果に含まれる前に, HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

Timeout:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと, API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL : <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Patch

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) Patch リクエストを送信します。これは複数のコマンドであるため, パラメータの後にペイロード (データ) が続きます。HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには, AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは, xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。このコマンドは, HTTP ステータス コードとサーバから返されたデータ (HTTP ヘッダーおよびボディ) を返します。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Patch [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合, デバイスは証明書検証プロセスをスキップして, サーバにデータを送信します。False に設定すると, サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

Header:

文字列 (0, 1024)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合, コマンドは, 最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし, これはサーバ側には影響しません。要求を受信し, サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResultBody:

None/PlainText/Base64

None : コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText : コマンド結果は, HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合, コマンドはステータスエラーを返し, 印刷できないデータが

検出されたというメッセージを返します。

Base64 : コマンドの結果に含まれる前に, HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

Timeout:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと, API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL : <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Post

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) POST リクエストを送信します。

HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには, AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは, xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。

これは複数のコマンドであるため, パラメータの後にペイロード (データ) が続きます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Post [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResponseBody: ResponseBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合, デバイスは証明書検証プロセスをスキップして, サーバにデータを送信します。False に設定すると, サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

Header:

文字列 (0, 1024)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合, コマンドは, 最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし, これはサーバ側には影響しません。要求を受信し, サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResponseBody:

None/PlainText/Base64

None : コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText : コマンド結果は, HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合, コマンドはステータスエラーを返し, 印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64 : コマンドの結果に含まれる前に, HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

Timeout:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと, API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL : <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

xCommand HttpClient Put

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

URL パラメータで指定されているサーバに HTTP(S) Put リクエストを送信します。

HTTPS を介してデータを送信する前にサーバの証明書を検証するかどうかを指定するには, AllowInsecureHTTPS パラメータを使用します。このパラメータは, xConfiguration HttpClient AllowInsecureHTTPS が On に設定されていない限り無効です。

これは複数のコマンドであるため, パラメータの後にペイロード (データ) が続きます。

使用方法:

```
xCommand HttpClient Put [AllowInsecureHTTPS: AllowInsecureHTTPS] [Header: "Header"] [ResponseSizeLimit: ResponseSizeLimit] [ResultBody: ResultBody] [Timeout: Timeout] Url: "Url"
```

説明:

AllowInsecureHTTPS:

False/True

True に設定されている場合, デバイスは証明書検証プロセスをスキップして, サーバにデータを送信します。False に設定すると, サーバ証明書がチェックされます。証明書の検証が失敗した場合はサーバにデータは送信されません。

デフォルト値: False

Header:

文字列 (0, 1024)

HTTP ヘッダー フィールド1 つのコマンドに 20 個のヘッダー パラメータを追加できます。各パラメータは 1 つの HTTP ヘッダー フィールドを保持しています。

ResponseSizeLimit:

整数 (1 ~ 100000)

このリクエストへの応答の最大ペイロード サイズ (バイト) 応答ペイロードがこの最大サイズより大きい場合, コマンドは, 最大ファイルサイズを超えていることを伝えるステータスエラーを返します。ただし, これはサーバ側には影響しません。要求を受信し, サーバによって正常に処理されました。

デフォルト値: 100000

ResultBody:

None/PlainText/Base64

None : コマンド結果に HTTP レスポンスのボディを含めません。

PlainText : コマンド結果は, HTTP レスポンスのボディがテキスト形式で含まれます。応答に印字不可能な文字が含まれている場合, コマンドはステータスエラーを返し, 印刷できないデータが検出されたというメッセージを返します。

Base64 : コマンドの結果に含まれる前に, HTTP レスポンスのボディが Base64 でエンコードされています。

デフォルト値: None

Timeout:

整数 (1 ~ 30)

秒単位のタイムアウト時間。この期間に要求が完了しないと, API はエラーを返します。

デフォルト値: 30

URL:

文字列 (8, 2048)

リクエストに送信される URL : <Protocol> + <HTTP(S) サーバのホスト名または IP アドレス> + <Path>.

HttpFeedback コマンド

xCommand HttpFeedback Deregister

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP(S) を介した HTTP フィードバックを登録解除します。

使用方法:

xCommand HttpFeedback Deregister FeedbackSlot: FeedbackSlot

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

xCommand HttpFeedback Register コマンドを使用して登録されたフィードバック スロットを登録解除します。

xCommand HttpFeedback Enable

適用対象: *すべての製*

必要なユーザ ロール: ADMIN

以前に登録したフィードバック スロットが, 障害により無効化された後で, 再度有効化します。

使用方法:

xCommand HttpFeedback Deregister FeedbackSlot: FeedbackSlot

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

有効化するフィードバック スロットを指定します。

xCommand HttpFeedback Register

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP(S) サーバにデバイスを登録し、HTTP(S) を介して特定の URL に XML フィードバックが返されるようにします。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Register FeedbackSlot: FeedbackSlot [Format: Format]  
ServerUrl: "ServerUrl" [Expression: "Expression"]
```

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

このコーデックは、HTTP フィードバックを要求する最大 4 つのサーバ スロットを登録できます。それらの 1 つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS) は表現式の登録に FeedbackSlot 3 を使用するので、TMS を使用している環境では FeedbackSlot 3 の使用を避けてください。

Format:

XML/JSON

HTTP サーバからのフィードバックのフォーマットを XML または JSON に設定します。

デフォルト値: XML

ServerUrl:

文字列 (1, 2048)

コーデックで HTTP フィードバック メッセージの送信先となる HTTP サーバの URL。

Expression:

文字列 (1, 255)

ステータス、コンフィギュレーション、またはイベント XML ドキュメントのどの部分をモニタするかを XPath 式で指定します。同じコマンドで 0 ~ 15 個の XPath 式を指定できます。

Logging コマンド

xCommand Logging SendLogs

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドは、Cisco Webex クラウド サービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。

Cisco Webex クラウドにログを送信します。これらのログは、デバイスの問題を診断および修正するのに役立ちます。このコマンドはログ ID を返します。管理者や TAC エンジニアがログを識別してダウンロードするために使用することができます。

使用方法:

```
xCommand Logging SendLogs
```

Macros コマンド

xCommand Macros Log Clear

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロ ログをクリアします。

使用方法:

xCommand Macros Log Clear

xCommand Macros Log Get

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

実行中のすべてのマクロのログ、およびランタイム自体のログを表示します。

使用方法:

xCommand Macros Log Get [Offset: Offset]

説明:

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

提供された以上のオフセットを含む行を表示します。

デフォルト値: 0

xCommand Macros Macro Activate

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されたマクロをアクティブ化します。

使用方法:

xCommand Macros Macro Activate Name: "Name"

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

アクティブ化するマクロの名前を指定します。

xCommand Macros Macro Deactivate

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスで現在実行中のマクロを非アクティブ化します。

使用方法:

xCommand Macros Macro Deactivate Name: "Name"

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

非アクティブ化するマクロの名前を指定します。

xCommand Macros Macro Get

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されているマクロの詳細を表示します。

使用方法:

xCommand Macros Macro Get [Content: Content] [Name: "Name"]

説明:

Content:

False/True

指定したマクロの内容を表示するかどうかを指定します。

デフォルト値: False

Name:

文字列 (0, 255)

マクロの名前。

xCommand Macros Macro Remove

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されたマクロを削除します。

使用方法:

xCommand Macros Macro Remove Name: "Name"

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

削除するマクロの名前。

xCommand Macros Macro RemoveAll

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されたすべてのマクロを削除します。

使用方法:

xCommand Macros Macro RemoveAll

xCommand Macros Macro Rename

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上に作成されたマクロの名前を変更します。

使用方法:

xCommand Macros Macro Rename Name: "Name" NewName: "NewName" [Overwrite:
Overwrite]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

名前変更するマクロの名前。

NewName:

文字列 (0, 255)

マクロの新しい名前。

Overwrite:

False/True

既存の内容を上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: False

xCommand Macros Macro Roles Set

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロのロールを設定します。

使用方法:

xCommand Macros Macro Roles Set Name: "Name" [Role: Role]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

設定されるマクロの名前。

Role:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

このマクロに設定されているロール。

デフォルト値: Admin

xCommand Macros Macro Save

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロの詳細を保存します。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand Macros Macro Save Name: "Name" [Overwrite: Overwrite] [Transpile: Transpile]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

保存されるマクロの名前。

Overwrite:

False/True

既存の内容を上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: True

Transpile:

False/True

現在の JavaScript 言語機能を EcmaScript 5.0/5.1 に変換します。

デフォルト値: True

xCommand Macros Runtime Restart

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを再起動します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Restart

xCommand Macros Runtime Start

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを開始します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Start

xCommand Macros Runtime Status

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のマクロ ランタイムの現在の状態を表示します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Status

xCommand Macros Runtime Stop

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを停止します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Stop

Message コマンド

xCommand Message Send

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

リッスンしているクライアントにテキストを送信する Message Send イベントをトリガーします。

使用方法:

xcommand Message Send Text: "Text"

説明:

Text:

文字列 (0, 255)

メッセージに含まれるテキスト。

Peripherals コマンド

xCommand Peripherals Connect

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

コーデックに接続された、制御システムやタッチ パネルなどの周辺機器を登録します。登録済みの周辺機器は、Web インターフェイスの Configuration > Peripherals に表示されます。

周辺機器をコーデックに初めて接続する場合、または周辺機器のソフトウェア バージョンを変更した場合は、このコマンドを使用する必要があります。接続デバイスのリストは、コマンド xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status を使用して入手できます。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Connect [HardwareInfo: "HardwareInfo"] ID: "ID" [Name: "Name"] [NetworkAddress: "NetworkAddress"] [SerialNumber: "SerialNumber"] [SoftwareInfo: "SoftwareInfo"] Type: Type
```

説明:

HardwareInfo:

文字列 (0, 100)

デバイスのハードウェア番号。

デフォルト値: ""

ID:

文字列 (1, 100)

接続しているデバイスの一意の ID (通常は MAC アドレス)。

Name:

文字列 (0, 100)

デバイスの名前を設定します。

デフォルト値: ""

NetworkAddress:

文字列 (0, 100)

接続しているデバイスのネットワーク アドレス。

デフォルト値: ""

SerialNumber:

文字列 (0, 100)

デバイスのシリアル番号。

デフォルト値: ""

SoftwareInfo:

文字列 (0, 100)

デバイスで実行されているソフトウェア バージョン。

デフォルト値: ""

Type:

Byod/ControlSystem/Other/TouchPanel

接続しているデバイスのタイプを定義します。

xCommand Peripherals HeartBeat

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

接続デバイスとして登録した周辺機器は、コーデックにハートビートを送信して、現在も接続されていることをコーデックに通知するように設定できます。

これにより、デバイスは xStatus Peripherals ConnectedDevice リストに保持されるようになります。ハートビートを送信するように周辺機器が設定されていない場合、デバイスはしばらくするとリストから消えます。

注: カメラには適用されません。

使用方法:

```
xCommand Peripherals HeartBeat ID: "ID" [Timeout: Timeout]
```

説明:

ID:

文字列 (1, 100)

接続しているデバイスの一意の ID (通常は MAC アドレス)。

Timeout:

整数 (1 ~ 65535)

デバイスがハートビートを送信する時間を設定します。

デフォルト値: 60

xCommand Peripherals List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

現在接続中および過去に接続されていた周辺機器をすべてリストします。

使用方法:

xCommand Peripherals List [Connected: Connected] [Type: Type]

説明:

Connected:

False/True

検索対象を現在接続中のデバイスに制限します。

Type:

All/ControlSystem/ISDNLink/Other/TouchPanel

デバイス タイプによって検索を制限します。

デフォルト値: All

xCommand Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN

同じネットワーク内の ISDN リンクを検出するデバイス検出を開始します。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start [AutoPairing: AutoPairing]

[DeviceType: DeviceType] [Timeout: Timeout]

説明:

AutoPairing:

On/Off

検出されたデバイスが自動的にビデオ会議デバイスとペアリングされるように選択できます。

デフォルト値: Off

DeviceType:

ISDNLink

ISDN リンクの検索のみ。

Timeout:

整数 (3 ~ 60)

検索の最大時間を 3 ~ 60 秒の範囲で設定します。

デフォルト値: 10

xCommand Peripherals Pairing Pair

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN

ISDN リンクをビデオ会議デバイスにペアリングします。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing Pair MacAddress: "MacAddress"

説明:

MacAddress:

文字列 (1, 1450)

ビデオ会議デバイスにペアリングする ISDN リンクの MAC アドレスを入力します。

xCommand Peripherals Pairing Unpair

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

2 つの連絡先が接続されている場合は、ISDN リンクからビデオ会議デバイスをペアリングします。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing Pair MacAddress: "MacAddress"

説明:

MacAddress:

文字列 (1, 100)

ビデオ会議デバイスのペアリングを解除する ISDN リンクの MAC アドレスを入力します。

xCommand Peripherals Purge

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

接続が失われた場合、ISDN リンクからビデオ会議デバイスのペアリングを強制的に解除します。注: 別のビデオ会議デバイスとペアリングできるように、ISDN リンクもペアリング解除する必要があります。

使用方法:

xCommand Peripherals Purge ID: "ID"

説明:

ID:

文字列 (1, 100)

「xx:xx:xx:xx:xx:xx」形式の ISDN リンクの MAC アドレス。

Phonebook コマンド

xCommand Phonebook Contact Add

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳に新しい連絡先を追加します。このコマンドが返す ContactId は連絡先を識別する一意の文字列で、通常の形式は「localContactId-n」です。

xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドを使用して、1 件の連絡先に複数の連絡方法を追加できます。最初の連絡方法だけが Cisco タッチ コントローラのお気に入りリストに表示されることに注意してください。すべての連絡方法は、その他の UI で使用できます。

使用方法:

xCommand Phonebook Contact Add Name: "Name" [Number: "Number"] [CallRate: CallRate] [CallType: CallType] [Device: Device] [FolderId: "FolderId"] [ImageURL: "ImageURL"] [Protocol: Protocol] [Tag: Tag] [Title: "Title"]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前。

Number:

文字列 (0, 255)

連絡先の電話番号または住所。

CallRate:

整数 (0 ~ 6000)

コール レートを設定します。

CallType:

Audio/Video/Auto

コール タイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。Auto を選択すると、デバイスは自動的にコール タイプを検出します。

Device:

Mobile/Other/Telephone/Video

デバイス タイプを選択します。

FolderId:

文字列 (0, 255)

連絡先を保存するフォルダの一意的識別子です。この識別子は、xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

ImageURL:

文字列 (0, 255)
現在は使用されていません。

Protocol:

Auto/H320/H323/SIP/Spark
Auto, Spark, SIP, H323, または H320 プロトコルを選択します。

Tag:

Untagged/Favorite
連絡先をお気に入りとしてタグ付けするか、すでにタグ付けされた連絡先のタグを解除します。

Title:

文字列 (0, 255)
連絡先の役職。

xCommand Phonebook Contact Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳から既存の連絡先を削除します。

使用方法:

xCommand Phonebook Contact Delete ContactId: "ContactId"

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)
連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Contact Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存の連絡先の連絡先情報を変更します。Name, FolderId, ImageURL, および Title パラメータは、このコマンドを使用して変更できます。その他の Number, Protocol, CallRate, CallType, および Device パラメータを変更するには、xCommand Phonebook ContactMethod Modify コマンドを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Phonebook Contact Modify ContactId: "ContactId" [Name: "Name"]
[FolderId: "FolderId"] [ImageURL: "ImageURL"] [Tag: "Tag"] [Title: "Title"]

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)
変更する連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

Name:

文字列 (0, 255)
連絡先の名前。

FolderId:

文字列 (0, 255)
フォルダの一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行した場合も返されます。

ImageURL:

文字列 (0, 255)
現在は使用されていません。

Tag:

Untagged/Favorite
連絡先をお気に入りとしてタグ付けするか、すでにタグ付けされた連絡先のタグを解除します。

Title:

文字列 (0, 255)
連絡先の役職。

xCommand Phonebook ContactMethod Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存の連絡先の連絡先情報を追加します。このコマンドが返す ContactMethodId は連絡方法を識別する一意の文字列で、通常の形式は「n」です。

1 件の連絡先に複数の連絡方法を追加できます。最初の連絡方法だけがデバイスのユーザ インターフェイスのお気に入りリストに表示されることに注意してください。最初の連絡方法は、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときに作成されている場合があります。すべての連絡方法は、API および Web インターフェイスで利用できます。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Add ContactId: "ContactId" [CallRate: CallRate]
[CallType: CallType] [Device: Device] Number: "Number" [Protocol: Protocol]
```

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡方法を追加する連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

CallRate:

整数 (0 ~ 6000)

コール レートを設定します。

CallType:

Audio/Video/Auto

コール タイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。Auto を選択すると、デバイスは自動的にコール タイプを検出します。

デフォルト値: Auto

Device:

Mobile/Other/Telephone/Video

コール先のデバイスのタイプを設定します。

Number:

文字列 (0, 255)

連絡先の電話番号または住所。

Protocol:

Auto/H320/H323/SIP/Spark

プロトコルを選択します。

xCommand Phonebook ContactMethod Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存の連絡先から連絡方法を削除します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Delete ContactId: "ContactId" ContactMethodId:
"ContactMethodId"
```

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

削除する連絡方法の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドを発行して連絡方法を作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook ContactMethod Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存連絡先の連絡方法に関する詳細を修正します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Modify ContactId: "ContactId" ContactMethodId:
"ContactMethodId" [Device: Device] [Number: "Number"] [Protocol: Protocol]
[CallRate: CallRate] [CallType: CallType]
```

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡先の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡方法の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook ContactMethod Add または xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡方法を作成したときにも返されます。

Device:

Mobile/Other/Telephone/Video

コール先のデバイスのタイプを設定します。

Number:

文字列 (0, 255)

連絡先の電話番号または住所。

Protocol:

Auto/H320/H323/SIP/Spark

プロトコルを選択します。

CallRate:

整数 (0 ~ 6000)

コール レートを設定します。

CallType:

Audio/Video/Auto

コール タイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。Auto を選択すると、デバイスは自動的にコール タイプを検出します。

デフォルト値: Auto

xCommand Phonebook Folder Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

電話帳エントリはフォルダに保存できます。このコマンドを使用して、ローカル電話帳にフォルダを追加します。このコマンドが返す FolderId はフォルダを識別する一意の文字列で、通常の形式は「local-GroupId-n」です。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Folder Add Name: "Name" [ParentFolderId: "ParentFolderId"]
```

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

フォルダの名前。

ParentFolderId:

文字列 (0, 255)

親フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行して親フォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Folder Delete

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳から既存のフォルダを削除します。

使用方法:

xCommand Phonebook Folder Delete FolderId: "FolderId"

説明:

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Folder Modify

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

既存の電話帳フォルダを修正します。

使用方法:

xCommand Phonebook Folder Modify FolderId: "FolderId" [Name: "Name"]
[ParentFolderId: "ParentFolderId"]

説明:

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

Name:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前。

ParentFolderId:

文字列 (0, 255)

親フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行して親フォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Search

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

検索コマンドで、ローカルおよび社内電話帳のどちらでも検索することができます。検索によって ResultSet が提供されます。

ローカル電話帳を検索した場合、結果セットには常にフォルダと連絡先の総数 (TotalRows) が含まれています。社内電話帳の検索時には、フォルダおよび連絡先の合計数が含まれない場合があります。この合計数が含まれるかどうかは、社内電話帳のバックエンド サービス (CUCM, VCS, TMS など) とそのバージョンによって決まります。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Search [PhonebookId: "PhonebookId"] [PhonebookType:
PhonebookType] [SearchString: "SearchString"] [SearchField: SearchField]
[SearchFilter: SearchFilter] [ContactType: ContactType] [Offset: Offset]
[FolderId: "FolderId"] [Limit: Limit] [ContactMethodLimit: ContactMethodLimit]
[Recursive: Recursive] [Tag: Tag]
```

説明:

PhonebookId:

文字列 (0, 255)

検索する電話帳サーバの ID。xConfiguration Phonebook Server ID 設定を参照してください。

PhonebookType:

Corporate/Local

検索対象がローカル電話帳か社内電話帳かを定義します。

デフォルト値: Local

SearchString:

文字列 (0, 255)

この文字列を含むエントリを検索します (エントリの先頭がこの文字列である必要はありません)。FolderId を指定しない場合、すべてのフォルダおよび電話帳ディレクトリが検索されます。

SearchField:

名前/番号

現在は使用されていません。

SearchFilter:

All/Rooms/People

Cisco Webex 登録デバイスでのみ使用可能です。表示する結果のタイプを選択して、検索結果をフィルタします。ルーム、ユーザ、またはすべてのディレクトリの検索を選択できます。

ContactType:

Any/Folder/Contact

すべての連絡先タイプを検索するか、検索対象をフォルダまたは個々の連絡先に制限します。

デフォルト値: Any

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

検索のこのオフセットで始まるレコードを取得します。デフォルト値は 0 です。Offset は、ページングをサポートするために Limit とともに使用されます。

デフォルト値: 0

FolderId:

文字列 (0, 255)

指定したフォルダのみを検索します。FolderId (文字列) は、フォルダを含む検索結果の ResultSet にリストされています。

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

結果セットのレコード数をこの数値に制限します。たとえば制限を 10 に設定すると、ヒットの総数がそれ以上であっても、ResultSet に含まれるのは 10 エントリ (連絡先およびフォルダ) のみです。最大制限数は 1000 です。

デフォルト値: 50

ContactMethodLimit:

整数 (0 ~ 10)

結果セットのレコード数をこの数値に制限します。たとえば、Limit を 2 に設定した場合、ResultSet には、ヒットの総数が 2 より多くても、2 エントリだけが含まれます。

デフォルト値: 0

Recursive:

False/True

このパラメータは、ローカル電話帳を検索する場合にのみ有効です。ローカル電話帳検索を特定の FolderId に制限するか、またはそのサブフォルダも再帰的に検索するかどうかを決定します。指定しない場合は、再帰検索になります。

どのパラメータも指定せずにコマンドを発行すると、ローカル電話帳のすべてのフォルダ、連絡先、および連絡方法が返されます。

デフォルト値: True

Tag:

Untagged/Favorite

検索対象を、お気に入りとしてタグ付けされた連絡先またはタグなしの連絡先のいずれかに制限します。

Presentation コマンド

xCommand Presentation Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

選択されたプレゼンテーション ソースからのメディア ストリームを開きます。

同じコマンドで ConnectorId または PresentationSource を複数追加することにより、単一のプレゼンテーション ビデオ ストリームに複数のプレゼンテーション ソースを混合できます (入力ソースの最大数はビデオ会議デバイスのタイプによって異なります)。コマンドにソースを指定する順序によって、画面にソースが表示される順序が決定します。同じコマンドに複数の識別子タイプを混在させることはできません。ConnectorId または PresentationSource のいずれかを使用してください。

USAGE:

```
xCommand Presentation Start [ConnectorId: ConnectorId] [Instance: Instance]
[Layout: Layout] [PresentationSource: PresentationSource] [SendingMode:
SendingMode]
```

説明:

ConnectorId:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro, Room70G2]

整数 (1 ~ 5) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 4) [MX200G2/MX300G2]

整数 (1 ~ 3) [CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

整数 (1 ~ 2) [DX70/DX80 SX20 RoomKit RoomKitMini Board]

整数 (2 ~ 3) [SX10]

プレゼンテーションに使用するビデオ入力ソース (connectorId で識別) を選択します。

Instance:

New/1/2/3/4/5/6

開始するローカル プレゼンテーション インスタンスを選択します。

Layout:

Equal/Prominent

ストリームが複数の入力ソースで構成されている場合は、プレゼンテーションのレイアウトを選択します。

Equal: プレゼンテーションは同じサイズの画像に表示されます。画面には最大 4 つの画像を配置できます。

Prominent: 最初のプレゼンテーション ソースが大きい画像として表示され、次のプレゼンテーション ソースが小さい画像として下に配置されて表示されます。

PresentationSource:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro, Room70G2]

整数 (1 ~ 4) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 2) [DX70/DX80 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini Board]

整数 (1 ~ 3) [CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

整数 (2 ~ 2) [SX10]

プレゼンテーションに使用するビデオ入力ソース (ソース番号で識別) を選択します。

SendingMode:

LocalRemote/LocalOnly

プレゼンテーションをローカルで表示するか、ローカルとリモートの両方またはいずれか一方で表示するかを選択します。

LocalRemote: プレゼンテーションはローカルとリモートの両方で表示されます。

LocalOnly: プレゼンテーションはローカルに表示されます。

デフォルト値: LocalRemote

xCommand Presentation Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プレゼンテーション ソースからのメディア ストリームを停止します。

使用方法:

```
xCommand Presentation Stop [Instance: Instance] [PresentationSource:
PresentationSource]
```

説明:

Instance:

1/2/3/4/5/6

停止するローカル プレゼンテーション (プレゼンテーション インスタンスで識別) を選択します。

PresentationSource:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro, Room70G2]

整数 (1 ~ 4) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 3) [CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

整数 (1 ~ 2) [DX70/DX80 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini Board]

整数 (2 ~ 2) [SX10]

停止するローカル プレゼンテーション (ソース番号で識別) を選択します。

Provisioning コマンド

xCommand Provisioning CompleteUpgrade

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェアのアップグレードを設定する前にアップグレードをインストールする必要がある場合に、アップグレードのインストールを開始します。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CompleteUpgrade
```

xCommand Provisioning PostponeUpgrade

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのインストールを延期します。

使用方法:

```
xCommand Provisioning PostponeUpgrade SecondsToPostpone: SecondsToPostpone
```

説明:

SecondsToPostpone:

整数 (0 ~ 65534)

アップグレードを延期する時間を設定します。値は秒単位です。

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エクステンション モビリティ サービス用のログイン コマンド。エクステンション モビリティ サービスにログインするには、ユーザー名 (UserId) と暗証番号 (Pin) を使用します。このユーザー名と暗証番号は CUCM で設定されます。CUCM では、1 ユーザに対して複数のプロファイルを使用することもできます。

複数のプロファイルを持つユーザーが、ユーザー名と暗証番号のみを指定してログイン コマンドを送信すると、CUCM は使用可能なプロファイルのリストをデバイスに戻します。デバイスは、これに対応する ExtensionMobilityProfileSelection Profile イベントを作成します。その結果、ユーザー名と暗証番号に加えて Profile パラメータも含む新しいログイン コマンドを送信できるようになります。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login UserId: "UserId" Pin: "Pin"  
[Profile: "Profile"]
```

説明:

UserId:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている正しいユーザー名。

Pin:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている、そのユーザの正しい暗証番号。

Profile:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている、そのユーザの正しいプロファイル。このパラメータは、ユーザが複数のプロファイルを持っている場合にのみ該当します。

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドを使用すると、エクステンション モビリティからユーザがログアウトされます。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout
```

xCommand Provisioning RoomType Activate

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Web インターフェイスから構成されているルーム タイプのテンプレートを有効にします。

使用方法:

xCommand Provisioning RoomType Activate Name: Name

説明:

Name:

Briefing/Classroom/Standard

Briefing: ブリーフィング ルーム テンプレートを有効化します。

Classroom: クラスルーム テンプレートを有効化します。

Standard: ルーム テンプレートをオフにします。

xCommand Provisioning Service Fetch

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスのカスタム要素を詳細にするカスタマイズ テンプレートを追加または更新します。カスタム要素の例として、ブランド イメージ、マクロ、お気に入り、サインイン バナーおよびイン ルーム コントロール パネルなどがあります。

使用方法:

xCommand Provisioning Service Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType: ChecksumType] [Mode: Mode] [Origin: Origin] URL: "URL"

説明:

Checksum:

文字列 (0, 128)

チェックサムは、ダウンロードしたカスタマイズ テンプレートの整合性を確認するために使用されます。HTTP を使用する場合は、チェックサムを追加することが必須です。HTTPS の使用中に、署名されていない証明書を表すサーバからテンプレートをダウンロードする場合、またはデバイスの CA (信頼されていない) リストに登録されていない自己署名証明書をダウンロードする場合にのみ、チェックサムを追加することが必須となります。

ChecksumType:

SHA512

チェックサムを計算するために使用されるアルゴリズム。

デフォルト値: SHA512

Mode:

Add/Replace

モードが Add に設定されている場合、アップロードされたファイルに記載されている項目はすべて既存のカスタマイズ テンプレートに追加されます。モードが Replace に設定されている場合、アップロードされた新しいカスタマイズ テンプレートが以前にアップロードされたテンプレートと比較されます。新しいファイルに存在しない項目は削除されます。いずれの場合も、同じ名前の項目が上書きされます。

デフォルト値: Add

Origin:

Other/Provisioning

カスタマイズ テンプレートをプロビジョニング用を使用するか、別の目的用を使用するかを指定します。値がプロビジョニングされている場合、テンプレート内の設定 (xConfiguration) は無視され、プロビジョニング システム (CUCM または TMS) が通常の設定と同じように設定できるようになります。CUCM は、常にこのパラメータがプロビジョニングに設定されているかのように動作します。

設定によっては、1 つのデバイスに固有の設定である場合があります、それらの設定を複数のデバイスにプロビジョニングすると、到達できないデバイスが作成される場合があります。

デフォルト値: Other

URL:

文字列 (0, 128)

カスタマイズ テンプレートの URL

Proximity コマンド

xCommand Proximity Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Proximity Services Deactivate によって非アクティブ化されたプロキシミティ サービスを再びアクティブにします。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Activate
```

xCommand Proximity Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドはデバイス上のすべての Proximity サービスを非アクティブ化します。Proximity サービスを再アクティブ化するには、コマンド xCommand Proximity Services Activate を使用します。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Deactivate
```

RoomPreset コマンド

xCommand RoomPreset Activate

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカルに保存されたプリセットの 1 つをアクティブ化します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。これに対して、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

xCommand RoomPreset Activate PresetId: PresetId

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

アクティブ化するプリセットの ID。

xCommand RoomPreset Clear

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プリセットを削除します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。これに対して、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

xCommand RoomPreset Clear PresetId: PresetId

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

削除するプリセットの ID。

xCommand RoomPreset Store

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

すべてのビデオ入力ソースに対するコネクタの選択、およびすべてのカメラの現在の位置 (パンとチルト)、ズーム、フォーカスに関する値を保存します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。デバイスは、このような事前定義されたビデオ入力のプリセットを 15 個保持できます。これらのプリセットは遠端制御に使用できます (プリセットは xCommand FarEndControl Preset Activate コマンドの PresetId パラメータで参照されます)。対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。これらのプリセットは遠端制御に使用できません。

使用方法:

xCommand RoomPreset Store [Description: "Description"] PresetId: PresetId Type:

Type

説明:

Description:

文字列 (0, 255)

カメラ プリセットの説明を入力します。

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

このプリセットの ID。

Type:

All/Camera

適用なしカメラ位置に対してのみプリセットが有効になるようにするには、Camera を選択することを推奨します。

Security コマンド

xCommand Security Certificates CA Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスに CA セキュリティ証明書をアップロードします。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Add
```

xCommand Security Certificates CA Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスから CA セキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Delete Fingerprint: "Fingerprint"
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

削除される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates CA Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates CA Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このデバイス上の CA セキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates CA Show [Format: Format]
```

説明:

Format:

PEM/Text

リストされている証明書, PEM (プライベート拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のセキュリティ証明書を有効化します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Activate Fingerprint: "Fingerprint"
```

Purpose: Purpose

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

有効化される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

Purpose:

802.1X/HTTPS/Audit/SIP)

この証明書に適用されるタイプ オブ サービス (ToS)。

xCommand Security Certificates Services Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスにセキュリティ証明書をアップロードします。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Add [PrivateKeyPassword: "PrivateKeyPassword"]
```

説明:

PrivateKeyPassword:

文字列 (0, 128)

パスワードの秘密キーの詳細を保存します。

デフォルト値: ""

xCommand Security Certificates Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のセキュリティ証明書を非アクティブ化します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Deactivate Fingerprint: "Fingerprint"
```

Purpose: Purpose

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

非アクティブ化される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

Purpose:

802.1X/HTTPS/Audit/SIP)

この証明書に適用されるタイプ オブ サービス (ToS)。

xCommand Security Certificates Services Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスからセキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Delete Fingerprint: "Fingerprint"
```

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

削除される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates Services Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このデバイス上のセキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Security Certificates Services Show [Filter: Filter] [Format: Format]
```

説明:

Filter:

802.1X/HTTPS/Audit/SIP

選択したサービスに基づいて結果をフィルター処理します。

Format:

PEM/Text

リストされている証明書, PEM (プライバシー拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates ThirdParty Disable

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SMTP および HttpClient に使用されているバンドルされた証明書を無効にします。

このルート証明書で署名された証明書を提供しているサーバが証明書を無効にすると、その結果は拒否されます。

使用方法:

xCommand Security Certificates ThirdParty Disable Fingerprint: "Fingerprint"

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

無効にされる証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates ThirdParty Enable

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SMTP および HttpClient に使用されているバンドルされた証明書を有効にします。

使用方法:

xCommand Security Certificates ThirdParty Enable Fingerprint: "Fingerprint"

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

有効にされる証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates ThirdParty List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

バンドルされているすべての証明書とその状態を一覧表示します。

使用方法:

xCommand Security Certificates ThirdParty List

xCommand Security Certificates ThirdParty Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

単一のサードパーティ証明書を表示します。

使用方法:

xCommand Security Certificates ThirdParty Show Fingerprint: "Fingerprint"
[Format: Format]

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

表示する証明書に対する一意の識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

Format:

PEM/Text

リストされている証明書、PEM (プライバシー拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates Webex Show

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドは、Cisco Webex クラウド サービスに登録されているデバイスにのみ適用されます。

Cisco Webex クラウドで使用されているサーバとサービスの証明書を検証する、信頼された CA 証明書のリストを表示します。

使用方法:

xCommand Security Certificates Webex Show [Filter: *Filter*] [Format: *Format*]

説明:

Filter:

Cisco/Non-Cisco/TLS-proxy

Cisco:Cisco が提供するサーバおよびサービスと通信するときに使用される CA 証明書のリストを表示します。

Non-Cisco:Cisco 以外の提供サーバおよびサービスと通信するときに使用される CA 証明書のリストを表示します。

TLS-proxy:TLS を使用して送信トラフィック用のプロキシを検査するときに必要な追加の CA 証明書の一覧が表示されます。

Format:

PEM/Text

リストされている証明書, PEM (プライバシー拡張メール) またはプレーン テキストの形式を指定します。

デフォルト値:Text

xCommand Security FIPSMODE Activate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

FIPS (140-2) モードをアクティブにします。FIPS モードのアクティブ化は、出荷時のデフォルトのリセットを意味します。

FIPS モード中に次の制限を適用: すべてのコールを暗号化します。Telnet や HTTP などの暗号化されていない通信プロトコルは使用できません。IEEE802.1x と SNMP はディセーブルです。リモート サポート ユーザは使用できません。デバイスと HTTP プロキシの間では、ダイジェスト アクセス認証はサポートされていません。これはダイジェスト アクセス認証では FIPS で許可されていない MD5 暗号化ハッシュを使用するためです。この最後の制限は、Webex 登録デバイスにのみ影響します。これは HTTP プロキシが Webex ソリューションにのみ使用されるためです。

FIPS モードを終了するには、ファクトリ リセットを実行します。

使用方法:

xCommand Security FIPSMODE Activate Confirm: *Confirm*

説明:

Confirm:

Yes

デバイスが FIPS モードで設定されていることを確認します。

xCommand Security Persistency

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

以下の機能を永続モードまたは非永続モードに設定します。非永続モードでは、特定の機能によって収集された情報はデバイスの再起動後まで維持されません。デフォルトは永続モードです。このコマンドはデバイスをリポートします。

使用方法:

xCommand Security Persistency Configurations: [Configurations](#) CallHistory: [CallHistory](#) InternalLogging: [InternalLogging](#) LocalPhonebook: [LocalPhonebook](#) DHCP: [DHCP](#) ConfirmAndReboot: [ConfirmAndReboot](#)

説明:

Configurations:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとすべての設定がデフォルトに戻ります。

CallHistory:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動すると通話履歴が削除されます。

InternalLogging:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとイベント ログが削除されます。

LocalPhonebook:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとローカルの電話帳が削除されます。

DHCP:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、デバイスを再起動するとすべての IP 関連の情報が削除されます。

ConfirmAndReboot:

Yes

デバイスをリポートします。

xCommand Security Session Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, AUDIT, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

現在のセッションの詳細を表示します。

使用方法:

xCommand Security Session Get

xCommand Security Session List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

アクティブなセッションの一覧を表示します。

使用方法:

xCommand Security Session List

xCommand Security Session Terminate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

セッションを終了します。

使用方法:

xCommand Security Session Terminate SessionId: "[SessionId](#)"

説明:

SessionId:

文字列 (0, 32)

セッション ID 番号。

Standby コマンド

xCommand Standby Activate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスをスタンバイ モードに設定します。つまり、ビデオ出力をオフにして、カメラをスリープ モードにします。

使用方法:

```
xCommand Standby Activate
```

xCommand Standby Deactivate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスをスタンバイ モードから復帰させます。

使用方法:

```
xCommand Standby Deactivate
```

xCommand Standby Halfwake

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスを「ハーフ ウェイク」の状態に設定します。この状態から起動するにはリモートをピックアップするかタッチ デバイスをタップするよう、UI からユーザに通知されます。

使用方法:

```
xCommand Standby Halfwake
```

xCommand Standby ResetHalfwakeTimer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

一時的なハーフウェイク タイマー遅延を設定します。リセット タイマーが設定されたときにデバイスがハーフ ウェイク モードである場合、デバイスはハーフ ウェイク モードからウェイクアップされます。指定された遅延時間だけアイドル状態が続くと、デバイスはハーフ ウェイク モードになります。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetHalfwakeTimer Delay: Delay
```

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

遅延を分単位で設定します。

xCommand Standby ResetTimer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スタンバイ遅延タイマーをリセットするか、一時的なスタンバイ遅延を設定します。タイマーが設定されているときにデバイスがスタンバイ モードになっている場合、デバイスは、カウントダウンを開始する前にスタンバイ モードから復帰します。

Delay を指定しない場合、スタンバイ遅延タイマーがリセットされ、スタンバイ遅延設定 (xConfiguration Standby Delay) によって指定された期間が経過した後、デバイスがスタンバイ状態になります。Delay を指定した場合、デバイスは指定された期間アイドル状態のときにスタンバイに入ります。次のスタンバイ遅延は、Standby Delay 設定で設定されたように再び行われます。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetTimer [Delay: Delay]
```

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

遅延を分単位で設定します。

SystemUnit コマンド

xCommand SystemUnit Boot

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスをリブートします。

使用方法:

xCommand SystemUnit Boot [Action: Action]

説明:

Action:

再起動/シャットダウン

デフォルトでは、リブート後にデバイスが再起動されます。Shutdown を選択すると、デバイスは再起動しません。

デフォルト値: Restart

xCommand SystemUnit FactoryReset

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

工場出荷時設定にコーデックをリセットします。コールのログは削除され、デバイス パラメータはすべてデフォルト値にリセットされます。コーデックにアップロードされていたファイルは、すべて削除されます。オプション キーは影響を受けません。デバイスを工場出荷時状態にリセットするときに保持する設定とファイルを選択するには、Keep パラメータを使用します。

デフォルトでは工場出荷時状態にリセットするとデバイスは再起動しますが、別の TrailingAction の選択によって、他の動作を強制できます。

使用方法:

xCommand SystemUnit FactoryReset Confirm: Confirm [Keep: Keep] [TrailingAction: TrailingAction]

説明:

Confirm:

Yes

これを含めると、選択内容を確認します。

Keep:

Certificates/HTTP/LocalSetup/Network/Provisioning/SerialPort/Webex

デバイスを初期設定にリセットする際に、保持する設定とファイルを選択します。同じコマンドに最大 7 個の CallId パラメータを設定できます。

Certificates:

クライアントと CA 証明書。

HTTP

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate

LocalSetup:

xConfiguration Audio DefaultVolume

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume

xConfiguration Time Zone

xConfiguration UserInterface Language

xConfiguration Video Output Connector OverscanLevel

xCommand Camera Preset Store

Network:

- xConfiguration Network 1
- xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed
- xConfiguration NetworkServices Wifi Enabled

Provisioning:

- xConfiguration Provisioning Mode

SerialPort:

- xConfiguration SerialPort Mode
- xConfiguration SerialPort BaudRate
- xConfiguration SerialPort LoginRequired

Spark:

- xConfiguration Spark ServiceOverrides GdsBaseUrl
- xConfiguration Spark ServiceOverrides U2CBaseUrl
- xConfiguration Spark ServiceOverrides WdmBaseUrl

TrailingAction:

NoAction/Restart/Shutdown

デフォルトの動作 (Restart) を上書きするには, Shutdown または NoAction を選択します。

デフォルト値: Restart

xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスを初めて起動したときに表示されるウィザードを停止して, ウィザードを使用せずにデバイスをセットアップできるようにします。デバイスを工場出荷時の設定にリセットした場合にのみ, ウィザードが再び表示されます。

使用方法:

xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop

xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

xStatus SystemUnit Notifications Text/Type によって報告されたシステム通知のリストをクリアします。

使用方法:

xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll

xCommand SystemUnit OptionKey Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

追加機能をサポートするオプション キーを追加します。

使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey Add Key: "Key"

説明:

Key:

文字列 (16, 24)

オンにするオプションの受信済みキー。

xCommand SystemUnit OptionKey List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのオプション キーの一覧を表示します。

使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey List

xCommand SystemUnit OptionKey Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定したオプション キーを削除します。

使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey Remove Type: Type

説明:

Type:

RemoteMonitoring [DX70/DX80]

Encryption/RemoteMonitoring [SX10]

MultiSite/RemoteMonitoring [SX20]

Encryption/MultiSite/RemoteMonitoring [SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board]

xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのオプション キーを削除します。

使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll Confirm: Confirm

説明:

Confirm:

Yes

xCommand SystemUnit ProductPlatform Set

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスの製品プラットフォームを選択してください。このコマンドは通常、デバイスが修理された後で、製品プラットフォームが実際の製品に一致していない場合に使用されます。Use with caution.

使用方法:

xCommand SystemUnit ProductPlatform Set Platform: Platform

説明:

Platform:

ROOM70D/ROOM70S [CodecPro, Room70G2]

ROOM55D/ROOM70S/ROOM70D [CodecPlus, Room70/Room55D]

MX700/MX700ST/MX800/MX800ST/MX800D [SX80, MX700/MX800/MX800D]

ROOM55D:プラットフォームは Room 55 Dual に設定されます。

ROOM70S:Codec Plus と Room 70 では、プラットフォームは Room 70 Single に設定されます。Codec Pro と Room 70 G2 では、プラットフォームは Room 70 Single G2 に設定されます。

ROOM70D:Codec Plus と Room 70 では、プラットフォームは Room 70 Dual に設定されます。Codec Pro と Room 70 G2 では、プラットフォームは Room 70 Dual G2 に設定されます。

MX700:プラットフォームは MX700 (デュアル画面, シングル カメラ) に設定されます。

MX700ST:プラットフォームは MX700 (デュアル画面, シングル カメラ) に設定されます。

MX800:プラットフォームは MX800 (シングル画面, シングル カメラ) に設定されます。

MX800ST:プラットフォームは MX800 (シングル画面, デュアル カメラ) に設定されます。

MX800D:プラットフォームは MX800 Dual (デュアル画面, デュアル カメラ) に設定されます。

xCommand SystemUnit SignInBanner Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

xCommand SystemUnit SignInBanner Set で設定されたサインイン バナーをクリアします。

使用方法:

xCommand SystemUnit SignInBanner Clear

xCommand SystemUnit SignInBanner Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand SystemUnit SignInBanner Set で設定されたカスタム メッセージを取得します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Get
```

xCommand SystemUnit SignInBanner Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスのユーザー インターフェイスにカスタム メッセージを使用したサインイン バナーを設定します。これは複数行コマンドです。

Use:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set <enter>
```

```
Banner text <enter>
```

```
. <enter>
```

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set
```

xCommand SystemUnit SoftReset

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ほとんどのパラメータをデフォルト値にリセットします。これには、ルーム設定に関連するパラメータ (カメラの位置, 言語, 音量など) は含まれません。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftReset Confirm: Confirm
```

説明:

Confirm:

Yes

xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定の URL からソフトウェアを取得し, ソフトウェア アップグレードを実行します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade URL: "URL" [Forced: Forced]
```

説明:

URL:

文字列 (0, 255)

ソフトウェア パッケージの場所の URL。

Forced:

False/True

更新を確認したり延期したりする機会をユーザーに与えることなく, デバイスでソフトウェア アップグレードを常に即座に受け入れるよう設定できます。

デフォルト値: True

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set で設定されたウェルカム バナーをクリアします。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Clear
```

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, AUDIT, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set で設定されたカスタム メッセージを取得します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Get
```

xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

デバイスの Web インターフェイスまたはコマンドライン インターフェイスに、ユーザがログイン後に表示されるウェルカム バナーを設定します。バナーには作業開始に必要な情報や、設定の変更時に注意しなければならないことなどが含まれています。これは複数行コマンドです。

Use:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set <enter>
```

```
Banner text <enter>
```

```
. <enter>
```

使用方法:

```
xCommand SystemUnit WelcomeBanner Set
```

Time コマンド

xCommand Time DateTime Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスから時刻と日付を読み出します。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Get
```

xCommand Time DateTime Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

NTP (ネットワーク タイム プロトコル) から取得できない場合に、デバイスの時刻と日付を設定します。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Set [Year: Year] [Month: Month] [Day: Day] [Hour: Hour]  
[Minute: Minute] [Second: Second]
```

説明:

Year:

整数 (2015 ~ 2037)

Month:

整数 (1 ~ 12)

Day:

整数 (1 ~ 31)

Hour:

整数 (0 ~ 23)

Minute:

整数 (0 ~ 59)

Second:

整数 (0 ~ 59)

UserInterface コマンド

xCommand UserInterface Branding Clear

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

デバイスからカスタム壁紙、ブランド背景画像、およびロゴ ファイルを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Clear
```

xCommand UserInterface Branding Delete

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Type パラメータで指定されているイメージ ファイルをデバイスから削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Delete Type: Type
```

説明:

Type:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [Board]

Background: カスタムの壁紙の削除

Branding: デバイスがアクティブになったときに表示されるロゴを削除します。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示されるブランドイメージを削除します。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示されるロゴを削除します。

xCommand UserInterface Branding Fetch

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

URL からイメージ ファイルを取得し、デバイスにファイルを保存します。サポートされる画像形式は BMP, GIF, JPEG および PNG です。最大イメージ サイズは 16 メガ ピクセル、最大ファイル サイズは 4 メガ バイトです。

Type パラメータで、画像の種類を決定します。背景画像の場合は、関連付けられた機能 (カスタム壁紙、背景とロゴの付いたブランディング) が自動的に適用されます。

このコマンドは、HTTP リクエストを発行します。これは、HTTP リクエストのカウントに含まれます。同時 HTTP(S) リクエストの最大数は制限されています。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType: ChecksumType] Type: Type URL: "URL"
```

説明:

Checksum:

文字列 (0, 128)

チェックサムは、ダウンロードしたイメージ ファイルの整合性を確認するために使用されます。HTTP を使用する場合は、チェックサムを追加することが必須です。HTTPS の使用中に、署名されていない証明書を表すサーバからテンプレートをダウンロードする場合、またはデバイスの CA (信頼されていない) リストに登録されていない自己署名証明書をダウンロードする場合にのみ、チェックサムを追加することが必須となります。

ChecksumType:

SHA512

チェックサムを計算するために使用されるアルゴリズム。

デフォルト値: SHA512

Type:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [Board]

Background: カスタム壁紙として使用できる背景画像を取り出します。

Branding: デバイスがアクティブであるときに表示可能なロゴを取得します。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示できるブランドイメージを取得します。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示できるロゴを取得します。

URL:

文字列 (5, 250)
 イメージ ファイルの URL

xCommand UserInterface Branding Get

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

このコマンドは、Type パラメータで指定されている画像ファイルを返します。指定したファイルはデバイスに保存されます。ファイルは Base64 でエンコードされています。最初にアップロードされたファイルの形式に関係なく、背景画像は JPG 形式、ロゴは PNG 形式になります。

背景画像は 3 つのサイズで保存されます (メイン画面用のサイズ、タッチ コントローラー用のサイズ、および Web インターフェイスのイラスト用サイズ)。Size パラメータを使用して、取得するサイズを選択します。ロゴのサイズは 1 つだけです。

使用方法:

xCommand UserInterface Branding Get [Size: Size] Type: Type

説明:

Size:

Large/Small/Thumbnail

Large: メイン画面に表示される画像のサイズ。

Small: Touch コントローラに表示される画像のサイズ。

Thumbnail: Web インターフェイスのイラストで使用される画像のサイズ。

デフォルト値: Large

Type:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [Board]

Background: カスタム壁紙を返します。

Branding: デバイスがアクティブになったときに表示されるロゴを返します。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示されるブランドイメージを返します。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示されるロゴを返します。

xCommand UserInterface Branding Updated

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

このコマンドは、新しい画像ファイルがデバイスにアップロードされ、使用可能な状態になったことを通知するイベントを作成します。Type パラメータで、画像の種類を指定します。

使用方法:

xCommand UserInterface Branding Updated Type: Type

説明:

Type:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [Board]

Background: カスタム壁紙として使用できる新しい背景画像が使えるようになります。

Branding: デバイスがアクティブになったときに表示できる新しいロゴが使えるようになります。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示できる新しいブランド画像を使用できるようになります。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示される新しいロゴを使用できるようになります。

xCommand UserInterface Branding Upload

適用対象: *DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

画像ファイルをデバイスにアップロードします。次の画像形式がサポートされています: BMP, GIF, JPEG, および PNG。また、最大画像サイズは 16 メガ ピクセルです。ファイルは Base64 エンコードされている必要があります。最大ファイル サイズは 4 メガ バイト です。

Type パラメータで、画像の種類を決定します。背景画像の場合は、関連付けられた機能 (カスタム壁紙、背景とロゴの付いたブランディング) が自動的に適用されます。

これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand UserInterface Branding Upload Type: Type

説明:

Type:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding [Board]

Background: カスタム壁紙として使用できる背景画像をアップロードします。

Branding: デバイスがアクティブであるときに表示可能なロゴをアップロードします。

HalfwakeBackground: デバイスがハーフ ウェイク状態のときに背景として表示できるブランドイメージをアップロードします。

HalfwakeBranding: デバイスがハーフ ウェイク状態になっているときに表示できるロゴをアップロードします。

xCommand UserInterface Extensions Clear

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

デバイスからユーザ インターフェイスの拡張機能 (Web アプリ、カスタムボタン、パネル、およびウィジェット) を削除します。ActivityType を指定しない場合は、すべての拡張機能が削除されます。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Clear [ActivityType: ActivityType]

説明:

Activity type:

Custom [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Custom/WebApp [Board]

Custom: カスタムボタン、パネル、およびウィジェットが削除されます。Web アプリは影響を受けません。

WebApp: Web アプリが削除されます。カスタム ボタン、パネル、およびウィジェットは影響を受けません。

xCommand UserInterface Extensions List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

デバイスにあるユーザ インターフェイス拡張機能 (Web アプリ、カスタムボタン、パネル、およびウィジェット) を一覧表示します。ActivityType を指定しない場合は、すべての拡張機能が一覧表示されます。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions List [ActivityType: ActivityType]

説明:

Activity type:

Custom [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Custom/WebApp [Board]

Custom: カスタムボタン、パネル、およびウィジェットが一覧表示されます。Web アプリは含まれません。

WebApp: Web アプリが一覧表示されます。カスタム ボタン、パネル、およびウィジェットは含まれません。

xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

ユーザがカスタム パネルをクリックすると、イベントが作成されます。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked PanelId: "PanelId"

説明:

PanelId

文字列 (0, 255)

カスタム パネルの一意の識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Close

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

開いているカスタム パネルを閉じます。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Close

xCommand UserInterface Extensions Panel Open

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

指定した PanelId のあるカスタム パネルを開きます。パネルに複数のページがある場合は、PageId パラメータを含めることで開くページを指定できます。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Open PanelId: "PanelId" [PageId: "PageId"]

説明:

PanelId

文字列 (0, 255)

カスタム パネルの一意の識別子。

PageId:

文字列 (0, 255)

カスタムパネル上のページの一意の ID。

xCommand UserInterface Extensions Panel Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

このデバイスのユーザ インターフェイスからカスタム パネルを削除します。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Remove PanelId: "PanelId"

説明:

PanelId

文字列 (0, 255)

カスタム パネルの一意の識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Save

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

現在の設定にカスタム パネルを追加します。パネルは、設定に追加されますが、同じパネル ID を持つパネルがすでに存在する場合は上書きされます。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Save PanelId: "PanelId"

説明:

PanelId

文字列 (0, 255)

カスタム パネルの一意の識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Update

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

指定された PanelId を含むカスタム パネルの名前を更新します。この名前は、ユーザ インターフェイスのボタンのすぐ下に表示されます。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Update PanelId: "PanelId" Name: "Name"

説明:

PanelId

文字列 (0, 255)

カスタム パネルの一意の識別子。

Name:

文字列 (0, 255)

カスタム パネルの新しい名前。

xCommand UserInterface Extensions Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

デバイスのユーザー インターフェイス拡張機能 (ウィジェット) ですでに選択した構成スキームを設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Set ConfigId: "ConfigId"

説明:

ConfigId:

文字列 (0, 40)

その構成の固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget Action

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

特定のウィジェットのアクションを設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Widget Action [Type: "Type"] [Value: "Value"]

WidgetId: "WidgetId"

説明:

Type:

文字列 (0, 255)

設定されるウィジェットのタイプ。

Value:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値。値の範囲は、ウィジェット タイプによって異なります。

WidgetId

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

特定のウィジェットの値を設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。値が範囲外の場合は、エラーを返します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue Value: "Value" WidgetId: "WidgetId"
```

説明:

Value:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値。値の範囲は、ウィジェット タイプによって異なります。

WidgetId

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

特定のウィジェットの値を空にします。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新し、このウィジェットが選択されなくなったことをユーザ インターフェイスに通知します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue WidgetId: "WidgetId"
```

説明:

WidgetId

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Message Alert Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

UserInterface Message Alert Display コマンドを使用して表示されたメッセージを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Alert Clear
```

xCommand UserInterface Message Alert Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

メッセージを画面に表示します。オプションで、メッセージを指定した期間保持することもできます。持続時間を設定しない場合は、このコマンドの後に UserInterface Message Alert Clear コマンドが必要です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Alert Display [Title: "Title"] Text: "Text" [Duration: Duration]
```

説明:

Title:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

デフォルト値: ""

Text:

文字列 (0, 255)

表示されるメッセージ<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

Duration:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージが画面に表示される時間の長さ (秒単位) 0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message Alert Clear コマンドが送信される時点までメッセージが表示されます。

デフォルト値: 0

xCommand UserInterface Message Prompt Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

UserInterface Message Prompt Display コマンドを使用して、表示されたウィンドウを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Prompt Clear [FeedbackId: "FeedbackId"]
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Prompt Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message Prompt Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

ユーザからの応答のために、画面上で小さなウィンドウにタイトル、テキストおよび最大 5 個のオプションを表示します。メッセージは、ユーザーが応答するか、デバイスが UserInterface Message Prompt Clear コマンドを受信するまで画面に表示されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Prompt Display [Title: "Title"] Text: "Text"  
[FeedbackId: "FeedbackId"] [Duration: Duration] [Option.1: "Option.1"] [Option.2:  
"Option.2"] [Option.3: "Option.3"] [Option.4: "Option.4"] [Option.5: "Option.5"]
```

説明:

Title:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

Text:

文字列 (0, 255)

表示されるテキスト行を入力します。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

Duration:

整数 (0, 3600)

メッセージ ウィンドウを画面に表示する時間の長さ (秒単位)。0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message Prompt Clear コマンドが送信される時点までメッセージ ウィンドウが表示されます。

デフォルト値: 0

Option.1:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 1 に表示するテキスト。

Option.2:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 2 に表示するテキスト。

Option.3:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 3 に表示するテキスト。

Option.4:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 4 に表示するテキスト。

Option.5:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプション 5 に表示するテキスト。

xCommand UserInterface Message Prompt Response

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

UserInterface Message Prompt Display コマンドへの応答を提供します。このコマンドは、ユーザ インターフェイスでオプションを選択したときに実行されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Prompt Response [FeedbackId: "FeedbackId"]
OptionId: OptionId
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message Prompt Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

OptionId:

整数 (1 ~ 5)

OptionId は UserInterface Message Prompt Display コマンドで可能な応答として指定した OptionId に対応します。

xCommand UserInterface Message TextInput Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

UserInterface Message TextInput Display コマンドを使用して表示されたテキスト入力メッセージを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextInput Clear [FeedbackId: "FeedbackId"]
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は UserInterface Message TextInput Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message TextInput Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

ユーザが応答できる入力ダイアログボックスを表示します。この機能は、タッチ ベースのユーザ インターフェイスを備えたデバイスでのみサポートされています。メッセージは、ユーザが応答するか、デバイスが UserInterface Message TextInput Clear コマンドを受信するまで画面に表示されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextInput Display [Duration: Duration]
[FeedbackId: "FeedbackId"] [InputText: "InputText"] [InputType: InputType]
[KeyboardState: KeyboardState] [Placeholder: "Placeholder"] [SubmitText:
"SubmitText"] Text: "Text" [Title: "Title"]
```

説明:

Duration:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージが画面に表示される時間の長さ (秒単位) 0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message TextInput Clear コマンドが送信される時点までメッセージが表示されます。

デフォルト値: 0

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

InputText:

文字列 (0, 255)

ダイアログボックスが開かれたときにテキスト入力フィールドに事前設定されているテキスト。返信を送信する前に、このテキストを編集するか、またはテキストを削除して、自身のテキストを入力します。

このパラメータが含まれていない場合、ダイアログボックスが開くと、プレースホルダーパラメータのコンテンツがテキスト入力フィールドに表示されます。

デフォルト値: ""

InputType:

SingleLine/Numeric/Password/PIN

表示されるテキスト入力ダイアログボックスの種類。これにより、表示されるキーボードレイアウトも決定されます。

デフォルト値: SingleLine

KeyboardState:

Open/Closed

テキスト入力メッセージが表示されるときにデバイスのキーボードを開くかどうかを指定します。

デフォルト値: Open

Placeholder:

文字列 (0, 255)

入力を開始するまで、テキスト入力フィールドに表示されるプレースホルダーテキスト。InputText パラメータが含まれている場合、プレースホルダーパラメータは無効です。

デフォルト値: ""

SubmitText:

文字列 (0, 32)

[送信 (Submit)] ボタンに表示されるテキスト。

デフォルト値: "OK"

Text:

文字列 (0, 128)

ユーザに表示されるメッセージ。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはブレーンテキストとして表示されます。

Title:

文字列 (0, 40)

入力ダイアログボックスのタイトル。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message TextInput Response

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

UserInterface Message TextInput Display コマンドへの応答を提供します。このコマンドは、ユーザがユーザ インターフェイスのテキスト入力フィールドに入力した返信をユーザが送信したときに実行されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextInput Response [FeedbackId: "FeedbackId"]
```

```
Text: "Text"
```

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

Text:

文字列 (0, 255)

ユーザに表示されるメッセージ。

xCommand UserInterface Message TextLine Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

UserInterface Message TextLine Display コマンドで表示されたテキスト行を削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextLine Clear
```

xCommand UserInterface Message TextLine Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

画面上にテキスト行を表示します。オプションとして、指定した場所に、指定した時間のテキスト行を表示できます。持続時間を設定しない場合は、このコマンドの後に UserInterface Message TextLine Clear コマンドが必要です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextLine Display Text: "Text" [X: X] [Y: Y]
```

```
[Duration: Duration]
```

説明:

Text:

文字列 (0, 140)

表示されるテキスト行。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

X:

整数 (1 ~ 10000)

画面上の X 座標 (水平) を入力します。X=0 では左上隅に表示されます。

デフォルト値: 0

Y:

整数 (1 ~ 10000)

画面上の Y 座標 (垂直) を入力します。Y=0 では左上隅に表示されます。

デフォルト値: 0

Duration:

整数 (0 ~ 3600)

テキスト行が画面に表示される時間 (秒単位) 0 (ゼロ) に設定すると、UserInterface Message TextLine Clear コマンドが送信される時点までテキスト行が表示されます。

デフォルト値: 0

xCommand UserInterface OSD Key Click

適用対象: *DX70/DX80, SX10, SX20*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート コントロール キー押下と後に続くキー解放をエミュレートします。

使用方法:

xCommand UserInterface OSD Key Click Key: Key

説明:

Key:

0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/C/Call/Disconnect/Down/F1/F2/F3/F4/F5/Grab/Home/Layout/Left/Mute/MuteMic/Ok/PhoneBook/Presentation/Right/Selfview/Square/SrcAux/SrcCamera/SrcDocCam/SrcPc/SrcVcr/Star/Up/VolumeDown/VolumeUp/ZoomIn/ZoomOut/+/-

押すリモート キーを定義します。

xCommand UserInterface OSD Key Press

適用対象: *DX70/DX80, SX10, SX20*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート コントロール キーを押したままの状態をエミュレートします。キーの解放をエミュレートするには、Key Press コマンドの後に

Key Release コマンドを続けてキー解放をエミュレートする必要があります。

使用方法:

xCommand UserInterface OSD Key Press Key: Key

説明:

Key:

0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/C/Call/Disconnect/Down/F1/F2/F3/F4/F5/Grab/Home/Layout/Left/Mute/MuteMic/Ok/PhoneBook/Presentation/Right/Selfview/Square/SrcAux/SrcCamera/SrcDocCam/SrcPc/SrcVcr/Star/Up/VolumeDown/VolumeUp/ZoomIn/ZoomOut/+/-

押すリモート キーを定義します。

xCommand UserInterface OSD Key Release

適用対象: *DX70/DX80, SX10, SX20*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート コントロールのキー解放をエミュレートします。Key Release コマンドは Key Press コマンドの後に発行されます。

使用方法:

xCommand UserInterface OSD Key Release Key: Key

説明:

Key:

0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/C/Call/Disconnect/Down/F1/F2/F3/F4/F5/Grab/Home/Layout/Left/Mute/MuteMic/Ok/PhoneBook/Presentation/Right/Selfview/Square/SrcAux/SrcCamera/SrcDocCam/SrcPc/SrcVcr/Star/Up/VolumeDown/VolumeUp/ZoomIn/ZoomOut/+/-

解放するリモート コントロール キーを定義します。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

外部スイッチ経由でデバイスに接続される入力ソースを確立し、設定します。

使用方法:

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add ConnectorId: ConnectorId SourceIdentifier: "SourceIdentifier" Name: "Name" Type: Type

説明:

ConnectorId:

整数 (2 ~ 3) [*SX10*]

整数 (1 ~ 3) [*SX20*]

整数 (1 ~ 5) [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

整数 (0 ~ 5) [*RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*]

整数 (2 ~ 4) [*MX200G2/MX300G2*]

整数 (2 ~ 2) [*DX70/DX80*]

外部スイッチに接続されるデバイス コネクタの ID。

SourceIdentifier:

文字列 (0, 40)

入力ソースを識別する一意の文字列。この識別子は、この特定の入力ソースのアドレッシング時に他のコマンドやイベントによって使用されます。

Name:

文字列 (0, 40)

入力ソースの名前。この名前がユーザ インターフェイスに表示されます。

Type:

camera/desktop/document_camera/mediaplayer/PC/whiteboard/other

入力ソースのタイプ。このタイプにより、ユーザ インターフェイスに表示されるアイコンが決まります。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

現在の外部入力ソースのリストを返します。

使用方法:

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

外部入力ソースのリストから、SourceIdentifier で指定した入力ソースを削除します。

使用方法:

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove SourceIdentifier: "SourceIdentifier"

説明:

SourceIdentifier:

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

外部入力ソースのリストから、すべての入力ソースを削除します。

使用方法:

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

SourceIdentifier で指定した入力ソースが Ready 状態である場合に、そのソースを表示し始めます (UserInterface Presentation ExternalSource State Set コマンドを参照)。入力ソースは、ユーザ インターフェイスの共有トレイに「Presenting」と表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select SourceIdentifier:
"SourceIdentifier"
```

説明:

SourceIdentifier:

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL

SourceIdentifier で指定された入力ソースの状態を設定または変更します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set SourceIdentifier:
"SourceIdentifier" State: State [ErrorReason: "ErrorReason"]
```

説明:

SourceIdentifier:

文字列 (0, 40)

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

State:

Hidden/Ready/NotReady/Error

Ready: いずれかのユーザが (ユーザ インターフェイスでタップするか UserInterface Presentation ExternalSource Select コマンドを発行することにより) 入力ソースを選択すると、それが表示されます。

NotReady: 入力ソースの準備ができていないため、選択できません。

Error: 入力ソースが誤った状態です。障害の理由をユーザに通知するために ErrorReason パラメータを使用できます。

Hidden: この入力ソースは、ユーザ インターフェイスの共有トレイに表示されません。

ErrorReason:

文字列 (0, 80)

State パラメータが Error に設定されている場合、この文字列がユーザ インターフェイスの共有トレイに表示されます。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface WebView Clear

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

現在の Web ビューを閉じます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WebView Clear
```

xCommand UserInterface WebView Display

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Web ビューを開いて、URL によって指定された Web ページを表示します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface WebView Display [Options: "Options"] [Title: "Title"] Url: "Uri"
```

説明:

Options:

文字列 (0, 255)

この値は、UI 拡張エディターを内部で使用するためのものです。

Title:

文字列 (0, 255)

Web ページのタイトル

URL:

文字列 (0, 2000)

Web ページの URL

UserManagement コマンド

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

テクニカル アシスタンス センター (TAC) がトラブルシューティングの際にデバイスにアクセスするために使用できる、リモート サポート ユーザ パスフレーズを作成します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create [ExpiryDays: ExpiryDays]
```

説明:

ExpiryDays:

整数 (1 ~ 31)

パスフレーズの有効性の期間を定義します。デフォルトは 7 日間です。

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

コマンド xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create で作成したリモート サポート ユーザを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete
```

xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

新しいリモート サポート ユーザの作成をディセーブルにします。リモート サポート ユーザーを再び有効にするには、デバイスを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。

使用方法:

xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently Confirm: Confirm

説明:

Confirm:

Yes

xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート サポート ユーザが生成されている場合にその状態を取得します。

使用方法:

xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState

xCommand UserManagement User Add

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスに新しいユーザを追加します。

使用方法:

xCommand UserManagement User Add [Active: Active] [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] Passphrase: "Passphrase" [PassphraseChangeRequired: PassphraseChangeRequired] [PinChangeRequired: PinChangeRequired] [Role: Role] [ShellLogin: ShellLogin] Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]

説明:

Active:

False/True

このユーザがアクティブ ユーザかどうかを指定します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

Passphrase:

文字列 (0, 255)

ユーザのパスフレーズを指定します。

PassphraseChangeRequired:

False/True

ユーザーのパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

PinChangeRequired:

False/True

ユーザーの暗証番号を変更する必要があるかどうかを指定します。

Role:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

ユーザーのロールを設定します。

ShellLogin:

False/True

ユーザがシェル ログインを必要とするかどうかを指定します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザーのユーザー名を指定します。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

ユーザのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスからユーザを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Delete Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

Username:

文字列 (0, 127)

削除されるユーザのユーザ名を指定します。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

削除されるユーザのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のユーザの詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Get [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"]  
[Username: "Username"]
```

説明:

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザ名を指定すると、特定のユーザの詳細を表示します。

xCommand UserManagement User List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のユーザの一覧を表示します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User List [Limit: Limit] [Offset: Offset]
```

説明:

Limit:

整数 (0 ~ 65536)

表示される結果の数を制限します。

デフォルト値: 0

Offset:

整数 (0 ~ 65536)

提供された以上のオフセットを含む行を表示します。

デフォルト値: 0

xCommand UserManagement User Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

特定のユーザの詳細を変更します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Modify [Active: Active] [AddRole: AddRole]
[ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] [PassphraseChangeRequired:
PassphraseChangeRequired] [PinChangeRequired: PinChangeRequired] [RemoveRole:
RemoveRole] [ShellLogin: ShellLogin] Username: "Username" [YourPassphrase:
>YourPassphrase"]
```

説明:

Active:

False/True

このユーザがアクティブ ユーザかどうかを指定します。

AddRole:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

指定したユーザに新しいロールを追加します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

PassphraseChangeRequired:

False/True

ユーザのパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

PinChangeRequired:

False/True

ユーザの暗証番号を変更する必要があるかどうかを指定します。

RemoveRole:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

指定したユーザからロールを削除します。

ShellLogin:

False/True

ユーザがシェル ログインを必要とするかどうかを指定します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザのユーザ名を指定します。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

ユーザのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Passphrase Change

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, AUDIT, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

ログイン時に使用するユーザのパスフレーズを変更します。管理者としてログインしている場合、これによって管理者パスフレーズが変更されます。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Change NewPassphrase: "NewPassphrase"
OldPassphrase: "OldPassphrase"
```

説明:

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

OldPassphrase:

文字列 (0, 255)

xCommand UserManagement User Passphrase Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定したユーザのユーザ パスフレーズを設定します。ユーザ パスフレーズを設定するには、管理者としてログインする必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Set NewPassphrase: "NewPassphrase"
Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

Username:

文字列 (0, 127)

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

xCommand UserManagement User Unblock

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ログイン試行回数が多すぎるためにブロックされているユーザのブロックを解除します。

USAGE:

```
xCommand UserManagement User Unblock Username: "Username" [YourPassphrase:
"YourPassphrase"]
```

説明:

Username:

文字列 (0, 127)

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

Video コマンド

xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

通話中のスピーカーの PIP (ピクチャ イン ピクチャ) の位置を設定します。

使用方法:

```
xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set Position: Position
```

説明:

Position:

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

事前定義された位置のいずれか 1 つを選択します。

xCommand Video CEC Input KeyClick

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

入力デバイスからリモート コントロール キー クリック イベントを模倣します。

使用方法:

xCommand Video CEC Input KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]
[LogicalAddress: LogicalAddress] [NamedKey: NamedKey]

説明:

ConnectorId:

整数 (1 ~ 5) [*CodecPro, Room70G2*]

整数 (1 ~ 3) [*RoomKit RoomKitMini CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

整数 (2 ~ 2) [*Board*]

コネクタの固有識別子。

Key:

整数 (0 ~ 255)

CEC は、リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

LogicalAddress:

整数 (0 ~ 15)

接続デバイスの論理アドレス。

NamedKey:

Up/Down/Right/Left/Ok/Back/Stop/Play)

リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーの名前。

xCommand Video CEC Output KeyClick

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このデバイスからのリモート コントロール キー クリック イベントを模倣します。

使用方法:

xCommand Video CEC Output KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]
LogicalAddress: LogicalAddress [NamedKey: NamedKey]

説明:

ConnectorId:

整数 (1 ~ 1) [*SX10*]

整数 (1 ~ 3) [*SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus*

CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

コネクタの固有識別子。

Key:

整数 (0 ~ 255)

CEC は、リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

LogicalAddress:

整数 (0 ~ 15)

接続デバイスの論理アドレス。

NamedKey:

Up/Down/Right/Left/Ok/Back/Stop/Play)

リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーの名前。

xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

接続されたデバイスがアクティブであるかどうかを検出する、このデバイスからの要求。

使用方法:

xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest [ConnectorId: ConnectorId]

説明:

ConnectorId:

整数 (1 ~ 1) [SX10]

整数 (1 ~ 3) [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

コネクタの固有識別子。

xCommand Video Input MainVideo Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスからのビデオ送信を停止します。Selfview もオフになっています。このコマンドはプレゼンテーション チャンネルには影響を与えません。

使用方法:

xCommand Video Input MainVideo Mute

xCommand Video Input MainVideo Unmute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスからビデオを送信する前に、Video Input MainVideo Mute command コマンド (または、使用可能である場合、ユーザ インタフェースの「ビデオを停止」ボタン) を使用します。Selfview も使用できます。

使用方法:

xCommand Video Input MainVideo Unmute

xCommand Video Input SetMainVideoSource

適用対象: DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

メイン ビデオ ソースとなる入力ソースを設定します。入力ソースは、接続先の物理コネクタ (ConnectorId) または論理ソース識別子 (SourceId) で識別できます。

同じコマンドで ConnectorId または SourceId を複数追加することにより、単一のメイン ビデオ ストリームに最大 4 つの入力ソースを混合できます (入力ソースの最大数はビデオ会議デバイスのタイプによって異なります)。同じコマンドに複数の識別子タイプを混在させることはできません。ConnectorId か SourceId のいずれかを使用してください。DX70 と DX80 は、そのような入力ソースの組み合わせをサポートしていません。

使用方法:

xCommand Video Input SetMainVideoSource [ConnectorId: ConnectorId] [Layout: Layout] [PIPPosition: PIPPosition] [PIPSize: PIPSize] [SourceId: SourceId]

説明:

ConnectorId:

整数 (1 ~ n)

コネクタの一意の識別子 (ID)。コネクタ [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Connector を実行します。

Layout:

Equal/PIP/Prominent

メイン ビデオ ソースが複数の入力ソースで構成される場合、メイン ビデオ ソースのレイアウトを設定します。

PIPPosition:

LowerLeft/LowerRight/UpperLeft/UpperRight

メイン ビデオ ソースが複数の入力ソースで構成される場合、メイン ビデオ ソースの PIP ポジションを選択します。

PIPSize:

Auto/Large

メイン ビデオ ソースが複数の入力ソースで構成される場合、メイン ビデオ ソースの PIP サイズを選択します。

SourceId:

整数 (1 ~ n)

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Input Source SetActiveConnector

適用対象: *SX10, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アクティブにするコネクタを選択します。

SX80, MX700/MX800 では、入力コネクタ 4 (DVI-I) とコネクタ 5 (S ビデオまたはコンポジット) を同時にアクティブにすることはできません。

SX10 入力コネクタ 2 (HDMI) およびコネクタ 3 (VGA) を同時にアクティブにすることはできません。

On MX200G2/MX300G2: 任意の時点でアクティブにできるのは、入力コネクタ 2 (DVI), コネクタ 3 (HDMI), コネクタ 4 (HDMI) のいずれか 1 つのみです。

使用方法:

xCommand Video Input Source SetActiveConnector [ConnectorId: ConnectorId]

説明:

ConnectorId:

整数 (4 ~ 5) [*SX80, MX700/MX800/MX800D*]

整数 (2 ~ 4) [*MX200G2/MX300G2*]

整数 (2 ~ 3) [*SX10*]

コネクタの一意の識別子 (ID)。コネクタ [n] の ID は n です。コネクタ ID を調べるには、Video Input Connector の状態を確認します。SX80 および MX700/MX800 では、コネクタ ID はコーデックのコネクタ パネルにも印字されています。

xCommand Video Layout LayoutFamily Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

画面レイアウト モードを選択します。

使用方法:

xCommand Video Layout LayoutFamily Set [Target: Target] LayoutFamily: LayoutFamily [CustomLayoutName: "CustomLayoutName"]

説明:

Target:

Local/Remote

ターゲットがローカル レイアウトかリモート レイアウトかを選択します。

LayoutFamily:

auto/custom/equal/overlay/prominent/single

レイアウト ファミリを選択します。

CustomLayoutName:

文字列 (1, 128)

レイアウトの名前を入力します。

xCommand Video Matrix Assign

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Matrix コマンドは xCommand Video Layout コマンドへのスマート オーバーレイで、シンプルな映像合成を容易にします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Assign [Layout: Layout] [Mode: Mode] Output: Output
[RemoteMain: RemoteMain] [SourceId: SourceId]

説明:

Layout:

Equal/Prominent

ビデオ コンポジションに使用するレイアウトを選択します。

Equal: すべてのソースが同じサイズのイメージとして出力に表示されます。

Prominent: 最初のソースが大きい画像として表示され、次のソースが小さい画像として下に配置されて表示されます。

Mode:

Add/Replace

既存のソースをその出力が表示される全画面に戻すか、追加するかを選択します。Add を使用すると、レイアウト エンジンが自動的に複数のソースを再構成します。デフォルトは Replace です。

Output:

整数 (1 ~ 2) [SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit, CodecPlus]

整数 (1 ~ 3) [SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2]

このレイアウトで使用する出力を選択します。

RemoteMain:

整数 (1 ~ 4)

リモート サイトをレイアウトに追加します。

SourceId:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro, Room70G2]

整数 (1 ~ 3) [SX20]

整数 (1 ~ 4) [SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus]

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。1 つのコマンドに最大 4 つの SourceId を使用できます。

xCommand Video Matrix Reset

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

出力のコンテンツをデフォルト レイアウトにリセットします

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Reset [Output: Output]

説明:

Output:

整数 (1 ~ 2) [SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit, CodecPlus]

整数 (1 ~ 3) [SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2]

リセットする出力を選択します。

xCommand Video Matrix Swap

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

xCommand Video Matrix Assign によって定義したコンテンツを 2 つの出力間でスワップします。

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Swap OutputA: OutputA OutputB: OutputB

説明:

OutputA:

整数 (1 ~ 2) [*SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit, CodecPlus*]

整数 (1 ~ 3) [*SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2*]

切り替え元の出力。

OutputB:

整数 (1 ~ 2) [*SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit, CodecPlus*]

整数 (1 ~ 3) [*SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2*]

スワッピング先の出力。

xCommand Video Matrix Unassign

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

出力からソースを削除します。xCommand Video Matrix Assign の場合と同様に、レイアウト エンジンが自動的に残りのソースを再構成します。

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Unassign Output: Output [RemoteMain: RemoteMain]
[SourceId: SourceId]

説明:

Output:

整数 (1 ~ 2) [*SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit, CodecPlus*]

整数 (1 ~ 3) [*SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2*]

ソースを削除する出力を選択します。

RemoteMain:

整数 (1 ~ 4)

レイアウトからリモート サイトを削除します。

SourceId:

整数 (1 ~ 2) [*SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit*]

整数 (1 ~ 3) [*CodecPlus*]

整数 (1 ~ 4) [*SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPlus*]

整数 (1 ~ 6) [*CodecPro, Room70G2*]

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Output Monitor Backlight Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタのバックライトを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Backlight Set Position: Position Value: Value

説明:

Position: [*MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*]

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Brightness Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの明るさを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Brightness Set Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Blue Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの青のレベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Color Blue Set Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Green Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの緑のレベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Color Green Set Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Red Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの赤のレベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Color Red Set Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Select

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの色温度を調整します。

使用方法:

xcommand Video Output Monitor Color Select position: position value: value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

4900K/5500K/6500K/7200K/9300K/10500K/12000K/User [MX700/MX800/MX800D]

4900K/5500K/6500K/7200K/9300K/10500K/12000K [Room70/Room55D, Room70G2]

xCommand Video Output Monitor Contrast Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタのコントラスト レベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Contrast Set Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor CSC Select

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの色空間を選択します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor CSC Select Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

RGB/YUV

RGB または YUV を選択します。

xCommand Video Output Monitor Gamma Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタのガンマ レベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Gamma Set Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

1.5/1.6/1.7/1.8/1.9/2.0/2.1/2.2/2.3/2.4/2.5/2.6/2.7

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Reset

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの設定をリセットします (Room 55 Dual では使用できません)。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Reset Position: Position

説明:

Position: [*MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*]

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

xCommand Video Output Monitor Sharpness Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの画像のシャープさを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Sharpness Set Position: Position Value: Value

説明:

Position:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するデバイス (デュアル スクリーン デバイス) でのみ表示されます。

Value:

Softest/Soft/Normal/Sharp/Sharpest

レベルを選択します。

xCommand Video PresentationPIP Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プレゼンテーションの PIP (ピクチャインピクチャ) の位置を設定します。

使用方法:

xCommand Video PresentationPIP Set Position: Position

説明:

Position:

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

事前定義された位置のいずれか 1 つを選択します。

xCommand Video PresentationView Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プレゼンテーション ビュー モードを設定します。

使用方法:

xCommand Video PresentationView Set View: [View](#)

説明:

View:

Default/Maximized/Minimized

コーデックのデフォルト設定でプレゼンテーションを表示するには、[デフォルト (Default)] を選択します。プレゼンテーションをフル スクリーンで表示する場合、Maximized を選択します。選択したプレゼンテーションを小さい画像で画面上に表示するには、[縮小 (Minimized)] を選択します。

xCommand Video Selfview Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

セルフビューをオンまたはオフに設定してサイズと位置を指定します。パラメータを指定しない場合は現在の値が使用されます。

使用方法:

xCommand Video Selfview Set [Mode: [Mode](#)] [FullscreenMode: [FullscreenMode](#)]
[PIPPosition: [PIPPosition](#)] [OnMonitorRole: [OnMonitorRole](#)]

説明:

Mode:

On/Off

セルフビューをオンまたはオフに設定します。

FullscreenMode:

On/Off

セルフビューを全画面表示するか、ピクチャ イン ピクチャで表示するかを選択します。

PIPPosition:

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

セルフビュー イメージの位置を選択します。

OnMonitorRole:

First/Second/Third

このロールのモニタにセルフビューを表示します。

WebEngine コマンド

xCommand UserInterface WebEngine DeleteStorage

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デジタル サイネージや Web アプリなど, Web ビュー タイプのセッション データを削除します。

使用方法:

xCommand UserInterface WebEngine DeleteStorage [Type: Type]

説明:

Type:

All/Signage/WebApps

All:すべての Web ビュー タイプのセッション データを削除します。

Signage:デジタル サイネージに関連するセッション データを削除します。

WebApps:デジタル サイネージを除くすべての Web ビューに関連したセッション データを削除します。

デフォルト値: All

Webex コマンド

xCommand Webex Registration Cancel

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Cisco Webex へのデバイスの登録をキャンセルします。このコマンドは, xCommand Webex Registration Start を使用して登録が開始された後の短期間にものみ機能します。

使用方法:

xCommand Webex Registration Cancel

xCommand Webex Registration Start

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Cisco Webex へのデバイス登録を開始するには, コントロール ハブで作成したアクティベーション コードを入力し, ローカル ユーザと統合を維持するかどうかを選択します。登録が正常に完了するか, 失敗したかを確認するメッセージが表示されます。

使用方法:

xCommand Webex Registration Start ActivationCode: ActivationCode SecurityAction: SecurityAction

説明:

ActivationCode:

文字列: 16, 19

制御ハブで作成されたこのデバイスのアクティベーション コード。

SecurityAction:

Harden/NoAction

Harden:このデバイス用に作成されたすべてのローカル ユーザを無効にして, マクロを無効にします。

NoAction:どのような設定も削除されません。既存の統合を保持する場合は「NoAction」を使用してください。

第 5 章

xStatus コマンド

xStatus コマンドの説明

この章では、すべての xStatus コマンドと応答を示します。ステータス タイプのコマンドは、システムおよびシステム プロセスに関する情報を返します。すべての情報や一部の情報を照会できます。

マニュアルの更新バージョンがないか、定期的に Web サイトにアクセスすることを推奨します。移動先: <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

Audio ステータス	350	xStatus Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs	356
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus	350	xStatus Audio Output Connectors ARC [n] Mode	356
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle	350	xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs	357
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status	350	xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] Mode	357
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone	350	xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs	357
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus	351	xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode	357
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description	351	xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus	358
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer	351	xStatus Audio Output Connectors Line [n] DelayMs	358
xStatus Audio Input Connectors ARC [n] EcReferenceDelay	351	xStatus Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote	358
xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] EcReferenceDelay	352	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels	358
xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] Mute	352	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]	359
xStatus Audio Input Connectors Line [n] Mute	352	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain	359
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus	352	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker	359
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay	353	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name	359
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] Mute	353	xStatus Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled	360
xStatus Audio Input KeyClick Attenuate	353	xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay	360
xStatus Audio Input KeyClick Detected	353	xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay	360
xStatus Audio Input KeyClick Enabled	354	xStatus Audio Output MeasuredHdmiCecDelay	360
xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC	354	xStatus Audio Output RemoteOutput [n] CallId	361
xStatus Audio Input LocalInput [n] Channels	354	xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain	361
xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector	354	xStatus Audio SelectedDevice	361
xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct	355	xStatus Audio Volume	361
xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode	355	xStatus Audio VolumeHandsetUsb	362
xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute	355	xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog	362
xStatus Audio Input LocalInput [n] Name	355	xStatus Audio VolumeHeadsetUsb	362
xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId	356	xStatus Audio VolumeInternal	362
xStatus Audio Microphones Mute	356	xStatus Audio VolumeMute	363



Bookings ステータス	363	xStatus Cameras Camera [n] Position Lens	371
xStatus Bookings Current Id	363	xStatus Cameras Camera [n] Position Pan	371
Call ステータス	364	xStatus Cameras Camera [n] Position Roll	371
xStatus Call [n] AnswerState	364	xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt	371
xStatus Call [n] AttendedTransferFrom	364	xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom	372
xStatus Call [n] CallbackNumber	364	xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber	372
xStatus Call [n] CallType	364	xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID	372
xStatus Call [n] DeviceType	365	xStatus Cameras PresenterTrack Availability	372
xStatus Call [n] Direction	365	xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected	373
xStatus Call [n] DisplayName	365	xStatus Cameras PresenterTrack Status	373
xStatus Call [n] Duration	365	xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector	373
xStatus Call [n] Encryption Type	366	xStatus Cameras SpeakerTrack Availability	373
xStatus Call [n] FacilityServiceId	366	xStatus Cameras SpeakerTrack Status	374
xStatus Call [n] HoldReason	366	Capabilities ステータス	374
xStatus Call [n] Ice	366	xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls	374
xStatus Call [n] PlacedOnHold	367	xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls	374
xStatus Call [n] Protocol	367	xStatus Capabilities Conference MaxCalls	375
xStatus Call [n] ReceiveCallRate	367	xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls	375
xStatus Call [n] RemoteNumber	367	Conference ステータス	375
xStatus Call [n] Status	368	xStatus Conference ActiveSpeaker CallId	375
xStatus Call [n] TransmitCallRate	368	xStatus Conference Call [n] AuthenticationRequest	375
Cameras ステータス	368	xStatus Conference Call [n] BookingId	376
xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options	368	xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode	376
xStatus Cameras Camera [n] Connected.....	368	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode	376
xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector	369	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets	376
xStatus Cameras Camera [n] Flip	369	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources	377
xStatus Cameras Camera [n] Framerate	369	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name	377
xStatus Cameras Camera [n] HardwareID	369	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options	377
xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions	369	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId	377
xStatus Cameras Camera [n] MacAddress	370	xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold	378
xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer	370	xStatus Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status	378
xStatus Cameras Camera [n] Model	370	xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect	378
xStatus Cameras Camera [n] Position Focus	370	xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantList	378



xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute	379
xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation	379
xStatus Conference Call [n] EventCenter Mode	379
xStatus Conference Call [n] Manufacturer	379
xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted	380
xStatus Conference Call [n] SoftwareID	380
xStatus Conference Call [n] Streamed	380
xStatus Conference DoNotDisturb	380
xStatus Conference Line [n] Mode	381
xStatus Conference Multipoint Mode	381
xStatus Conference Presentation CallId	382
xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode	382
xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] Source	382
xStatus Conference Presentation Mode	382
xStatus Conference SpeakerLock CallId	383
xStatus Conference SpeakerLock Mode	383
Diagnostics ステータス	383
xStatus Diagnostics Message [n] Description	383
xStatus Diagnostics Message [n] Level	383
xStatus Diagnostics Message [n] References	384
xStatus Diagnostics Message [n] Type	384
GPIO ステータス	385
xStatus GPIO Pin [n] State	385
H320 ステータス	386
xStatus H320 Gateway Address	386
xStatus H320 Gateway Id	386
xStatus H320 Gateway Mode	386
xStatus H320 Gateway Number	386
xStatus H320 Gateway Reason	387
xStatus H320 Gateway Status	387

H323 ステータス	387
xStatus H323 Gatekeeper Address	387
xStatus H323 Gatekeeper Port	387
xStatus H323 Gatekeeper Reason	388
xStatus H323 Gatekeeper Status	388
xStatus H323 Mode Reason	388
xStatus H323 Mode Status	388
HttpFeedback ステータス	389
xStatus HttpFeedback [n] Expression [n]	389
xStatus HttpFeedback [n] Format	389
xStatus HttpFeedback [n] Status	389
xStatus HttpFeedback [n] URL	389
MediaChannels ステータス	390
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels	390
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole	390
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute	390
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol	391
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction	391
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption	391
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes	392
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate	392
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter	392
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost	392
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived	393
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss	393
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter	393
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets	393
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId	394
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type	394
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole	394
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate	394



xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol	395
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX	395
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY	395
Network ステータス	396
xStatus Network [n] CDP Address	396
xStatus Network [n] CDP Capabilities	396
xStatus Network [n] CDP DeviceId	396
xStatus Network [n] CDP Duplex	396
xStatus Network [n] CDP Platform	397
xStatus Network [n] CDP PortID	397
xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress	397
xStatus Network [n] CDP SysName	397
xStatus Network [n] CDP SysObjectID	398
xStatus Network [n] CDP Version	398
xStatus Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID	398
xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain	398
xStatus Network [n] DNS Domain Name	399
xStatus Network [n] DNS Server [n] Address	399
xStatus Network [n] Ethernet MacAddress	399
xStatus Network [n] Ethernet Speed	399
xStatus Network [n] IPv4 Address	400
xStatus Network [n] IPv4 Gateway	400
xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask	400
xStatus Network [n] IPv6 Address	400
xStatus Network [n] IPv6 Gateway	401
xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress	401
xStatus Network [n] VLAN Voice VlanId	401
NetworkServices ステータス	402
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress	402
xStatus NetworkServices NTP Server [n] Address	402
xStatus NetworkServices NTP Status	402
xStatus NetworkServices UPnP Status	402

Peripherals ステータス	403
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo	403
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID	403
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name	403
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber	403
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo	404
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status	404
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type	404
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason	404
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus	405
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL	405
Provisioning ステータス	405
xStatus Provisioning CUCM Customization Checksum	405
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled	405
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId	406
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn	406
xStatus Provisioning RoomType	406
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt	406
xStatus Provisioning Software Current URL	407
xStatus Provisioning Software Current VersionId	407
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange	407
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message	407
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase	408
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId	408
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status	408
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency	408
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL	409
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId	409
xStatus Provisioning Status	409
Proximity ステータス	410
xStatus Proximity Services Availability	410



RoomAnalytics ステータス	410	xStatus SIP Secure	418
xStatus RoomAnalytics AmbientNoise Level A	410	xStatus SIP Verified	418
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current	411		
xStatus RoomAnalytics PeoplePresence	411	Standby ステータス	418
xStatus RoomAnalytics Sound Level A	411	xStatus Standby PowerSave State	418
		xStatus Standby State	419
RoomPreset ステータス	412		
xStatus RoomPreset [n] Defined	412	SystemUnit ステータス	419
xStatus RoomPreset [n] Description	412	xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel	419
xStatus RoomPreset [n] Type	412	xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber	419
		xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status	420
Security ステータス	413	xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status	420
xStatus Security FIPS Mode	413	xStatus SystemUnit Hardware Temperature	420
xStatus Security Persistency CallHistory	413	xStatus SystemUnit Hardware TemperatureThreshold	420
xStatus Security Persistency Configurations	413	xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Text	421
xStatus Security Persistency DHCP	413	xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type	421
xStatus Security Persistency InternalLogging	414	xStatus SystemUnit ProductId	421
xStatus Security Persistency LocalPhonebook	414	xStatus SystemUnit ProductPlatform	422
		xStatus SystemUnit ProductType	423
SIP ステータス	414	xStatus SystemUnit Software DisplayName	423
xStatus SIP AlternateURI Alias [n] URI	414	xStatus SystemUnit Software Name	423
xStatus SIP AlternateURI Primary [n] URI	414	xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption	423
xStatus SIP Authentication	415	xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite	424
xStatus SIP CallForward DisplayName	415	xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring	424
xStatus SIP CallForward Mode	415	xStatus SystemUnit Software ReleaseDate	424
xStatus SIP CallForward URI	415	xStatus SystemUnit Software Version	424
xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting	416	xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls	425
xStatus SIP Mailbox URI	416	xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls	425
xStatus SIP Proxy [n] Address	416	xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls	425
xStatus SIP Proxy [n] Status	416	xStatus SystemUnit Uptime	425
xStatus SIP Registration [n] Authentication	417		
xStatus SIP Registration [n] Reason	417	Time ステータス	426
xStatus SIP Registration [n] Status	417	xStatus Time SystemTime	426
xStatus SIP Registration [n] URI	417		



UserInterface ステータス	426	xStatus Video Output Connector [n] Connected	435
xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number	426	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	435
xStatus UserInterface ContactInfo Name	426	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	435
xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value	427	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	435
xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId	427	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	436
xStatus UserInterface Features Call End	427	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	436
xStatus UserInterface Features MidCallControls	428	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name	436
xStatus UserInterface Features Call Start	428	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat	436
xStatus UserInterface Features Share Start	428	xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize	437
xStatus UserInterface Features Whiteboard Start	428	xStatus Video Output Connector [n] MonitorRole	437
xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility	429	xStatus Video Output Connector [n] Resolution Height	437
Video ステータス	429	xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate	437
xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition	429	xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width	438
xStatus Video Input Connector [n] Connected	429	xStatus Video Output Connector [n] Type	438
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	430	xStatus Video Output Monitor [n] Backlight	438
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	430	xStatus Video Output Monitor [n] Brightness	438
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	430	xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Blue	439
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	430	xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Green	439
xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	431	xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Red	439
xStatus Video Input Connector [n] SignalState	431	xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected	439
xStatus Video Input Connector [n] SourceId	431	xStatus Video Output Monitor [n] Contrast	440
xStatus Video Input Connector [n] Type	431	xStatus Video Output Monitor [n] CSCYUV	440
xStatus Video Input MainVideoMute	432	xStatus Video Output Monitor [n] FirmwareVersion	440
xStatus Video Input MainVideoSource	432	xStatus Video Output Monitor [n] Gamma	440
xStatus Video Input Source [n] ConnectorId	432	xStatus Video Output Monitor [n] ModelName	441
xStatus Video Input Source [n] FormatStatus	432	xStatus Video Output Monitor [n] Position	441
xStatus Video Input Source [n] FormatType	433	xStatus Video Output Monitor [n] SerialNumber	441
xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId	433	xStatus Video Output Monitor [n] Sharpness	441
xStatus Video Input Source [n] Resolution Height	433	xStatus Video Output Monitor [n] Temperature	442
xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate	433	xStatus Video Presentation PIPPosition	442
xStatus Video Input Source [n] Resolution Width	434	xStatus Video Selfview FullscreenMode	442
xStatus Video Layout LayoutFamily Local	434	xStatus Video Selfview Mode	442
xStatus Video Layout LayoutFamily Remote	434	xStatus Video Selfview OnMonitorRole	443
xStatus Video Monitors	434	xStatus Video Selfview PIPPosition	443



WebEngine ステータス	443
xStatus WebEngine Features Signage	443
xStatus WebEngine Features WebEngine	443
Webex ステータス	444
xStatus Webex status	444

Audio ステータス

xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus

適用対象: DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle

適用対象: DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセットが、オンフックか、オフフックかを示します。

返される結果の値スペース:

OnHook/OffHook

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle
*s OnHook
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status

適用対象: DX70/DX80

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アナログ ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。(DX70 のみ)

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone

適用対象: DX70/DX80

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アナログ ヘッドセットに内蔵マイクがあるかどうかを示します。(DX70 のみ)

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone
*s True
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus

適用対象: DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description

適用対象: DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

接続された USB ヘッドセットに関する説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description
*s HeadsetUSB Description: "Description of USB headset."
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer

適用対象: DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ヘッドセットの製造者をリストします。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer
*s HeadsetUSB Manufacturer: "CompanyName"
** end
```

xStatus Audio Input Connectors ARC [n] EcReferenceDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

マイク入力として ARC 入力を使用できるデバイスのマイク パスに対して各ラウドスピーカーで検出された遅延を返します。結果はミリ秒単位です。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio Input Connectors ARC 1 EcReferenceDelay
*s Audio Input Connectors ARC 1 EcReferenceDelay: 0
** end
```

xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] EcReferenceDelay

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

マイク入力として HDMI 入力を使用できるデバイスのマイク パスに対して各ラウドスピーカーで検出された遅延を返します。結果はミリ秒単位です。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio Input Connectors HDMI 1 EcReferenceDelay
*s Audio Input Connectors HDMI 1 EcReferenceDelay: 0
** end
```

xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HDMI 入力コネクタのオーディオ チャンネルがミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors HDMI 1 Mute
*s Audio Input Connectors HDMI 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Line [n] Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

回線入力コネクタの音声ミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Line 1 Mute
*s Audio Input Connectors Line 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus

適用対象: *SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

マイクがマイク入力コネクタで検出されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected/Unknown

Connected: *マイクが接続されています。*

NotConnected: *何も接続されていません。*

Unknown: *ビデオ会議デバイスはマイクが接続されているかどうかを検出できません。*

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone ConnectionStatus
*s Audio Input Connectors Microphone 1 ConnectionStatus: NotConnected
*s Audio Input Connectors Microphone 2 ConnectionStatus: Connected
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

マイク パスに対して各ラウドスピーカーで検出された遅延を返します。結果はミリ秒単位です。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay
*s Audio Input Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay: 120
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

マイク入力コネクタの音声ミュートされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone 1 Mute
*s Audio Input Connectors Microphone 1 Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Input KeyClick Attenuate

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが自動的にクリック ノイズを減衰させるかどうかを示します。たとえば、キーボードのタイピングによって発生したマイク信号が検出された場合などです。

返される結果の値スペース:

False/True

True: マイクの信号の減衰はオンです。

False: マイクの信号の減衰はオフです。

例:

```
xStatus Audio Input KeyClick Attenuate
*s Audio Input KeyClick Attenuate: True
** end
```

xStatus Audio Input KeyClick Detected

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが検出する減衰の音声信号の種類を示します。キーボードのクリック ノイズが検出された場合、デバイスによりマイクの信号が減衰されます。音声を検出された場合、または無音の場合、マイクの信号は減衰されません。

返される結果の値スペース:

KeyClick/Voice/Silence

KeyClick: キーのクリックのみが検出されます。

Voice: 音声を検出されています。

Silence: オーディオ信号が検出されませんでした。

例:

```
xStatus Audio Input KeyClick Detected
*s Audio Input KeyClick Detected: KeyClick
** end
```

xStatus Audio Input KeyClick Enabled

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

減衰のための、マイク信号の検出が有効になっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: マイクの信号の検出はオンです。

False: マイクの信号の検出はオフです。

例:

```
xStatus Audio Input KeyClick Enabled
*s Audio Input KeyClick Enabled: On
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力上の AGC (オート ゲイン コントロール) モードを示します。

xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 AGC
*s Audio Input LocalInput 1 AGC: "On"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Channels

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) のどちらかにミキシングされるかを示します。

xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

1 ~ 2

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Channels
*s Audio Input LocalInput 1 Channels: 1
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力に接続されたコネクタをリストします。

xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

Microphone.1/./Microphone.4/Line.1/Line.2/HDMI.2

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Connector
*s Audio Input LocalInput 1 Connector: "Microphone.1"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このローカル入力においてアコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理がバイパスされるかどうかを示します。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

Off/On

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます。

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Direct
*s Audio Input LocalInput 1 Mute: "Off"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力コネクタのミキシング方法を示します。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 音声が最大のスピーカーのマイクがアクティブになり、他のマイクは著しく減衰されます。

Fixed: 入力コネクタの信号は同等ゲインでミキシングされます。

GainShared: ミキシングの前に、音声が最大のスピーカーに対して正規化されたゲイン ファクタがマイクに提供されます。

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 MixerMode
*s Audio Input LocalInput 1 MixerMode: "Auto"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力のミュート モードを表示します。ローカル入力とは入力コネクタのミキシングです。

xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Mute
*s Audio Input LocalInput 1 Mute: "Off"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Name

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力の名前を表示します。ローカル入力とは入力コネクタのミキシングです。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Name
*s Audio Input LocalInput 1 Name: "Microphone"
** end
```

xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート音声入力の CallId を示します。

xStatus Audio Input RemoteInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

0 ~ 65534

例:

```
xStatus Audio Input RemoteInput 8 CallId
*s Audio Input RemoteInput 8 CallId: 28
** end
```

xStatus Audio Microphones Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

マイクがミュートになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs

適用対象: *CodecPlus CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ARC 出力の遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors ARC 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors ARC 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output Connectors ARC [n] Mode

適用対象: *CodecPlus CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ARC 出力コネクタの音声チャンネルを有効または無効にするかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors ARC 1 Mode
*s Audio Output Connectors ARC 1 Mode: Off
** end
```

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI 出力の遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Line 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] Mode

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI 出力コネクタのオーディオ チャンルが有効になっているか、無効になっているか、またはコネクタが、接続されたビデオ ディスプレイでの音声遅延測定に使用されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off/DelayMeasurement

On: HDMI 出力コネクタのオーディオ チャンルが有効になっています。

Off: HDMI 出力コネクタのオーディオ チャンルが無効になっています。

DelayMeasurement: コネクタは、接続されたビデオディスプレイでオーディオの遅延を測定するために使用されます。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 Mode
*s Audio Output Connectors HDMI 1 Mode: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

内部ラウド スピーカの遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMS
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMs: 0
** end
```

xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode

適用対象: *RoomKitMini CodecPlus CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスの統合スピーカが有効か無効かを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

オーディオ出力回線が接続されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected/Unknown

Connected: デバイスが接続されています。

NotConnected: 何も接続されていません。

Unknown: デバイスは何が接続されているかを検出できません。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus
*s Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus: Connected
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Line [n] DelayMs

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

遅延をミリ秒単位で表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (0 ~ 290)

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Line 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力にリモート入力信号 (遠端から) を自動的に追加するかどうかを示します。Audio LocalOutput ConnectInput コマンドを使用して、いつでも手動で追加できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: コール時に、リモート入力信号がすべてのローカル出力に自動的に追加されます。

Off: リモート入力信号はローカル出力に自動で追加されません。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 AutoconnectRemote
*s Audio Output LocalOutput 4 AutoconnectRemote: "On"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) のどちらかにミキシングされるかを示します。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

1 ~ 2

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Channels
*s Audio Output LocalOutput 4 Channels: "1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力に接続されたコネクタをリストします。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Connector
*s Audio Output LocalOutput 4 Connector: "Line.1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力に接続している場合に、入力のゲイン (dB) を示します。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力と入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

-54 ~ 15

範囲は -54 dB ~ 15 dB で、-54 dB の場合はオフと同じです。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Input 2 Gain
*s Audio Output LocalOutput 4 Input 2 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力のラウドスピーカー モードを示します。ローカル出力に接続された 1 つ以上の出力コネクタをラウドスピーカーに接続する場合、この信号がエコー キャンセラの基準信号となるため、ラウドスピーカーを On に設定する必要があります。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker
*s Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker: "Off"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力の名前を表示します。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Name
*s Audio Output LocalOutput 4 Name: "MyLocalOutput1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この出力の音量がどこから制御されているかを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

Off: この出力の音量はグローバル オーディオ制御によって制御されます。

On: この出力の音量は、xCommand Audio Volume Set で定義されたレベルです。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 5 VolumeControlled
*s Audio Output LocalOutput 5 VolumeControlled: "On"
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定されたオーディオ遅延を示します。この遅延は HDMI オーディオ リターン チャネルを介して測定され、オーディオとビデオとの間の適切なリップ同期を確保します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiArcDelay: 85
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定されたオーディオ遅延を示します。この遅延は HDMI 出力から、いずれかのマイクまで測定されます。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiDelay:134
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiCecDelay

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの報告されたビデオ遅延を示します。この遅延は、Consumer Electronics Control (CEC) プロトコルを介して報告され、オーディオとビデオとの間の適切なリップ同期を確保します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay
*s Audio Output ReportedHdmiCecDelay:39
** end
```

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] CallId

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート音声出力の CallId を示します。

xStatus Audio Output RemoteOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

1 ~ 65534

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 9 CallId
*s Audio Output RemoteOutput 9 CallId: 28
** end
```

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート出力に接続されている入力ゲイン (dB) を示します。範囲は -54 dB ~ 15 dB で、-54 dB の場合はオフと同じです。

xStatus Audio Output RemoteOutput コマンドを使用して、出力と入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

-54 ~ 15

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain
*s Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio SelectedDevice

適用対象: *DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

選択されているオーディオ デバイスを示します。Bluetooth のサポート対象は DX80 と DX70 だけです。DX70 のみがアナログ ヘッドセットをサポートしています。

返される結果の値スペース:

Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HeadsetBluetooth/HandsetUSB []

例:

```
xStatus Audio SelectedDevice
*s Audio SelectedDevice: Internal
** end
```

xStatus Audio Volume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

スピーカー出力の音量レベル (dB) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 100

例:

```
xStatus Audio Volume
*s Audio Volume: 70
** end
```

xStatus Audio VolumeHandsetUsb

適用対象: *DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセット音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHandsetUsb
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog

適用対象: *DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アナログ ヘッドセットの音量レベルを示します (DX70 のみ)。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetUsb

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ヘッドセット音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetUsb
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeInternal

適用対象: *DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

内部音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeInternal
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeMute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスの音量がミュートに設定されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus Audio VolumeMute
*s Audio VolumeMute: Off
** end
```

Bookings ステータス

xStatus Bookings Current Id

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

継続中の予約イベントがある場合、その ID。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Bookings Current Id
*s Bookings Current Id: "123"
** end
```

Call ステータス

xStatus Call [n] AnswerState

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールが応答されたのか、無視されたのか、デバイスによって自動的に応答されたのかを示します。

返される結果の値スペース:

Unanswered/Ignored/Autoanswered/Answered

例:

```
xStatus Call AnswerState
*s Call 5 AnswerState: Answered
** end
```

xStatus Call [n] AttendedTransferFrom

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在のコールの転送先のコールの CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 1 AttendedTransferFrom
*s Call 1 AttendedTransferFrom: 1234
** end
```

xStatus Call [n] CallbackNumber

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールバック用に、着信または発信コールのリモート (遠端) 番号または URI とコール プロトコルを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 CallbackNumber
*s Call 27 CallbackNumber: "h323:firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] CallType

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのコール タイプを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Video/Audio/AudioCanEscalate/ForwardAllCall/Unknown

例:

```
xStatus Call 27 CallType
*s Call 27 CallType: Video
** end
```

xStatus Call [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの接続先を示します。

返される結果の値スペース:

Endpoint/MCU

Endpoint:別のデバイスへのポイントツーポイント コールです。

MCU:ネットワーク内のマルチポイント会議ユニット (MCU) へのコール、またはデバイスでホストされているマルチサイト通話です。

例:

```
xStatus Call DeviceType
*s Call 4 DeviceType: Endpoint
** end
```

xStatus Call [n] Direction

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールを開始する方向を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Incoming/Outgoing

例:

```
xStatus Call 27 Direction
*s Call 27 Direction: Outgoing
** end
```

xStatus Call [n] DisplayName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのリモート (遠端) 参加者の名前を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 DisplayName
*s Call 27 DisplayName: "firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] Duration

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの継続時間を示します (秒単位)。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 Duration
*s Call 27 Duration: 2354
** end
```

xStatus Call [n] Encryption Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの暗号化タイプを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できません。

返される結果の値スペース:

None/Aes-128

例:

```
xStatus Call 27 Encryption Type
*s Call 27 Encryption Type: "None"
** end
```

xStatus Call [n] FacilityServiceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ファシリティ サービスを呼び出すと、ファシリティ サービス ID が表示されます。それ以外の場合、値 0 が返されます。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Call FacilityServiceId
*s Call 3 FacilityServiceId: 1
** end
```

xStatus Call [n] HoldReason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在の発信コールが保留されている理由を示します。

返される結果の値スペース:

Conference/Transfer/None

Conference: コールが電話会議にマージされている間、保留になっています。

Transfer: コールが転送されている間、保留になっています。

None: その他のすべての事例。

例:

```
xStatus Call 2 HoldReason
*s Call 2 HoldReason: None
** end
```

xStatus Call [n] Ice

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ICE は、ICE ネゴシエーションによって直接ネットワークパスが見つかった場合に、コールの両サイドを有効にして、メディア (ビデオと音声) を相互に直接送信する機能です。このステータスは、ネゴシエーションの結果を反映しています。

返される結果の値スペース:

Disabled/Passed/Failed

Disable: ICE は無効です。

Passed: 直接ネットワーク パスが見つかり、使用できるようになります。

Failed: 直接ネットワーク パスが見つかりませんでした。メディアが中間コンポーネントを介して流れてくる可能性があります。

例:

```
xStatus Call 2 Ice
*s Call 2 Ice: Passed
** end
```

xStatus Call [n] PlacedOnHold

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの保留中ステータスを表示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Call 27 PlacedOnHold
*s Call 27 PlacedOnHold: False
** end
```

xStatus Call [n] Protocol

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのコール プロトコルを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

H320/H323/SIP/Spark/Unknown

例:

```
xStatus Call 27 Protocol
*s Call 27 Protocol: "h323"
** end
```

xStatus Call [n] ReceiveCallRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コールの受信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 ReceiveCallRate
*s Call 27 ReceiveCallRate: 4000
** end
```

xStatus Call [n] RemoteNumber

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのリモート (遠端) 番号または URI を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 RemoteNumber
*s Call 27 RemoteNumber: "5585232"
** end
```

xStatus Call [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールのステータスを表示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Idle/Dialling/Ringing/Connecting/Connected/Disconnecting/OnHold/EarlyMedia/Preserved/RemotePreserved

例:

```
xStatus Call 27 Status
*s Call 27 Status: Connected
** end
```

xStatus Call [n] TransmitCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コールの送信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 TransmitCallRate
*s Call 27 TransmitCallRate: 768
** end
```

Cameras ステータス

xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラ機能 (ptzf = パン, 傾斜, ズーム, 焦点) を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Capabilities Options
*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Connected
*s Camera 1 Connected: True
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの接続が検出されたコネクタ番号を示します。接続が検出されない場合は 0 を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 DetectedConnector
*s Cameras Camera 1 DetectedConnector: 1
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Flip

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

Flip モード (垂直反転) では、イメージの上下を逆にできます。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Flip
*s Camera 1 Flip: "Off"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Framerate

適用対象: *RoomKit RoomKitMini Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

xStatus Cameras Camera [n] HardwareID

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラのハードウェア ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 HardwareID
*s Camera 1 HardwareID: "50000000"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

カメラが部屋の明るさをどのように認識しているかを示します。

返される結果の値スペース:

Unknown/Good/Dark/Backlight

Unknown: カメラがオフになっているか、この機能をサポートしていません。

Good: 明るさは適切なレベルです。

Dark: 暗すぎます。

Backlight: 画像に高レベルの逆光があります。

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 LightingConditions
*s Camera 1 LightingConditions: Good
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] MacAddress

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 MacAddress
*s Camera 1 MacAddress: ""
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの製造業者を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Manufacturer
*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Model

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラのモデルを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Model
*s Camera 1 Model: "Precision 40"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Focus

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在の焦点位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

0 ~ 65535

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Focus
*s Camera 1 Position Focus: 4597
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Lens

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のレンズの位置を示します。

返される結果の値スペース:

Default/Wide/Center/Left/Right

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Lens
*s Cameras Camera 1 Position Lens: Center
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Pan

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のパン (左右移動) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

-10000..10000

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Pan
*s Camera 1 Position Pan: 412
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Roll

適用対象: *CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラビューの現在の回転 (ロール) を表示します。観測された画像は、値が正数の場合反時計回りに回転します。また、値が負数の場合は時計回りに回転します。単位は 1/100 度で、値 300 は 3 度に対応しています。

返される結果の値スペース:

-300..300

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Roll
*s Camera 1 Position Roll: 20
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のチルト (上下移動) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

-2500..2500

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Tilt
*s Camera 1 Position Tilt: 106
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のズーム (拡大縮小) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

0..11800

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Zoom
*s Camera 1 Position Zoom: 828
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラのシリアル番号を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SerialNumber
*s Camera 1 SerialNumber: "B1AB26B00010"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラのソフトウェア ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SoftwareID
*s Camera 1 SoftwareID: "S01718-4.0FINAL [ID:40063] 2014-10-20"
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack Availability

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プレゼンター トラッキングが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/Unavailable/Available

Off: プレゼンター トラッキングは無効です。

Unavailable: プレゼンター トラッキングが正しく設定されていない、カメラが切断されている、またはマルチサイトまたはマルチストリーム コールが進行中です。

Available: プレゼンター トラッキングが利用可能です。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Availability
*s Cameras PresenterTrack Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プレゼンター トラッキングが現在使用中かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected
*s Cameras PresenterTrack PresenterDetected: False
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack Status

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プレゼンター トラッキングの現在の状態を返します。

返される結果の値スペース:

Off/Follow/Diagnostic/Background/Setup/Persistent

Off: 実行されていません。

Follow: トラッキングが進行中で正常に動作しています。

Diagnostics: 診断モードです。このモードは、トラブルシューティングに使用されます。

Background: PresenterTrack カメラがメイン カメラとして選択されていないときに、アルゴリズムが実行されています。これはブリーフィング ルームの設定で、異なるカメラ間の自動切り替えを有効化するために使用されます。

Setup: SpeakerTrack カメラを設定する Web ウィザードがアクティブです。

Persistent: カメラはアクティブで、メイン カメラとして選択されています。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Status
*s Cameras PresenterTrack Status: Off
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

スピーカー トラッキングをサポートするカメラに接続されているコネクタの番号が表示されます。SpeakerTrack 60 カメラまたは MX700/MX800 のデュアル カメラである場合は、SpeakerTrack アルゴリズムで現在選択されているカメラのコネクタ番号になります。

このステータスは、Room Kit Mini には適用されません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector
*s Cameras SpeakerTrack ActiveConnector: 1
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Availability

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

この製品には、スピーカー トラッキング (ベスト オーバービューも含まれます) がサポートされているか、ベスト オーバービュー機能のみが含まれています。このステータスは、その機能が使用可能かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Off/Unavailable/Available

Off: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューは、コマンド xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode: Off でオフになっています。

Unavailable: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューのためのハードウェアが見つかりません。

Available: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューのハードウェアが検出され、ユーザ インターフェイスからこの機能を有効または無効にすることができます。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Availability
*s Cameras SpeakerTrack Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Status

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

この製品には、スピーカー トラッキング (ベスト オーバービューも含みます) がサポートされているか、ベスト オーバービュー機能のみが含まれています。このステータスは、その機能がアクティブかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

Active: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューがアクティブです。

Inactive: スピーカー トラッキングとベスト オーバービューが非アクティブです。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Status
*s Cameras SpeakerTrack Status: Active
** end
```

Capabilities ステータス

xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

同時アクティブ コールの最大数を示します。保留/転送に設定されたコールはアクティブとしてカウントされません。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls
*s Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

サポートされる同時音声コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls
*s Capabilities Conference MaxAudioCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

同時コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxCalls
*s Capabilities Conference MaxCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

サポートされる同時ビデオ コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls
*s Capabilities Conference MaxVideoCalls: 3
** end
```

Conference ステータス

xStatus Conference ActiveSpeaker CallId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在のアクティブなスピーカーの CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference ActiveSpeaker CallId
*s Conference ActiveSpeaker CallId: 3
** end
```

xStatus Conference Call [n] AuthenticationRequest

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

このステータスは、Cisco Webex に登録されているデバイスのみ関連します。このステータスに「なし」以外の別の値がある場合、デバイスは認証応答を待機します。Conference Call AuthenticationResponse コマンドを使用して応答します。

返される結果の値スペース:

None/HostPinOrGuest/HostPinOrGuestPin/PanelistPin

None: デバイスは認証応答を待機していません (認証要求なし)。

HostPinOrGuest: ホスト PIN を提供するか、または PIN なしでゲストとして参加するかのいずれかが必要です。

HostPinOrGuestPin: ホスト PIN またはゲスト PIN のいずれかを指定する必要があります。

PanelistPin: Event Center イベントをパネリストとして結合するためのパネリスト PIN を提供する必要があります。

例:

```
xStatus Conference Call 2 AuthenticationRequest
*s Conference Call 2 AuthenticationRequest: None
** end
```

xStatus Conference Call [n] BookingId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の予約 ID を示します (割り当てられている場合)。予約 ID は、コールや会議を簡単に識別するために使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 BookingId
*s Conference Call 2 BookingId: "MyConference"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このリリースでは適用外です。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Conference Call Capabilities FarendMessage Mode
*s Conference Call 4 Capabilities FarendMessage Mode: Off
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトの入力ソースを制御する権限があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: 遠端入力ソースの制御は許可されています。

Off: 遠端入力ソースの制御は許可されていません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Mode
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Mode: On
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトで入力ソースに使用可能なプリセットの数を示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 15

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets: 15
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの数を示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 5

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources: 5
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの名前を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name: "Main camera"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端のサイトに接続できる入力ソースに使用可能なオプションを示します (カメラ用: p=pan, t=tilt, z=zoom, f=focus)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options: "ptzf"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの ID を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId: 6
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトを保留にできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call Capabilities Hold
*s Conference Call 2 Capabilities Hold: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このリリースでは適用外です。

返される結果の値スペース:

Active/Failed/Off

例:

```
xStatus Conference Call 4 Capabilities IxChannel Status
*s Conference Call 4 Capabilities IxChannel Status: Active
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

返される結果の値スペース:

Available/Unavailable

通話の参加者を切断できるかどうかを示します。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantDisconnect
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantDisconnect: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantList

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

返される結果の値スペース:

Available/Unavailable

通話で参加者リストを確認できるかどうかを示します。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantList
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantList: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

返される結果の値スペース:

Available/Unavailable

通話の参加者をミュートまたはミュート解除できるかどうかを示します。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities ParticipantMute
*s Conference Call 2 Capabilities ParticipantMute: Available
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の他の参加者のプレゼンテーション機能をリストします。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Presentation
*s Conference Call 2 Capabilities Presentation: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] EventCenter Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコールは、[練習セッション (Practice Session)] モードが現在使用中であるかどうかを示します。このステータスは、クラウドに登録されているデバイスのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

Normal/PracticeSession

例:

```
xStatus Conference Call 2 EventCenter Mode
*s Conference Call 2 EventCenter Mode: Normal
** end
```

xStatus Conference Call [n] Manufacturer

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトのデバイスの製造業者を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Manufacturer
*s Conference Call 2 Manufacturer: "Cisco"
** end
```

xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の他の参加者の音声ミュート ステータスが表示されます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call 2 MicrophonesMuted
*s Conference Call 2 MicrophonesMuted: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] SoftwareID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトのデバイスで実行中のソフトウェアの ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 SoftwareID
*s Conference Call 2 SoftwareID: "CE8"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Streamed

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議がライブストリームされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Conference Call 2 Streamed
*s Conference Call 2 Streamed: False
** end
```

xStatus Conference DoNotDisturb

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

DoNotDisturb モードがオンにされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

例:

```
xStatus Conference DoNotDisturb
*s Conference DoNotDisturb: Inactive
** end
```

xStatus Conference Line [n] Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが CUCM 上でプライベート回線として設定されているのか、共有電話として設定されているかを示します。

返される結果の値スペース:

Shared/Private

例:

```
xStatus Conference Line Mode
*s Conference Line 1 Mode: Private
** end
```

xStatus Conference Multipoint Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

マルチ ポイント ステータスは、Conference Multipoint Mode の設定と MultiSite オプション キーに依存します。MultiSite オプション キーがないデバイスは、Conference Multipoint Mode の設定に関係なく、マルチ サイト会議をホストすることはできません。

返される結果の値スペース:

CUCMMediaResourceGroupList/MultiSite/Off/Spark

Off: デバイスによる会議への参加者の追加 (直接リモート追加) を許可している MCU をコールする場合、MCU を介してマルチ パーティ会議がセットアップされます。SX10、DX70、DX80 以外のすべての製品は、音声のみの追加デバイスを 1 つ呼び出すことができます。また、MultiSite オプション キーがないデバイスで、Conference Multipoint Mode が MultiSite に設定されている場合は、音声のみの動作に対して「デバイスを 1 つ追加」が適用されます。

MultiSite: Conference Multipoint Mode が MultiSite に設定されている場合は、組み込み MultiSite 機能を使用して、マルチ パーティ会議が設定されます。Conference Multipoint Mode が Auto に設定されている場合、組み込み MultiSite 機能は、他のビデオデバイス呼び出す場合のみマルチ パーティ会議に使用されます。デバイスによる会議への参加者の追加 (直接リモート追加) を許可している MCU をコールする場合、MCU を介してマルチ パーティ会議がセットアップされます。

CUCMMediaResourceGroupList: マルチ パーティ会議は、CUCM で設定された会議ブリッジ (アドホック会議) によってホストされます。

Spark: マルチ パーティ会議は、Cisco Webex クラウドサービスを介してセットアップされます。

例:

```
xStatus Conference Multipoint Mode
*s Conference Multipoint Mode: "CUCMMediaResourceGroupList"
** end
```

xStatus Conference Presentation CallId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

プレゼンテーションを送信するデバイスの ID を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Presentation CallId
*s Conference Presentation CallId: 0
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

プレゼンテーション ソースがローカルで共有されているか、リモート参加者と共有されているかを示します。それぞれが独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションを存在させることができます。

返される結果の値スペース:

LocalOnly/LocalRemote/Off

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode
*s Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode: LocalOnly
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] Source

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

現在のプレゼンテーションの SourceId を示します。それぞれが独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションを存在させることができます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 Source
*s Conference Presentation LocalInstance 1 Source: 1
** end
```

xStatus Conference Presentation Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

セカンダリ ビデオ ストリームのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

Off/Sending/Receiving

例:

```
xStatus Conference Presentation Mode
*s Conference Presentation Mode: Off
** end
```

xStatus Conference SpeakerLock CallId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議でプロミネント スピーカーとしてロックされた参加者の CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock CallId
*s Conference SpeakerLock CallId: 0
** end
```

xStatus Conference SpeakerLock Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スピーカー ロックが有効かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock Mode
*s Conference SpeakerLock Mode: Off
** end
```

Diagnostics ステータス

xStatus Diagnostics Message [n] Description

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在の診断アラートに関する説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Diagnostics Message Description
*s DiagnosticsResult Message 1 Description: "IP configuration incomplete"
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] Level

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

診断メッセージの重要性レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

Error/Warning/Critical

Error: デバイ스에エラーがあります。デバイスは引き続き使用できますが、一部制限される可能性があります。

Warning: 問題が検出され、より具体的なレポートに問題の詳細が示されます。

Critical: 重大な警告レベルです。デバイスは使用できません。

例:

```
xStatus Diagnostics Message 4 Level
*s Diagnostics Message 4 Level: Warning
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] References

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

診断アラートに関する追加情報 (使用可能な場合)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Diagnostics Message 10 References
*s Diagnostics Message 10 References: "delay=190"
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスでの最新の診断結果に関する情報を表示します。

返される結果の値スペース:

ANATOnVCS/AbnormalCallTermination/AudioInternalSpeakerDisabled/
AudioPairingInterference/AudioPairingNoise/AudioPairingRate/
AudioPairingSNR/AudioPairingTokenDecode/CAPFOperationState/
CTLInstallation/CUCMVendorConfigurationFile/CallProtocolDualStackConfig/
CallProtocolIPStackPlatformCompatibility/CallProtocolVcsProvisioningCompatibility/
CameraDetected/CameraId/CameraPairing/CameraSerial/CameraSoftwareVersion/
CameraStatus/CamerasDetected/CaptivePortalDetected/CertificateExpiry/
CompanionModelIncompatibilityLocal/CompanionModelIncompatibilityRemote/
ConfigurationFile/ContactInfoMismatch/ControlSystemConnection/
DefaultCallProtocolRegistered/ECReferenceDelay/EmbeddedWebViewFailedToLoad/
EmbeddedWebViewTerminatedUnexpectedly/EthernetDuplexMatches/FanStatus/
FirstTimeWizardNotCompleted/H320GatewayStatus/H323GatekeeperStatus/
HasActiveCallProtocol/HasValidReleaseKey/HdmiCecModeNoSound/HTTPFeedbackFailed/
HTTPSMODESecurity/IPv4Assignment/IPv6Assignment/IPv6Mtu/ISDNLinkCompatibility/
ISDNLinkIpStack/ITLInstallation/InvalidSIPTransportConfig/IpCameraStatus/
LockDown/MacrosRuntimeStatus/MediaBlockingDetected/MediaPortRangeNegative/
MediaPortRangeOdd/MediaPortRangeOverlap/MediaPortRangeTooSmall/
MediaPortRangeValueSpace/MicrophoneReinforcement/MicrophonesConnected/
MonitorDelay/NTPStatus/NetLinkStatus/NetSpeedAutoNegotiated/NetworkQuality/
OSDVideoOutput/OutputConnectorLocations/PeripheralSoftwareVersion/PlatformSanity/
PresentationSourceSelection/PresenterTrack/ProvisioningDeveloperOptions/
ProvisioningModeAndStatus/ProvisioningStatus/RoomControl/SIPEncryption/
SIPListenPortAndOutboundMode/SIPListenPortAndRegistration/SIPProfileRegistration/
SIPProfileTypeSelectedVideoInputSourceConnected/SignageFailedToLoad/
SignageTerminatedUnexpectedly/SiplceAndAnatConflict/SipOrH323ButNotBothEnabled/
SoftwareUpgrade/SoftwareUpgradeKeepsFailing/SpeakerTrackEthernetConnection/
SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly/SpeakerTrackMicrophoneConnection/
SpeakerTrackVideoInputs/TCPMediaFallback/TLSVerifyRequiredCerts/
TemperatureCheck/TouchPanelConnection/TurnBandwidth/UltrasoundConfigSettings/
UltrasoundSpeakerAvailability/ValidPasswords/VideoFromInternalCamera/
VideoInputSignalQuality/VideoInputStability/VideoPortRangeNegative/VideoPortRangeOdd/
VideoPortRangeTooSmall/VideoPortRangeValueSpace/MicrophoneOverloaded/
WebexActivationRequired/WebexConnectivity/WebexOffline/WifiCARequired/
PIILoggingMode/WebexAudioProximityConnectivity/WebexLyraConnectivity/
WebexNotificationConnectivity

例:

```
xStatus Diagnostics Message Type
*s Diagnostics Message 1 Type: CamerasDetected
** end
```

GPIO ステータス

xStatus GPIO Pin [n] State

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

4 つの GPIO ピンのそれぞれの現在の状態を示します。

返される結果の値スペース:

High/Low

High: +12V, デフォルト状態。

Low: 0V, 有効化時。

例:

```
xStatus GPIO Pin 1 State
*s GPIO Pin 1 State: High
** end
```

H320 ステータス

xStatus H320 Gateway Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスがペアリングされている場合, ISDN ゲートウェイの IPv4 アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H320 Gateway Address
*s H320 Gateway Address: ""
** end
```

xStatus H320 Gateway Id

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスが ISDN リンクとペアリングしている場合, H320 ゲートウェイの一意の ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H320 Gateway Id
*s H320 Gateway Id: "00:50:60:0B:EF:11"
** end
```

xStatus H320 Gateway Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスが ISDN リンクとペアリングしている場合, ISDN ゲートウェイが設定されているコールのタイプに関する情報を返します。

返される結果の値スペース:

BRI/External/G703/PRI/Unknown

例:

```
xStatus H320 Gateway Mode
*s H320 Gateway Mode: Unknown
** end
```

xStatus H320 Gateway Number

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスがペアリングされている場合, ISDN ゲートウェイの IPv6 アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H320 Gateway Number
*s H320 Gateway Number: ""
** end
```

xStatus H320 Gateway Reason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ゲートウェイの登録が拒否された理由を示します。ビデオ会議デバイスが ISDN リンクに接続されている場合にのみ使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H320 Gateway Reason
*s H320 Gateway Reason: ""
** end
```

xStatus H320 Gateway Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ会議デバイスが ISDN リンクとペアリングしている場合、H320 ゲートウェイの状態を返します。

返される結果の値スペース:

Error/Inactive/OK/OKWithWarning/Warning/NoConnection

例:

```
xStatus H320 Gateway status
*s H320 Gateway Status: Error
** end
```

H323 ステータス

xStatus H323 Gatekeeper Address

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが登録されているゲートキーパーの IP アドレスが表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Address
*s H323 Gatekeeper Address: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Port

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ゲートキーパーに接続するときに使用されるポートを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Port
*s H323 Gatekeeper Port: 1719
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Reason

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

登録が拒否された理由を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Reason
*s H323 Gatekeeper Reason: ""
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Status

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ゲートキーパー登録ステータスが表示されます。

返される結果の値スペース:

Required/Discovering/Discovered/Authenticating/Authenticated/Registering/Registered/Inactive/Rejected

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Status
*s H323 Gatekeeper Status: Registered
** end
```

xStatus H323 Mode Reason

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

H.323 の設定と xStatus H323 Mode Status との間に競合があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

“”: H.323 がオンに設定されており, H.323 モード設定と他のデバイス設定の間に競合は発生していません。

"SIP is enabled": 2 つを同時にサポートしないデバイスで H.323 モードが On に設定され, SIP が有効になっている場合。

"Not available": デバイスは H.323 をサポートしていません。

例:

```
xStatus H323 Mode Reason
*s H323 Mode Reason: ""
** end
```

xStatus H323 Mode Status

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

H.323 登録のステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Enabled/Disabled

Enabled: 登録はイネーブルです。

Disabled: SIP が有効になっているため, 登録は無効です。

例:

```
xStatus H323 Mode Status
*s H323 Mode Status: "Disabled"
** end
```

HttpFeedback ステータス

xStatus HttpFeedback [n] Expression [n]

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバからのフィードバックを示します。HTTP フィードバックを要求するサーバのためのスロットは最大 4 個、各 URL の表現式は最大 15 個まで使用できます。詳細については、xCommand HttpFeedback コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

xStatus HttpFeedback [n] Format

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバからの HTTP Feedback フィードバックのフォーマットを表示します。

返される結果の値スペース:

XML/JSON

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Format
*s HttpFeedback 1 Format: XML
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバに送信されたフィードバックの状態を示します。

返される結果の値スペース:

OK/Failed

OK: フィードバックが正常に送信されたことを示します。

Failed: フィードバックが正常に送信されていないことを示します。

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Status
*s HttpFeedback 1 Status: OK
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバの URL (ユニフォーム リソース ロケータ) を示します。URL で指定される、最大 3 台の HTTP サーバが存在する場合があります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 URL
*s HttpFeedback 1 URL: "http://tms.company.com/tms/public/feedback/code.aspx"
** end
```

MediaChannels ステータス

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信オーディオ チャンネルの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels: 1
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信音声チャンネルのロールを表示します。

返される結果の値スペース:

Main/Presentation

Main:メイン ビデオからの音声に着信または発信する音声チャンネルに存在します。

Presentation:プレゼンテーションからの音声に着信または発信する音声チャンネルに存在します。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio ChannelRole
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio ChannelRole: Main
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信オーディオの音声ミュートの状態。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute: False
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信オーディオのオーディオ アルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

AACLD/G711A/G711Mu/G722/G7221/G7221C/G723_1/G728/G729/G729A/G729AB/Off/Opus

AACLD: AAC-LD は MPEG-4 低遅延オーディオコーデック音声圧縮形式です。

G711A: G.711 A-law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G711Mu: G.711 μ -law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G722: G.722 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221: G.722.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221C: G.722.1 Annex C アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G723_1: G.723.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G728: G.728 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729: G.729 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729A: G.729 Annex A アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729AB: G.729 Annex A および B アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

Off: オーディオなし。

Opus: Opus は著作権使用料無料のオーディオ圧縮用 IETF 標準基準です。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol: AACLD
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

通話の方向を表示します。

返される結果の値スペース:

Incoming/Outgoing

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction: Incoming
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信コールまたは発信コールのオーディオまたはビデオの暗号化の状態を表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption: On
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信チャネルまたは発信チャネルのオーディオ、ビデオ、データのバイト数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Bytes
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Bytes: 496640
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信チャネルまたは発信チャネルのオーディオ、ビデオ、データの帯域幅を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat ChannelRate
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat ChannelRate: 128000
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

RFC 3550 で指定されている、着信または発信チャネルでの現時点のオーディオ、ビデオ、またはデータのジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Jitter
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Jitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または送信チャネルで最後のインターバル中に失われたオーディオ、ビデオ、またはデータのパケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または送信チャンネルで最後のインターバル中に受け取ったオーディオ、ビデオ、またはデータのバケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived: 289
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信チャンネルで失われたオーディオ、ビデオ、またはデータのバケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Loss
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Loss: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

最後のインターバル (約 5 秒) で測定されたオーディオ、ビデオ、またはデータの最大ジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat MaxJitter
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat MaxJitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信チャンネルで受信または送信されたオーディオ、ビデオ、またはデータのバケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Packets
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Packets: 1551
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信オーディオまたはビデオ チャンネル上のアクティブ コントロール参加者の ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId: ""
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信チャンネル上のメディア タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

Audio, Video, Data

Audio: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはオーディオです。

Video: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはビデオです。

Data: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはデータです。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Type
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Type: Audio
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオ チャンネルのロールを表示します。

返される結果の値スペース:

Main/Presentation

Main: メイン ビデオが着信または発信ビデオ チャンネルに存在します。

Presentation: プレゼンテーションが着信または発信ビデオ チャンネルに存在します。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole: Main
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオ チャンネルのフレーム レートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate: 30
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオ チャンネルのビデオ アルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

H261/H263/H263p/H263pp/H264/HEVC/JPEG/MP4V/Off
H261:H.261 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。
H263:H.263 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。
H263p:H263p (H.263+) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。
H263pp:H263pp (H.263++) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。
H264:H.264 アルゴリズム (MPEG-4 AVC) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。
HEVC:HEVC (H.265) アルゴリズム (MPEG-H Part 2) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。
JPEG:JPEG アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ISO/IEC 標準規格です。
MP4V:MP4V フォーマットはビデオ圧縮に関する ISO/IEC ファイル形式です。
Off:ビデオなし。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol: H264
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオの幅 (X 方向の解像度) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX: 1920
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオの幅 (Y 方向の解像度) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY: 1080
** end
```

Network ステータス

xStatus Network [n] CDP Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

受信デバイスと送信デバイスの両方の最初のネットワーク アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Address
*s Network 1 CDP Address: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Capabilities

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイス タイプの形式でスイッチの機能を示します。詳細については、CDP プロトコルのマニュアルを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Capabilities
*s Network 1 CDP Capabilities: "0x0029"
** end
```

xStatus Network [n] CDP DeviceId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

文字列の形式でスイッチの名前を識別します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP DeviceId
*s Network 1 CDP DeviceId: "123456.company.com"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Duplex

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

CDP ブロードキャスト インターフェイスのステータス (デュプレックス設定) を示します。ネットワーク オペレータが、隣接するネットワーク要素間の接続の問題を診断するときに使用します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Duplex
*s Network 1 CDP Duplex: "Full"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Platform

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスに接続されたスイッチのハードウェア プラットフォーム名を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Platform
*s Network 1 CDP Platform: "cisco WS-C3750X-48P"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PortID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スイッチが使用する、デバイスの接続先のポートの ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PortID
*s Network 1 CDP PortID: "GigabitEthernet1/0/23"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスの接続先のスイッチの設定と監視に使用される管理アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PrimaryMgmtAddress
*s Network 1 CDP PrimaryMgmtAddress: "10.1.1.2"
** end
```

xStatus Network [n] CDP SysName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスの接続先のスイッチで設定された SysName を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysName
*s Network 1 CDP SysName: ""
** end
```

xStatus Network [n] CDP SysObjectID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスの接続先のスイッチで設定された SysObjectID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysObjectID
*s Network 1 CDP SysObjectID: ""
** end
```

xStatus Network [n] CDP Version

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スイッチが実行しているソフトウェア リリース バージョンに関する情報を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 CDP Version
*s Network 1 CDP Version: "Cisco IOS Software, C3560CX Software (C3560CX-
UNIVERSALK9-M), Version 15.2(3)E, RELEASE SOFTWARE (fc4)*Technical Support:
http://www.cisco.com/techsupport*Copyright (c) 1986-2014 by Cisco Systems,
Inc.*Compiled Sun 07-Dec-14 13:15 by prod_rel_team"
** end
```

xStatus Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスからスイッチへの VoIP トラフィックに使用される VLAN を識別します。詳細については、IEEE 802.1Q プロトコルのマニュアルを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VoIPApplianceVlanID
*s Network 1 CDP VoIPApplianceVlanID: "300"
** end
```

xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スイッチの設定済み VTP 管理ドメイン名の文字列を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VTPMgmtDomain
*s Network 1 CDP VTPMgmtDomain: "anyplace"
** end
```

xStatus Network [n] DNS Domain Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ドメイン名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 DNS Domain Name
*s Network 1 DNS Domain Name: "www.example.com www.example.int"
** end
```

xStatus Network [n] DNS Server [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

DNS サーバの IP アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 DNS Server 1. アドレス (Address)
*s Network 1 DNS Server 1 Address: "192.0.2.60"
** end
```

xStatus Network [n] Ethernet MacAddress

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

イーサネット インターフェイスの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet MacAddress
*s Network 1 Ethernet MacAddress: "00:50:60:02:FD:C7"
** end
```

xStatus Network [n] Ethernet Speed

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

イーサネット速度を Mbps 単位で示します。速度は、全二重または半二重場合があります。

返される結果の値スペース:

10half/10full/100half/100full/1000full

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet Speed
*s Network 1 Ethernet Speed: "100full"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このデバイスを一意に識別する IPv4 アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 Address
*s Network 1 IPv4 Address: "192.0.2.149"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 Gateway

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv4 ゲートウェイのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 Gateway
*s Network 1 IPv4 Gateway: "192.0.2.10"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv4 アドレスが属するサブネットを決定するサブネット マスクを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 SubnetMask
*s Network 1 IPv4 SubnetMask: "255.255.255.0"
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このデバイスを一意に識別する IPv6 アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 Address
*s Network 1 IPv6 Address: ""
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 Gateway

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv6 ゲートウェイのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 Gateway
*s Network 1 IPv6 Gateway: ""
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プライマリ ユーザ インターフェイスに表示されている IPv6 リンク ローカル アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 LinkLocalAddress
*s Network 1 IPv6 LinkLocalAddress: "2001:DB8:0000:0000:0000:0000:0000:0001"
** end
```

xStatus Network [n] VLAN Voice VlanId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

フィードバックは、VLAN 音声 ID を示します。

返される結果の値スペース:

Off/1 ~ 4094

Off: VLAN 音声モードは有効になっていません。

1 ~ 4094: VLAN 音声 ID

例:

```
xStatus Network 1 VLAN Voice VlanId
*s Network 1 VLAN Voice VlanId: "Off"
** end
```

NetworkServices ステータス

xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在使用されている NTP サーバのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress
*s NetworkServices NTP CurrentAddress: "123.254.15.121"
** end
```

xStatus NetworkServices NTP Server [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが使用している NTP サーバのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP Address
*s NetworkServices NTP Address: "12.104.193.12 64.104.222.16 144.254.15.121"
** end
```

xStatus NetworkServices NTP Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

NTP サーバと同期しているデバイスのステータスを返します。

返される結果の値スペース:

Discarded/Synced/NotSynced/Unknown/Off

Discarded: NTP の結果が廃棄されました。

Synced: デバイスは NTP サーバと同期しています。

NotSynced: デバイスは NTP サーバと同期していません。

Unknown: 同期の状態が不明です。

Off: NTP サーバとの同期なし。

例:

```
xStatus NetworkServices NTP Status
*s NetworkServices NTP Status: Synced
** end
```

xStatus NetworkServices UPnP Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

UPnP サービスがネットワーク上でデバイスのプレゼンスをアドバタイズしているかどうかを報告します。このアドバタイズによって、Touch コントローラはデバイスを自動的に検出できるようになります。Touch コントローラとペアリングするために、手動でデバイスの IP アドレスを入力する必要はありません。

返される結果の値スペース:

Running/Stopped

Running: デバイスのプレゼンスがネットワーク上でアドバタイズされています。

Stopped: デバイスのプレゼンスがネットワーク上にアドバタイズされていません。

例:

```
xStatus NetworkServices UPnP Status
*s NetworkServices UPnP Status: Running
** end
```

Peripherals ステータス

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続されたデバイスのハードウェア情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo: "1122330-0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続されたデバイスの MAC アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 ID
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 ID: "00:10:20:20:be:21"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続されたデバイスの製品名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Name
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Name: "Cisco TelePresence Touch"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続されている周辺デバイスのシリアル番号 (例: Touch 10) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 SerialNumber
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 SerialNumber: "ABC123..."
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続されたデバイス上で実行しているソフトウェア バージョンの情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo: "TI7.2.0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

ビデオ会議デバイスに現在接続されている周辺装置を表示します。

返される結果の値スペース:

Connected/ResponseTimedOut

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Status
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Status: Connected
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

ビデオ会議デバイスに接続されている周辺装置の種類を表示します。

注: 値スペース Camera には Precision 60 カメラのみが表示されます。

返される結果の値スペース:

Byod/Camera/ControlSystem/InputDevice/ISDNLink/Other/SpeakerTrack/TouchPanel

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Type
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Type: TouchPanel
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続デバイスでアップグレードが失敗したことを示し、理由を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

アップグレードの失敗の理由を示します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason: ""
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

現在接続されている周辺装置での前回のソフトウェア アップグレードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

Downloading/Failed/Installing/InstallationReady/None/Succeeded/Rebooting/Retrying/Aborted/Paused

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus: None
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続デバイスのアップグレード URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列
URL の全文字列を指定します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL: ""
** end
```

Provisioning ステータス

xStatus Provisioning CUCM Customization Checksum

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

カスタマイズ テンプレート (バックアップ ファイル) を使用して、カスタム要素を複数のデバイスにプロビジョニングすることができます。このステータスには、デバイスにアップロードされた前回のカスタマイズ テンプレートのチェックサムが報告されます。XCommand Provisioning Service Fetch コマンドも参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列
カスタマイズ テンプレートのチェックサム。

例:

```
xStatus Provisioning CUCM Customization Checksum
*s Provisioning CUCM Customization Checksum: "633e163e2694b89ce37103b2448c36a..."
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

CUCM 登録デバイスに対してエクステンション モビリティが有効かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled: False
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスに最後にログインしたユーザー ID を返します。CUCM エクステンション モビリティが有効になっており、デバイスで最後にログインしたユーザーを記録するように CUCM が設定されている場合のみ、これが使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId: "User 1"
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エクステンション モビリティに誰かがログインしているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn: False
** end
```

xStatus Provisioning RoomType

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このデバイスに設定されるルーム タイプの設定を指定します。

返される結果の値スペース:

Briefing/Classroom/Standard

Briefing: このデバイスは、ブリーフィング ルームのセットアップを使用しています。

Classroom: このデバイスは、教室のセットアップを使用しています。

Standard: このデバイスはデフォルトのルーム設定を使用しています。

例:

```
xStatus Provisioning RoomType
*s Provisioning RoomType: Briefing
** end
```

xStatus Provisioning Software Current CompletedAt

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在のソフトウェア アップグレードが完了した日時を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt
*s Provisioning Software Current CompletedAt: "2011-06-07T07:20:03Z"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current URL

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在のソフトウェアのアップロード元の URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current URL
*s Provisioning Software Current URL: "http://.../s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current VersionId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在のソフトウェアのバージョン ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current VersionId
*s Provisioning Software Current VersionId: "s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

最新のソフトウェア アップグレードの日時を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange
*s Provisioning Software UpgradeStatus LastChange: "2011-06-07T07:20:03Z"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのシステム メッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message
*s Provisioning Software UpgradeStatus Message: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのフェーズを示します。

返される結果の値スペース:

None/DownloadPending/FormingHierarchy/Downloading/DownloadPaused/DownloadDone/Seeding/AboutToInstallUpgrade/Postponed/PeripheralsReady/UpgradingPeripherals/Installing/InstallingPeripherals

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase
*s Provisioning Software UpgradeStatus Phase: None
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのセッション ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus SessionId: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

None/InProgress/Failed/InstallationFailed/Succeeded

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status
*s Provisioning Software UpgradeStatus Status: None
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェアのアップグレードの必要性の緊急性を示します。

返される結果の値スペース:

Low/Medium/Critical

ソフトウェア アップグレードの緊急性を指定します。

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency
*s Provisioning Software UpgradeStatus Urgency: Low
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在アップロードおよびインストール中の新しいソフトウェアのアップロード元/インストール元 URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL
*s Provisioning Software UpgradeStatus URL: "http://.../s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在アップロードおよびインストール中のソフトウェアのバージョン ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus VersionId: "s52010ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プロビジョニングのステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Failed/AuthenticationFailed/Provisioned/Idle/NeedConfig/ConfigError

Failed: プロビジョニングが失敗しました。

AuthenticationFailed: 認証に失敗しました。

Provisioned: デバイスがプロビジョニングされています。

Idle: プロビジョニングは非アクティブです。

NeedConfig: デバイスを設定する必要があります。

ConfigError: 設定時にエラーが発生しました。

例:

```
xStatus Provisioning Status
*s Provisioning Status: Provisioned
** end
```

Proximity ステータス

xStatus Proximity Services Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスで Proximity サービスが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Deactivated/Disabled

Available: xConfiguration Proximity Mode コマンドによってプロキシミティ モードが有効になっており, xConfiguration Proximity Services コマンドによって 1 つ以上のプロキシミティ サービスが有効になっています。

Deactivated: xCommand Proximity Services Deactivate コマンドによって, プロキシミティ サービスが非アクティブになっています。

Disabled: xConfiguration Proximity Mode コマンドによってプロキシミティ モードが無効になっているか, xConfiguration Proximity Services コマンドによって有効になっているプロキシミティ サービスがありません。

例:

```
xStatus Proximity Services Availability
*s Proximity Services Availability: Disabled
** end
```

RoomAnalytics ステータス

xStatus RoomAnalytics AmbientNoise Level A

適用対象: RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスは、ルーム内にある固定アンビエント ノイズ レベルを見積もるように設定できます (RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode 設定を参照してください)。結果はこのステータスで報告されます。

値は重み付けデシベル値 (dBA) です。値は相対値であるため、絶対値 SPL (音圧レベル) として扱うことはできません。特にデバイスが感度を認識できないサードパーティのマイクには対応していません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

DBA の固定アンビエント ノイズ レベルです。

例:

```
xStatus RoomAnalytics AmbientNoise Level A
*s RoomAnalytics AmbientNoise Level A: 30
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current

適用対象: SX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

顔検知機能を使用することにより、ルーム内の人数を表示します。信頼できる平均値を得るには、少なくとも 2 分間は通話を継続する必要があります。カメラの方をまだ向いたことがない人はカウントされません。顔として検知される可能性のある物体や絵がルームに存在すると、これらがカウントされることがあります。このデバイスでは、ルームに誰がいたかは記録として保持されず、検知された顔の数の平均のみが保持されます。デバイスがスタンバイ状態の場合、またはこの機能が無効になっている場合、返される数値は -1 です。

SX80 および Codec Plus については、このステータス Cisco Quad Camera がある場合にのみ適用されます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current
*s RoomAnalytics PeopleCount Current: 2
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeoplePresence

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ルーム (室内) に人がいるかどうかを表示します。この機能は、超音波に基づいています。このデバイスでは、ルームに誰がいたかは記録として保持されず、ルームに人がいたかどうかのみが保持されます。他のユーザがルームに入ると、ステータスは直ちに更新されます。ルームに人がいなくなってから状態が変更されるまでに、最大 2 分かかることがあります。

返される結果の値スペース:

Yes/No/Unknown

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeoplePresence
*s RoomAnalytics PeoplePresence: No
** end
```

xStatus RoomAnalytics Sound Level A

適用対象: RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode の設定がオンになっている場合、デバイスは、アンビエント ノイズに加えてルーム内のサウンド レベルも測定します。このステータスでは、10 秒ごとに結果が報告されます。

値はデシベル (dBA) での重み付けされた平均のサウンド レベルです。値は相対値であるため、絶対値 SPL (音圧レベル) として扱うことはできません。特にデバイスが感度を認識できないサードパーティのマイクには対応していません。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

DBA の平均サウンド レベル。

例:

```
xStatus RoomAnalytics Sound Level A
*s RoomAnalytics Sound Level A: 33
** end
```



RoomPreset ステータス

xStatus RoomPreset [n] Defined

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

カメラ プリセットがこの位置で保存されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Defined
*s RoomPreset 1 Defined: True
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Description

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

特定のプリセットに設定された名前をリストします。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Description
*s RoomPreset 1 Description: "Zoom in"
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Type

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

カメラ プリセットのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

All/Camera

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Type
*s RoomPreset 1 Type: All
** end
```

Security ステータス

xStatus Security FIPS Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

FIPS モードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Security FIPS Mode
*s Security FIPS Mode: Off
** end
```

xStatus Security Persistency CallHistory

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

通話履歴ロギングが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency CallHistory
*s Security Persistency CallHistory: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency Configurations

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

すべてのデバイス設定が永続モードに設定されているのか、非永続モードに設定されているのかを表示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency Configurations
*s Security Persistency Configurations: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency DHCP

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

DHCP ロギングが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency DHCP
*s Security Persistency DHCP: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency InternalLogging

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

内部ログインが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency InternalLogging
*s Security Persistency InternalLogging: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency LocalPhonebook

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳が永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency LocalPhonebook
*s Security Persistency LocalPhonebook: Persistent
** end
```

SIP ステータス

xStatus SIP AlternateURI Alias [n] URI

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI Alias
*s SIP AlternateURI Alias URI: ""
** end
```

xStatus SIP AlternateURI Primary [n] URI

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI Primary
*s SIP AlternateURI Primary URI: ""
** end
```

xStatus SIP Authentication

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

Digest/Off

Digest: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方式を使用します。

Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP Authentication
*s SIP Authentication: Off
** end
```

xStatus SIP CallForward DisplayName

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

転送されたコールのユーザ インターフェイス上に表示される URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward DisplayName
*s SIP CallForward DisplayName: ""
** end
```

xStatus SIP CallForward Mode

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP のコール転送モードがオンに設定されているのか、オフに設定されているのかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus SIP CallForward Mode
*s SIP CallForward Mode: Off
** end
```

xStatus SIP CallForward URI

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コール転送モードがオンに設定されている場合に着信コールが転送されるアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward URI
*s SIP CallForward URI: "J
** end
```

xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

メールボックス内の新しいメッセージの数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting
*s SIP Mailbox MessagesWaiting: 0
** end
```

xStatus SIP Mailbox URI

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP メールボックスの URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Mailbox URI
*s SIP Mailbox URI: "12345678"
** end
```

xStatus SIP Proxy [n] Address

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが通信する SIP プロキシのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Proxy 1 Address
*s SIP Proxy 1 Address: "192.0.2.50"
** end
```

xStatus SIP Proxy [n] Status

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスと SIP プロキシ サーバ間の通信のステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Active/AuthenticationFailed/DNSFailed/Off/Timeout/UnableTCP/UnableTLS/Unknown

Active: デバイスと SIP プロキシ間の通信はアクティブです。
DNSFailed: DNS サーバとの通信の確立に失敗しました。
Off: デバイスと SIP プロキシ間に通信がありません。
Timeout: SIP プロキシとの通信の確立がタイムアウトになりました。
UnableTCP: デバイスは転送方式として TCP を使用できません。
UnableTLS: デバイスは転送方式として TLS を使用できません。
Unknown: 通信のステータスが不明です。
AuthenticationFailed: ユーザー名またはパスワードが正しくありません。

例:

```
xStatus SIP Proxy 1 Status
*s SIP Proxy 1 Status: Active
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Authentication

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

Digest/Off

Digest: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方式を使用します。

Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Authentication
*s SIP Registration 1 Authentication: Off
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Reason

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP 登録が失敗した理由を説明するメッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Reason
*s SIP Registration 1 Reason: "404 Not Found"
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Status

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバへの登録ステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Deregister/Failed/Inactive/Registered/Registering

Deregister: デバイスは SIP プロキシへの登録を解除中です。

Failed: デバイスは SIP プロキシへの登録に失敗しました。

Inactive: デバイスはどの SIP プロキシにも登録されていません。

Registered: デバイスは SIP プロキシに登録されています。

Registering: デバイスは SIP プロキシへの登録処理中です。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Status
*s SIP Registration 1 Status: Registered
** end
```

xStatus SIP Registration [n] URI

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバへの登録に使用する URI を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Registration 1 URI
*s SIP Registration 1 URI: "firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus SIP Secure

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバとのシグナリングの暗号化ステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus SIP Secure
*s SIP Secure: True
** end
```

xStatus SIP Verified

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが登録を試行するサーバの SSL 証明書が、デバイスの信頼できる CA リストに含まれているかどうかを示します。サーバは通常、Cisco VCS または CUCM です。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: サーバの SIP 証明書は、デバイスの信頼できる CA リストと照合され、有効であると見なされました。また、サーバの完全修飾ドメイン名は有効な証明書と一致しています。

False: SIP 証明書の検証に失敗したか、ドメイン名が一致しなかったため、TLS 接続がセットアップされていません。TLS が使用されない (xConfiguration SIP DefaultTransport が TLS に設定されていない) 場合や、証明書の検証がオフになっている (SIP TlsVerify: Off。この設定にはお使いの製品の Web インターフェイスからアクセス可能) 場合は、ステータスでも False が返されることに注意してください。

例:

```
xStatus SIP Verified
*s SIP Verified: False
** end
```

Standby ステータス

xStatus Standby PowerSave State

適用対象: MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが省電力モードになっているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Active/Deactivating/Unavailable/Inactive/Disabled

Active: 就業時間外のため、デバイスは省電力モードになっています。

Deactivating: デバイスでは、省電力モードからの復帰が進行中です。

Inactive: 就業時間中のため、デバイスは省電力モードになっていません。

Disabled: デバイスは、省電力モードを使用しないように設定されています。

例:

```
xStatus Standby PowerSave State
*s Standby PowerSave State: Inactive
** end
```

xStatus Standby State

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

デバイスがスタンバイ モードになっているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Standby/EnteringStandby/Halfwake/Off

Standby: デバイスはスタンバイ状態です。

EnteringStandby: デバイスはスタンバイ状態に移行中です。

Halfwake: デバイスはスタンバイ状態ですが、モーション (動き) または Proximity ペアリング アプリによって在室が検出されると、ユーザーに応答します。DX70 には適用されません。

Off: デバイスはスタンバイ状態ではありません。

例:

```
xStatus Standby State
*s Standby State: Off
** end
```

SystemUnit ステータス

xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスが異なる互換性レベルのセットを持っています。リリース ノートを参照して、製品に必要な互換性レベルとソフトウェアの最小バージョンを確認してください。

返される結果の値スペース:

文字列

デバイスの互換性レベルを示します。

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel
*s SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel: 1
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスのハードウェア モジュールのシリアル番号を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber
*s SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber: "FOC99999999"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

フィードバックには指定したファンの速度 (rpm) が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status
*s SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status: "locked on 1096 rpm"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status

適用対象: RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

現在の温度アラーム レベルを表示します。「高 (High)」は、動作温度が通常よりも高いため、温度傾向に注意を向けることを示しています。「致命的 (Critical)」レベルでは、デバイスが損傷ないようにプロセスとプロセッサがシャットダウンされます。動作中の高温度を回避するには、換気している環境でデバイスが動作していることを確認してください。

返される結果の値スペース:

Unknown, Normal, High, Critical

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status
*s SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status: Normal
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Temperature

適用対象: DX70/DX80, SX10, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスで測定された現在の最高温度 (摂氏) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Temperature
*s SystemUnit Hardware Temperature: "64.0"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware TemperatureThreshold

適用対象: DX70/DX80, SX10, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスの最高温度情報を返します。この温度を超えると、デバイスが自動的にシャットダウンされます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware TemperatureThreshold
*s SystemUnit Hardware TemperatureThreshold: "85"
** end
```

xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Text

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

重要なシステム通知に関連するテキストを一覧表示します。通知は、ソフトウェアのアップグレードのためにデバイスが再起動したときや、ファクトリ リセットが実行されたときなどに発行されます。

すべての通知は、xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行して、リストから削除できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Text
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Text: "OK"
** end
```

xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システム通知のタイプを一覧表示します。通知は、ソフトウェアのアップグレードのためにデバイスが再起動したときや、ファクトリ リセットが実行されたときなどに発行されます。

すべての通知は、xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行して、リストから削除できます。

返される結果の値スペース:

SoftwareUpgradeOK/SoftwareUpgradeFailed/RebootRequired/Other

SoftwareUpgradeOK: この値は、ソフトウェア アップグレードの成功後に返されます。

SoftwareUpgradeFailed: この値は、ソフトウェア アップグレードの試行失敗後に返されます。

RebootRequired: この値は、再起動が必要な場合に返されます。

Other: この値は、他のすべての通知に対して返されます。

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Type
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Type: SoftwareUpgradeOK
** end
```

xStatus SystemUnit ProductId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

製品の識別情報を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"Cisco Webex Board 55" : Cisco Webex Board 55
 "Cisco Webex Board 55S" : Cisco Webex Board 55S (第 2 世代 / S シリーズ)
 "Cisco Webex Board 70" : Cisco Webex Board 70
 "Cisco Webex Board 70S" : Cisco Webex Board 70S (第 2 世代 / S シリーズ)
 "Cisco Webex Board 85S" : Cisco Webex Board 85S
 "Cisco Webex Codec Plus" : Cisco Webex Codec plus
 "Cisco Webex Codec Pro" : Cisco Webex Codec Pro
 "Cisco TelePresence DX70" : Cisco Webex DX70 (Cisco DX70 としても販売されています)
 "Cisco Webex DX80" : Cisco Webex DX80 (Cisco DX80 としても販売されています)
 "Cisco TelePresence MX200 G2" : Cisco TelePresence MX200 G2
 "Cisco TelePresence MX300 G2" : Cisco TelePresence MX300 G2
 "Cisco TelePresence MX700" : デュアル ディスプレイと単一カメラ搭載の Cisco TelePresence MX700
 "Cisco TelePresence MX700 SpeakerTrack" : デュアル ディスプレイと単一カメラ搭載の Cisco TelePresence MX700
 "Cisco TelePresence MX800" : 単一ディスプレイと単一カメラ搭載の Cisco TelePresence MX800
 "Cisco TelePresence MX800 SpeakerTrack" : 単一ディスプレイとデュアル カメラ搭載の Cisco TelePresence MX800
 "Cisco TelePresence MX800 Dual" : デュアル ディスプレイとデュアル カメラ搭載の Cisco TelePresence MX800 Dual
 "Cisco Webex Room Kit" : Cisco Webex Room Kit
 "Cisco Webex Room Kit Mini" : Cisco Webex Room Kit Mini
 "Cisco Webex Room 55" : Cisco Webex Room 55
 "Cisco Webex Room 55 Dual" : Cisco Webex Room 55 Dual (Codec Plus ベース)
 "Cisco Webex Room 70 Dual" : Cisco Webex Room 70 Dual (Codec Plus ベース)
 "Cisco Webex Room 70 Dual G2" : Cisco Webex Room 70 Dual G2 (Codec Plus ベース)
 "Cisco Webex Room 70 Single" : Cisco Webex room 70 Single (Codec Plus ベース)
 "Cisco Webex Room 70 Single G2" : Cisco Webex room 70 Single G2 (Codec Pro ベース)

```
"Cisco TelePresence SX10" : Cisco TelePresence SX10
"Cisco TelePresence SX20" : Cisco TelePresence SX20
"Cisco TelePresence SX80" : Cisco TelePresence SX80
```

例:

```
xStatus SystemUnit ProductId
*s SystemUnit ProductId: "Cisco TelePresence SX80"
** end
```

xStatus SystemUnit ProductPlatform

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

製品プラットフォームを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

```
"Board 55" : Cisco Webex Board 55
"Board 55S" : Cisco Webex Board 55S (第 2 世代 / S シリーズ)
"Board 70" : Cisco Webex Board 70
"Board 70S" : Cisco Webex Board 70S (第 2 世代 / S シリーズ)
"Board 85S" : Cisco Webex Board 85S
"Codec Plus" : Cisco Webex Codec Plus
"Codec Pro" : Cisco Webex Codec Pro
"DX70" : Cisco Webex DX70 (Cisco DX70 としても販売されています)
"DX80" : Cisco Webex DX80 (Cisco DX80 としても販売されています)
"MX200 G2" : Cisco TelePresence MX200 G2
"MX300 G2" : Cisco TelePresence MX300 G2
"MX700" : デュアル ディスプレイと単一カメラ搭載の Cisco TelePresence MX700
"MX700ST" : デュアル ディスプレイとデュアル カメラ搭載の Cisco TelePresence MX700
"MX800" : 単一ディスプレイと単一カメラ搭載の Cisco TelePresence MX800
"MX800ST" : 単一ディスプレイとデュアル カメラ搭載の Cisco TelePresence MX800
"MX800D" : デュアル ディスプレイとデュアル カメラ搭載の Cisco TelePresence MX800 Dual
"Room Kit" : Cisco Webex Room Kit
"Room Kit Mini" : Cisco Webex Room Kit Mini
"Room 55" : Cisco Webex Room 55
"Room 55D" : Cisco Webex Room 55 Dual (Codec Plus ベース)
"Room 70D" : Cisco Webex Room 70 Dual (Codec Plus ベース)
"Room 70D G2" : Cisco Webex Room 70 Dual G2 (Codec Pro ベース)
"Room 70S" : Cisco Webex Room 70 Single (Codec Plus ベース)
"Room 70S G2" : Cisco Webex Room 70 Single G2 (Codec Pro ベース)
" SX10" : Cisco TelePresence SX10
" SX20" : Cisco TelePresence SX20
" SX80" : Cisco TelePresence SX80
```

例:

```
xStatus SystemUnit ProductPlatform
```

```
*s SystemUnit ProductPlatform: "SX80"
** end
```

xStatus SystemUnit ProductType

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

製品タイプを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ProductType
*s SystemUnit ProductType: "Cisco Codec"
** end
```

xStatus SystemUnit Software DisplayName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされているソフトウェアの名前を、UI に表示されるとおりに示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software DisplayName
*s SystemUnit Software DisplayName: "Display Name"
** end
```

xStatus SystemUnit Software Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされているソフトウェアの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Name
*s SystemUnit Software Name: "s53200"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされたオプション キーまたはソフトウェアが、暗号化機能をサポートしているかどうかを示します。オプション キーは SX10, SX80, MX シリーズで利用できます。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption
*s SystemUnit Software OptionKeys Encryption: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされたオプション キーが、MultiSite 機能をサポートしているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True/NotApplicable

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite
*s SystemUnit Software OptionKeys MultiSite: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスにリモート モニタリング オプション キーがインストールされているかどうかを示します。リモート モニタリング オプション キーは、Web インターフェイスと、リモートでペアリングされた Touch 10 からのスナップショットを有効にします。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring
*s SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software ReleaseDate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされているソフトウェアのリリース日付を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software ReleaseDate
*s SystemUnit Software ReleaseDate: "2015/05/05"
** end
```

xStatus SystemUnit Software Version

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスにインストールされたソフトウェアのバージョンを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Version
*s SystemUnit Software Version: "CE8.0.0"
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

アクティブなコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls
*s SystemUnit State NumberOfActiveCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

進行中のコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls
*s SystemUnit State NumberOfInProgressCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

一時停止中のコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls
*s SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit Uptime

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスの最後の再起動以降の秒数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus SystemUnit Uptime
*s SystemUnit Uptime: 597095
** end
```

Time ステータス

xStatus Time SystemTime

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスに設定された日時を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Time SystemTime
*s Time SystemTime: "2014-04-25T10:04:03Z"
** end
```

UserInterface ステータス

xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスのアクティブな連絡先の情報を返します。このアドレスは、このデバイスに到達するために使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod Number
*s UserInterface ContactInfo ContactMethod 1 Number: "12345678"
** end
```

xStatus UserInterface ContactInfo Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスのアクティブな連絡先の名前を返します。デバイスがプロトコルに登録されている場合は、そのプロトコルに応じて結果が異なります。自動的に設定された連絡先名は、コマンド xConfiguration UserInterface ContactInfo Type によって上書きされている場合があります。その場合は、連絡先の不一致に関する診断警告が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo Name
*s UserInterface ContactInfo Name: "MySystem"
** end
```

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

ウィジェットの値を返します。ウィジェットは、ユーザ インターフェイスに追加されるカスタム パネル (室内制御など) で使用されます。値スペースはウィジェット タイプによって異なります。UserInterface Extensions Widget SetValue コマンドを使って値が設定される時点まで、値は空の文字列です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
UserInterface Extensions Value
*s UserInterface Extensions Widget 1 Value: "on"
*s UserInterface Extensions Widget 2 Value: "255"
*s UserInterface Extensions Widget 3 Value: "Blinds"
*s UserInterface Extensions Widget 4 Value: "inactive"
*s UserInterface Extensions Widget 5 Value: "2"
*s UserInterface Extensions Widget 6 Value: "Projector is ready"
** end []
```

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

ウィジェットの固有識別子を返します。ウィジェットは、ユーザ インターフェイスに追加されるカスタム パネル (室内制御など) で使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
UserInterface Extensions WidgetId
*s UserInterface Extensions Widget 1 WidgetId: "togglebutton"
*s UserInterface Extensions Widget 2 WidgetId: "slider"
*s UserInterface Extensions Widget 3 WidgetId: "spinner"
*s UserInterface Extensions Widget 4 WidgetId: "button"
*s UserInterface Extensions Widget 5 WidgetId: "groupbutton"
*s UserInterface Extensions Widget 6 WidgetId: "textfield"
** end []
```

xStatus UserInterface Features Call End

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [通話終了 (End call)] ボタンがユーザインターフェイスから削除されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Visible/Hidden

Visible: デフォルトのボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトのボタンがユーザ インターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call End
*s UserInterface Features Call End: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features MidCallControls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このステータスは、ユーザ インターフェイスからデフォルトの保留、転送、および通話再開ボタンを削除するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Visible/Hidden

Visible: デフォルトのボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトのボタンがユーザ インターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features MidCallControls
*s UserInterface Features MidCallControls: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Call Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [通話 (Call)] ボタンおよび [参加者の追加 (Add participant)] ボタンがユーザ インターフェイスから削除されたかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Visible/Hidden

Visible: デフォルトのボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトのボタンがユーザ インターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Call Start
*s UserInterface Features Call Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Share Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このステータスは、ユーザ インターフェイスからコンテンツの共有とコール発信の両方で、コンテンツを共有およびプレビューするためのデフォルトボタンやその他の UI 要素を削除するかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Visible/Hidden

Visible: デフォルトのボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトのボタンがユーザ インターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Share Start
*s UserInterface Features Share Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface Features Whiteboard Start

適用対象: DX70/DX80 RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このステータスは、デフォルトの [ホワイトボード (Whiteboard)] ボタンがユーザ インターフェイスから削除されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Visible/Hidden

Visible: デフォルトのボタンをユーザ インターフェイスに表示します。

Hidden: デフォルトのボタンがユーザ インターフェイスから削除されます。

例:

```
xStatus UserInterface Features Whiteboard Start
*s UserInterface Features Whiteboard Start: Visible
** end
```

xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このステータスには、ユーザ インターフェイスの左上隅にデバイス名 (または連絡先情報) および、関連するドロップダウン メニューと設定パネルが、ユーザ インターフェイスに表示されているかどうかを報告します。

返される結果の値スペース:

Visible/Hidden

Visible: デバイス名、ドロップダウン メニューおよび設定パネルを、ユーザインターフェイスの左上隅に表示します。

Hidden: ドロップダウン メニューのあるデバイス名は表示されません。

例:

```
xStatus UserInterface SettingsMenu Visibility
*s UserInterface SettingsMenu Visibility: Visible
** end
```

Video ステータス

xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

画面上での通話中のスピーカーの画像の位置を示します。

返される結果の値スペース:

UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

例:

```
xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition
*s Video PIP ActiveSpeaker Position: UpperCenter
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] Connected

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

指定したコネクタに接続されているものがあるかどうかを示します。すべての接続を検出することはできません。

返される結果の値スペース:

False/True/Unknown

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 Connected
*s Video Input Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続されている入力デバイスの種類を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType: "Playback"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続されている入力デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。アドレスは 0 に固定されています。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 0
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続されている入力デバイスの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name: "Device-2"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI 入力に接続されている CEC 対応デバイスの状態を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus: "Standby"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続されている入力デバイスのベンダー ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId: "20576"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] SignalState

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

特定の入力の信号状態を示します。

返される結果の値スペース:

OK/Unknown/Unsupported

Unknown: 信号フォーマットが不明です。

OK: 信号が検出され、信号フォーマットはサポートされています。

Unsupported: 信号が検出されましたが、信号フォーマットはサポートされていません。

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 SignalState
*s Video Input Connector 1 SignalState: OK
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] SourceId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コネクタが関連付けられている入力ソースの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 SourceId
*s Video Input Connector 1 SourceId: 1
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コネクタ タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

Camera/Composite/DVI/3G-SDI/HD-SDI/HDMI/USB/Unknown/VGA/YC/YPbPr/USBC-DP

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 Type
*s Video Input Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus Video Input MainVideoMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

メイン ビデオの送信が、Video Input MainVideo Mute コマンド (または、ユーザ インターフェイスの [ビデオを停止 (Turn video off)] がある場合) で停止されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: ビデオが停止されました。

Off: ビデオは停止されていません。

例:

```
xStatus Video Input MainVideoMute
*s Video Input MainVideoMute: Off
** end
```

xStatus Video Input MainVideoSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在メイン ソースとして使用されているローカル ビデオ入力を返します。メイン ソースが複数のローカル入力で構成されている場合、値 *Composed* が返されます。デフォルトのメイン ビデオ ソースは `xConfiguration Video DefaultMainSource` コマンドで設定されます。 `xCommand Video Input SetMainVideoSource` を使用して変更できます (このコマンドはSX10, DX70, DX80 には適用されません)。

返される結果の値スペース:

1/2/3/4/5/6/Composed

例:

```
xStatus Video Input MainVideoSource
*s Video Input MainVideoSource: 1
** end
```

xStatus Video Input Source [n] ConnectorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

入力ソースに関連付けられたコネクタの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Source 1 ConnectorId
*s Video Input Source 1 ConnectorId: 1
** end
```

xStatus Video Input Source [n] FormatStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ入力ソースの解像度フォーマットのステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Ok/OutOfRange/NotFound/Interlaced/Error/Unknown

例:

```
xStatus Video Input Source 1 FormatStatus
*s Video Input Source 1 Resolution FormatStatus: Ok
** end
```

xStatus Video Input Source [n] FormatType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ入力ソースの解像度フォーマットのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

*Unknown/AnalogCVTBlanking/AnalogCVTReducedBlanking/AnalogGTFDefault/
AnalogGTFSecondary/AnalogDiscreteTiming/AnalogDMTBlanking/AnalogCEABlanking/Digital*

例:

```
xStatus Video Input Source 1 FormatType
*s Video Input Source 1 Resolution FormatType: Digital
** end
```

xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

内部使用専用。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Source MediaChannelId
*s Video Input Source 1 MediaChannelId: 2
*s Video Input Source 2 MediaChannelId: 3
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution Height

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ入力ソースの解像度の高さ (ピクセル単位) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 3000

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Height
*s Video Input Source 1 Resolution Height: 1080
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ入力ソースの解像度のリフレッシュ レート (Hz) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 300

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution RefreshRate
*s Video Input Source 1 Resolution RefreshRate: 50
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution Width

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ入力ソースの解像度の幅 (ピクセル単位) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 4000

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Width
*s Video Input Source 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Local

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカルの画面レイアウト ファミリを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Local
*s Video Layout LayoutFamily Local: "equal"
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Remote

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモートの画面レイアウト ファミリを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Remote
*s Video Layout LayoutFamily Remote: "equal"
** end
```

xStatus Video Monitors

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタのレイアウト モードを返します。

返される結果の値スペース:

Single/Dual/DualPresentationOnly/Triple/TriplePresentationOnly

Single: 同じレイアウトがすべてのモニタに表示されます。

Dual: レイアウトは 2 台のモニタに分散されます。

DualPresentationOnly: 最初のモニタにはコールのすべての参加者, 2 番目のモニタにはプレゼンテーション (存在する場合) が表示されます。

Triple: レイアウトは 3 台のモニタに分散されます。

TriplePresentationOnly: 1 番目と 2 番目のモニタにはコールのすべての参加者が, 3 番目のモニタにはプレゼンテーション (存在する場合) が表示されます。

例:

```
xStatus Video Monitors
*s Video Monitors: Single
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Connected

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイス (ディスプレイなど) が出力コネクタに接続されているかどうかを示します。ディスプレイがスタンバイ モードになると、ビデオ会議デバイスでは検出できない可能性があります。ディスプレイが物理的に接続されていても、コネクタのステータスでは False または Unknown が返されます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: デバイスはビデオ出力コネクタに接続されています。

False: ビデオ出力コネクタには何も接続されていません。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Connected
*s Video Output Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ会議デバイスが検出した、HDMI に接続されている CEC 対応デバイスのタイプを示します。この情報は、HDMI 出力に接続されたデバイスで CEC 機能が設定されており、ビデオ会議デバイスの構成で xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode がオンに設定されている場合にのみ入手できます。

返される結果の値スペース:

Unknown/TV/Reserved/Recorder/Tuner/Playback/Audio

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType: TV
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 4
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続デバイスの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 Name: "LG SIGNAGE TV"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI 出力に接続している CEC 対応デバイスのステータスを示します。

この情報は、HDMI 出力に接続されたデバイスで CEC 機能が設定されており、ビデオ会議デバイスの構成で xConfiguration Video Output Connector CEC Mode がオンに設定されている場合にのみ入手できます。

返される結果の値スペース:

Unknown/Ok/In progress/Failed to power on/Failed to standby

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus: Ok
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続デバイスのベンダー ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC VendorId
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 VendorId: "57489"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

モニタ EDID で定義された HDMI ポートに接続されたモニタの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name: "G2420HDBL"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI ポートに接続されているモニタの優先入力形式 (モニタ EDID で定義) を示します。これは、必ずしもビデオ会議デバイスが送信している形式ではありません。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat: "1920x1080@60Hz"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

接続デバイスの画面サイズをインチ単位で表示します。この情報を入手できない場合、デフォルト値は 0 に設定されます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize: 55
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] MonitorRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ出力コネクタに接続しているデバイスで表示するビデオ ストリームを示します。

返される結果の値スペース:

First/Second/Third/PresentationOnly/Recorder

First/Second/Third: マルチモニタ設定でのモニタのロール。シングルモニタ設定では、First, Second, および Third の間に違いはありません。

PresentationOnly: プレゼンテーション ビデオ ストリーム (アクティブな場合) を表示します。

Recorder: ローカル メイン ビデオを含めて、すべての参加者を表示します。アクティブであれば、プレゼンテーションも表示されます。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 MonitorRole
*s Video Output Connector 1 MonitorRole: First
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution Height

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ出力コネクタの解像度の高さ (ピクセル単位) を表示します。

返される結果の値スペース:

120 ~ 3000

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution Height
*s Video Output Connector 1 Resolution Height: 1080
** en
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ出力コネクタの解像度のリフレッシュ レート (Hz) を表示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 300

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate
*s Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate: 60
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ出力コネクタの解像度の幅 (ピクセル単位) を表示します。

返される結果の値スペース:

176 ~ 4000

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution Width
*s Video Output Connector 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コネクタのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

HDMI/DVI

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Type
*s Video Output Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Backlight

適用対象: MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Backlight Set で設定された、モニタのバックライト レベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Backlight
*s Video Output Monitor 1 Backlight: 80
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Brightness

適用対象: MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor brightness Set で設定された、モニタの明るさレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Brightness
*s Video Output Monitor 1 Brightness: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Blue

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Blue Set で設定された, モニタの青のレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Blue
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Blue: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Green

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Green Set で設定された, モニタの緑のレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Green
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Green: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Red

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Red Set で設定された, モニタの赤のレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Red
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Red: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Select で設定された, モニタの色温度を返します。

返される結果の値スペース:

4900/5500/6500/7200/9300/10500/12000/User

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected: 6500
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Contrast

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor[n] Contrast で設定された、モニタのコントラスト レベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Contrast
*s Video Output Monitor 1 Contrast: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] CSCYUV

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor[n] CSC Select で設定された、モニタの選択された色空間を返します。

返される結果の値スペース:

RGB/YUV

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 CSCYUV
*s Video Output Monitor 1 CSCYUV: RGB
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] FirmwareVersion

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタのファームウェア バージョンを示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列

モニタのファームウェア バージョン。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 FirmwareVersion
*s Video Output Monitor 1 FirmwareVersion: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Gamma

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor[n] Gamma で設定された、モニタのガンマ レベルを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Gamma
*s Video Output Monitor 1 Gamma: "2.2"
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ModelName

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタのモデル名を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列
モニタのモデル名。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ModelName
*s Video Output Monitor 1 ModelName: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Position

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro
Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタが左右どちらに配置されているかを示します。デュアル スクリーン デバイスだけに適用されます。

返される結果の値スペース:

Left/Right

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Position
*s Video Output Monitor 1 Position: Left
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] SerialNumber

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタのシリアル番号を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列
モニタのシリアル番号。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 SerialNumber
*s Video Output Monitor 1 SerialNumber: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Sharpness

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor[n] Sharpness で設定された、モニタの選択されたシャープさを返します。

返される結果の値スペース:

Softest/Soft/Normal/Sharp/Sharpest

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Sharpness
*s Video Output Monitor 1 Sharpness: Normal
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Temperature

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit RoomKitMini CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタの温度を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

Normal/High

Normal: モニタの温度は正常です。

High: モニタの温度が高すぎます。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Temperature
*s Video Output Monitor 1 Temperature: Normal
** end
```

xStatus Video Presentation PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

画面上のプレゼンテーション画像の位置を表示します。

返される結果の値スペース:

UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

例:

```
xStatus Video Presentation PIPPosition
*s Video PIP Presentation Position: CenterLeft
** end
```

xStatus Video Selfview FullscreenMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

セルフビューがフル スクリーン モードで設定されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview FullscreenMode
*s Video Selfview FullscreenMode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

セルフビュー モードがオンに設定されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview Mode
*s Video Selfview Mode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview OnMonitorRole

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

セルフビューを含むモニタ (存在する場合) を識別します。

返される結果の値スペース:

First/Second/Third

例:

```
xStatus Video Selfview OnMonitorRole
*s Video Selfview OnMonitorRole: First
** end
```

xStatus Video Selfview PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

画面上のセルフビュー画像の位置を表示します。

返される結果の値スペース:

UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

例:

```
xStatus Video Selfview PIPPosition
*s Video Selfview PIPPosition: LowerRight
** end
```

WebEngine ステータス

xStatus WebEngine Features Signage

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デジタル サイネージ機能が有効になっているかどうか報告されます。有効 (On) になるのは、WebEngine Mode と Standby Signage Mode の両方の設定がオンになっている場合のみです。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus WebEngine Features Signage
*s WebEngine Features Signage: On
** end
```

xStatus WebEngine Features WebEngine

適用対象: *RoomKit RoomKitMini CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2 Board*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Web エンジンが有効であるかどうかを報告します。これは、WebEngine Mode 設定がオンの場合に有効 (On) になっています。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus WebEngine Features WebEngine
*s WebEngine Features WebEngine: On
** end
```

Webex ステータス

xStatus Webex status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイスと Cisco Webex クラウド サービス間の接続ステータスを報告します。サービスが起動して実行されている場合、ステータス レポートが登録されます。デバイスが CUCM または VCS などのオンプレミス サービスに登録されている場合、ステータス レポートは無効になります。

返される結果の値スペース:

Disabled/Error/Registered/Registering/Stopped

例:

```
xStatus Webex status
*s Webex Status: Disabled
** end
```



第 6 章 付録

サポートされているコマンド マトリックス

ここでは CE9.9 を実行するデバイスでサポートされている設定、コマンド、およびステータスの完全なリストを示したテーブルを確認できます。

設定	447
コマンド	463
ステータス	475

テーブルの詳細について

1. 設定、ステータス、またはコマンドをサポートしているデバイス

すべてのタイプのデバイスでサポートされているエントリもあれば、より小さいサブセットについてのみ存在するエントリもあります。

デバイスは、次のとおりです。

- DX シリーズ: DX80, DX70
- MX シリーズ: MX800, MX700, MX300 G2, MX200 G2
- Room シリーズ: Codec Pro, Codec Plus, Room Kit, Room Kit Mini, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2
- SX シリーズ: SX80, SX20, SX10
- Webex Board: 55, 55S, 70, 70S, and 85S

2. 設定、ステータス、またはコマンドをサポートしているコールサービス

API で使用できる設定、コマンド、およびステータスの一部は、オンプレミスの登録済みデバイスにのみ適用されます。これらは、Webex に登録されているデバイスには適用されません。これらの項目は、「オンプレミスのみ」でマークされています。

H.323, H.320, SIP, NTP, CUCM, LDAP, 近接、および遠端カメラ制御に関連するすべてのものが、適用できない構成、コマンドおよびステータスのすべてです。

3. 各設定、ステータス、またはコマンドにアクセスする方法

デバイスの Web インターフェイスからすべての設定とステータスにアクセスできます。サブセットは、デバイスの API の一部でもあります。コマンドは、デバイスの API からのみ実行できます。

4. 設定、ステータス、またはコマンドを使用するために必要なユーザーロール

1 つのユーザー アカウントは、以下の 1 つのユーザー ロールまたは複数の組み合わせを保持できます。

- | | |
|------------------|-------------------|
| • ADMIN (A) | • ROOMCONTROL (R) |
| • AUDIT (Au) | • USER (U) |
| • INTEGRATOR (I) | |



設定	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Audio DefaultVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Input ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input HDMI [n] Level	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input HDMI [n] Mode	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Equalizer ID	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Equalizer Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Channel	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Level	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Channel	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode	X	X	X	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation	X	X	X	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction	X	X	X	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Equalizer ID	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Level	X	X	X	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Mode	X	X	X	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Type	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] PhantomPower	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Input MicrophoneMode	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Audio KeyClickDetector Attenuate	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio KeyClickDetector Enabled	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Microphones Mute Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Microphones PhantomPower	-	X	-	-	X	-	X	-	X	-	-	-	X	-	-	Web, API	A
Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio MicrophoneReinforcement Gain	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output ARC [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output ARC [n] Delay Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output ConnectorSetup	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Level	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output InternalSpeaker Mode	-	-	-	X	X	-	X	-	X	-	X	X	X	-	-	Web, API	A
Audio Output Line [n] Channel	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Delay DelayMs	X	X	X	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Delay Mode	X	X	X	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Equalizer ID	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Equalizer Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Level	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Mode	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Audio Output Line [n] OutputType	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	X	-	X	-	-	Web, API	A I
Audio SoundsAndAlerts RingTone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio SoundsAndAlerts RingVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Ultrasound Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Audio Ultrasound MaxVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Bluetooth Allowed	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A
Bluetooth Enabled	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A
BYOD TouchForwarding Enabled	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
CallHistory Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Brightness Mode	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Flip	X	X	X	X	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Focus Mode	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Gamma Mode	X	X	-	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Gamma Level	X	X	-	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] IrSensor	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Cameras Camera [n] Mirror	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] MotorMoveDetection	X	X	-	X	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web	A I
Cameras Camera [n] Whitebalance Mode	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Whitebalance Level	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I
Cameras Camera Framerate	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A
Cameras PowerLine Frequency	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A I

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Cameras PresenterTrack Connector	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A I
Cameras PresenterTrack Enabled	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A I
Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A I
Cameras PresenterTrack TriggerZone	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A I
Cameras Preset TriggerAutofocus	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
Cameras SpeakerTrack Mode	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack Closeup	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I U
Cameras SpeakerTrack TrackingMode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I U
Conference ActiveControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference AutoAnswer Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference AutoAnswer Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference AutoAnswer Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference CallProtocollPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference DefaultCall Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference DefaultCall Rate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Conference DoNotDisturb DefaultTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Conference Encryption Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference FarEndControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
Conference FarEndControl SignalCapability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
Conference FarEndMessage Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
Conference MaxReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Conference MaxTransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference MaxTotalReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference MaxTotalTransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference Multipoint Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Conference MultiStream Mode	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A
Conference IncomingMultisiteCall Mode	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference Presentation OnPlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference Presentation RelayQuality	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Conference VideoBandwidth Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
FacilityService Service [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
FacilityService Service [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
FacilityService Service [n] Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
FacilityService Service [n] CallType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
GPIO Pin [n] Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I
H323 Authentication Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 Authentication LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 Authentication Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 CallSetup Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 Encryption KeySize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 Gatekeeper Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 H323Alias E164	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 H323Alias ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 NAT Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
H323 NAT Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
H323 PortAllocation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
HttpClient Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
HttpClient AllowHTTP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
HttpClient AllowInsecureHTTPS	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
HttpFeedback TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Logging Debug Wifi	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Logging External Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Logging External Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Logging External Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Logging External Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Logging External TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Logging Internal Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Logging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Macros Mode	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Macros AutoStart	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Network [n] DNS DNSSEC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Network [n] DNS Domain Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] DNS Server [m] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Identity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Eap Md5	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Network [n] IEEE8021X Eap Ttls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Eap Tls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Eap Peap	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Assignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 SubnetMask	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Assignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 DHCPOptions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] MTU	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] QoS Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Audio	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Video	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Data	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Signalling	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv ICMPv6	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv NTP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] RemoteAccess Allow	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Network [n] TrafficControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] VLAN Voice Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] VLAN Voice VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
NetworkPort [n] Mode	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
NetworkServices CDP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices H323 Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices HTTP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTP Proxy LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy PACUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
NetworkServices HTTPS OCSP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices HTTPS OCSP URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices NTP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] Key	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] KeyId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] KeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
NetworkServices SIP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices SMTP Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
NetworkServices SMTP Server	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
NetworkServices SMTP Port	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
NetworkServices SMTP Username	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
NetworkServices SMTP Password	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
NetworkServices SMTP From	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
NetworkServices SMTP Security	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A
NetworkServices SNMP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
NetworkServices SNMP Host [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
NetworkServices SNMP CommunityName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
NetworkServices SNMP SystemContact	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
NetworkServices SNMP SystemLocation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
NetworkServices SSH Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices SSH HostKeyAlgorithm	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices SSH AllowPublicKey	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices Telnet Mode	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
NetworkServices UPnP Mode	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices UPnP Timeout	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
NetworkServices Websocket	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices WelcomeText	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
NetworkServices Wifi Allowed	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
NetworkServices Wifi Enabled	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
NetworkServices XMLAPI Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Peripherals InputDevice Mode	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels EmcResilience	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A
Peripherals Profile Cameras	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Peripherals Profile Cameras	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web	A I
Peripherals Profile ControlSystems	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Peripherals Profile TouchPanels	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Phonebook Server [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Phonebook Server [n] Pagination	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
Phonebook Server [n] TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
Phonebook Server [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Phonebook Server [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Provisioning Connectivity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager AlternateAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Path	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Domain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Proximity Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Proximity Services CallControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Proximity Services ContentShare FromClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Proximity Services ContentShare ToClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
RoomAnalytics AmbientNoiseEstimation Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall	X	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeoplePresenceDetector	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomReset Control	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
RTP Ports Range Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
RTP Ports Range Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
RTP Video Ports Range Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
RTP Video Ports Range Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Security Audit Logging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	Au
Security Audit OnError Action	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	Au
Security Audit Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	Au
Security Audit Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	Au
Security Audit Server PortAssignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	Au
Security Session FailedLoginsLockoutTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Security Session InactivityTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Security Session MaxFailedLogins	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Security Session MaxSessionsPerUser	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Security Session MaxTotalSessions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Security Session ShowLastLogon	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
SerialPort Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
SerialPort BaudRate	X	X	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
SerialPort LoginRequired	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
SIP ANAT	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Authentication UserName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Authentication Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP DefaultTransport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Ice DefaultCandidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Ice Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Line	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
SIP ListenPort	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
SIP Mailbox	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
SIP MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP PreferredIPSignaling	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
SIP Proxy [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
SIP Turn DiscoverMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
SIP Turn DropRflx	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
SIP Turn Server	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Turn UserName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Turn Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
SIP Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A
SIP URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
Standby BootAction	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A U
Standby Control	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Standby Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Standby Signage Audio	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Standby Signage InteractionMode	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A I
Standby Signage Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Standby Signage RefreshInterval	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Standby Signage Url	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Standby StandbyAction	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Standby WakeupAction	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A U
Standby WakeupOnMotionDetection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Standby PowerSave	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
SystemUnit Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
SystemUnit CrashReporting Advanced	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
SystemUnit CrashReporting Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
SystemUnit CrashReporting Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
SystemUnit IrSensor	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A
Time TimeFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Time DateFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Time Zone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Time WorkDay Start	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Time WorkDay End	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Time WorkWeek FirstDayOfWeek	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Time WorkWeek LastDayOfWeek	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
UserInterface Accessibility IncomingCallNotification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface Branding AwakeBranding Colors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface ContactInfo Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface CustomMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
UserInterface KeyTones Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface Features Call End	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call MidCallControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call VideoMute	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features HideAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Share Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Whiteboard Start	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	-	Web, API	A I
UserInterface Language	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface OSD EncryptionIndicator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
UserInterface OSD HalfwakeMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A
UserInterface OSD Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Phonebook Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Security Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface SettingsMenu Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface SettingsMenu Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
UserInterface SoundEffects Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface Wallpaper	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
UserInterface UsbPromotion	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
UserInterface WebcamOnlyMode	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
UserManagement LDAP Admin Filter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Admin Group	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Attribute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP BaseDN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
UserManagement LDAP VerifyServerCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A
Video ActiveSpeaker DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Video DefaultLayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web	A
Video DefaultLayoutFamily Remote	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A
Video DefaultMainSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input Connector [n] CameraControl Camerald	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Video Input Connector [n] CameraControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] CEC Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] DviType	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
Video Input Connector [n] HDCP Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] InputSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] OptimalDefinition Profile	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Video Input Connector [n] OptimalDefinition Threshold60fps	X	X	-	X	X	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web	A
Video Input Connector [n] PreferredResolution	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] PresentationSelection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] Quality	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
Video Input Connector [n] SignalType	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A
Video Input Connector [n] Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Monitors	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] Brightness	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	-	Web	A U
Video Output Connector [n] CEC Mode	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset	X	X	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I
Video Output Connector [n] Location VerticalOffset	X	X	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	X	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I
Video Output Connector [n] OverscanLevel	-	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A
Video Output Connector [n] Resolution	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I
Video Output Connector [n] Whitebalance Level	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	X	-	-	Web	A U
Video Presentation DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェ イスまたは API	ユーザ ロール
Video Presentation DefaultSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Presentation Priority	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
Video Selfview Default FullscreenMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Selfview Default Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Selfview Default OnMonitorRole	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Selfview Default PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Selfview Mirrored	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A I
Video Selfview OnCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
Video Selfview OnCall Duration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
WebEngine Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A
WebEngine RemoteDebugging	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミス のみ	Web インターフ ェイスまたはAPI	ユーザ ロール
Audio Diagnostics Advanced Run	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Diagnostics MeasureDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Equalizer List	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio Equalizer Update	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalInput Add	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalInput AddConnector	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalInput Remove	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalInput RemoveConnector	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalInput Update	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput Add	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput AddConnector	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput ConnectInput	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput DisconnectInput	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput Remove	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput RemoveConnector	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput Update	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio LocalOutput UpdateInputGain	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Microphones Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio RemoteOutput ConnectInput	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio RemoteOutput DisconnectInput	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio RemoteOutput UpdateInputGain	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio Select	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	API	A U
Audio Setup Clear	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミス のみ	Web インターフ ェイスまたはAPI	ユーザ ロール
Audio Setup Reset	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A
Audio Sound Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Sound Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio SpeakerCheck	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Audio Volume Decrease	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Increase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume SetToDefault	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio Volume Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio VuMeter Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio VuMeter Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Audio VuMeter StopAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Bookings NotificationSnooze	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Accept	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Disconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Call DTMFSend	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたはAPI	ユーザロール
Call FarEndControl Camera Move	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call FarEndControl Camera Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call FarEndControl RoomPreset Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call FarEndControl Source Select	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call FarEndMessage Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call FarEndMessage SStringSend	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A U
Call FarEndMessage TStringSend	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A U
Call Forward	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call Hold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call Ignore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Join	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Reject	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Call Resume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Call UnattendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory AcknowledgeMissedCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory DeleteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory DeleteEntry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
CallHistory Recents	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera PositionReset	X	X	X	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A I U
Camera PositionSet	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Camera Preset Activate	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset ActivateDefaultPosition	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset Edit	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたはAPI	ユーザロール
Camera Preset List	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset Remove	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset Show	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Preset Store	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Camera Ramp	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Camera TriggerAutofocus	X	X	X	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A U
Cameras AutoFocus Diagnostics Start	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A I
Cameras AutoFocus Diagnostics Stop	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A I
Cameras PresenterTrack ClearPosition	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A I U
Cameras PresenterTrack Set	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A I U
Cameras PresenterTrack StorePosition	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Activate	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Deactivate	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	API	A U
Conference Call AuthenticationResponse	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference DoNotDisturb Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Conference DoNotDisturb Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Conference Participant Admit	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant Disconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Participant Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたはAPI	ユーザロール
Conference Participant Search	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Pause	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Resume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference Recording Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Conference SpeakerLock Release	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Conference SpeakerLock Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Diagnostics Run	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Dial	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
GPIO ManualState Set	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A U
HttpClient Allow Hostname Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Allow Hostname Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Patch	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Post	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpClient Put	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpFeedback Deregister	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpFeedback Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
HttpFeedback Register	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Logging SendLogs	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Macros Log Clear	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Log Get	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミス のみ	Web インターフ ェイスまたはAPI	ユーザ ロール
Macros Macro Activate	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Deactivate	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Get	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Remove	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro RemoveAll	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Rename	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Roles Set	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Macro Save	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Restart	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Start	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Status	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Macros Runtime Stop	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Message Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Peripherals Connect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
Peripherals HeartBeat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
Peripherals List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals Pairing Pair	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Peripherals Pairing Unpair	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Peripherals Purge	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Contact Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Contact Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Contact Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook ContactMethod Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミス のみ	Web インターフ ェイスまたはAPI	ユーザ ロール
Phonebook ContactMethod Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Folder Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Folder Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Folder Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Phonebook Search	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Presentation Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Presentation Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning CompleteUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning PostponeUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Login	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A U
Provisioning RoomType Activate	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	API	A I
Provisioning Service Fetch	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Proximity Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Proximity Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Activate	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Clear	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
RoomPreset Store	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates CA Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates CA Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates CA Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Services Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Security Certificates Services Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security Certificates ThirdParty Disable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates ThirdParty Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates ThirdParty List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates ThirdParty Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Certificates Webex Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Security FIPSMODE Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Persistency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	API	A
Security Session Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
Security Session List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Security Session Terminate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Standby Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Standby Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Standby Halfwake	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Standby ResetHalfwakeTimer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Standby ResetTimer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit Boot	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
SystemUnit FactoryReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit FirstTimeWizard Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
SystemUnit Notifications RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit OptionKey RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit ProductPlatform Set	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミス のみ	Web インターフ ェイスまたはAPI	ユーザ ロール
SystemUnit SignInBanner Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit SignInBanner Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit SignInBanner Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit SoftReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
SystemUnit SoftwareUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit WelcomeBanner Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
SystemUnit WelcomeBanner Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
SystemUnit WelcomeBanner Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Time DateTime Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Time DateTime Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
UserInterface Branding Clear	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
UserInterface Branding Delete	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Fetch	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Get	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Updated	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Branding Upload	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface Extensions Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	I R U
UserInterface Extensions Panel Clicked	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Close	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Open	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Panel Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Panel Update	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたはAPI	ユーザーロール
UserInterface Extensions Widget Action	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Extensions Widget SetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Extensions Widget UnsetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Message Alert Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message Alert Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Message Prompt Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message Prompt Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Message Prompt Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message TextInput Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message TextInput Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface Message TextInput Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message TextLine Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R U
UserInterface Message TextLine Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I R
UserInterface OSD Key Click	-	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
UserInterface OSD Key Press	-	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
UserInterface OSD Key Release	-	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
UserInterface Presentation ExternalSource Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource Select	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I R U
UserInterface Presentation ExternalSource State Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I R
UserInterface WebView Clear	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserInterface WebView Display	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
UserManagement RemoteSupportUser Create	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザロール
UserManagement RemoteSupportUser Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement RemoteSupportUser GetState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Passphrase Change	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A Au I R U
UserManagement User Passphrase Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
UserManagement User Unblock	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Video ActiveSpeakerPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video CEC Input KeyClick	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I
Video CEC Output KeyClick	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I
Video CEC Output SendActiveSourceRequest	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I
Video Input MainVideo Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Video Input MainVideo Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A I U
Video Input SetMainVideoSource	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	API	A I U
Video Input Source SetActiveConnector	X	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A U
Video Layout LayoutFamily Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Matrix Assign	X	X	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A I U
Video Matrix Reset	X	X	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A I U
Video Matrix Swap	X	X	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A I U
Video Matrix Unassign	X	X	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	-	-	-	API	A I U
Video Output Monitor Backlight Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	API	A

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video Output Monitor Brightness Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Color Blue Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Color Green Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Color Red Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Color Select	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Contrast Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor CSC Select	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Gamma Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video Output Monitor Reset	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	API	A
Video Output Monitor Sharpness Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	API	A
Video PresentationPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video PresentationView Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Video Selfview Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
UserInterface WebEngine DeleteStorage	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A
Webex Registration Cancel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U
Webex Registration Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

ステータス	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio Devices Bluetooth ActiveProfile	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio Devices HandsetUSB Cradle	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB Description	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors ARC [n] EcReferenceDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors HDMI [n] EcReferenceDelay	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors HDMI [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors Line [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A U
Audio Input Connectors Microphone [n] Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input KeyClick Attenuate	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input KeyClick Detected	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input KeyClick Enabled	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] AGC	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Channels	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Connector	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Direct	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] MixerMode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Mute	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Input LocalInput [n] Name	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Input RemoteInput [n] CallId	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Audio Microphones LedIndicator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Module [n] Connector	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Audio Module [n] HardwareID	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Audio Module [n] SoftwareID	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Audio Module [n] Type	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Audio Output Connectors ARC [n] DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors ARC [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors ARC [n] Mute	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A U
Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors HDMI [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors HDMI [n] Mute	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	-	Web	A U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mute	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	-	-	Web	A U
Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors Line [n] DelayMs	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output Connectors Line [n] Mute	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web	A U
Audio Output LocalOutput [n] AutoconnectRemote	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Channels	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Name	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output MeasuredHdmiArcDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output MeasuredHdmiDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output MeasuredHdmiCecDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio Output RemoteOutput [n] CallId	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Audio SelectedDevice	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio Ultrasound Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Audio Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Audio VolumeHandsetUsb	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio VolumeHeadsetAnalog	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio VolumeHeadsetBluetooth	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Audio VolumeHeadsetUsb	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Audio VolumeInternal	-	-	-	-	-	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A U
Audio VolumeKeyStepSize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Audio VolumeMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Bluetooth Devices [n] Address	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Bluetooth Devices [n] Connected	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Bluetooth Devices [n] Name	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Bluetooth Devices [n] Paired	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Bookings Current Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] AnswerState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] AttendedTransferFrom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Call [n] CallbackNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] CallType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Duration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Encryption Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] FacilityServiceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A I U
Call [n] HoldReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Call [n] Ice	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] PlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] ReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Call [n] RemoteNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Call [n] TransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A : ADMIN Au : AUDIT I : INTEGRATOR R : ROOMCONTROL U : USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Cameras Camera [n] Capabilities Options	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] DetectedConnector	X	X	X	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] DownloadProgress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Cameras Camera [n] Flip	X	X	X	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Framerate	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	X	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] HardwareID	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] IpAddress	X	X	X	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web	A I R U
Cameras Camera [n] LightingConditions	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] MacAddress	X	X	X	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Model	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Focus	X	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Lens	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Pan	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Roll	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Tilt	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Zoom	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Role	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Cameras Camera [n] SerialNumber	X	X	X	X	-	X	-	-	X	X	X	X	-	X	-	Web, API	A I R U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Cameras Camera [n] SoftwareID	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Cameras Camera [n] UpgradeStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Cameras PresenterTrack Availability	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras PresenterTrack PresenterDetected	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras PresenterTrack Status	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	X	-	-	-	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack ActiveConnector	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Availability	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Status	X	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Defined	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Lens	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Pan	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Tilt	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Zoom	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Distance	X	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	X	X	-	-	Web	A I R U
Capabilities Conference MaxActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Capabilities Conference MaxAudioCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Capabilities Conference MaxCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Capabilities Conference MaxVideoCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference ActiveSpeaker CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] ActivePresenter [m] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] ActiveSpeaker [m] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] ActiveVideo [m] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Appearance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] AttendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Conference Call [n] AuthenticationRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Conference Call [n] AvailableLayout [m] LayoutName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] AvailableLayout [m] MaxPanels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] BookingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] CALText	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities DTMF	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities Hold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities IsModerator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities IxChannel Encryption Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities LocalLayoutChange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities Mari Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantDisconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantList	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities ParticipantMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities Presentation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Pause	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Resume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference Call [n] Capabilities Recording Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities Recording Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities SelfMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities SelfMuteLock	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] DefaultLayout LayoutName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] DefaultLayout MaxPanels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] EventCenter Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] GCI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] InfoScreen	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Layout LayoutName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Layout MaxPanels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Locked	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] MicrophonesMuted	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Multistream Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] NumberOfParticipants	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] NumberOfParticipantsVisible	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] ParticipantSelf	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Preserved	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] ProximityCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Recorded	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] RemoteRenderSiteNames	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] SecurityStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] SessionType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Conference Call [n] SoftwareID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] Spark CorrelationId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Spark TrackingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] Streamed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Call [n] UnattendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Call [n] VideoMutePoster	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference DoNotDisturb	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Conference Line [n] Appearance [n] DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Line [n] Appearance [n] GCI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Line [n] Appearance [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Line [n] Appearance [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Conference Line [n] Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Conference LoudestSite	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Multipoint Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference Muter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Presentation CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation LastLocalSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] Source	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation LocalSendingMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Conference Presentation LocalSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Conference Presentation Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Conference Presentation Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Conference Presentation Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Conference Presentation Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Conference Presentation Whiteboard BoardSessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Presentation Wireless LocallyControlled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference Presentation Wireless ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference SelectedCallProtocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Conference SpeakerLock CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Conference SpeakerLock Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Diagnostics LastRun	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Diagnostics Message [n] Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] Level	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] References	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
GPIO Pin [n] State	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	-	X	-	-	-	Web, API	A I U
H320 Gateway Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H320 Gateway Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H320 Gateway Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H320 Gateway Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H320 Gateway Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H320 Gateway Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Mode Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
H323 Mode Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Expression [n]	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザ ロール
HttpFeedback [n] Format	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
HttpFeedback [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local Candidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local Transport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote Candidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote XtlsFqdnHost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] MediaPath	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] NegotiationTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Call [n] Result	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Configured	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Defaultcandidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Turn Bandwidth	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Turn Discovermode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Turn Hostname	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Turn IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Turn Transport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
ICE Turn Username	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Logging ExtendedLogging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Logging ExtendedLogging PacketDump	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Logging ExtendedLogging RenderingDump	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio ChannelRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] LastCsi	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Msctrllid	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Local IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Local Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Local Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Remote IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Remote Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Remote Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Local IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Local Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Local Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Remote IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Remote Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Remote Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] ActiveInterface	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] CDP Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Capabilities	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP DeviceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Duplex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Platform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP PortID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP SysName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP SysObjectID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] CDP VTPMgmtDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] DNS Domain Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] DNS Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Ethernet MacAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Ethernet Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Network [n] IPv4 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 DHCP ProvisioningDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP ProvisioningServer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP TftpServer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP TftpServerAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP TmsServer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] IPv4 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv4 SubnetMask	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 DHCP TftpServerAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] IPv6 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] IPv6 LinkLocalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] MTU	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] VLAN Voice VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Network [n] Wifi BSSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Channel	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Frequency	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi MacAddress	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Phase2Method	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi RawSSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Reason	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Region	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi RSSI	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] Flags	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] SSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Speed	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi SSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Status	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Network [n] Wifi Type	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
NetworkServices NTP CurrentAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
NetworkServices NTP Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
NetworkServices NTP Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
NetworkServices UPnP Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedProgress [n] Ident	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Peripherals ConnectedProgress [n] Progress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I R U
Provisioning CUCM CAPF LSC	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF OperationResult	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Provisioning CUCM CAPF OperationState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF ServerName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF ServerPort	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM CTL State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM Customization Checksum	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Provisioning CUCM ITL State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM Phonebook URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM ProvisionSecurity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] IPv6Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] Priority	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] Server	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning CUCM UserId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Discovered	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning NextRetry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning RoomType	X	-	-	X	-	-	-	-	X	X	-	X	-	-	-	Web, API	A U
Provisioning Server	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Software Current CompletedAt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software Current URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software Current VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade Changed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Provisioning Software PreviousUpgrade Message	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Software UpgradeStatus LastChange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Message	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Phase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus PostponedUntil	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Software UpgradeStatus SecondsUntilUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Provisioning Software UpgradeStatus SessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Urgency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Provisioning Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Proximity Services Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
RoomAnalytics AmbientNoise Level A	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeopleCount Current	X	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeoplePresence	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomAnalytics Sound Level A	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
RoomPreset [n] Defined	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
RoomPreset [n] Description	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
RoomPreset [n] Type	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Security Audit Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A Au U
Security FIPS Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Security Persistency CallHistory	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security Persistency Configurations	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security Persistency DHCP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security Persistency InternalLogging	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security Persistency LocalPhonebook	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Security PII LoggingMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Access Token	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account ClusterId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account Email	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account ExternalPhoneNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account InternalPhoneNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account OrganizationDisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account OrganizationId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account SipAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Account Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Binding DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Binding Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Binding Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Binding URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark DeviceRoles CallControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark CallTrackingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark DeviceRoles MainAudio	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark DeviceRoles MainVideo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Spark DeviceRoles Presentation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark PrivateBoard [n] Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark PrivateBoard [n] LastUpdated	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark PrivateBoard [n] SnapshotUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark PrivateBoard [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Assistant Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Assistant LastUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Assistant Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Assistant TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Calendar BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Calendar Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Calendar Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Calendar TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity PinChallenge Pin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity Token Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity Token Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity TokenRequest Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity TokenRequest NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity TokenRequest Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity TokenRequest TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Settings Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Settings Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Spark Services Configuration Settings TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Space Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Space Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Space TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Space TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Configuration TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken Expiry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken LastRefresh Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken LastRefresh NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken LastRefresh TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials RefreshToken Expiry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Credentials RefreshToken Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Encryption Alias	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Encryption Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Encryption Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Encryption TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Encryption Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services FeatureToggles Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services FeatureToggles LastSuccess	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services FeatureToggles NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services FeatureToggles Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services FeatureToggles TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Spark Services PeopleService BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services PeopleService Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services PeopleService Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services PeopleService TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation ClientAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation CountryCode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation RegionCode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation TimeZone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services GeoLocation Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services HydraService BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services HydraService Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services HydraService Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services HydraService TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services IdBrokerBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services IdStoreBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services LogUpload Details	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services LogUpload Error	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services LogUpload LogId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services LogUpload RequestOrigin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services LogUpload Result	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services LogUpload TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Spark Services Metrics Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Metrics Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Metrics TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Metrics Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Alias	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications ApplicationPing Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications ApplicationPing NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications ApplicationPing Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications ApplicationPing TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications MessageReceived Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications MessageReceived Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications MessageReceived TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications MessageSent TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications RemoteAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Servers ActiveUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] Priority	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Spark Services Notifications Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Notifications TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Phonebook BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Phonebook Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Phonebook Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Phonebook TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Registration Alias	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Registration BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Registration Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Registration NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Registration Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services Registration TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade ManifestUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade ServiceUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager LastUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services TrustAnchorService LastRefresh	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services TrustAnchorService Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Spark Services U2CBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Services WdmBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Space Access	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Spark Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SIP AlternateURI Alias [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP AlternateURI Primary [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Authentication	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP CallForward DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP CallForward Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP CallForward URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Mailbox MessagesWaiting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Mailbox URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Proxy [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Proxy [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Registration [n] Authentication	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Registration [n] Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Registration [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Registration [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Secure	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
SIP Verified	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	Web, API	A U
Standby PowerSave State	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Standby State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
SystemUnit Hardware BootSoftware	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SystemUnit Hardware HasWiFi	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SystemUnit Hardware MainBoard Revision	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware Module Identifier	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SystemUnit Hardware Module SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware MonitoringSoftware	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	Web	A U
SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
SystemUnit Hardware Temperature	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware TemperatureThreshold	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
SystemUnit Hardware UDI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Text	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit ProductId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit ProductPlatform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit ProductType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys MultiSite	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software ReleaseDate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit Software ReleaseKey	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
SystemUnit Software Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit State CameraLid	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
SystemUnit State CameraTilt	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
SystemUnit State NumberOfActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
SystemUnit State NumberOfInProgressCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
SystemUnit State Subsystem Application	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SystemUnit State System	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
SystemUnit Uptime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Time SystemTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface ContactInfo Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
UserInterface Extensions Widget [n] Value	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I R U
UserInterface Features Call End	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call JoinWebex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I
UserInterface Features MidCallControls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Call Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Share Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Features Whiteboard Start	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	-	-	X	-	Web, API	A I
UserInterface OSD Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
UserInterface SettingsMenu Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I
UserInterface Spark BoardWorkflowsSupport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video ActiveSpeaker PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] SignalState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] SourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input LastConnectedSource	X	X	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	X	X	-	Web	A U
Video Input MainVideoMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input MainVideoSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input Source [n] ConnectorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] FormatStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] FormatType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Input Source [n] MsctrlId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Input Source [n] Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Input Source [n] TmdsClockPresent	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Engine Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout LayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Layout LayoutFamily Remote	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Layout Local Height	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Video Layout Local PositionX	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Video Layout Local PositionY	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Video Layout Local Type	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Video Layout Local Width	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Layout Mode	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] DiffFromActive	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] FamilyName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] InputNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] Layer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] MsctrlId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] ParticipantType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] VideoSourceContent	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] VideoSourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] VideoSourceInstance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] VideoSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] GraphicName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] RoleName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Output [1..2] Frame [1..6] MediaChannelId	-	X	X	-	X	X	X	X	-	-	-	-	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family[n] OutputRole [n] Frame[n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame[n] VideoSourceInstance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] StatusIndex Family [n] Hidden	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] StatusIndex Family [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] StatusIndex OutputRole [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout PresentationView	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] BoardSessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] FrameContainerId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] InputNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Layer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Media Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Layout Site [n] Frame [n] Media Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Mirrored	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] MsctrlId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] ParticipantType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceContent	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceInstance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] Content	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FullFamilyName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Video Monitors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_50	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_50	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1440_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_30	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A I U
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Backlight	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Brightness	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Blue	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Green	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Red	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	X	X	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Contrast	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] CSCYUV	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] FirmwareVersion	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Gamma	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ModelName	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Position	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] SerialNumber	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Sharpness	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Temperature	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Presentation PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Video Selfview FullscreenMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Selfview Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Selfview OnMonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
Video Selfview PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A I U
WebEngine Features Signage	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
WebEngine Features WebEngine	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Webex Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web, API	A U
Whiteboard Session [n] BackgroundPath	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Whiteboard Session [n] BoardOrigin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Whiteboard Session [n] BoardType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Whiteboard Session [n] BoardUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Whiteboard Session [n] BridgeState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Whiteboard Session [n] ClientState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER



Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300 G2 / MX200 G2	DX80/DX70	Room Kit	Room Kit Mini	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	Board 55/55S, 70/70S, 85S	オンプレミスのみ	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Whiteboard Session [n] Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U
Whiteboard Session [n] SocketPath	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	Web	A U

X: サポートされます - : サポートされません

A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

起動スクリプト

デバイスに 1 つ以上のスタートアップ スクリプトを追加できます。起動スクリプトには、デバイスを起動するたびに起動手順の一部として実行されるコマンド (xCommand) および設定 (xConfiguration) が含まれます。xCommand SystemUnit Boot など、いくつかのコマンドと設定はスタートアップ スクリプトに組み込むことができません。

デバイスの Web インターフェイスを使用して、起動スクリプトの作成と管理を行います。

Web インターフェイスと起動スクリプトの詳細については、ご使用の製品のアドミニストレータ ガイドを参照してください。

SystemTools コマンド

注: SystemTools コマンドはデバイスの管理制御に使用され、コマンドライン インターフェイスからのみ使用できます。Systemtools をデバイスのプログラミングに使用しないでください。

必須パラメータ (山カッコ) : <text>

オプション パラメータ (角カッコ) : [text]

サポートされているコマンド タイプの概要を確認するには、「systemtools ?」と入力します。

例:

```
systemtools ?
rootsettings
selectsw
whoami
license
network
ntp
passwd
pki
ps
securitysettings
securitystatus
sudo
idefixversion
pairing
```

コマンドの使用方法を知るには、コマンドの末尾に疑問符を追加します。

例:

```
systemtools network ?
usage: network ping <hostname> | traceroute
<hostname> | netstat | addr | ifconfig
```

systemtools idefixversion (DX70 および DX80 以外)

接続されたタッチ コントローラに必要なソフトウェアのバージョンを返します。TC7.3 以前にダウングレードする場合に使用されます。

systemtools license list

デバイスのすべてのライセンスを示します。

systemtools license show <name>

名前によって定義されたライセンス ファイルの内容を示します。

<name>: ライセンス ファイルの名前。

systemtools network ping <hostname>

Network デバッグ コマンド。

<hostname>: ホストの IP アドレスまたは URL。

systemtools network traceroute <hostname>

Network デバッグ コマンド。

<hostname>: ホストの IP アドレスまたは URL。

systemtools network netstat

Network デバッグ コマンド。

systemtools network addr

デバイスの IP アドレスを示します。

systemtools network ifconfig

Network デバッグ コマンド。

systemtools ntp

NTP ステータスを表示します。

systemtools pairing unpair

Cisco Touch 10 コントローラとのアソシエーションを削除します。

systemtools passwd

ログイン ユーザのパスワードを変更します。

systemtools pki list

存在する場合、デバイスの証明書および CA リストを一覧表示します。

systemtools pki delete <cert-name>

存在する場合、デバイスの証明書および CA リストを削除します。

<cert-name>: 証明書の名前。

systemtools securitysettings jitc

セキュリティ要件をセットアップして JITC に合わせます。

デバイスで適用するパスワードおよび PIN ポリシーを設定します。

systemtools securitysettings isjitc

現在の設定が JITC に準拠しているかを確認します。

systemtools securitysettings default

セキュリティ設定をデフォルトに戻します。

systemtools securitysettings ask

個別のコンフィギュレーションを照会します。このコマンドを発行すると、各ポリシーを個別に確認できます。

- ・ 現在の値を保持するには、Enter キーを押します。
- ・ 特定のポリシーを変更するには、番号を入力して Enter キーを押します。
- ・ デフォルト値「0」は、制限がないことを示します。

Max failed login attempts [0]?

- ・ ユーザが非アクティブに設定されるログイン失敗回数。

Suspend-time after max failed login attempts (minutes) [0]?

- ログイン試行の失敗回数が最大数を超えてから、ユーザが非アクティブ化されるまでの分數。

Max simultaneous sessions total [0]?

- Web に同時にログインできるユーザの最大数、および ssh/Telnet に同時にログインできるユーザの最大数。

Max simultaneous sessions per user [0]?

- ユーザ 1 人あたりの最大同時セッション数。

Number of passwords to remember [0]?

- 新しいパスワードが異ならなければならない、以前のパスワードの数。

Number of PINs to remember [0]?

- 新しい PIN が異ならなければならない、以前の PIN の数。

Maximum time between password renewals (days) [0]?

- ユーザが更新期間内にパスワードを変更しなかった場合、そのユーザは非アクティブ化されます。

Minimum time between password renewals (hours) [0]?

- ユーザはこの制限内でパスワードを一度だけ変更できます。

Maximum time between PIN renewals (days) [0]?

- ユーザが更新期間内に PIN を変更しなかった場合、そのユーザは非アクティブ化されます。

Minimum time between PIN renewals (hours) [0]?

- ユーザはこの制限内で PIN を一度だけ変更できます。

Maximum time between logins (days) [0]?

- ユーザがこの制限内にログインしていない場合、ユーザは非アクティブに設定されます。

Max consecutive equal digits in PINs [0]?

- PIN における同一数字の最大連続桁数。

Minimum number of digits in PINs [0]?

- PIN の桁の最小数。

Maximum number of digits in PINs [0]?

- PIN の桁の最大数。

Max consecutive identical characters in passwords [0]?

- パスワードにおける同一文字の最大連続数。

Minimum number of characters in passwords [0]?

- パスワードの最小文字数。

Maximum number of characters in passwords [0]?

- パスワードの最大文字数。

Minimum number of lower-case letters in passwords [0]?

- パスワードの小文字の最小数。

Minimum number of upper-case letters in passwords [0]?

- パスワードの大文字の最小数。

Minimum number of numerical characters in passwords [0]?

- パスワードの数値文字の最小数。

Minimum number of special characters in passwords [0]?

- パスワードの特殊文字の最小数。

Minimum number of character groups in passwords [0]?

- パスワードの文字グループの最小数。

Minimum number of character changed from previous password [0]?

- 以前のパスワードから変更する最小文字数。

systemtools securitystatus

デバイスの Security ステータスを表示します。

systemtools selectsw

使用するソフトウェア イメージを選択します。ソフトウェア イメージを変更すると、デバイスが再起動されます。

引数を指定しない場合：使用できるソフトウェア イメージのバージョンをリストし、アクティブになっているバージョンを示します。

image name：この名前のソフトウェアに切り替えます。

systemtools sudo on

現在のセッションのユーザ ロールを指定のユーザ ロールに変更します。

<username>：sudo ユーザの名前。

<password>：sudo ユーザのパスワード。

systemtools sudo off

サインインしているユーザのユーザ ロールに戻します。

systemtools whoami

サインインしているユーザの名前と ID、およびこのユーザが保持しているユーザ ロールをリストします。

接続解除原因タイプ

コールが切断された場合、次のパラメータが記録されます。接続解除原因タイプは、接続解除イベント (xEvent) で使用されます。

CauseValue	独自仕様。CauseType および CauseCode の使用を推奨します。
CauseType	コールが切断された理由を示します。値スペースは {OtherLocal, LocalDisconnect, UnknownRemoteSite, LocalBusy, LocalReject, InsufficientSecurity, OtherRemote, RemoteDisconnect, RemoteBusy, RemoteRejected, RemoteNoAnswer, CallForwarded, NetworkRejected} です。
CauseString	原因コードを記録します。
CauseCode	接続解除の原因コードは SIP および Q.850 で定義されています。
CauseOrigin	SIP, Q.850, internal.

例:

```
xEvent DisconnectEvent

*e CallDisconnect CauseValue: 1
  CauseType: "LocalDisconnect"
  CauseString: ""
  OrigCallDirection: "outgoing"
  RemoteURI: "firstname.lastname@company.com"
  CallId: 89
  CauseCode: 0
  CauseOrigin: SIP
** end
```

シスコ Web サイト内のユーザ マニュアル

Cisco Collaboration 製品のユーザ ドキュメンテーションは、次で入手できます。

▶ <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

リストから「コラボレーション エンドポイント」の製品カテゴリを選択し、次に製品シリーズを選択します。

- *Webex Board*
- *Webex DX シリーズ*
- *Webex Room シリーズ*
- *TelePresence MX シリーズ*
- *TelePresence SX シリーズ*

または、次の短いリンクを使用します。

▶ <https://www.cisco.com/go/board-docs>

▶ <https://www.cisco.com/go/dx-docs>

▶ <https://www.cisco.com/go/mx-docs>

▶ <https://www.cisco.com/go/room-docs>

▶ <https://www.cisco.com/go/sx-docs>

インストールおよびアップグレード

インストール ガイドおよびアップグレード ガイド

- *インストール ガイド*: 製品のインストール方法
- *スタートアップ ガイド*: デバイスを動作させるために必要な初期設定
- *物理インターフェイス ガイド*: コネクタ パネルや LED など、製品の物理インターフェイスに関する詳細情報 (SX80 のみ)
- *RCSI ガイド*: 法規制の遵守および安全上の注意

管理および運用

メンテナンスおよび操作ガイド

- *管理者ガイド*: 製品の管理に必要な情報
- *CUCM での TelePresence エンドポイントの導入ガイド*: Cisco Unified Communications Manager (CUCM) と組み合わせて製品を使用開始する際に実行するタスク

エンドユーザ ガイド

- *ユーザ ガイド*: 製品の使用方法
- *クイック リファレンス ガイド*: 製品の使用方法

リファレンス

コマンド リファレンス

- *API リファレンス ガイド*: アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) のリファレンス ガイド

テクニカル リファレンス

- *CAD 図面*: 測定値付き 2D CAD 図面

設定

コンフィギュレーション ガイド

- *カスタマイズ ガイド*: ユーザ インターフェイスのカスタマイズ方法、デバイスの API を使用した室内制御のプログラミング方法、マクロの作成方法、オーディオ コンソールを使用した高度な音声セットアップの設定方法
- *UI 拡張エディタ (旧称: 屋内制御エディタ)*: UI 拡張エディタをダウンロード

設計

設計ガイド

- *ビデオ会議室に関するガイドライン*: 会議室の設計とベストプラクティスに関する一般的なガイドライン
- *ビデオ会議室のガイドライン*: 音質を向上させるための対策

ソフトウェアのダウンロード、リリース、および一般的情報

リリースノート

- *リリース ノート* および延期の通知

ライセンス情報

- *オープン ソース ライセンス*: この製品で使用されているオープン ソース ソフトウェアのライセンスおよび通知

知的財産

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジー図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

印刷版と複製ソフトは公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号については、シスコのウェブサイト www.cisco.com/go/offices をご覧ください。

Cisco および Cisco のロゴは、米国およびその他の国における Cisco およびその関連会社の商標を示します。Cisco の商標の一覧については、www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)。

Cisco のお問い合わせ先

Cisco のウェブサイトでは、Cisco の世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

移動先: ▶ <https://www.cisco.com/go/offices>

本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Dr.

San Jose, CA 95134 USA